

平成30年度

主要施策の成果説明書

松 島 町

目次

◆一般会計

款		項		目	ページ
1	議会費	1	議会費	1 議会費	1
2	総務費	1	総務管理費	1 一般管理費	4
				2 文書費	10
				3 広報広聴費	12
				6 財産管理費	15
				8 企画費	17
				9 交通安全費	19
				10 諸費	21
				11 電子計算費	23
				12 町民バス運行費	25
				13 施設管理費	28
				15 地上デジタル放送無線共聴施設管理費	29
				18 復興推進費	30
				19 ふるさと納税費	31
		2	徴税費	1 税務総務費 2 賦課徴収費	33
		3	戸籍住民基本台帳費	1 戸籍住民基本台帳費	37
		5	統計調査費	1 統計調査総務費	39
				2 指定統計費	40
3	民生費	1	社会福祉費	1 社会福祉総務費	41
				2 障害者福祉費	42
				3 老人福祉費	46
				4 国民年金費	48
				5 介護保険対策費	49
				6 保健福祉センター管理費	50
		2	児童福祉費	1 児童福祉総務費 2 児童措置費	52
				3 保育所費	53
				4 母子福祉費	55
				5 子ども医療対策費	56
				6 子育て支援事業費	57
				7 児童福祉施設費	60
				8 児童館費	61

款		項		目	ページ
4	衛生費	1	保健衛生費	1 保健衛生総務費	63
				2 予防費	65
				3 健康館費	68
				4 母子衛生費	69
				5 環境衛生費	71
				6 公害対策費	76
		2	清掃費	1 塵芥処理費	77
				2 し尿処理費	78
5	労働費	1	労働諸費	1 勤労青少年ホーム費	79
				2 労働諸費	81
6	農林水産業費	1	農業費	1 農業委員会費	82
				3 農業振興費	84
				4 農地費	87
				5 園芸振興費	90
				6 畜産振興費	91
				2 林業振興費	92
		3	水産業費	2 水産業振興費	98
				4 漁港建設費	101
7	商工費	1	商工費	2 商工業振興費	103
				3 観光費	105
				4 文化観光交流館費	113
8	土木費	2	道路橋梁費	2 道路維持費	115
				3 道路新設改良費	117
		3	河川費	1 河川総務費	120
		5	都市計画費	1 都市計画総務費	121
				3 公園管理費	123
				4 自転車等駐車場管理費	126
				5 街路事業費	127
				1 住宅管理費	129
		6	住宅費	2 木造住宅等震災対策事業費	131
				3 住宅環境整備費	132
				4 耐震対策緊急促進費	133
				1 非常備消防費	134
9	消防費	1	消防費	2 水防費	136
				3 災害対策費	137
				4 避難施設管理費	138

款		項		目		ページ
10	教育費	1	教育総務費	2	事務局費	139
		2	小学校費	1	小学校管理費	142
		3	中学校費	1	中学校管理費	
		2	小学校費	2	教育振興費（小学校）	144
		3	中学校費	2	教育振興費（中学校）	
		2	小学校費	3	学校保健衛生費（小学校）	147
		3	中学校費	3	学校保健衛生費（中学校）	
		2	小学校費	4	学校建設費（小学校）	149
		3	中学校費	4	学校建設費（中学校）	
		4	社会教育費	1	社会教育総務費	150
				2	公民館費	153
				3	文化財保護費	155
				4	町民の森費	157
				5	地域交流センター費	159
		5	保健体育費	1	保健体育総務費	160
				2	海洋センター費	162
				3	給食施設費	164
		6	幼稚園費	1	幼稚園費	168
11	災害復旧費	2	公共土木施設災害復旧費	1	公共土木施設災害復旧費	171

◆特別会計

国民健康保険特別会計	172
後期高齢者医療特別会計	175
介護保険特別会計	176
介護サービス事業特別会計	183
観瀾亭等特別会計	184
下水道事業特別会計	190

一 般 会 計

一 般 会 計

1	款	1	項	1	目	議会費									
担当部署名			議会事務局										(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源						
	118, 895		115, 536							115, 536					
実績	1 会議の開催状況														
	○定 例 会														
		会 期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	一般質問 人数 件数		備 考		
	第1回	3月2日 ～ 3月20日	19	33	33	0	0	0	0	0	7	10			
	第2回	6月8日 ～ 6月13日	6	19	19	0	0	0	0	0	8	13	諮問5件		
	第3回	9月7日 ～ 9月25日	19	29	29	0	0	0	0	0	5	9			
	第4回	12月14日 ～ 12月19日	6	18	17	0	0	1	0	0	6	11			
	○臨 時 会														
		会 期	日数	審議 件数	原案 可決	修正 可決	否決	撤回	継続 審査	審議 未了	備 考				
	第1回	8月7日	1	6	6	0	0	0	0	0					
	※会議の開催状況の期間については 『平成30年1月1日～平成30年12月31日』														
	2 全員協議会の開催状況														
	・ 開催回数 3回 (開催日 平成30年1月29日・平成30年6月1日・平成30年8月7日)														
	・ 案件概要 報告事項 3件 ・ 協議事項 6件														
	3 特別委員会の設置状況														
	・ 東日本大震災復興対策特別委員会 (H29. 12. 20設置)														
	4 議会報告会														
・ 開催日程 平成30年10月13日 ～ 平成30年11月20日															
・ 開催場所 12行政区															
・ 出席者数 237名 (延べ人数)															
・ 備 考 平成31年4月1日、町広報紙配布時に 『議会報告会まとめ』 を全戸配布															
5 広報「議会だより」の発行															
・ 発行回数 年4回 【定例会ごと】 ※発行月 5月・8月・11月・2月															
・ 発行費用 741, 312円															
・ 発行部数 5, 500部															

(次頁へ続く)

1 款	1 項	1 目
実績	6 一般会議	
		平成30年9月25日 行政区長との意見交換会 (参加者数 行政区長12名・議員13名・事務局職員1名) 平成30年11月26日 利府松島商工会役員との意見交換会 (参加者数 利府松島商工会会長等12名・議員7名・事務局職員2名) ●総務経済常任委員会 ○委員会開催日数 6日間 ○所管事務調査内容 ◇定住化促進施策について ※調査期限 平成29年12月～令和元年9月まで ○視察研修内容 日程 平成30年7月10日～12日 【2泊3日】 ◇富山県 南砺市(定住化促進施策について) ◇富山県 舟橋村(定住化促進施策について) ●教育民生常任委員会 ○委員会開催日数 18日間 ○所管事務調査内容 ◇教育・保育関連施設の実態調査について ※調査期間 平成29年12月～平成30年6月 ◇幼児教育の環境整備について ※調査期間 平成30年3月～平成30年12月 ◇高齢者支援(買い物支援・生きがい支援)の推進について ※調査期限 平成30年12月～令和元年9月まで ◇特色を持った英語教育の推進について ※調査期限 平成30年12月～令和元年9月まで ○視察研修内容 日程 平成30年5月17日 ◇宮城県 川崎町(幼児教育の環境整備について) ◇宮城県 丸森町(幼児教育の環境整備について) 日程 平成30年7月4日～7月7日 【3泊4日】 ◇香川県 綾川町(幼児教育の環境整備について) ◇兵庫県 福崎町(幼児教育の環境整備について) ○調査活動 調査日 平成31年2月8日 ◇高齢者支援(買い物支援・生きがい支援)の推進について ・初原コミュニティーセンター(元気塾)、三十刈避難所(地域サロン) 調査日 平成31年2月12日 ◇特色を持った英語教育の推進について ・松島第一小学校 ●広報広聴常任委員会 ○委員会開催日数 25日間 (広報分科会22日間 広聴分科会3日間) ◇議会広報紙の編集・発行及び配布 ◇議会報告会及び一般会議の開催に必要な企画及び調整 ほか ○視察研修内容 日程 平成30年10月10日 ◇平成30年度町村議会議会広報研修会(東京都) 日程 平成30年10月11日 ◇埼玉県滑川町議会(議会だより編集作業等について)

(次頁へ続く)

1 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

7 議会の要望活動等

年月日	内 容	提出先
H30. 11. 7	江合・鳴瀬・吉田川水系改修促進に関する要望	宮城県知事、 宮城県議会議長、 東北地方整備局
H30. 11. 7	国道346号並びに主要地方道仙台松島線整備促進に係る要望 (国道346号整備促進期成同盟会)	宮城県知事、 宮城県議会議長

8 意見書等

議決日	件 名	提出先
H31. 3. 18	宮城県に対し、小・中学校全学年で少人数学級実現等を要請する意見書	宮城県知事

9 議会の視察受入状況

年月日	相手方（視察内容等）
H30. 4. 26	栃木県 那須町議会 議会広報特別委員会 (議会だよりの作成について)
H30. 5. 7	大分県 九重町議会 議会運営委員会 (議会運営について、東日本大震災における議会対応について)
H30. 5. 15	山形県 河北町議会 議会運営委員会 (議会運営について)
H30. 5. 21	広島県 廿日市市議会 建設常任委員会 (復興事業の取組について)
H30. 7. 5	岡山県 津山市議会 清流の会(会派) (災害対策について)
H30. 10. 15	宮城県 美里町議会 行財政・議会活性化調査特別委員会第1分科会 (特別委員会における審査の進め方(予算・決算)について)
H30. 10. 29	岐阜県 大垣市議会 建設環境委員会 (東日本大震災における被害状況と復興状況について)
H30. 11. 14	岡山県 倉敷市議会 くらしき希望の会(会派) (東日本大震災復興について)

実績

(繰越明許費)

10 議会史追録版の発行

823,210 円

平成9年の松島町議会発足50周年以後、20年間（平成10年度～平成29年度）の議会と町の動き等を記録。

発行部数 200部、CD-R 100枚

一 般 会 計

2	款	1	項	1	目	一般管理費				
担当部署名				総務課総務管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	261, 376		254, 400					9, 350	245, 050	
目的	最少の経費で最大の効果を上げるため、人事管理の面から職員の研修、福利厚生を実施することにより、人材育成、組織の活性化を図る。									
実績	1 健康診断									
	・ 職員等健康診断実施状況									
	健 診 区 分				職員 (派遣職員含む)	臨時職員	計	受診区分 割合		
	定期健康診断				44人	82人	126人	47.7%		
	人間ドック (30歳以上の職員で希望者)				137人	—	137人	51.9%		
	町福利厚生事業				92人	—	92人	—		
	市町村共済事業・地方職員共済事業				45人	—	45人	—		
	未受診者				1人	—	1人	0.4%		
	計				182人	82人	264人	100%		
	※受診率99.6%									
実績	・ 受診結果									
	受 診 結 果 区 分				職員 (派遣職員含む)		臨時職員	計	受診結果 区分割合	
					定期健診	人間ドック	定期健診			
	異常なし				13人	0人	5人	18人	6.9%	
	軽度異常の項目あり				9人	8人	14人	31人	11.8%	
	要経過観察の項目あり				14人	39人	27人	80人	30.4%	
	要治療の項目あり				1人	71人	7人	79人	30.0%	
	要精密検査の項目あり				7人	19人	29人	55人	20.9%	
	(うち要医療継続の項目あり)				(5人)	(29人)	(26人)	(60人)	—	
	計				44人	137人	82人	263人	100%	
実績	・ 各種がん検診等受診状況 (職員)									
	健 診 区 分		対 象 区 分		対象人数		希望人数	受診人数		
	脳ドック		希望者 (40歳以上)		104人		16人	16人		
	子宮がん検診		希望者 (年齢制限なし)		75人		18人	18人		
	乳がん検診		希望者 (年齢制限なし)		75人		21人	21人		
	前立腺がん検診		希望者 (50歳以上)		20人		0人	0人		
	(次頁へ続く)									
	成果	松島町職員安全衛生管理規程に基づき実施する職員への各種健康診断を通して、職員の健康に関する意識啓発が図られ、健康診断結果において再検査が必要な職員への医療機関受診勧奨通知を行うことで、職員の健康管理も適切に行うことができた。 また、松島町職員研修規程に基づき、約29種の研修を実施し、職務に必要な知識、技能等の習得が図られた。								
	現況 課題 方向性	助成人数が限られている宮城県市町村職員共済組合の人間ドック利用助成以外に、町として、宮城県市町村職員共済組合と同様の助成を行っている。人間ドック受診を希望する30歳以上の職員全員が受診できるよう定期健康診断と併せて、職員の健康確保のため引き続き実施していく。 また、がん検診受診の促進啓発、要治療又は要精密検査に該当した職員への再検査受診の積極的な勧奨を行い、職場としての職員の健康管理により一層努めていく。 受講すべき研修を見つけられない職員が見受けられたため、外部から働きかける必要がある。								

2	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

2 職員研修
(研修所等派遣)

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数 (人)
新規採用職員研修 新入社員研修会 (七十七銀行) 市町村等新規採用職員研修 (宮城県町村会)	地域住民の視点に立った行政の担い手としての使命や、公務員として必要となる基本知識と技能を学ぶことで、職務遂行能力の向上を図る。新社会人として挨拶・電話対応等の基本を実習する。	・公務員としての使命 ・人間関係とコミュニケーション ・地方公務員制度 ・自治体職員とまちづくり ・地方自治のしくみ ・CS接遇	10
一般職員研修 I	これまでの実務を振り返り、職場で中心的な役割を担っていく中堅職員を目指し、さらなる職務遂行に必要な知識を習得するとともに、地方公共団体をとり巻く環境の変化に対応するために必要な能力の向上を図る。	・まちづくりの視点 ・発想力・創造力育成 ・行政法入門 ・対人対応力向上	4
監督者研修 I	監督者としての職責を自覚し、地方公共団体を取り巻く環境の変化や地域の課題を的確に捉え、チームリーダーとしての職務遂行能力の向上を図る。	・自治体政策法務 ・監督者としての心構え	5
管理者研修 I	変革期における管理者として、的確に状況を把握し、今後の自治体政策の方向性を探るとともに、適切に処理できる職務遂行能力の向上を図る。	・組織マネジメント ・政策財務	2
管理者研修 II	今日の地方公共団体を取り巻く環境の変化や行政課題を的確に捉え、管理者として組織を効率的かつ効果的に運営するため、必要となるマネジメント能力の向上を図る。	・自治体マネジメント	2
研修担当職員研修	限られた人員や財源の中で分権時代を担う職員を育成するため、自治体が行わなければならない職員研修のあり方や効果的な進め方を習得する。	・研修担当者の役割	1
折衝力・交渉力研修	関係団体や住民との折衝・交渉に関して必要な基礎知識、話し合いの運び方、説得や傾聴等の技法を習得し、意思疎通能力と顧客対応能力を身につける。	・折衝力・交渉力	2

実績

(次頁へ続く)

2 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

実績	コミュニケーション研修	職場や住民との良好な人間関係を築くため、また、職務を円滑に遂行するために必要となる、コミュニケーションに関する知識や技能を学ぶ。	・コミュニケーション	2
	OA研修	(基礎) 基本操作と各種機能を習得する。 (応用) より応用的な機能の習得をする。	・Excel2013応用 ・Word2013応用 ・PowerPoint2016基礎 ・Access2016基礎 ・Access2016応用 各1名	5
	行政法研修	行政法に関する基礎的な解釈や運用について知識を修得する。	・行政法	1
	民法研修	法律の仕組みなどの基礎知識から、自治体職員として、業務遂行上必要となる民法の知識について修得する。	・民法入門	2
	クレーム対応研修	苦情やトラブルの本質を学び、豊富な自治体事例の活用により、特にクレーム・難クレームに対する実践的な対応力を学ぶ。	・クレーム対応力	1
	契約事務研修	地方公共団体における契約事務を適切に執行するために必要となる、民法や地方自治法の基礎的な知識を学ぶ。	・契約事務	1
	条例・規則作成研修(基礎)	法制執務の基礎や条例・規則の立案形式などを学び、基礎的な条例の一部改正等が理解できるなど、実務遂行能力の向上を図る。	・条例・規則作成	5
	条例・規則作成研修(実践)	多くの改正演習を通じて、基礎的な条例・規則の立案方式の理解をさらに深め、実践的な立法技術や法令読解力の向上を図る。	・条例・規則作成	3
	政策課題研究(入門)	地方公共団体を取り巻く様々な行政課題を研究し、情報収集や分析方法を学びながら、課題解決に向けた政策を展開していくための政策形成能力の向上を図る。	・政策課題研究	1

(次頁へ続く)

2 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

実績	タイムマネジメント研修	限られた時間を有効活用するために必要な知識や技術を学ぶとともに、計画的かつ効率的な業務の遂行に必要な能力の向上を図る。	・タイムマネジメント	3
	地域資源を活かしたまちづくり研修	社会情勢が激変する中で、持続可能な自治体経営を目指す手段として、地域にある資源のブランド化やブランド力の可視化の手法、長期戦略やアクションプランについて学ぶ。	・地域プランティング	1
	ファシリテーション研修	住民との共働のまちづくりや日常業務における会議において、参加者の理解と共感を得ながら中立的な立場で議論を促進し、合意形成や相互理解を導くために有効な技法を学ぶ。	・ファシリテーター養成	1
	災害対応マネジメント研修	災害対応業務に携わる職員の能力向上と人材の育成や防災、危機管理体制の強化を目指し、災害に関する実践的な人材の育成を図る。	・災害対応マネジメント	1
	全国市町村国際文化研修「市町村税徴収事務」	地方税法総則や国税徴収法等の制度、財産の調査・差押えなどの実務、納税者折衝、滞納整理事例等に関する講義、演習等により、税徴収に関する基本的事項及び専門的知識の習得、実務遂行能力の向上を図る。	・徴収事務のマネジメント ・国税徴収法の実務 ・地方税法総則事例研究 ・滞納整理の勘所 ・納税の緩和制度、延滞金 ・徴収困難事例における法的対応 ・納税者折衝のポイント ・動産不動産公売の概要	1
	全国市町村国際文化研修「住民の健康を考える」	老いても生き生きと自分らしく暮らせるよう、健康寿命を延ばすためにどのような施策が有効なのか、それぞれの自治体は何をすべきか、データ等から考える。	・健康寿命延伸に向けた取組と地方自治体の役割 ・健康寿命延伸のための施策立案	1

(次頁へ続く)

2	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

市町村職員中央研修 「子育て支援の在り方」	子育てをしやすい社会環境を形成するため、子育て支援における市町村や地域コミュニティの役割、多様化する幼児教育・保育ニーズへの対応（認定こども園制度等）、子育て支援に関連する諸課題等、市町村に求められている子育て支援の在り方について学ぶ。	・子育て支援策における自治体の役割 ・仕事と生活の調和 ・子育てを支える地域コミュニティの役割 ・児童虐待の初期対応 ・多様化する幼児教育・保育ニーズへの対応とサービスのあり方	1
市町村職員中央研修 「人事評価制度の運用」	公務員の人事評価制度に関する最新の動向、人事評価制度を運営するための実践的な理論及び手法等を体系的に学び、人事評価制度の改善、適正な運用、評価結果の活用に当たって必要な能力の向上を図る。	・人事評価制度のあり方～制度改正の経緯と今後の動向～ ・人事評価の実践	1

(職場研修)

研修名	研修の目的	研修内容	受講者数(人)
新規採用職員研修	入庁して日の浅い職員に対し、町役場職員として最低限必要な知識を身につける	(総務課総務管理班) ・松島町について ・法令について ・公務員とは ・財政について ・予算・決算について ・決裁について ・起案について ・文書について ・経理について ・契約について	11
平成30年度債権管理研修	厳しい財政状況の中で確実に財源を確保するために、債権の滞納の防止とその迅速・的確な管理が以前にも増して求められているなかで、債権の適正な管理を行うための正確な知識を身につける。	(元美里町法制執務指導員兼徴収特別指導員 桐生孝雄氏) ・債権の発生から消滅まで	120
平成30年度松島町職員メンタルヘルスセミナー	役場職員を対象としたメンタルヘルスセミナーを開催し、職員の心の健康に資することを目的とする。	(一般社団法人メンタルパイロテージジャパン) ・睡眠から学ぶメンタルヘルス	50

(次頁へ続く)

2 款	1 項	1 目	
実績	松島町職員ストレスチェックに係るセルフケアセミナー	ストレスチェック結果を基に、職員一人一人の心の健康づくりを啓発し、セルフケアの推進を図ることを目的とする。	(一般財団法人宮城県成人病予防協会) ・ストレスやメンタルヘルスに対する正しい理解 ・ストレスチェック結果報告書から見るセルフケア 137
	平成30年度人事評価制度研修	試行の結果を受けて、研修の対象を評価者に絞り、評価の基本及び陥りやすいミスを気づかせ、公正かつ適正な評価を行うことを目的とする。	(株式会社ぎょうせい) ・人事評価の基本と実務 ・業績評価、能力評価の基本と実務 ・人事評価の個人演習、グループ演習 36

一 般 会 計

2	款	1	項	2	目	文書費			
担当部署名				総務課総務管理班				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,631		1,353					25	1,328
目的	情報公開において、町が保有する情報の公開を図るとともに、町の諸活動を町民に説明する責務を果たすことで、公正で民主的な行政の運営に資する。 文書管理については、正確かつ適切な事務処理を通して、適正な公文書管理を実施する。 規程形式文書審査については、法令等改廃情報の把握や適切な審査を行い、条例等の正確性や統一性を図る。								
実績	1 情報公開								
	○ 松島町情報公開条例及び松島町個人情報保護条例の規定による開示等の件数 (単位:件)								
	処理内容		開示 請求件数	全部開示 決定件数	部分開示 決定件数	不開示 決定件数	不服申立 処理件数		
	件 数		0	0	0	0	0		
	2 文書管理 (文書整理・文書収受・文書保存)								
	○ 総務管理班において行った文書整理、文書収受及び文書保存の冊数								
	・ 文書整理 (単位:冊)								
	区 分		文書引継冊数		文書廃棄冊数				
	冊 数		201		5				
	・ 文書収受 (単位:件)								
事 務 部 局		収 受 総 数							
町 長 の 事 務 部 局		4,836							
教育委員会の事務部局		642							
選 挙 管 理 委 員 会		28							
農 業 委 員 会		196							
固定資産評価審査委員会		0							
計		5,702							
・ 文書保存 (単位:冊)									
事 務 部 局		保 存 総 数							
町 長 の 事 務 部 局		2,893							
教育委員会の事務部局		57							
選 挙 管 理 委 員 会		247							
農 業 委 員 会		96							
固定資産評価審査委員会		2							
計		3,295							
平成31年3月31日現在における、 庁舎書庫内保存文書冊数。									
(次頁へ続く)									
成果	文書管理及び事務部局ごとの文書収受処理を適切に実施し、適正な公文書管理ができた。 規程形式文書審査にあたり、法令等改廃情報の把握や適切な審査を行い、条例等の正確性や統一性が図れた。								
現況 課題 方向性	書庫内の保存文書について、年度毎の廃棄、引継ぎを適切に実施していく。 また、例規集に未掲載の要綱や規程について、例規集への掲載準備を進めており、引き続き整備に努める。								

2	款	1	項	2	目			
実績		3	規程形式文書審査事務取扱規程第2条の規定による審査実施件数					
			(単位：件)					
			区 分	条例	規則	訓令	その他	計
			件 数	24	25	5	31	85
		4	松島町例規集編纂等業務委託			540,000円		
			・ 例規執務サポートシステムの導入により、法令情報の提供、条例・規則等の審査機能の充実、例規集の追録方法の見直しを行い、例規集等編纂事務の向上と経費縮減に努めた。					

一 般 会 計

2 款		1 項	3 目	広報広聴費																																																																										
担当部署名			企画調整課					(単位:千円)																																																																						
予算の 執行 状況	予算額	決算額		財源内訳																																																																										
	10, 873	10, 684		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																																						
							475	10, 209																																																																						
目的		あらゆる機会をとらえて情報の提供を行うとともに、地域または全町の建設的な意見を集約して、相互理解のもとに、まちづくりを推進する。																																																																												
実績		1 広報まつしま印刷 2, 590, 920 円 ・ 発行回数及び部数 毎月 5, 700部 (年間 68, 400部) ・ 配布先 町内全世帯及び関係機関 2 行政相談及び法律相談 48件 ・ 行政相談 (毎月第1火曜日) 2件 ①近隣トラブル関係 (0件) ②行政関係 (1件) ③その他 (1件) ・ 弁護士無料法律相談 (毎月第2金曜日) 46件 ①近隣トラブル関係 (6件) ②家庭内トラブル関係 (20件) ③その他 (20件) 3 行政区役員懇談会 今後の町政運営の参考とするため、各行政区の要望事項などについて、各区の役員と話し合いの場を持ち、意見交換を行った。 <table><tr><td>行政区名</td><td>開催日</td><td>開催場所</td><td>出席者数</td><td>要望数</td></tr><tr><td>松島</td><td>平成30年6月26日</td><td>松島防災センター</td><td>13</td><td>12</td></tr><tr><td>高城</td><td>平成30年6月28日</td><td>高城コミュニティセンター</td><td>17</td><td>10</td></tr><tr><td>磯崎</td><td>平成30年7月 3日</td><td>白萩避難所</td><td>28</td><td>13</td></tr><tr><td>本郷</td><td>平成30年7月 5日</td><td>本郷ふれあいセンター</td><td>8</td><td>6</td></tr><tr><td>手樽</td><td>平成30年7月 6日</td><td>手樽防災センター</td><td>10</td><td>7</td></tr><tr><td>根廻</td><td>平成30年7月10日</td><td>根廻分館</td><td>8</td><td>14</td></tr><tr><td>幡谷</td><td>平成30年7月12日</td><td>品井沼農村環境改善センター</td><td>20</td><td>7</td></tr><tr><td>初原</td><td>平成30年7月13日</td><td>初原コミュニティセンター</td><td>8</td><td>7</td></tr><tr><td>上竹谷</td><td>平成30年7月17日</td><td>上竹谷生活センター</td><td>11</td><td>9</td></tr><tr><td>下竹谷</td><td>平成30年7月23日</td><td>北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター</td><td>12</td><td>11</td></tr><tr><td>北小泉</td><td>平成30年7月23日</td><td>北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター</td><td>8</td><td>7</td></tr><tr><td>桜渡戸</td><td>平成30年7月24日</td><td>桜渡戸分館</td><td>6</td><td>7</td></tr><tr><td colspan="3">計</td><td>136</td><td>110</td></tr></table> (次頁へ続く)							行政区名	開催日	開催場所	出席者数	要望数	松島	平成30年6月26日	松島防災センター	13	12	高城	平成30年6月28日	高城コミュニティセンター	17	10	磯崎	平成30年7月 3日	白萩避難所	28	13	本郷	平成30年7月 5日	本郷ふれあいセンター	8	6	手樽	平成30年7月 6日	手樽防災センター	10	7	根廻	平成30年7月10日	根廻分館	8	14	幡谷	平成30年7月12日	品井沼農村環境改善センター	20	7	初原	平成30年7月13日	初原コミュニティセンター	8	7	上竹谷	平成30年7月17日	上竹谷生活センター	11	9	下竹谷	平成30年7月23日	北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター	12	11	北小泉	平成30年7月23日	北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター	8	7	桜渡戸	平成30年7月24日	桜渡戸分館	6	7	計			136	110
行政区名	開催日	開催場所	出席者数	要望数																																																																										
松島	平成30年6月26日	松島防災センター	13	12																																																																										
高城	平成30年6月28日	高城コミュニティセンター	17	10																																																																										
磯崎	平成30年7月 3日	白萩避難所	28	13																																																																										
本郷	平成30年7月 5日	本郷ふれあいセンター	8	6																																																																										
手樽	平成30年7月 6日	手樽防災センター	10	7																																																																										
根廻	平成30年7月10日	根廻分館	8	14																																																																										
幡谷	平成30年7月12日	品井沼農村環境改善センター	20	7																																																																										
初原	平成30年7月13日	初原コミュニティセンター	8	7																																																																										
上竹谷	平成30年7月17日	上竹谷生活センター	11	9																																																																										
下竹谷	平成30年7月23日	北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター	12	11																																																																										
北小泉	平成30年7月23日	北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター	8	7																																																																										
桜渡戸	平成30年7月24日	桜渡戸分館	6	7																																																																										
計			136	110																																																																										
成果		町民と行政相互のコミュニケーションの媒体である広報紙を発行し、町内のイベント情報や身近な情報など周知が必要な事項を掲載するとともに、町政や町の動向を紹介することに努めた。 行政相談を定例的に開催し、住民の日常生活での苦情や困りごとについて相談を行ったほか、地元出身弁護士の協力による無料法律相談を開催し、住民生活の不安解消に寄与した。また、今後の町政運営の参考とすることを目的とした行政区役員懇談会を開催し、各行政区における要望事項などについて意見交換を実施した。 町ホームページの管理・運営について、使いやすく見やすいホームページとなるようデザインを大幅に改修するとともに、音声読み上げ機能の追加やモバイル通信機器への対応、データセンターを遠隔地へ移行することによるセキュリティ対策の強化を実施した。 さらに、松島町公式インスタグラムを10月に開設し、松島町の日常風景を発信するとともに、町内のイベント現場等で撮影した写真を即時発信し、町内外へのPRに取り組んだ。																																																																												
現況課題 方向性		広報紙の配達に係る負担の軽減と情報発信の一元化を図ることを目的に、掲載情報の精査を図るとともに、広報紙への情報の集約に引き続き務める。 また、行政相談及び法律相談を引き続き開催するとともに、相談日時を適宜発信し、住民生活の不安の解消に努める。 また、デジタル社会における情報発信のツールとして、ホームページ、フェイスブック、インスタグラムを引き続き運用し、その特性に応じた運用により町内外への情報の適時発信に努める。																																																																												

4 松島町ホームページの管理・運営

・松島町ホームページ管理システム改修業務委託

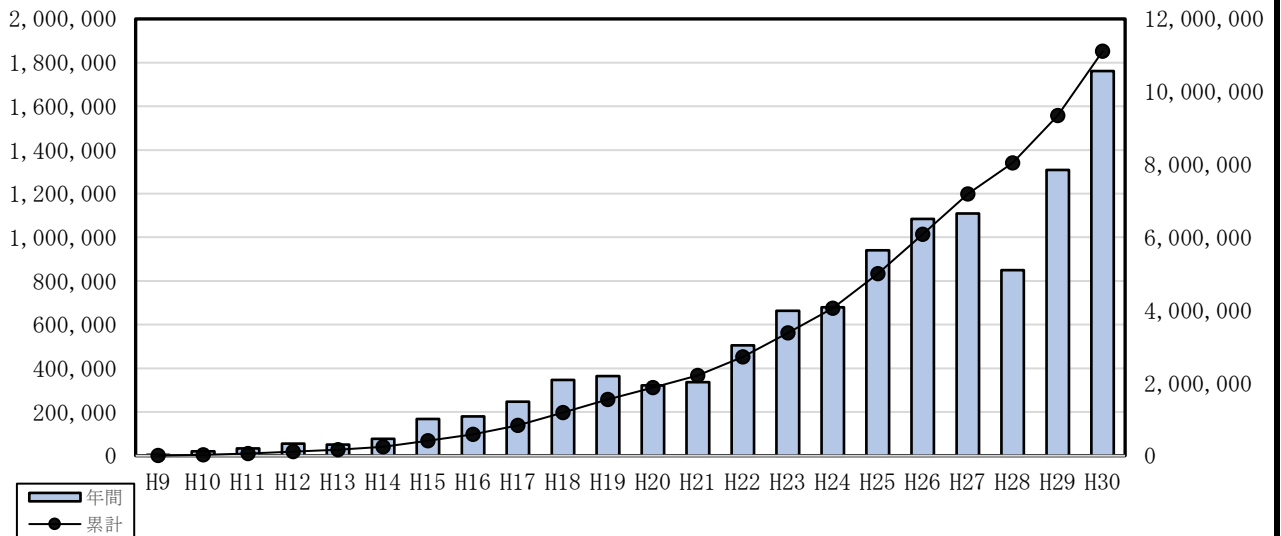
5,400,000 円

・アクセス数

平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日 1,761,816 件
 平成 9 年 10 月 開設 ~ 平成 31 年 3 月 31 日 11,110,936 件

年間件数

累計件数

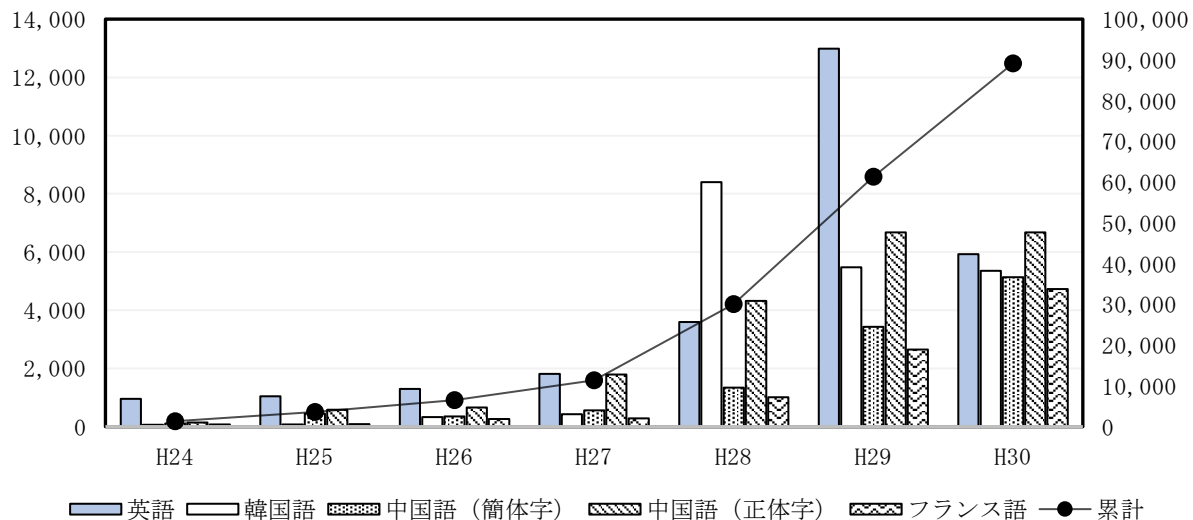


・外国語翻訳機能利用回数

平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日 27,827 件
 平成 24 年 4 月 開始 ~ 平成 31 年 3 月 31 日 89,136 件

年間件数

累計件数



■ 英語 ■ 韓国語 ■ 中国語(簡体字) ■ 中国語(正体字) ■ フランス語 ● 累計

【言語別利用回数】

① 年間件数 (平成 30 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日)

■ 英語 5,924 件
 ■ 韓国語 5,359 件
 ■ 中国語(簡体字) 5,139 件
 ■ 中国語(正体字) 6,679 件
 ■ フランス語 4,726 件

② 累計件数 (平成 24 年 4 月 1 日 ~ 平成 31 年 3 月 31 日)

■ 英語 27,626 件
 ■ 韓国語 20,132 件
 ■ 中国語(簡体字) 11,398 件
 ■ 中国語(正体字) 20,863 件
 ■ フランス語 9,117 件

(次頁へ続く)

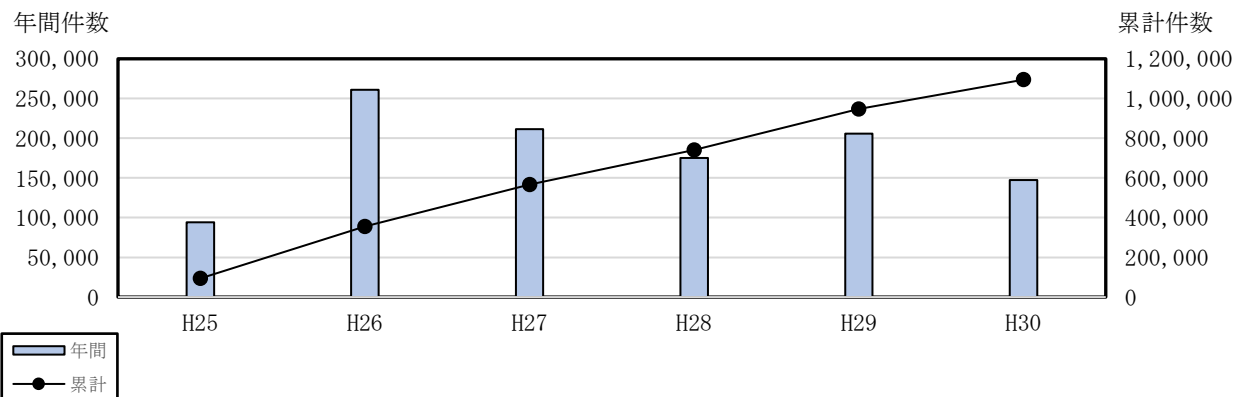
実績

5 松島町フェイスブックアカウントの管理・運営

・ アクセス数

平成 25 年 4 月 開設 ～平成 31 年 3 月 31 日

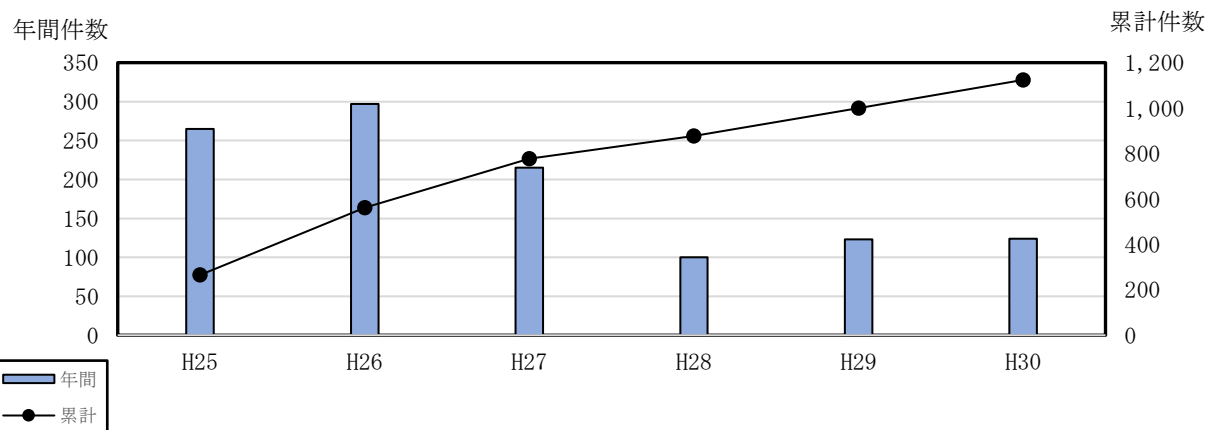
1,094,734 件



・ フェイスブックページへの「いいね」数

平成 25 年 4 月 開設 ～平成 31 年 3 月 31 日

1,124 件



実績

6 松島町Instagramアカウントの管理・運営

・ フォロワー数

平成 30 年 10 月 開設 ～平成 31 年 3 月 31 日

294 件

一 般 会 計

2 款	1 項	6 目	財産管理費				
担当部署名		財務課財政班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	105,410	103,131				9,133	93,998
目的	財政班所管財産の維持管理に努めながら、貸付・使用許可・払下げによる資産の有効活用を図る。 整備した固定資産台帳を基に財務諸表を作成し、現在の財政状況等を把握する。 また、公用車事故防止等の啓発、適切な契約事務等については、より一層の効率化を図る。						
実績	1 庁舎等管理 ・修繕料 庁舎防火シャッターバッテリー交換他 (3 件) 342,360 円 ・手数料 事業系ごみ処理手数料他 (5 件) 696,126 円 ・業務委託 宿日直・清掃業務委託他 (9 件) 9,242,434 円 ・用地賃借 庁舎用地賃借 (1 件) 11,580,360 円 ・機器等賃借 電話交換機等設備リース他 (5 件) 766,515 円 ・備品購入 デジタルカメラ購入他 (2 件) 32,833 円 2 治祐ヶ森管理及び自然公園等管理 ・治祐ヶ森管理 (1 件) 260,000 円 ・華園自然公園サクラ剪定 (1 件) 194,400 円 ・業務委託 自然公園他草刈等業務委託他 (3 件) 1,625,886 円 3 松島フットボールセンター管理 ・修繕料 排水ポンプ修繕他 (2 件) 203,040 円 ・手数料 簡易専用水道施設検査 (1 件) 14,400 円 ・業務委託 構内草刈等業務委託他 (8 件) 1,977,763 円 4 その他管理 ・修繕料 公用車修繕・車検整備に係る修繕 (2 件) 105,840 円 ・手数料 公用車車検整備手数料他 (3 件) 109,780 円 ・業務委託 入札参加資格登録(平成31・32年度登録分) - 情報入力業務委託 (2,599 者) 399,600 円 - 建設工事 (1,069 者) - 設計コンサル (427 者) - 物品・役務 (1,103 者) ・賃借 公用車リース (4 件) 1,870,683 円 - マイクロバス運行 (121 件)						
成果	平成29年度決算に係る財務諸表を作成し公表した。財産の貸付・使用許可については資産の有効活用として引き続き行い、払下げを含め維持費の削減を行った。 入札参加業者の登録業務については、塩釜地区・黒川地区合同で行い事務の効率化を図りながら実施した。						
現況課題 方向性	施設の老朽化による修繕費の増加や町有地の草刈・支障木の撤去等の費用の増加など施設管理に対する費用が増加している。 今後の方針としては、町有財産の有効活用と不用財産の処分を検討・推進し、また、財務諸表の分析・検討を行い今後の財政運営に活用していく。						

(次頁へ続く)

2 款	1 項	6 目
実績	5	新地方公会計整備事業
	・ 業務委託	松島町公共施設等総合管理計画及び地方公会計整備業務委託 財務諸表作成支援 8,964,000 円
	6	財産運用
	・ 行政財産目的外使用許可	(17 件) 309,480 円
	・ 公共物（公共財産道水路）使用許可	(42 件) 2,362,710 円
	・ 土地貸付	(21 件) 1,756,971 円
	・ 土地建物貸付	(3 件) 1,047,900 円
	・ 土地売払い	(2 件) 12,028 円
	・ 役場庁舎転貸借	(1 件) 1,344,414 円

一 般 会 計

2	款	1	項	8	目	企画費			
担当部署名				企画調整課			(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	50,496		43,466			322		11,000	32,144
目的		町民等の満足度を高める施策を効率的・効果的に推進し、誰もが「住んでよかった」と感じられるまちづくりを推進する。							
実績	1 総合計画審議会の開催								
	開催日		内 容					場 所	
	平成31年 2月19日		東日本大震災に係る復興交付金事業の進捗状況について (出席委員19人、欠席委員0人)					役場3階 大会議室	
実績	2 景観計画の運用状況について								
	・ 景観条例における事前協議 43 件 景観条例に基づき、町全域を対象に事業の企画・提案などの段階から事業者と景観形成に関する協議を実施するもの 建築物 7 件 (松島:5件、高城:2件) 工作物 35 件 (松島:11件、高城:4件、本郷:2件、磯崎:3件、手樽:7件 幡谷:1件、根廻:1件、初原:5件、桜渡戸:1件) 開発行為 0 件 土砂の採取等 1 件 (北小泉:1件) ・ 景観法における届出 5 件 景観法に基づき、「特別名勝松島」指定区域外における行為の届出に関する審査事務を実施するもの 建築物 0 件 工作物 4 件 (幡谷:1件、根廻:1件、初原:2件) 開発行為 0 件 土砂の採取等 1 件 (北小泉:1件) (次頁へ続く)								
成果		総合計画審議会では、東日本大震災に係る復興交付金事業の進捗状況について報告を行い、整備を行った避難施設や避難道路の適切な管理等に努めることと、全事業の早期完成に努めてほしい旨の意見が出された。 景観計画の運用では、町民や事業者の方々と、事前協議や届出制度を通じた景観形成に関する協議等のなかで適切な誘導を行い、良好な景観の形成を図った。 企業誘致では、県主催の企業立地セミナーにおいて、県内での事業展開を検討している企業に向けPRを実施したほか、次世代放射光施設の運用に参画予定の企業と学術研究者が一堂に会する一般財団法人光科学イノベーションセンター主催の会議に出席し、関連企業や研究施設の誘致に向けた本町の取組について説明を行った。 行政評価では、各事務事業の目的や達成度を評価する数値目標を明確化した上で、各事務事業に要する人件費についても考慮した評価の構築を図った。 定住促進事業では、復興支援定住促進事業補助金、津波被災住宅再建支援事業補助金の各制度による補助を継続して実施し、町外からの移住促進とともに町外への人口流出の抑制を図った。また、東京都内で開催された県主催の「みやぎ移住フェア」に加え、全国規模の移住希望者向けイベントである「ふるさと回帰フェア」に出展し、移住希望者に対する情報提供や移住相談を行い、松島町を移住先として捉えていただくよう努めた。 コミュニティ助成事業では、松島五大堂太鼓の会へ補助金を交付し、備品を整備することで会の活動の更なる活性化に寄与することができた。							
現況課題 方向性		町民等の満足度を高める各種施策を引き続き推進し、「住んでよかった」、「住み続けてよかった」と感じられる持続可能なまちづくりを目指す。							

2 款	1 項	8 目
-----	-----	-----

- 3 企業誘致に関する取り組み
 ・ 企業誘致交渉 92社
 ・ 宮城県企業立地セミナー in Tokyo、宮城県企業立地セミナー in Nagoyaに参加
 ・ 一般財団法人光科学イノベーションセンター主催で行われた会議に出席し、次世代放射光施設の利用を計画している企業への誘致活動。
- 4 松島町行政評価制度構築・運用支援業務委託 2,592,000 円
 地域や時代のニーズに合った、効果的・効率的な行政サービスを展開していけるよう、各事務事業に対して投入された予算や成果について、PDCAサイクルによる継続的な検証と見直しを図る仕組みを構築するとともに、評価に用いるシステムの導入を図るもの
- 5 移住・定住フェアへの参加 3回

名 称	開催日	内 容	問合件数	場 所
第14回ふるさと回帰フェア	平成30年 9月19日	370自治体に参加した全国規模の移住希望者向けイベント。県内からは、登米市、白石市、大崎市、栗原市、加美町、松島町の6市町が参加。	12	東京国際フォーラム (東京都千代田区有楽町)
第5回みやぎ移住フェア	平成30年 11月18日	石巻市、気仙沼市、女川町、南三陸町、松島町の5市町が参加。第一部「トークセッション」と第二部「個別相談会」の2部構成にて開催。	2	NPO法人 ふるさと回帰支援センター (東京都千代田区有楽町)
第6回みやぎ移住フェア	平成31年 1月19日	角田市、東松島市、蔵王町、七ヶ浜町、大和町、大郷町、南三陸町、松島町の8市町が参加。第一部「ゲストトーク」と第二部「個別相談会」の2部構成にて開催。	3	NPO法人 ふるさと回帰支援センター (東京都千代田区有楽町)

実績

- 6 松島町復興支援定住促進事業補助金
 交付世帯数 町内 2世帯 4人 町外 17世帯 50人 9,750,000 円
- 7 松島町津波被災住宅再建支援事業補助金
 交付世帯数 町内 0世帯 0人 町外 2世帯 4人 3,000,000 円
- 8 コミュニティ助成事業補助金
 松島五大堂太鼓の会 2,500,000 円
- (繰越明許費)
- 9 松島町復興支援定住促進事業補助金
 交付世帯数 町内 1世帯 5人 町外 2世帯 4人 2,000,000 円
- 10 松島町津波被災住宅再建支援事業補助金
 交付世帯数 町内 1世帯 2人 町外 0世帯 0人 1,500,000 円

一 般 会 計

2 款	1 項	9 目	交通安全費				
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,484	7,602		272		104	7,226
目的	住民や松島を訪れる方の安全を確保するため、事故防止に向けた交通安全意識の高揚を図る啓発活動を推進するとともに、安全な道路交通環境を保持するための交通安全施設等の整備や危険箇所の改善に努める。 さらに、交通安全協会等の関係団体及び警察等の協力を得ながら安全運転の啓発と交通安全思想の普及を推進する。						
実績	1 交通安全教育 - 各小学校・幼稚園における交通安全教室 4 回 2 交通安全思想普及活動 - 春の交通安全町民総ぐるみ運動 4月6日～4月15日 - 秋の交通安全町民総ぐるみ運動 9月21日～9月30日 - 交通安全施設の点検 毎月 3 交通安全啓発活動 - 高齢者事故防止啓発活動 4 回 (4施設) - 飲酒運転撲滅啓発活動 1 回 (次頁へ続く)						
成果	交通安全指導員による街頭指導並びに各小学校・幼稚園の交通安全教室の実施により、住民や児童・生徒への交通事故防止と交通安全意識の高揚に努めた。 また、交通安全母の会や塩釜地区交通安全協会松島支部の活動を支援し、観光客や住民（特に高齢者）を対象として交通安全意識の向上と事故防止を呼びかけた。交通安全施設については、町の危険箇所にカーブミラー及び区画線の整備を行い交通事故の未然防止に努めた。 これまでの交通安全普及活動の成果もあり、平成30年11月28日に交通死亡事故ゼロ2000日間を達成し、宮城県警察本部から褒状が授与された。交通事故件数も前年比で減少している。						
現況 課題 方向性	近年、高齢者による運転操作の誤りによる事故やあおり運転など運転マナーの悪さが問題視されている。また、児童や幼児が巻き込まれる交通事故が全国的に多発している。交通事故を起こさない、そして巻き込まれないためにも、引き続き交通安全啓発活動と交通安全教室等の実施に努める。 なお、住民等よりカーブミラーや区画線の整備要望が毎年寄せられているが、学校周辺や通学路など緊急性が高い箇所から整備を行っていく。						

2 款	1 項	9 目
実績	4	交通安全街頭指導 (指導員17人)
		・ 総出動回数 延べ 877 回 ・ 平均出動数 月平均 約73 回 ・ 出動内容 ①交通安全日街頭指導 ⑥全日本実業団女子駅伝競走大会 ②春の交通安全運動 ⑦かき祭り ③秋の交通安全運動 ⑧各種行事の街頭指導 ④松島流灯会 海の盆 ⑨各地区行事の街頭指導 ⑤KHB松島ハーフマラソン
	5	交通安全団体に対する補助事業
		・ 交通安全協会松島支部 250,000 円 ・ 交通安全母の会 100,000 円
	6	交通安全施設整備事業 2,480,760 円
		・ カーブミラー設置工事 N= 4基 1,782,000 円 ○ダブルミラー設置工 N = 2 基 ○シングルミラー交換工 N = 1 基 ○ダブルミラー交換工 N = 1 基 ・ 区画線整備工事 698,760 円 ○ 停止線・中心線・側線 L = 170.8 m ○ 路面表示 (止まれ・徐行・進行方向) L = 327.4 m

一 般 会 計

2 款	1 項	10 目	諸費				
担当部署名		総務課総務管理班・総務課環境防災班・企画調整課					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	34,174	33,343	2,019	3,777		760	26,787
目的	自治活動の普及推進を図り、町民の自治意識の高揚と社会福祉の増進に寄与する。 また、地域住民が安全に暮らせる防犯体制の確立と犯罪が発生しにくい環境づくりを推進する。						
実績	【総務課 総務管理班所管】 1 行政区長等報酬 112 人 18,305,760 円 行政区長等移動研修会 (1) 期間：平成30年10月30日～10月31日 (2) 場所：山形県天童市 (3) 内容：認可地縁団体の制度と取組について (4) 参加人数：46人 2 町民新年会 191 人 895,189 円 (1) 開催日：平成31年1月11日 (2) 表彰者：2人（内、当日参会1人） (3) 参会者：190人 (次頁へ続く)						
成果	【総務課 総務管理班所管】 区長等を通じて町と町民との連絡を密にすることで、行政事務の円滑、かつ、効果的な運営を図ることができた。 また、行政区長等移動研修会を実施し、認可地縁団体の制度と取組について天童市にて研修を行い、現地の認可地縁団体の方と意見交換を行った。 町民新年会については、平成31年の新しい年を迎え、町民が一堂に会して新春を祝うとともに、多年にわたり善行・功労のあった町内2名の方々に対して表彰状を贈呈した。 【総務課 環境防災班所管】 地域住民の安全・安心及び防犯意識の高揚を図るため、各地区防犯指導隊など関係団体と連携し地域の防犯対策に努めた。また、各地区の防犯灯維持管理並びに電気料の助成を行うとともに、各地区から要望を受けた通学路にLED防犯灯を設置し、犯罪が発生しにくい環境づくりに取り組み、各地域の防犯・非行の未然防止に努めた。 【企画調整課所管】 品井沼ステーション有限会社の運営を支援することで、品井沼駅の利便性向上及び周辺地域コミュニティの維持・活性化に繋がった。						
現況 課題 方向性	【総務課 総務管理班所管】 行政区間での円滑な情報共有を図るため、区長同士での連絡体制の確立を目指す。 善行者・功労者への表彰については、町への貢献に敬意を表し、引き続き、年1回の表彰を行う。 【総務課 環境防災班所管】 地域住民が安全安心に暮らすことのできる生活環境づくりため、町内各地区の防犯指導隊による防犯パトロールを行い犯罪の抑止に努めた。今後、防犯関係団体の代表者会議を開催するなど情報の共有化と連携強化を図っていく。 防犯灯のLED化については、みやぎ環境交付金事業(県補助金)を活用し町管理防犯灯の整備を行っている。地区管理防犯灯については、LED化を実施する際に町補助金を交付し、地区の費用負担を軽減している。 【企画調整課所管】 品井沼駅の利便性向上及び周辺地域コミュニティの維持・活性化を図るため、引き続き運営費の補助を実施する。						

2 款	1 項	10 目		
実績	【総務課 環境防災班所管】			
	1	主な防犯活動		
		・ 春、夏、年末の地域安全運動 ・ 松島流灯会海の盆警備活動 ・ 定期的な町内パトロール活動		
	2	防犯指導隊への補助	6 団体	360,000 円
	3	防犯灯設置等補助 (松島区・本郷区・手樽区・北小泉区・初原区)	34 基	523,624 円
	4	防犯灯電気料助成(12行政区・品井沼街灯組合)	1,567 基	4,355,720 円
	5	通学路防犯灯LED照明付替工事 (松島区・高城区)	26 基	3,337,200 円
	6	通学路等防犯灯設置工事 (磯崎区・幡谷区)	2 基	289,440 円
	7	東北電力(株)寄贈防犯灯 (幡谷区・上竹谷区・初原区)	10 基	
	【企画調整課所管】			
		品井沼ステーション運営費補助金		900,000 円

一 般 会 計

2 款	1 項	11 目	電子計算費				
担当部署名		企画調整課					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	66,517	66,392	3,672			3,285	59,435
目的	電算システムの円滑な処理と安定化による事務処理の高度化・効率化を図り、高度情報化社会における住民ニーズへの対応、行政サービスの向上に努める。						
実績	1 住民情報システム						
	・ 住民情報システム保守業務委託 (ハードウェア及びソフトウェア保守)						11,530,836 円
	・ 情報セキュリティ強化対策保守業務委託						556,470 円
	・ 住民情報システム大量データ作成業務委託						228,096 円
	・ 住民情報システム賃借料						4,673,970 円
実績	2 財務会計システム						
	・ 財務会計システム保守業務委託 (ハードウェア及びソフトウェア保守)						1,070,496 円
	・ 財務会計システム賃借料						712,152 円
	3 総合行政ネットワークシステム (LGWAN)						
	・ 総合行政ネットワークシステム保守業務委託 (ハードウェア及びソフトウェア保守)						330,642 円
実績	・ 総合行政ネットワークシステム賃借料						873,810 円
	4 地域情報システム						
	・ 地域情報システム賃借料						4,254,768 円
	(次頁へ続く)						
成果	住民情報システム、財務会計システム、総合行政ネットワークシステムに係るハードウェア及びソフトウェアの保守業務及び賃貸借を4月から9月まで実施した。また、システムの切替により、10月から基幹系システム及び公会計システムの賃貸借を行った。 さらに、基幹系システムにおいて改修業務を行い、後期高齢者医療制度改正への対応や社会保障・税番号制度における旧姓併記に係る環境整備など、適正な対応を図った。 地域情報システムについては、業務端末を庁舎内で横断的に活用することで、事務の効率化・正確性の向上を図った。						
現況 課題 方向性	社会保障・税番号制度等に伴う個人情報の保護について引き続き努める必要があり、従来のセキュリティ対策に加え、ソフト面として、ユーザ管理の徹底はもとより、情報セキュリティに対するモデルや情報倫理の向上を図っていく必要がある。 また、地域情報化について、引き続き、効果的かつ適切なシステム運用に努めていく。						

2 款	1 項	11 目
実績		5 基幹系システム ・ 基幹系システム大量データ作成業務委託 228,096 円 ・ 基幹系システム改修業務委託 756,000 円 (後期高齢者医療制度関係) ・ 基幹系システム番号制度対応改修業務委託 2,808,000 円 (マイナンバーカード等の記載事項充実関係) ・ 基幹系システム賃借料 27,540,000 円 (ハードウェア、ソフトウェア及びセキュリティ強化対策保守含む) 6 公会計システム ・ 公会計システム賃借料 6,253,200 円 (ハードウェア及びソフトウェア保守含む)

一 般 会 計

2 款	1 項	12 目	町民バス運行費						
担当部署名		総務課環境防災班							(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	35, 195	32, 328				1, 575	30, 753		
目的	公共交通空白地域における生活利便性の向上及び福祉の増進を図るとともに、高齢者等の交通弱者の移動手段として町内全域に町営の路線バスを運行させ、交通の地域格差の是正に努める。 また、総合交通対策に努めることにより、町民の地域間交流を促進し活力のあるまちづくりに寄与する。								
実績	○ 運行・利用状況								
	内容 路線		便数	運行日数	走行距離 (km)	利用人数 (人)	収入金額(円)		
	北松島線 〔中廻含む〕		14 (4)	307	103, 715 (19, 363)	23, 531 (6, 558)	391, 900		
	松島東線		8 (4)	307	50, 180 (15, 364)	10, 796 (6, 674)	97, 300		
	松島西線		5	307	38, 550	9, 615	211, 800		
	デマンドバス		6	73	7, 125	645	15, 300		
	定期券・回数券		—	—	—	—	368, 680		
	計		—	—	199, 570 (34, 727)	44, 587 (13, 232)	1, 084, 980		
※ () 内は通学便分									
成果	高齢者をはじめとする交通弱者の交通手段を確保し、住民生活の利便性向上、福祉の増進、さらには交通の地域格差の是正を図った。また、旧三小学区及び旧四小学区の児童・幼児の通学通園のため、通学便を運行し、通学手段の確保に努めた。 さらに、平成30年3月に策定した松島町地域公共交通網形成計画における施策の一つであるデマンド型交通の導入について、昨年10月から12月の3カ月間デマンドバス実証実験運行を行い、交通格差の特に大きい北部地域の交通格差の是正及びバス乗車率の向上に努めるとともに、町民をはじめとする路線バス利用者がデマンド型交通を利用するか検証を行った。								
現況 課題 方向性	町民バスは東北運輸局宮城運輸支局より平成29年10月1日から平成32年9月30日まで（3年間）の運行許可を受けて運行している。 近年、学生や要介護者、一部の高齢者や障がい者など、自分で運転することができず、日常的な移動にも不自由を強いられている交通弱者への対応が全国的な社会問題となっている。さらに、高齢者の交通事故が多発している現状を踏まえると交通移動支援策としての公共交通の重要性が高まっている。 しかしながら、当町の町営バスは、利用者の減少、事業費の増加、運行効率等の課題が山積している状況である。そのような中、人口減少や高齢化に対応し、まちづくりと連携した持続可能な公共交通を再構築する必要があることから、運行効率の改善及び地域間交通格差の解消を目的とした運行形態やルートの見直し等を検討していく。								

平成30年度町営バス月別利用状況

(北松島線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	25	9,240	875	47	9	145	201	502	0	62	564	137	338	2,115	35,200	
5	27	10,286	878	59	21	129	209	657	4	74	735	185	299	2,306	33,200	
6	26	10,210	832	41	20	148	209	627	2	73	702	177	338	2,258	36,900	
7	26	9,646	873	36	31	162	229	488	0	57	545	133	331	2,111	38,100	
8	27	8,689	867	33	19	165	217	184	0	28	212	50	293	1,639	35,800	
9	25	9,527	863	41	21	194	256	573	0	70	643	161	256	2,179	45,800	
10	27	6,513	429	25	8	103	136	619	1	85	705	205	247	1,722	29,100	
11	26	6,405	423	37	12	89	138	664	0	69	733	193	263	1,750	24,700	
12	24	5,139	354	33	19	54	106	473	9	49	531	115	227	1,333	15,700	29日～31日連休
1	24	9,181	760	20	33	128	181	493	2	57	552	143	296	1,932	31,300	1日～3日連休
2	24	9,433	848	19	43	126	188	623	0	79	702	131	289	2,158	33,100	
3	26	9,446	886	28	32	142	202	474	1	46	521	98	321	2,028	33,000	
合計	307	103,715	8,888	419	268	1,585	2,272	6,377	19	749	7,145	1,728	3,498	23,531	391,900	
月平均		8,643	741	35	22	132	189	531	2	62	595	144	292	1,961	32,658	

※10月から12月までの3ヶ月間はデマンドバス実証実験運行のため、「北松島線」と「北松島線中廻り」の第3便・第4便を運休

(松島東線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	25	3,653	234	3	1	27	31	384	11	13	408	23	0	696	6,700	
5	27	4,644	195	3	1	19	23	636	19	21	676	148	2	1,044	5,900	
6	26	4,616	206	2	1	34	37	581	14	20	615	162	0	1,020	8,800	
7	26	4,007	205	1	1	29	31	423	10	12	445	98	0	779	7,000	
8	27	3,032	182	0	0	32	32	163	4	11	178	38	1	431	7,500	
9	25	4,334	194	0	0	41	41	524	9	18	551	138	0	924	10,000	
10	27	4,970	323	0	0	43	43	615	11	13	639	164	3	1,172	9,900	
11	26	4,889	352	1	2	44	47	623	8	19	650	150	3	1,202	10,700	
12	24	3,843	319	0	8	38	46	445	3	10	458	96	2	921	8,600	29日～31日連休
1	24	3,999	204	0	3	27	30	471	9	17	497	114	1	846	7,100	1日～3日連休
2	24	4,243	238	0	8	23	31	549	6	18	573	107	0	949	6,400	
3	26	3,950	244	0	3	30	33	420	6	27	453	82	0	812	8,700	
合計	307	50,180	2,896	10	28	387	425	5,834	110	199	6,143	1,320	12	10,796	97,300	
月平均		4,182	241	1	2	32	35	486	9	17	512	110	1	900	8,108	

(松島西線分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
4	25	3,106	488	48	6	42	96	37	14	38	89	0	72	745	12,200	
5	27	3,288	503	25	5	61	91	49	16	30	95	0	71	760	15,200	
6	26	3,292	490	35	8	66	109	45	20	15	80	0	63	742	14,700	
7	26	3,252	522	41	7	78	126	36	20	37	93	6	73	820	19,300	
8	27	3,380	487	44	9	67	120	13	9	34	56	1	75	739	16,800	
9	25	3,064	539	36	11	97	144	44	16	20	80	2	57	822	21,400	
10	27	3,431	635	45	21	80	146	47	6	17	70	0	64	915	17,700	
11	26	3,251	569	24	21	69	144	65	18	21	104	0	64	881	21,900	
12	24	3,094	575	33	9	69	111	43	12	37	92	3	59	840	17,500	29日～31日運休
1	24	3,118	438	30	16	78	124	31	11	50	92	3	54	711	20,600	1日～3日運休
2	24	3,010	517	40	12	65	117	42	14	40	96	1	68	799	17,000	
3	26	3,264	577	37	18	71	126	27	7	33	67	0	71	841	17,500	
合計	307	38,550	6,340	438	143	873	1,454	479	163	372	1,014	16	791	9,615	211,800	
月平均		3,213	528	37	12	73	121	40	14	31	85	1	66	801	17,650	

(デマンドバス分)

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
10	26	2,588	155	2	0	39	41	0	0	3	3	0	24	223	8,100	8日運休
11	24	2,261	149	0	0	20	20	0	0	3	3	0	25	197	4,300	3日・23日運休
12	23	2,276	182	1	2	13	16	0	0	3	3	0	24	225	2,900	24日・29日～31日運休
合計	73	7,125	486	3	2	72	77	0	0	9	9	0	73	645	15,300	
月平均		2,375	162	1	1	24	26	0	0	3	3	0	24	215	5,100	

(合 計)

定期券・回数券	368,680
---------	---------

月	運行 日数	走行距離 (km)	70才以上 無料カード 利用人数	一 般				中学・小学生				乳幼児 乗車券 利用人数	身体障害者 乗車券 利用人数	合 計		備 考
				定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数	定期券 利用人数	回数券 利用人数	乗車券 利用人数	小 計 利用人数			利用者数	使用料収入額	
合計	307	199,570	18,610	870	441	2,917	4,228	12,690	292	1,329	14,311	3,064	4,374	44,587	1,084,980	

(回数券・定期券販売実績)

種 別	定期券										販売金額				
	回数券					定期券									
	一般	小中学生	小学生		中学生	高校生				一般(69歳以下)					
区分	2,000円	1,000円	900円	2,565円	1,800円	5,130円	9,720円	3,600円	10,260円	19,440円	6,000円	17,100円	32,400円		
販売数(件)	43	26	1	0	0	8	10	4	7	0	0	21	0	0	368,680

一 般 会 計

2	款	1	項	13	目	施設管理費			(単位:千円)
担当部署名				総務課総務管理班・建設課管理班					
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,750		5,394						5,394
目的	集会施設の衛生環境の向上として下水道接続や簡易水洗化を実施する。また、各地区より要望のあった箇所について改修工事を実施する。 住民の地域コミュニティ構築の場として、安全で利用しやすい環境整備を目的に、集会施設の維持管理を行なう。また、施設を利用される方の利便性の向上のため、公衆便所の維持管理を行なう。								
実績	【総務課 総務管理班所管】								
	工事請負費 1,134,000 円 ・ 松島町集会施設改修工事 反町支館下水道接続工 1,134,000 円 中オサブセンタートイレ改修工								
実績	【建設課 管理班所管】								
	○ 公衆便所（高城町駅前 愛宕駅前 元禄潜穴）と集会施設（27箇所）の維持管理 1 需用費（修繕料） 952,163 円 ・ 高城町駅前公衆便所修繕（屋根） 41,040 円 ・ 愛宕駅前公衆便所修繕（便器） 67,478 円 ・ 北小泉・下竹谷地区コミュニティセンター修繕（ドア） 158,976 円 ・ 華園集会場修繕（網戸、アンテナ） 159,800 円 ・ 中オサブセンター修繕（台所床、トイレ床） 258,163 円 ・ 反町支館修繕（トイレ床、基礎） 236,736 円 ・ 中通支館修繕（ガスコンロ） 29,970 円 2 役務費（火災保険料） ・ 公衆便所3箇所、集会施設27箇所 555,347 円 3 委託料 ・ 公衆便所清掃業務委託 198,720 円 （高城町駅前 月3回、愛宕駅前・元禄潜穴 月2回）								
成果	【総務課 総務管理班所管】 反町支館の下水道接続工事及び中オサブセンターの簡易水洗化工事を実施し、集会施設の環境整備を図った。 【建設課 管理班所管】 集会施設については、指定管理者等から報告を受けた5箇所の修繕を実施し、良好な利用環境の整備を図った。また、公衆便所については、設備の修繕を実施し、利用者の利便性向上と良好な環境の整備を行なった。								
現況 課題 方向性	【総務課 総務管理班所管】 集会施設の老朽化等による今後の維持管理費増大を鑑み、施設の統廃合を含めた適正配置を検討していく。 【建設課 管理班所管】 集会施設及び公衆便所は利用頻度も高く、老朽化している施設も多いことから、今後修繕費が増大することが懸念されるが、今後も適切な維持管理を継続し、安全で利用しやすい施設の整備を図っていく。								

一 般 会 計

2 款	1 項	15 目	地上デジタル放送無線共聴施設管理費				
担当部署名		企画調整課・建設課管理班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,738	1,582					1,582
目的	町内で地形等の理由により地上デジタル放送が難視聴になっている地区に設置した地上デジタル放送無線共聴施設について、維持管理を実施する。 また、松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を交付し、良好な地上デジタル放送の受信環境を維持する。						
実績	【建設課 管理班所管】 ○ 地上デジタル放送無線共聴施設（受信・送信点11箇所）の維持管理 ・ 松島海岸・小石浜地区 （受信点：3箇所 送信点：5箇所） ・ 反町・初原地区 （受信点：1箇所 送信点：2箇所） 1 役務費 （火災保険料） ・ 受信点4箇所、送信点7箇所 64,746 円 2 委託料 ・ 地上デジタル放送無線共聴施設保守点検業務委託 （年1回） 1,188,000 円 3 使用料及び賃借料 ・ 電波利用料、電柱共架料（東北電力）、電柱添架料（N T T） 126,568 円 【企画調整課所管】 ○ 松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金 135,000 円 ・ 帰命院地区テレビ共同受信組合 （141世帯） 120,000 円 ・ 霞ヶ浦テレビ共同受信施設組合 （36世帯） 15,000 円						
成果	【建設課 管理班所管】 地上デジタル放送無線共聴施設の保守点検等を行い、施設の維持管理に努めた。 【企画調整課所管】 地上デジタル放送無線共聴施設を運営する組合に対して運営費補助金を交付し、良好な受信環境の維持に寄与した。						
現況 課題 方向性	【建設課 管理班所管】 現在は地上デジタル放送無線共聴施設により、難視聴エリアでも視聴が可能となっている。今後は受信・送信施設の老朽化等に伴う不具合発生も想定されるため、保守点検結果を踏まえながら適切な維持管理に努める。 【企画調整課所管】 松島町テレビジョン放送共同受信施設運営費補助金を引き続き交付し、当該地区における地上デジタル放送の受信環境の維持に努める。						

一 般 会 計

2 款	1 項	18 目	復興推進費				
担当部署名		企画調整課					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13,576	13,542				9,315	4,227
目的	松島町長期総合計画に基づく復興まちづくりの具現化に向けて、復興事業の事業間調整、関係機関協議を行い復興交付金事業計画を作成の上、各種復興事業を推進し、早期の復興を図る。						
実績	委託料 ・松島地区等復興まちづくり推進事業業務委託 12,420,000 円 ○業務内容 復興事業に関する包括的な支援業務として、松島町長期総合計画に基づく復興まちづくりの早期実現と、復興まちづくりの具現化に向けた技術的な支援や協議・調整、復興交付金事業計画の進行管理補助、関連事業・関係機関との調整等を行うもの ○復興庁復興交付金策定支援会議 3回 ○復興交付金申請内容（町事業のみ） 第21回申請 新規申請額 195,199 千円（国費： 156,159 千円） 新規配分額 195,199 千円（国費： 156,159 千円） 【申請事業及び内容】 ① 松島町道路面補修事業 245,038 千円（新規申請： 195,199 千円） （流用申請： 49,839 千円） 第22回申請 新規申請額 0 千円（国費： 0 千円） 新規配分額 0 千円（国費： 0 千円） 【申請事業及び内容】 ① 松島地区等復興まちづくり推進事業 12,420 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 12,420 千円） ② 根廻磯崎線道路築造事業 389,921 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 389,921 千円） 第23回申請 新規申請額 0 千円（国費： 0 千円） 新規配分額 0 千円（国費： 0 千円） 【申請事業及び内容】 ① 高城磯崎地区避難路整備事業 116,256 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 116,256 千円） ② 災害公営住宅家賃低廉化事業 36,495 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 36,495 千円） ③ 東日本大震災特別家賃低減事業 6,090 千円（新規申請： 0 千円） （流用申請： 6,090 千円）						
成果	復興交付金事業に関する調整、事業の実施に係る復興庁との協議を実施するとともに、協議内容を反映した復興交付金事業計画を作成し復興交付金事業の推進を図った。 また、第21回から第23回までに係る復興交付金の申請を行い、農林水産省所管事業に対し156,159千円の配分を受けた。						
現況 課題 方向性	震災復興関連事業の円滑な推進に向け、引き続き関係機関との調整・復興交付金の配分申請を行っていく。 また、復興期間終了後も対応が必要な事業等については、関係機関に継続して要望を行っていく。						

一 般 会 計

2	款	1	項	19	目	ふるさと納税費				
担当部署名				財務課財政班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	56,422		54,131					39,590	14,541	
目的	松島町を応援しようとする方からの寄附金を通して、寄附者の思いを反映した魅力あるまちづくり事業を展開し、また、地元の特産品等の送付により本町の魅力を発信し、多様な人々による個性あふれるふるさとづくりに資することを目的とする。									
実績	1 ふるさと納税費									
	・ 手数料		クレジット決済手数料		(	596 件)	290,201	円		
			郵便振替手数料		(	95 件)	2,850	円		
			ふるさと納税サイト掲載料		(	12 月)	48,600	円		
	・ 業務委託		松島町ふるさと納税業務委託				14,101,506	円		
	2 ふるさと納税実績									
	・ 使途別				(	712 件)	39,590,100	円		
	①道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業				(	218 件)	9,420,000	円		
	②環境、安全・防災に関する事業				(	87 件)	3,170,100	円		
	③福祉・保健・医療に関する事業				(	77 件)	12,990,000	円		
	④教育に関する事業				(	92 件)	3,450,000	円		
	⑤観光、歴史・文化に関する事業				(	96 件)	4,930,000	円		
	⑥産業振興、コミュニティに関する事業				(	22 件)	530,000	円		
	⑦その他魅力あるまちづくりを推進するため必要と認められる事業				(	120 件)	5,100,000	円		
	・ 金額別									
	10,000円未満				(	1 件)	100	円		
	10,000円以上30,000円未満				(	449 件)	4,520,000	円		
	30,000円以上50,000円未満				(	80 件)	2,420,000	円		
	50,000円以上100,000円未満				(	25 件)	1,250,000	円		
100,000円以上200,000円未満				(	103 件)	10,300,000	円			
200,000円以上				(	54 件)	21,100,000	円			
(次頁へ続く)										
成果	ご寄附をいただいた方への返礼品として町内で製造等がなされている特産品の送付を行っており、全国に町の魅力を発信すると共に返礼品事業者の販路拡大に寄与することができた。平成30年度は新たな返礼品10品目を追加し全体として、33事業者61品目の返礼品を取りそろえた。 また、これまで実施していたHPやパンフレット等による宣伝に加え、ふるさと納税サイトへの掲載を開始したことで、前年度と比較して寄附件数が約6.3倍に増加した。									
現況 課題 方向性	寄附者や町民の方に対しふるさと納税を活用する事業の趣旨や内容、成果をHPで公表している。ふるさと納税を通じて、寄附者の松島町に対する関心・興味を高め、寄附だけでなく来訪を促し地域の活性化につなげていきたい。 また、令和元年6月から新制度となり、国の基準に満たない自治体はふるさと納税対象団体の指定を受けられなくなる。今後はより一層、制度の趣旨に沿った健全な制度運営に努めながら、町の情報・魅力を発信する必要がある。									

2 款	1 項	19 目
-----	-----	------

・ 返礼品カテゴリ別	
米・パン	(92 件)
野菜・果物	(4 件)
水産物	(42 件)
肉類	(90 件)
加工食品	(216 件)
菓子・スイーツ	(27 件)
酒類	(11 件)
セット・詰め合わせ	(98 件)
雑貨	(2 件)
民芸・工芸	(7 件)
宿泊券・チケット	(177 件)
希望無し	(4 件)
対象外	(1 件)

※1件の寄附で複数の返礼品を希望する場合があるため、返礼品カテゴリ別件数の合計とふるさと納税実績件数は一致しない。

3 ふるさと納税基金残高

(単位 円)

実績

使 途		積立残高	積立額	取崩額	年度末残高	繰入事業
①	道路、公園・緑地等の基盤整備に関する事業	330,000	9,420,000	0	9,750,000	
②	環境、安全・防災に関する事業	1,163,000	3,170,100	0	4,333,100	
③	福祉・保健・医療に関する事業	11,240,000	12,990,000	0	24,230,000	
④	教育に関する事業	690,000	3,450,000	3,000,000	1,140,000	町立幼稚園 空調設備整備事業
⑤	観光、歴史・文化に関する事業	1,841,000	4,930,000	0	6,771,000	
⑥	産業振興、コミュニティに関する事業	280,000	530,000	0	810,000	
⑦	その他魅力あるまちづくりを推進するため、必要と認められる事業	3,147,000	5,100,000	0	8,247,000	
合計		18,691,000	39,590,100	3,000,000	55,281,100	

一 般 会 計

2 款		2 項		1 目		税務総務費 賦課徴収費				(単位:千円)																																				
担当部署名				財務課税務班・特別滞納整理室																																										
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																									
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																					
	60,429		59,571			9,714		678	49,179																																					
39,630		36,556			11,497		1,111	23,948																																						
目的																																														
課税資料の収集と課税台帳の整備をし、適正な課税を行う。また的確な滞納整理を行い収入未済額の縮減を図る。																																														
実績																																														
1 個人町民税																																														
・ 現年課税分の内訳																																														
<table><tr><td colspan="2">所得区分</td><td>課税額 (千円)</td><td>納税義務者 (人)</td></tr><tr><td colspan="2">給 与 所 得 者</td><td>463,279</td><td>5,172</td></tr><tr><td colspan="2">営 業 等 所 得 者</td><td>28,816</td><td>330</td></tr><tr><td colspan="2">農 業 所 得 者</td><td>922</td><td>22</td></tr><tr><td colspan="2">その他の所得者</td><td>55,942</td><td>1,343</td></tr><tr><td colspan="2">家屋敷等のみ</td><td>14</td><td>4</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>548,973</td><td>6,871</td></tr><tr><td rowspan="2">内 訳</td><td>特別徴収にかかる課税</td><td>438,638</td><td>5,233</td></tr><tr><td>普通徴収にかかる課税</td><td>110,335</td><td>1,638</td></tr></table>												所得区分		課税額 (千円)	納税義務者 (人)	給 与 所 得 者		463,279	5,172	営 業 等 所 得 者		28,816	330	農 業 所 得 者		922	22	その他の所得者		55,942	1,343	家屋敷等のみ		14	4	計		548,973	6,871	内 訳	特別徴収にかかる課税	438,638	5,233	普通徴収にかかる課税	110,335	1,638
所得区分		課税額 (千円)	納税義務者 (人)																																											
給 与 所 得 者		463,279	5,172																																											
営 業 等 所 得 者		28,816	330																																											
農 業 所 得 者		922	22																																											
その他の所得者		55,942	1,343																																											
家屋敷等のみ		14	4																																											
計		548,973	6,871																																											
内 訳	特別徴収にかかる課税	438,638	5,233																																											
	普通徴収にかかる課税	110,335	1,638																																											
※所得区分は、総務省統計の課税状況等調査区分による。 ※「その他の所得者」の主な者は、年金所得者、譲渡所得者である。																																														
・ 申告相談受付 期 間 平成 31 年 2 月 18 日 ～ 3 月 15 日 場 所 松島町文化観光交流館 件 数 確定申告 1,384 件 町・県民税申告 631 件																																														
2 法人町民税																																														
・ 現年課税分の内訳																																														
<table><tr><td colspan="2">区 分</td><td>課税額 (円)</td><td>納税義務者 (事業所)</td></tr><tr><td colspan="2">均等割</td><td>34,559,000</td><td>352</td></tr><tr><td colspan="2">税 割</td><td>91,454,500</td><td>111</td></tr><tr><td colspan="2">計</td><td>126,013,500</td><td>463</td></tr></table>												区 分		課税額 (円)	納税義務者 (事業所)	均等割		34,559,000	352	税 割		91,454,500	111	計		126,013,500	463																			
区 分		課税額 (円)	納税義務者 (事業所)																																											
均等割		34,559,000	352																																											
税 割		91,454,500	111																																											
計		126,013,500	463																																											
(次頁へ続く)																																														
成果																																														
固定資産税における宅地の鑑定や航空写真を使用した適正な評価、また、個人住民税における確定申告の電子化の導入などを実施し、適正課税を図るとともに、粘り強い納税交渉、綿密な実態調査を踏まえ、個別状況に応じた滞納処分を行った。その結果、現年課税分が99.4%で前年度と同率、滞納繰越分が17.0%で1.6ポイント増となった。現年課税分及び滞納繰越分を合わせた町税全体については、調定額1,786,868千円に対し、収入済額が1,722,989千円で、前年度より0.4ポイント増の96.4%となり累積滞納抑止が図られた。																																														
現況 課題 方向性																																														
課税事務においては、租税法律主義の原則から地方税法及び町税条例に則り、法令を遵守するための研修・検討を重ねることが重要である。また、税務署、県税事務所等関係機関との連携を強化するとともに、更なる電子化に向け調査・検討し、手続きの簡略化を進めていく。 徴収事務（滞納整理）においては、税収の確保、租税負担の公平を期するため、納税交渉及び財産調査を強化し、有財産者については差押え等強制処分の実施を、無財産者については徴収の緩和制度を適用し、徴収率の向上（維持）並びに収入未済額の縮減に努める。特に新規滞納者を発生させないよう現年課税分滞納者に対する催告、強制処分の早期着手を継続していく。																																														

2 款	2 項	1 2 目
-----	-----	----------

3 固定資産税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	214,975,900	6,470
家 屋	386,425,800	5,227
償 却 資 産	214,439,500	397
国有資産等所在市町村交付金	2,349,500	3
計	818,190,700	12,097

4 軽自動車税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	課税台数 (台)
原動機付自転車	739,100	345
軽 自 動 車	31,134,900	4,116
小型特殊自動車	896,500	340
二輪の小型自動車	840,000	140
計	33,610,500	4,941

5 町たばこ税

区 分	課税額 (円)	売上本数 (本)
旧 3 級 品 以 外	80,448,051	14,842,720
旧 3 級 品	2,077,091	530,660
手 持 ち 品	332,851	768,741
計	82,857,993	16,142,121

実績

6 入湯税

区 分	課税額 (円)	入湯者数 (人)
宿 泊	42,758,100	285,054
日 帰 り	2,943,050	58,861
計	45,701,150	343,915

7 都市計画税

・ 現年課税分の内訳

区 分	課税額 (円)	納税義務者 (人)
土 地	28,926,600	3,483
家 屋	39,018,300	3,489
計	67,944,900	6,972

(次頁へ続く)

8 徴収の状況

・ 現年課税分

区 分	平成30年度			平成29年度			比較増減（30年度-29年度）		
	調定額 （千円）	収入済額 （千円）	徴収率 （%）	調定額 （千円）	収入済額 （千円）	徴収率 （%）	調定額 （千円）	収入済額 （千円）	徴収率 （%）
税 目									
町民税	674,986	669,265	99.2	611,820	607,943	99.4	63,168	61,322	△ 0.2
（個人）	548,973	543,736	99.0	549,667	545,894	99.3	△ 694	△ 2,158	△ 0.3
（法人）	126,013	125,529	99.6	62,153	62,049	99.8	63,860	63,480	△ 0.2
固定資産税	818,191	813,590	99.4	825,833	820,908	99.4	△ 7,642	△ 7,318	0.0
軽自動車税	33,610	33,490	99.6	32,892	32,692	99.4	718	798	0.2
町たばこ税	82,858	82,858	100	87,128	87,128	100	△ 4,270	△ 4,270	0.0
入湯税	45,701	45,600	99.8	45,615	45,615	100	86	△ 15	△ 0.2
都市計画税	67,945	67,393	99.2	69,891	69,309	99.2	△ 1,946	△ 1,916	0.0
計	1,723,291	1,712,196	99.4	1,673,179	1,663,595	99.4	50,112	48,601	0.0

※ 国民健康保険税	275,291	266,687	96.9	317,132	306,491	96.6	△ 41,841	△ 39,804	0.3
-----------	---------	---------	------	---------	---------	------	----------	----------	-----

・ 滞納繰越分

区 分	平成30年度			平成29年度			比較増減（30年度-29年度）		
	調定額 （千円）	収入済額 （千円）	徴収率 （%）	調定額 （千円）	収入済額 （千円）	徴収率 （%）	調定額 （千円）	収入済額 （千円）	徴収率 （%）
税 目									
町民税	24,139	3,068	12.7	25,792	3,674	14.2	△ 1,653	△ 606	△ 1.5
（個人）	23,559	3,040	12.9	25,316	3,674	14.5	△ 1,757	△ 634	△ 1.6
（法人）	580	28	4.8	476	0	0.0	104	28	4.8
固定資産税	35,274	6,797	19.3	41,835	6,810	16.3	△ 6,561	△ 13	3.0
軽自動車税	681	109	16.0	702	100	14.2	△ 21	9	1.8
都市計画税	3,483	819	23.5	3,567	455	12.8	△ 84	364	10.7
計	63,577	10,793	17.0	71,896	11,039	15.4	△ 8,319	△ 246	1.6

※ 国民健康保険税	117,843	12,619	10.7	130,598	14,896	11.4	△ 12,755	△ 2,277	△ 0.7
-----------	---------	--------	------	---------	--------	------	----------	---------	-------

実績

9 納税貯蓄組合関係

・ 納税貯蓄組合からの収入状況

税 目	収入件数(件)	収入金額(円)	組合数
個人町県民税	368	11,253,738	37
固定資産税・都市計画税	2,722	41,549,400	
軽自動車税	413	2,409,000	
国民健康保険税	1,532	19,735,200	
計	5,035	74,947,338	

※本表の件数は、納期単位でカウントしている。

・ 補助金交付額	町税関係（一般会計）	1,359,011 円
	国民健康保険税関係（国保会計）	403,988 円

10 口座振替の状況

（単位：件、千円）

税 目	口 座 振 替					
	請求 （依頼） 件数①	請求 （依頼） 金額②	振替件数 ③	振替金額 ④	振替不能 件数 （①-③）	振替不能 金額 （②-④）
個人町県民税	1,106	33,678	1,074	32,972	32	706
固定資産税・都市計画税	8,317	182,230	8,131	179,563	186	2,667
軽自動車税	525	3,041	511	2,971	14	70
国民健康保険税	5,787	75,346	5,603	72,401	184	2,945
計	15,735	294,295	15,319	287,907	416	6,388

※本表の件数は、納期単位でカウントしている。

（次頁へ続く）

11 コンビニ収納の状況

(単位：件、千円)

税 目	コ ン ビ ニ 収 納					
	現年課税分		滞納繰越分		計	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
個人町県民税	2,151	48,622	38	392	2,189	49,014
固定資産税・都市計画税	5,183	74,990	24	164	5,207	75,154
軽自動車税	1,868	13,493	4	6	1,872	13,499
国民健康保険税	4,363	61,741	100	829	4,463	62,570
計	13,565	198,846	166	1,391	13,731	200,237

12 催告文書等発送

- ・ 督促状 7,171 通
- ・ 催告書 955 通
- ・ その他催告文書 2,109 通

13 滞納処分等状況

区 分		件数(件)
差 押	不動産	8
	預貯金	200
	給与（賞与）・年金	6
	国税・県税還付金	23
	生命保険・出資持分	5
	自動車・小型船舶	0
	動産	0
参加差押	不動産・定期預金・解約返戻金	14
差押・参加差押計		256
交付要求		19
徴収猶予		0
換価の猶予		37
搜索		0
滞納処分執行停止		49

※ 期間は、平成30年6月1日から令和元年5月31日まで

実績

一 般 会 計

2 款		3 項		1 目		戸籍住民基本台帳費				
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	40,526		35,436		1,693	19		102	33,622	
目的	行政及び社会経済生活の基盤となる住民の居住関係、身分関係等を正確、迅速に記録し、住民ニーズに公平・公正・親切的な対応を心がけ、適法な事務の処理に努める。 また、個人情報を取扱う住民基本台帳ネットワークシステム等の各種システムに関する操作方法等について理解を深め、個人情報の保護を徹底する。									
実績	1 戸籍事務									
	・ 本籍数・本籍人口数(平成31年3月31日現在)									
	本 籍 数		7,563							
	本籍人口数		17,797							
	・ 戸籍編纂 (単位:件)									
	新 戸 籍 編 製 数		101							
	除 籍 数		139							
	・ 戸籍届出件数 (単位:件)									
	出 生		141	死 亡	267	養 子 離 縁	2	帰 化	1	
	転 籍		77	養 子 縁 組	15	離 婚	42	国 籍 喪 失	1	
法第77条の2※		16	認 知	1	国 籍 留 保	1	不 受 理 申 出	3		
入 籍		31	分 籍	4	未成年者の後見	3				
職 権 訂 正		17	婚 姻	160	姻 族 関 係 終 了	2	合 計	784		
※ 戸籍法第77条の2(離婚の際に称していた氏を称する届)										
・ 戸籍謄抄本交付件数 (単位:件)										
種 別		一 般 交 付		公 用 交 付		合 計				
戸 籍 謄 本		2,196		536		2,732				
戸 籍 抄 本		532		53		585				
除 籍 謄 本		1,731		1,088		2,819				
除 籍 抄 本		4		4		8				
受 理 証 明		41		0		41				
戸 籍 届 出 証 明		2		1		3				
(次頁へ続く)										
成果	戸籍・住民基本台帳等の個人情報を扱う端末については、操作方法や利用状況等の管理を徹底し、個人情報の適正な処理を行うとともに、各種届出等に基づく異動や証明書の発行、マイナンバーカードの交付の迅速化に努め、行政サービスの向上を図った。 なお、平成30年度においては、監査法人が行う住民基本台帳ネットワークシステムのシステム運営監査を受検したことによって、システムの内容等について再確認でき、個人情報の適正な管理方法等を深く認識することができた。									
現況課題 方向性	戸籍謄抄本や住民票謄抄本、印鑑証明等については、各種申請や契約手続き等において重要なものであるため、誤交付等がないよう細心の注意を払い交付している。また、戸籍届出や住民票の異動、印鑑登録については、戸籍法や住民基本台帳法等の法改正に注視し、適正な事務処理方法を確認の上処理している。 当該事務については、行政及び社会経済生活の基盤となる住民の居所関係や身分関係等を記録、証明するものであり、今後も例年同様の交付や届出等が見込まれるため、個人情報の保護には特に留意し、戸籍法や住民基本台帳法、松島町印鑑の登録及び証明に関する条例等の各種法令に基づき、適法な記録、証明等を行い、正確、迅速な事務処理によって行政サービスの向上に努める。									

2 住民基本台帳事務

・住民基本台帳登録者数（平成31年3月31日現在）

人口及び世帯数	日 本 人	14,027 人	5,589 世帯
	外 国 人	46 人	41 世帯
	計	14,073 人	5,630 世帯

・異動関係

区 分		処 理 件 数	
転 入 届		249 件	374 人
転 出 届		394 件	517 人
転 居 届		103 件	205 人
世 帯 主 変 更 届		135 件	
住 民 票 職 権 修 正		417 件	
内 訳	出 生	57 件	
	死 亡	211 件	
	その他修正	149 件	

・交付件数

（単位：件）

種 別	一 般 交 付	公 用 交 付	合 計
住 民 票 謄 本	2,243	195	2,438
住 民 票 抄 本	3,960	252	4,212
住 民 票 閲 覧	213	80	293
附 票	316	719	1,035
広 域 交 付 住 民 票	16	0	16

- ・住基カード登録済件数 273 件
- ・個人番号カード登録済件数 1,833 件
- ・交付件数 179 件
- （マイナンバーカード）

実績

3 印鑑登録事務

- ・新規登録件数 272 件
- ・印鑑再登録 206 件
- ・印鑑証明 一般交付 4,301 件
- ・登録済件数 10,003 件
- ・公用交付 5 件

4 埋火葬許可に関する事務

- ・許可件数 210 件

5 戸籍住民基本台帳等手数料

種 別		交付数(件)	金額(円)	延長窓口 交付数(件)	金額(円)	手数料計(円)
戸籍関係		4,455	2,519,300	51	25,650	2,544,950
住民票関係		6,616	1,376,800	116	24,200	1,401,000
印鑑証明		4,404	880,800	103	20,600	901,400
住基ネット	広域	16	4,800			4,800
その他証明	身分証明	180	36,000	3	600	36,600
	独身証明	14	2,800			2,800
	不在住証明等	5	1,000			1,000
通知カード		115	57,500			57,500
個人番号カード		6	4,800			4,800
計		15,811	4,883,800	273	71,050	4,954,850

一 般 会 計

2	款	5	項	1	目	統計調査総務費																		
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)															
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																			
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
	4,209		4,166			20			4,146															
目的	正確かつ円滑な統計調査の実施のため、統計調査員を確保する。また、調査結果などを基に松島町統計資料を作成・発行する。																							
実績	1 統計調査員確保対策																							
	・ 統計調査員事務研究会会員数 (単位:人) <table><tr><td>年度</td><td>総数</td><td>男</td><td>女</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>30</td><td>24</td><td>6</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>30</td><td>24</td><td>6</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>30</td><td>24</td><td>6</td></tr></table>									年度	総数	男	女	平成28年度	30	24	6	平成29年度	30	24	6	平成30年度	30	24
年度	総数	男	女																					
平成28年度	30	24	6																					
平成29年度	30	24	6																					
平成30年度	30	24	6																					
成果	2 「松島町統計資料」の発行																							
	・ 発行時期 平成31年3月 ・ 発行部数 松島町統計資料:100部 松島町統計資料ダイジェスト版:300部																							
現況 課題 方向性	各種統計調査の調査員を松島町統計調査員事務研究会の会員から推薦したことで、正確かつ円滑な調査に寄与した。 また、統計資料の電子データを町ホームページに掲載、ダイジェスト版の発行により、町の統計情報を広く発信した。																							
現況 課題 方向性	統計調査員事務研究会の会員については、新規の加入者が少なく、高齢化している。今後の統計調査を円滑に実施するため、新規の調査員確保に取り組む。 また、松島町統計資料を継続し作成・発行していく。																							

一 般 会 計

2	款	5	項	2	目	指定統計費																							
担当部署名				企画調整課				(単位:千円)																					
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																								
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
	854		777			743			34																				
目的	各種統計調査を迅速かつ正確に実施し、行政施策の企画・立案等の基礎資料を得る。																												
実績	○ 実施調査																												
	<table><tr><td>調査名</td><td>調査基準日</td><td>調査員数</td><td>調査客体</td></tr><tr><td>平成30年工業統計調査</td><td>6月1日</td><td>調査員1人</td><td>13事業所</td></tr><tr><td>平成30年経済センサス 調査区管理</td><td>6月1日</td><td>—</td><td>31調査区</td></tr><tr><td>平成30年住宅・土地統計調査</td><td>10月1日</td><td>指導員1人 調査員5人</td><td>12調査区</td></tr><tr><td>2018年漁業センサス</td><td>11月1日</td><td>客体把握調査員1人 実査調査員4人</td><td>8調査区</td></tr></table>									調査名	調査基準日	調査員数	調査客体	平成30年工業統計調査	6月1日	調査員1人	13事業所	平成30年経済センサス 調査区管理	6月1日	—	31調査区	平成30年住宅・土地統計調査	10月1日	指導員1人 調査員5人	12調査区	2018年漁業センサス	11月1日	客体把握調査員1人 実査調査員4人	8調査区
	調査名	調査基準日	調査員数	調査客体																									
	平成30年工業統計調査	6月1日	調査員1人	13事業所																									
	平成30年経済センサス 調査区管理	6月1日	—	31調査区																									
	平成30年住宅・土地統計調査	10月1日	指導員1人 調査員5人	12調査区																									
2018年漁業センサス	11月1日	客体把握調査員1人 実査調査員4人	8調査区																										
・ 平成30年工業統計調査 工業統計調査は、我が国の工業の実態を明らかにし、産業政策、中小企業政策など、国や都道府県などの地方公共団体の行政施策のための基礎資料となる調査。町内の事業所のうち従業員4名以上の事業所を対象に調査を実施した。																													
・ 平成30年経済センサス調査区管理 経済センサス調査区管理は、事業所又は企業を対象とする各種統計調査実施の基礎資料として利用するため、平成29年経済センサス調査区管理において設定した調査区を管理し、必要な修正を行うもの。																													
・ 平成30年住宅・土地統計調査 住宅・土地統計調査は、我が国における住宅、居住する世帯の居住状況、保有する住宅及び土地の実態を把握し、現状と推移を全国及び地域別に明らかにし、住生活関連施策の基礎資料となる調査。町内12調査区の調査を実施した。																													
・ 2018年漁業センサス 漁業センサスは、我が国漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態と変化を総合的に把握し、水産基本計画に基づく水産行政施策の基礎資料となる調査。町内8調査区の調査を実施した。																													
成果	各種統計調査が正確かつ円滑に実施され、産業政策、中小企業政策、住生活関連施策、水産行政施策など、国や地方公共団体の行政施策に係る基礎資料が得られた。																												
現況 課題 方向性	国や地方公共団体の行政施策に係る基礎資料を得るため、無事故で正確かつ円滑な調査に引き続き努める。																												

一 般 会 計

3 款	1 項	1 目	社会福祉総務費				
担当部署名		町民福祉課福祉班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	233,801	228,008		310			227,698
目的	地域社会における社会福祉の諸問題に取り組み、福祉の向上を図るため、関係団体との連携、支援を行い、その活動の円滑な推進を図る。また、高齢者や障がい者を含めた低所得世帯の相談窓口となり、生活の安定に向けた支援を行う。						
実績	1 民生委員事業 - 民生委員児童委員活動報償 支給人数 39人 1,872,000 円 2 社会福祉団体等に対する補助事業 (社)松島町社会福祉協議会 社会福祉協議会の地域福祉活動、ボランティア活動及び運営に関する事業の経費について助成を行った。 8,500,000 円 - 塩釜地区人権擁護委員協議会 塩釜地区人権擁護委員協議会の事業に要する経費について助成を行った。 45,000 円 - 松島町保護司会 保護司会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。 200,000 円 - 松島町更生保護女性会 更生保護女性会の行う犯罪・非行予防活動及び研修、会議に要する事業の経費について助成を行った。 30,000 円 - 松島町遺族会 戦没者遺族の援護事業に関する事業の経費について助成を行った。 50,000 円 3 人権啓発活動事業 312,387 円 - 法務省からの人権啓発活動委託事業として、人権尊重の理念に関する正しい理解と、人権尊重思想の普及高揚を図るための啓発活動を行った。 4 その他 - 生活保護申請受付件数 17 件 相談件数 23 件 - 法外援護旅費受付件数 25 件 支給額 10,000 円						
成果	民生委員児童委員が担当する区域において、高齢者などの訪問や見守り活動を行い、生活上の様々な相談に応じ、適切な支援やサービスへのつなぎ役としての役割を果たし、社会福祉の増進に努めた。また、人権尊重の理解と思想の普及高揚を図るため、人権啓発活動を実施し、人権問題について理解が深まった。さらに、失業や病気などにより経済的に生活が困難となった低所得世帯などの生活相談を、宮城県や関係機関と連携しながら対応に努めた。						
現況課題 方向性	住民の福祉向上や安心な生活環境づくりのため、各種団体の活動への支援を継続するとともに、民生委員児童委員などとの相互連携の強化を図りながら、地域における社会福祉の円滑な増進に努める。						

一 般 会 計

3	款	1	項	2	目	障害者福祉費																																																
担当部署名				町民福祉課福祉班				(単位:千円)																																														
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																																	
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																													
	319, 213		313, 915		120, 450	77, 909		100	115, 456																																													
目的	障害者自立支援給付事業及び地域生活支援事業の実施により、福祉サービス体制の充実を図り、障がい者・障がい児の自立や社会参加を支援すると共に、家族や支援者の負担の軽減につなげる。 また、心身障がい者の医療費を助成することにより、医療機会を確保し、心身障がい者の家庭の経済的安定と福祉の向上を図る。																																																					
実績	1 障害支援区分にかかる審査判定 障がい福祉サービスのうち介護給付利用申請者について、自立支援法施行に伴う障害支援区分の審査判定を塩釜地区消防事務組合の障害者自立支援審査会にて実施し、支給決定を行った。 ○平成30年度審査受付数 16 人（うち継続 11人） 2 障がい福祉サービス等事業 ○障がい福祉サービス ・障がい福祉サービス受給者証交付 104人（身体15人、知的63人、精神19人、児童7人） ・支給決定者数及び利用者数																																																					
	<table><tr><td>サービス種類</td><td>支給決定者数（人）</td><td>利用者数（人）</td></tr><tr><td>居宅介護（身体・家事・通院介助）</td><td>23</td><td>18</td></tr><tr><td>行動援護</td><td>2</td><td>0</td></tr><tr><td>同行援護</td><td>4</td><td>3</td></tr><tr><td>生活介護</td><td>31</td><td>28</td></tr><tr><td>短期入所</td><td>20</td><td>13</td></tr><tr><td>施設入所支援</td><td>14</td><td>14</td></tr><tr><td>自立訓練（機能訓練・生活訓練）</td><td>1</td><td>1</td></tr><tr><td>就労移行支援</td><td>3</td><td>3</td></tr><tr><td>就労継続支援（A）</td><td>13</td><td>13</td></tr><tr><td>就労継続支援（B）</td><td>35</td><td>34</td></tr><tr><td>グループホーム（共同生活援助）</td><td>14</td><td>14</td></tr><tr><td>療養介護</td><td>2</td><td>2</td></tr><tr><td>計画相談支援</td><td>95</td><td>95</td></tr><tr><td>地域定着支援</td><td>3</td><td>3</td></tr></table>									サービス種類	支給決定者数（人）	利用者数（人）	居宅介護（身体・家事・通院介助）	23	18	行動援護	2	0	同行援護	4	3	生活介護	31	28	短期入所	20	13	施設入所支援	14	14	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	1	1	就労移行支援	3	3	就労継続支援（A）	13	13	就労継続支援（B）	35	34	グループホーム（共同生活援助）	14	14	療養介護	2	2	計画相談支援	95	95	地域定着支援	3	3
	サービス種類	支給決定者数（人）	利用者数（人）																																																			
	居宅介護（身体・家事・通院介助）	23	18																																																			
	行動援護	2	0																																																			
	同行援護	4	3																																																			
	生活介護	31	28																																																			
	短期入所	20	13																																																			
	施設入所支援	14	14																																																			
	自立訓練（機能訓練・生活訓練）	1	1																																																			
	就労移行支援	3	3																																																			
	就労継続支援（A）	13	13																																																			
	就労継続支援（B）	35	34																																																			
	グループホーム（共同生活援助）	14	14																																																			
	療養介護	2	2																																																			
計画相談支援	95	95																																																				
地域定着支援	3	3																																																				
事業費 206, 398, 254 円																																																						
(次頁へ続く)																																																						
成果	関係機関等と連携し、障がい福祉サービスの必要な方に認定を行い、適切なサービスを提供することにより生活の支援が図られた。身体に障がいのある方の機能の補完・代替として利用される補装具費の給付について、購入及び修理に係る適切な給付を行うと共に、日常生活を営む上で必要な用具等を給付し、自立した生活や社会参加を促すことができた。障がいのある方の悩みや生活全般に対する相談、サービス利用などについて、専門的な知識を有する相談支援事業所などを活用し、適切なサービス提供や安心した生活の支援を行った。																																																					
現況 課題 方向性	町内に暮らす障がい者や障がい児のニーズ把握を相談支援事業所等と連携して行い、適切なサービス提供や安心した生活の支援を今後も継続して行っていく。松島町における社会資源としてのサービス提供事業所はまだまだ数が少ないため、町外の事業所を利用することとなる。そのため、広域的な情報を得る場所として宮城東部地域自立支援協議会等で、障がい者や障がい児及びその家族や支援者が交流できるよう努めている。																																																					

3 款	1 項	2 目
-----	-----	-----

○ 障がい児通所支援

- ・ 障がい児通所支援受給者証交付 7 人
- ・ 支給決定者数及び利用者数

サービス種類	支給決定者数 (人)	利用者数 (人)
児童発達支援	3	3
放課後等デイサービス	5	5
障害児相談支援	7	7

事業費 7,566,233 円

○ 高額障害福祉サービス等給付事業

給付世帯 1世帯
給付額 50,600 円

○ 補装具費給付事業（購入及び修理）
（補聴器、短下肢装具、車いすなど）

給付人数 延べ 25 人
事業費 1,265,235 円

○ 自立支援医療（更生医療）給付事業

- ・ 利用者 実人数 48 人
（腎臓47人、肢体不自由1人）
事業費 28,520,510 円

○ 自立支援医療（育成医療）給付事業

- ・ 利用者 実人数 2 人
（肢体不自由1人、音声・言語・そしゃく機能障害1人）
事業費 39,787 円

○ 療養介護医療給付事業

- ・ 利用者 実人数 2 人
（身体障害者2人）
事業費 1,377,862 円

実績

3 地域生活支援事業

在宅の障がい者の自立を目的として各種の事業を行った。

○ 地域生活支援拠点等及び緊急短期入所用居室確保事業

在宅で暮らす障がい者や障がい児とその家族等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、その家族等が緊急かつやむを得ない事情等により一時的に不在となる場合等について、相談及び緊急支援事業を実施した。また、地域における障害者等への支援体制に関する課題について情報共有や関係機関等の連携の緊密化を図るとともに、地域の実情に応じた体制の整備を行う宮城東部地域自立支援協議会の業務を行った。

- ・ 相談件数 175 件
- ・ 実人数 6 人
- ・ 委託料 2,215,000 円

○ 障がい者等一般相談支援事業

松島町の障がい者の相談支援並びに計画相談支援への対応、災害時の支援等を委託した。地域の障がい者及びその家族等からの福祉に関する各般の相談に対して必要な情報提供や援助支援、関係機関との連携を図り、自立した日常生活又は社会生活を送るために必要な相談支援事業を実施した。

- ・ 相談件数 3,034 件
- ・ 実人数 144 人
- ・ 委託料 5,297,794 円

（次頁へ続く）

3 款	1 項	2 目
実績		○ 地域活動支援センター事業 障がい児や障がい者、その家族の方が交流し、社会参加しやすい環境づくりとして、希望園を地域活動支援センターとして開所し、週1回は障がい者の交流サロンとして運営、週4日は、障がい児及び保護者の日中支援事業として、日常生活又は社会生活を営むことが出来るよう事業を実施した。 ・ 地域活動支援センター基礎的事業（毎週水曜） 通所者 実10人 延べ 195人（1日平均3.6人） 基礎的事業委託料 1,517,200 円 ・ 地域活動支援センター日中一時支援事業 通園者 実16人 延べ1,319人（1日平均7人） 日中一時支援事業委託料 5,974,800 円 ○ 日中一時支援事業（町外等利用分） 町外の施設を利用して、障がい児・障がい者の日中一時支援を実施し、療育支援と保護者の介護負担の軽減を図った。 ・ 利用者 実人数 1 人 ・ 利用回数 延べ 7 回 ・ 事業費 25,560 円 ○ 移動支援事業 一人では外出困難な障がい者や障がい児に対して、ガイドヘルパー等を派遣し、外出を支援した。 実人数 7人 延べ 283 時間 事業費 691,670 円 ○ 日常生活用具給付事業 障がい者に必要な日常生活用具の給付を実施し、自立支援を図った。 ・ 利用者 実人数 42 人 ・ 利用件数 延件数 77 件 （埋込型人工咽頭用人工鼻、ストマ用装具、特殊便器他） ・ 事業費 3,420,176 円 ○ コミュニケーション支援事業 ・ 声の広報（視覚障がいの方へ広報等の作成・配布） 利用者 5 人 事業費 60,000 円 ・ 手話通訳者派遣料 利用者 2 人 事業費 27,346 円 ○ 訪問入浴サービス事業 ・ 訪問入浴サービス 利用者 4 人 事業費 2,205,000 円 ○ 自動車免許取得・改造費助成事業 ・ 自動車改造費助成 利用者 1 人 事業費 100,000 円 ○ 住宅改修助成事業 ・ 住宅改修助成 利用者 3 人 事業費 540,000 円 4 在宅酸素療法者酸素濃縮器利用助成事業 在宅酸素の療法を必要とする呼吸器機能障害のある方に対し、酸素濃縮器の使用に要する電気料金の一部を助成し、障がい者の家庭の経済的負担の軽減を図った。 ・ 利用者 12 人 ・ 助成額 196,410 円
		(次頁へ続く)

3	款	1	項	2	目
実績	5	難聴児補聴器購入費助成事業			
		・身体障害者手帳の交付対象とならない軽度又は中等度の難聴児に対し、補聴器購入費用の一部を助成し、難聴児を養育する家庭の経済的負担の軽減を図った。			
		・利用者		2 人	
		・助成額		147,836 円	
	6	心身障害者医療費助成事業			
		身体障害者手帳1・2級及び内部障害の3級所持者、療育手帳A所持者に医療費を助成し、心身障がい者の適正な医療の確保と経済的負担の軽減に努めた。			
			</		

一 般 会 計

3 款	1 項	3 目	老人福祉費				
担当部署名		健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	338,029	333,978		595		4,837	328,546
目的	高齢化社会の実情を踏まえ、高齢者自身が意欲や目標を持って生活機能の維持・向上が図れるよう、社会参加、社会貢献、健康づくりを推進し、在宅福祉に努める。						
実績	【高齢者の状況】 (平成30年3月31日現在)						
	65歳以上		75歳以上		ひとり暮らし		高齢者のみ世帯
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	世帯数(世帯) 割合
	松島町	5,321 37.0	2,877 20.0	851 16.0	1,694 30.0		
	宮城県	619,555 26.9	307,981 13.4	116,632 18.8	— —		
	国	3,515万 27.7	1,748万 13.8	— —	— —		
	※国は平成29年10月1日現在(総務省データ) ※ひとり暮らしは、65歳以上人数に対する割合						
	1 老人クラブ事業 ・主な活動内容 ゲートボール大会、グランドゴルフ・ペタンク大会、移動研修、友愛訪問、地域での支え合い活動(集まりの場等) ・会員数 719 人 ・単位老人クラブ(12クラブ)補助金 726,000 円 ・町老人クラブ連合会補助金 320,000 円						
	2 ひとり暮らし老人等緊急通報システム事業 高齢者ひとり暮らし世帯又は高齢者のみの世帯に対し緊急通報システムにおける緊急時の対応を行った。緊急装置による通報のうち、携帯端末利用型の2件が救急搬送に繋がった。 ○固定電話回線利用型 ・緊急通報システム機器利用実人数(年間) 21 人 ・事業費 539,484 円 ○携帯端末利用型 ・緊急通報システム機器利用実人数(年間) 20 人 ・事業費 515,896 円 (次頁へ続く)						
成果	老人クラブ会員が地域の支え手となり、独居世帯等の高齢者宅を訪問する友愛訪問活動が積極的に行われた他、地域サロンにおいても中心的な役割を担い、活発な活動が実施された。緊急通報システム事業では、個々の生活状況に合わせて携帯型又は固定電話型を選択することで、利用者に適したサービスの提供が実現できた。老人保護措置事業では、養護老人ホーム等への保護を継続して実施し、対象者の生命の安全が図られた。宅配夕食サービス事業や高齢者タクシー助成事業実施では、可能な限り住み慣れた地域で生活できるよう在宅生活を支援した。敬老会については、町による長寿のお祝いとして式典及びアトラクションの充実を図ることができた。						
現況 課題 方向性	高齢化率の増加と平均寿命の延伸に伴い、敬老事業の対象となる方が年々増加しているが、介護を必要とする方等に対応した施策の必要性が高まっていることから、特別敬老祝金贈呈金額の見直しを行い、次年度に向け周知を図った。また、在宅で重度の介護を要する方の外出時の負担軽減と、介護している家族の負担軽減のため外出支援について助成の検討を行った。一人暮らし高齢者世帯が増加している一方、元気な高齢者が多いことから、老人クラブの協力を得ながら交流や活躍の場づくり支援に努めていく。						

3	款	1	項	3	目
---	---	---	---	---	---

3 老人保護措置事業

養護老人ホームにて家庭の事情や心身の障害、経済的な事情等で在宅生活が困難な方を2人(うち1人は5月末に退所)、また視覚障害老人ホームへ1人継続して保護を行った。
また、緊急的に保護が必要な方1人について継続して保護を行った。

- ・施設入所措置者数(養護老人ホーム2人・視覚障害老人ホーム1人) 3人
- ・やむを得ない事由による措置者数 1人
- ・事業費 6,987,783円

4 敬老会事業

- ・対象 77歳以上の高齢者
- ・開催日 平成30年9月17日
アトラクション
松島祭連竹谷舞(すずめ踊り)、昭和歌謡(ティーナ・カリーナ)、芸術文化協会による舞踊等
- ・招待者 2,591人
- ・事業費 1,583,316円

5 特別敬老祝い金支給事業

- ・88歳に達した方(米寿 5万円) 116人
- ・99歳に達した方(白寿 10万円) 9人
- ・支給総額 6,700,000円

実績

6 宅配夕食サービス事業(お晩ディッシュ)

社会福祉協議会に業務を委託し、調理等が困難な単身または高齢者世帯等の希望する高齢者に、栄養バランスのとれた夕食を宅配し、併せて安否確認を実施した。

延べ実施日数(日)	295
延べ配食数(食)	6,669
1日平均食数(食)	23

※登録者数 56人(男性:28人、女性:28人)
※利用頻度 週6回:25人、週5回:4人
週3~4回:13人、週1~2回:14人
不定期:0人

- ・事業費 7,682,359円

7 高齢者タクシー助成事業

- ・対象 75歳以上の高齢者世帯(生活保護世帯及び住民税非課税世帯) 349世帯
- ・交付者数 259人(交付率74.2%)
- ・事業費 1,266,601円

一 般 会 計

3 款	1 項	4 目	国民年金費				
担当部署名		町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	8,459	8,029	4,017				4,012
目的	法定受託事務である国民年金の事務事業として、資格取得、喪失等の届出の受理及び報告事務をはじめ、年金事務所との協力・連携事務として年金制度に関する相談業務や広報等について推進を図る。						
実績	1 法定受託事務(町の受付状況)						
	(単位:件)						
	年度 区分	平成30年度	平成29年度	年度 区分	平成30年度	平成29年度	
	資格取得届	239	260	任意加入	6	0	
	資格喪失届	16	4	付加年金加入	9	4	
	種別変更届	37	26	免除申請(一般)	484	493	
	氏名変更届	10	15	免除申請(学生)	112	92	
	転入届	49	66	免除申請(法定)	11	18	
	転居届	23	29				
	転出届	54	110				
成果	2 被保険者状況						
	第1号被保険者状況 (単位:人)						
	年度 区分	平成30年度	平成29年度				
	年間平均被保険者	1,397	1,478				
	うち 付加年金加入者数	53	49				
	免除者数	609	617				
	20歳到達者	55	56				
成果	法定受託事務である被保険者の資格取得・種別変更届、保険料の免除申請、国民年金の裁定請求等の受付及び進達を日本年金機構仙台東年金事務所と連携を図りながら行った。また、国民年金制度の周知や、経済的な理由等で国民年金保険料を納付することが困難な場合の免除申請についての制度の周知、情報提供に努めた。						
現況 課題 方向性	法定受託事務である国民年金の事務事業として、資格異動届及び保険料免除申請並びに各種給付請求の進達を行い、併せて年金相談業務や年金制度の周知・情報提供を継続して行う。						

一 般 会 計

3 款	1 項	5 目	介護保険対策費				
担当部署名		健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	270,469	270,008	1,386	896			267,726
目的	一般会計から介護保険特別会計への繰り出しを行うことにより、円滑で安定的な介護保険制度の運営を図る。 また、低所得者世帯を対象に利用者負担を軽減することによって、サービス利用を円滑にする。						
実績	1 介護保険特別会計への繰出金 269,681,000 円						
	【内訳】						
	・ 介護給付費分						200,622,000 円
	・ 地域支援事業分						
	介護予防・日常生活支援総合事業分						4,619,000 円
	包括的支援・任意事業分						5,662,000 円
	・ 低所得者保険料軽減分						2,772,000 円
	・ 職員給与費等分						24,304,000 円
	・ 事務費分						31,702,000 円
	2 利用料の軽減対策						
成果	・ 社会福祉法人等利用者負担軽減措置 特別養護老人ホーム(1施設)						
					利用者数	1 人	
					軽減額	10,776 円	
	・ 訪問介護等利用者負担額軽減措置 訪問介護						
現況 課題 方向性	介護保険特別会計へ法定給付町負担分や必要人件費及び事務費を適切に繰出すことで、介護保険事業を安定的に運営した。 また、社会福祉法人が運営する特別養護老人ホーム等に入所中の低所得者の食費や居住費の利用料の軽減及び訪問介護利用の身体障害者利用負担軽減を実施することで、低所得者の円滑なサービス利用に繋がった。						
	今後も継続的に円滑な介護保険制度の運営を推進していくとともに、利用者負担軽減措置の利用者数が年々減少しているため、対象事業所等に対して改めて制度の周知を図り、円滑な制度活用を推進する。						

一 般 会 計

3	款	1	項	6	目	保健福祉センター管理費					
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班							(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	49,808		47,729					8,690	39,039		
目的	保健福祉センター「どんぐり」を拠点として、町民が健やかに生まれ、健やかに老い、生涯元気で暮らせるよう、健康増進、疾病予防、健康診査等の保健福祉事業を実施する。										
実績	1 保健福祉センター利用状況 (単位:人)										
		各種保健福祉事業他					ふれあいの湯			合計	
		健康増進事業	母子保健事業	地域支援事業	その他	小計	町内	町外	小計		
	4月	87	159	90	284	620	3,485	261	3,746	4,366	
	5月	126	102	48	290	566	2,550	232	2,782	3,348	
	6月	67	144	64	405	680	1,360	97	1,457	2,137	
	7月	158	86	46	268	558	2,899	233	3,132	3,690	
	8月	399	190	34	72	695	3,014	336	3,350	4,045	
	9月	3,251	61	75	227	3,614	2,805	232	3,037	6,651	
	10月	90	161	66	284	601	2,734	220	2,954	3,555	
	11月	200	54	70	290	614	2,795	215	3,010	3,624	
	12月	76	113	52	269	510	2,545	196	2,741	3,251	
	1月	95	45	56	235	431	2,707	224	2,931	3,362	
	2月	181	97	86	262	626	2,852	239	3,091	3,717	
	3月	72	45	100	245	462	2,762	191	2,953	3,415	
	計	4,802	1,257	787	3,131	9,977	32,508	2,676	35,184	45,161	
【保健福祉センターで実施した主要保健福祉事業】											
・健康増進事業 総合健診・健康相談・特定保健指導・30分でE-Styleクラブ・食生活改善推進員育成講習会、他											
・母子保健事業 3～4か月児健診・ハイハイ赤ちゃんセミナー・親子よちよちセミナー・1歳6か月児健診・2歳児歯っぴー健診・2歳6か月児歯科健診・3歳6か月児健診・母子健康手帳交付、他											
・地域支援事業 介護予防事業（まつしま元気塾他）、 地域包括支援センター業務（総合相談業務、権利擁護業務、包括的・継続的ケアマネジメント、他）											
・長寿健康増進事業 健康体操教室											
(次頁へ続く)											
成果	ふれあいの湯については、4月から緊急時の速やかな対応を目的として、60歳以上の方の利用登録を開始した他、10月から福祉の向上として障がい者手帳を所有する町民への5割減免を開始した。また、定期的なメンテナンス及び長期的な施設運用を図るため、10月から保健福祉センターの日曜日閉館、開館時間の1時間短縮を開始した。管理については、空調設備等の修繕を行い、安全と快適さに配慮した施設運営を図った。										
現況課題 方向性	老朽化対策も含めて長期的な視点で施設の運用を図るため、日常から総合的な設備等の点検及び施設管理を行う体制を整える。また、修繕については年次計画を精査して順次実施し、引き続き町民の身近な施設として安全な施設管理に努める。										

3	款	1	項	6	目
---	---	---	---	---	---

2 ふれあいの湯利用状況（再掲）

単位：人

	町 内						町 外				計	入浴料 (円)
	60歳 以上		高校生 ～59歳		中学生 以下	小計	高校生 以上	小・中 学生	乳幼児	小計		
	減免 無し	減免 有り	減免 無し	減免 有り								
H30年度	26,676	777	4,058	91	906	32,508	2,536	98	42	2,676	35,184	4,522,300
H29年度	32,133	—	5,125	—	1,127	38,385	2,859	111	85	3,055	41,440	5,404,100
H28年度	34,431	—	4,884	—	1,247	40,562	3,462	96	85	3,643	44,205	5,823,900

※平成30年度より障がい者手帳を所有する町民に対し、ふれあいの湯使用料5割減免を実施（減免額：86,800円）

【ふれあいの湯利用登録状況】

- ・60歳以上の方の利用登録 561 人（うち、町内532人、町外29人）
- ・障がい者の利用登録 14 人（うち、60歳未満2人）

3 松島長松園デイサービスセンター利用状況

- ・指定管理期間 平成27年4月1日～令和2年3月31日（5年間）
- ・指定管理者 社会福祉法人 千賀の浦福祉会

	年間活動日数（日）	延べ人数（人）	1日平均利用人数（人）
平成30年度	244	6,954	28.5
平成29年度	243	6,789	27.9
平成28年度	243	6,631	27.3

実績

4 保健福祉センター修繕等の状況

【修繕】

- ・受水槽修繕 95,040 円
- ・昇温一次ポンプ修繕 896,400 円
- ・膨張タンク修繕 918,000 円
- ・空調機修繕 3,406,320 円
- ・浴室送風機修繕 231,120 円
- ・給湯管漏水修繕 35,640 円
- ・ウォシュレット等修繕 253,800 円
- ・トップライト硝子修繕 491,400 円
- ・消防用設備修繕 147,744 円
- ・水道子メーター修繕 70,200 円
- ・ろ過消毒装置接続管調整修繕 16,502 円
- ・喫煙室修繕 339,120 円

計 6,901,286 円

【工事】

- ・高圧受電設備更新工事 2,592,000 円

3	款	2	項	1 2	目	児童福祉総務費 児童措置費																								
担当部署名				町民福祉課福祉班							(単位:千円)																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																									
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																					
	551 167,079	535 165,974	51 115,215	25,233			484 25,526																							
目的	児童を養育している保護者を対象に、児童手当を支給することにより家庭における生活の安定に寄与し、次代の社会を担う児童の健全な育成を促す。																													
実績	○ 児童手当の支給（平成30年6月・10月、平成31年2月支払分） 中学校修了前までの児童を養育するものに支給される。 ・ 支給額（月額） 3歳未満 一律 15,000 円 3歳以上小学校修了前 - 第1子 10,000 円 - 第2子 10,000 円 - 第3子以降 15,000 円 - 中学生 一律 10,000 円 - 特例給付 一律 5,000 円 <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th>年 度</th><th>3歳未満 受給者 (人)</th><th>3歳以上 小学校修了前 受給者 (人)</th><th>小学校修了後 中学校修了前 受給者 (人)</th><th>支 給 額 (円)</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平成 2 8 年度</td><td>625</td><td>1,646</td><td>853</td><td>168,640,000</td></tr> <tr> <td>平成 2 9 年度</td><td>597</td><td>1,581</td><td>838</td><td>166,015,000</td></tr> <tr> <td>平成 3 0 年度</td><td>623</td><td>1,541</td><td>818</td><td>165,850,000</td></tr> </tbody> </table>										年 度	3歳未満 受給者 (人)	3歳以上 小学校修了前 受給者 (人)	小学校修了後 中学校修了前 受給者 (人)	支 給 額 (円)	平成 2 8 年度	625	1,646	853	168,640,000	平成 2 9 年度	597	1,581	838	166,015,000	平成 3 0 年度	623	1,541	818	165,850,000
年 度	3歳未満 受給者 (人)	3歳以上 小学校修了前 受給者 (人)	小学校修了後 中学校修了前 受給者 (人)	支 給 額 (円)																										
平成 2 8 年度	625	1,646	853	168,640,000																										
平成 2 9 年度	597	1,581	838	166,015,000																										
平成 3 0 年度	623	1,541	818	165,850,000																										
成果	中学校修了前の児童を養育している保護者に児童手当を年3回（6月、10月、2月）支給し、子育て世帯の生活の安定及び児童の健全な育成に寄与できた。																													
現況課題方向性	少子化が問題となっている現在、子育てしやすい環境づくりが喫緊の課題となっており、児童手当の支給はその一助となっている。今後も、適正な給付に努め、子育て世帯の生活の安定を図っていく必要がある。現況届未提出が若干いるため、次年度は100%提出を目指したい。 また、平成30年6月から寡婦(夫)控除のみなし適用が運用されたことにより、ひとり親家庭で児童手当を支給している方に対して、今後も制度の周知等を適正に行っていく。																													

一 般 会 計

3	款	2	項	3	目	保育所費																																					
担当部署名				町民福祉課こども支援班					(単位:千円)																																		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	228, 181		222, 545		560	8, 739		49, 697	163, 549																																		
目的	仕事等で日中、子どもの保育が出来ない親に替わり保育を行い、次代の社会を担う子どもの健全育成を図る。また、安全で良好な保育環境整備に努め、子どもを預ける保護者に安心して仕事等に従事してもらえるようにする。																																										
実績	1 通常保育事業																																										
	○ 入所児童状況 (平成31年3月31日現在)																																										
	<table><tr><td>保育所名</td><td>定員 (人)</td><td>保育実児童数 (人)</td><td>年間延保育児童数(人)</td><td>充足率 (%)</td></tr><tr><td>高城保育所</td><td>120</td><td>82</td><td>1, 019</td><td>68. 3</td></tr><tr><td>高城保育所分園</td><td>29</td><td>16</td><td>144</td><td>55. 2</td></tr><tr><td>松島保育所</td><td>60</td><td>58</td><td>675</td><td>96. 7</td></tr><tr><td>磯崎保育所</td><td>60</td><td>54</td><td>672</td><td>90. 0</td></tr><tr><td>計</td><td>269</td><td>210</td><td>2, 510</td><td>78. 1</td></tr></table>									保育所名	定員 (人)	保育実児童数 (人)	年間延保育児童数(人)	充足率 (%)	高城保育所	120	82	1, 019	68. 3	高城保育所分園	29	16	144	55. 2	松島保育所	60	58	675	96. 7	磯崎保育所	60	54	672	90. 0	計	269	210	2, 510	78. 1				
	保育所名	定員 (人)	保育実児童数 (人)	年間延保育児童数(人)	充足率 (%)																																						
	高城保育所	120	82	1, 019	68. 3																																						
高城保育所分園	29	16	144	55. 2																																							
松島保育所	60	58	675	96. 7																																							
磯崎保育所	60	54	672	90. 0																																							
計	269	210	2, 510	78. 1																																							
2 (特別) 延長保育事業																																											
保護者の就労形態の多様化に対応するため、4保育所で午前7時30分から午後6時まで延長保育を実施した。更に高城保育所においては、それでも対応できない保護者のために午前7時から午後7時まで特別延長保育を実施した。																																											
	○ 延長保育 (4保育所) (単位:人)																																										
	<table><tr><td colspan="2"></td><td>高城保育所</td><td>高城保育所分園</td><td>松島保育所</td><td>磯崎保育所</td></tr><tr><td colspan="2">入所児童数 (月平均)</td><td>85</td><td>12</td><td>57</td><td>56</td></tr><tr><td rowspan="2">延長保育 児童数 (延べ)</td><td>7:30～ 8:00</td><td>6, 521</td><td>216</td><td>2, 883</td><td>3, 130</td></tr><tr><td>16:00～18:00</td><td>13, 714</td><td>936</td><td>7, 805</td><td>9, 874</td></tr><tr><td rowspan="2">一日平均 児 童 数</td><td>7:30～ 8:00</td><td>22</td><td>3</td><td>10</td><td>11</td></tr><tr><td>16:00～18:00</td><td>47</td><td>13</td><td>27</td><td>34</td></tr></table>											高城保育所	高城保育所分園	松島保育所	磯崎保育所	入所児童数 (月平均)		85	12	57	56	延長保育 児童数 (延べ)	7:30～ 8:00	6, 521	216	2, 883	3, 130	16:00～18:00	13, 714	936	7, 805	9, 874	一日平均 児 童 数	7:30～ 8:00	22	3	10	11	16:00～18:00	47	13	27	34
		高城保育所	高城保育所分園	松島保育所	磯崎保育所																																						
入所児童数 (月平均)		85	12	57	56																																						
延長保育 児童数 (延べ)	7:30～ 8:00	6, 521	216	2, 883	3, 130																																						
	16:00～18:00	13, 714	936	7, 805	9, 874																																						
一日平均 児 童 数	7:30～ 8:00	22	3	10	11																																						
	16:00～18:00	47	13	27	34																																						
	○ 特別延長保育 (高城保育所) (単位:人)																																										
	<table><tr><td>実保育児童数</td><td colspan="2">7:00～7:30</td><td colspan="2">18:00～19:00</td></tr><tr><td rowspan="2">25</td><td>延べ児童数</td><td>一日平均児童数</td><td>延べ児童数</td><td>一日平均児童数</td></tr><tr><td>2, 261</td><td>7. 7</td><td>3, 317</td><td>11. 3</td></tr></table>									実保育児童数	7:00～7:30		18:00～19:00		25	延べ児童数	一日平均児童数	延べ児童数	一日平均児童数	2, 261	7. 7	3, 317	11. 3																				
実保育児童数	7:00～7:30		18:00～19:00																																								
25	延べ児童数	一日平均児童数	延べ児童数	一日平均児童数																																							
	2, 261	7. 7	3, 317	11. 3																																							
	(次頁へ続く)																																										
成果	保護者が安心して保育所に預けることができるよう、入所児童の安全確保と健康に留意した保育を行った。また、延長保育事業を行うことで様々な就労形態に対応した。さらに、保育所利用がない保護者に対し、入院等の緊急時への対応や育児疲れ等に対応するため、一時預かりを事業を行った。 保育士派遣業務委託では不足している保育士、及び近年増えている支援が必要な児童に対応するため保育補助を確保し、入所児童の安全確保と保育士の負担軽減を図った。																																										
現況 課題 方向性	子育て世帯の核家族化や就労を希望する保護者の増加により、3歳未満児の保育所利用希望者が増加している。また、施設の面積不足及び保育士不足が原因となり、年度当初から3歳未満児の待機児童が生じた。施設も35年以上経過していることから老朽化が著しく、子ども達の生活に影響が出ることが懸念される。 保育士不足や待機児童及び保育所の老朽化に対応するためにも、現在進めている保育所・幼稚園の再編及び認定こども園化を早急に進めていく。																																										

3	款	2	項	3	目
---	---	---	---	---	---

3 一時預かり事業

磯崎保育所において、保護者の就労・職業訓練等で保育が断続的に困難な時、入院・通院・出産・介護・冠婚葬祭等の緊急の時、保護者の育児疲れ等のリフレッシュ・ボランティア活動・学校行事等を理由とした、1歳から就学前までの乳幼児を一時的に預かる事業として実施した。

○利用実績（利用延べ人数・年齢別延べ人数）（単位：人）

登録児童数	利用児童数		利用年齢				
	半日	1日	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
18	44	124	70	68	29	0	1

○利用料金

世帯区分	半日利用	1日利用	給食利用
生活保護法による被保護世帯	0円	0円	300円
上記以外の世帯	1,000円	2,000円	300円

4 施設等修繕

2,307,964 円

- ・松島保育所内部扉修繕
- ・松島保育所冷暖房機器修繕
- ・高城保育所遊具修繕
- ・高城保育所トイレ修繕
- ・磯崎保育所修繕業務 等

実績

5 委託料

21,891,884 円

- ・給食栄養管理業務委託
- ・保育士派遣業務委託 等

一 般 会 計

3	款	2	項	4	目	母子福祉費																			
担当部署名				町民福祉課福祉班					(単位:千円)																
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	3,134		2,771			1,289			1,482																
目的	母子父子家庭に医療費を助成することにより、経済的負担を軽減し、生活の質を高める。また、母子福祉協議会へ補助金を交付し、母子家庭の支援や相談援助の充実を図る。																								
実績	1 母子父子家庭医療費助成事業																								
	○ 助成対象者 ・ 母子・父子家庭の18歳の年度末までの児童 ・ 母子家庭の母、父子家庭の父 ・ 父母のいない18歳の年度末までの児童																								
	<table><tr><td>年 度</td><td>対象者数 (人)</td><td>助成件数 (件)</td><td>助成額 (円)</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>335</td><td>873</td><td>2,596,486</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>314</td><td>878</td><td>2,857,700</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>307</td><td>788</td><td>2,579,849</td></tr></table>									年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)	平成28年度	335	873	2,596,486	平成29年度	314	878	2,857,700	平成30年度	307	788	2,579,849
年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)																						
平成28年度	335	873	2,596,486																						
平成29年度	314	878	2,857,700																						
平成30年度	307	788	2,579,849																						
	※対象者数は、各年度10月1日現在																								
	2 福祉団体等に対する補助事業																								
	・ 松島町母子福祉協議会 27,000 円 母子寡婦福祉事業及び行事を実施し、母子家庭の暮らしに対する相談、支援を充実し、母子家庭の母子が地域において安心して暮らすことができるように努めた。																								
成果	母子父子家庭にかかる医療費の一部を助成することにより、当該家庭における適正な医療機関受診の機会を確保した。また、母子福祉協議会に補助金を交付することにより、会員の母子寡婦福祉事業、各種行事への参加が促され、母子福祉の充実向上に寄与した。																								
現況 課題 方向性	医療費の助成は、母子父子家庭の経済的負担の軽減に寄与しており、生活の安定と児童の健全育成に資するものであるため、今後も県の補助金を活用して継続的に実施していく。また、今後も病院窓口への申請書の提出忘れがないよう周知を図っていく。 母子福祉協議会活動について検証し、母子家庭への支援がより充実するよう指導していく。																								

一 般 会 計

3	款	2	項	5	目	子ども医療対策費																			
担当部署名				町民福祉課福祉班				(単位:千円)																	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																
	48,804		48,226			6,471			41,755																
目的	子どもの医療費を助成することにより、医療機会を確保し、経済的安定と福祉の向上に努める。また、経済的負担を軽減することにより、少子化対策の一助を担うことを目標とする。																								
実績	○ 子ども医療費助成事業 ・ 助成対象年齢 通院・入院 0歳から18歳に達する年度末まで ・ 助成実績 <table><tr><td>年 度</td><td>対象者数 (人)</td><td>助成件数 (件)</td><td>助成額 (円)</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>1,796</td><td>19,910</td><td>43,461,143</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>1,759</td><td>22,676</td><td>48,403,193</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>1,710</td><td>23,595</td><td>46,989,380</td></tr></table> ※対象者数は、各年度10月1日現在									年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)	平成28年度	1,796	19,910	43,461,143	平成29年度	1,759	22,676	48,403,193	平成30年度	1,710	23,595	46,989,380
年 度	対象者数 (人)	助成件数 (件)	助成額 (円)																						
平成28年度	1,796	19,910	43,461,143																						
平成29年度	1,759	22,676	48,403,193																						
平成30年度	1,710	23,595	46,989,380																						
成果	入通院とも対象年齢を18歳までとして医療費の一部負担金を助成することにより、子どもの医療機関受診の機会が確保され、子育て世帯における経済的負担の軽減が図られた。																								
現況 課題 方向性	入通院ともに対象年齢を18歳までとすることにより医療機会の確保が図られ、子どもの福祉向上と経済的負担の軽減が図られている。																								

一 般 会 計

3	款	2	項	6	目	子育て支援事業費																							
担当部署名				町民福祉課こども支援班				(単位:千円)																					
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																								
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																				
	14,983		13,164		5,321	4,591		17	3,235																				
目的	子育て支援事業により、親子が安心して遊ぶことができる居場所を提供し、同年代の子どもを持つ家庭同士の交流支援を行う。また、子育てに関する情報提供や、安心して楽しく子育てができる母親等への相談事業、子育て家庭への育児支援、各種育児講座、親子向けの教室やファミリー・サポート・センター事業を実施し、子育て支援の充実を図る。発達の気になる子を持つ保護者への支援を図るため、子どもの発達相談や支援体制の構築及び指導者の育成を行う。																												
実績	1 各種相談事業																												
	<table><tr><td>分 類</td><td>実施回数(回)</td><td>利用者 (人)</td></tr><tr><td>巡回心理相談</td><td>12</td><td>125</td></tr><tr><td>電話相談</td><td>8</td><td>8</td></tr><tr><td>訪問相談</td><td>73</td><td>177</td></tr><tr><td>来館相談</td><td>39</td><td>39</td></tr><tr><td>発達相談 (子育てひろば)</td><td>8</td><td>61</td></tr><tr><td>計</td><td>140</td><td>410</td></tr></table>									分 類	実施回数(回)	利用者 (人)	巡回心理相談	12	125	電話相談	8	8	訪問相談	73	177	来館相談	39	39	発達相談 (子育てひろば)	8	61	計	140
分 類	実施回数(回)	利用者 (人)																											
巡回心理相談	12	125																											
電話相談	8	8																											
訪問相談	73	177																											
来館相談	39	39																											
発達相談 (子育てひろば)	8	61																											
計	140	410																											
	2 仲間づくり支援事業																												
	<table><tr><td>事 業 名</td><td>実施回数 (回)</td><td>参加者 (人)</td></tr><tr><td>あそびの広場 (自由来館)</td><td>292</td><td>5,382</td></tr><tr><td>計</td><td>292</td><td>5,382</td></tr></table>									事 業 名	実施回数 (回)	参加者 (人)	あそびの広場 (自由来館)	292	5,382	計	292	5,382											
事 業 名	実施回数 (回)	参加者 (人)																											
あそびの広場 (自由来館)	292	5,382																											
計	292	5,382																											
(次頁へ続く)																													
成果	親子教室には多くの親子が参加し、親同士の交流の場となっている。各種イベント事業には小学生の参加の他、ボランティアとして中・高校生の参加も多く、異年齢間の交流を図ることができた。 ファミリー・サポート・センター事業については、利用会員が固定化され、活動する協力会員も偏る傾向になっている。 要保護児童対策地域協議会は、幼稚園、保育所、小学校、中学校との情報交換会を密にし、現在抱えている問題の状況確認や新たなケースの掘り起こしに努め、また、各関係機関と連携し問題を抱える家庭についてのケース会議を開催した。 平成29年度まで県と連携して行ってきた発達障害児支援開発事業については、平成30年度から町の単独事業として実施し、これまでの研修等でスキルを磨いた幼稚園教諭や保育士が、障がい児を抱える家庭への支援を図るとともに、職員相互の質の向上に努めた。 子ども・子育て支援計画(第二期)策定のため、小学生以下の子どもがいる世帯へのアンケート調査を行い、保育や子育て環境のニーズの把握を行った。																												
現況 課題 方向性	子育て支援事業及びファミリー・サポート・センター事業では、指定管理者制度を導入し、民間事業者の豊富な知識や柔軟な発想により、事業の更なる充実と参加者の増加を図っていく。特にファミリー・サポート・センター事業については、協力会員の人数を増やすための取組として、広報の充実や講座開催の頻度を増やす等していく。 要保護児童家庭は、今後も児童相談所等関係機関との連携を密にし、子どもたちに事件・事故がないよう、見守りの強化や早期発見に努める。																												

3 親子教室関係

教 室 名	実施回数(回)	参加者 (人)
読み聞かせの会	11	434
リズム遊びの会	6	190
なかよし教室 (いちご組)	12	353
計	29	977

4 ファミリー・サポート・センター事業

- ・ 利用会員 54 人
- ・ 協力会員 6 人
- ・ 支援活動回数 28 回

5 各種イベント事業

事 業 名	回数 (回)	参加者(人)
こどもまつり	1	151
ハロウィンパーティー	1	73
クリスマス会	1	47
3B体操	1	29
親子ベビーヨガ	2	48
豆まき会	1	47
ピノキオさんの人形劇を観よう会	1	34
計	8	429

(参加者は、保護者と子どもの人数)

実績

6 社会全体の子育てへの関心を高めるための取り組み

事 業 名	回数 (回)	備考
児童館だよりの発行	12	毎月5,700部 (全戸配布)
育児サークル支援	2	48

※ 広報誌に児童館だよりを掲載

7 子ども虐待防止事業 (要保護児童対策地域協議会関係)

事 業 名	実施回数 (回)	参加者 (人)
代表者会議	1	24
実務者会議	1	25
ケース会議	2	26
情報交換会	2	20
計	6	95

(次頁へ続く)

8 障がい児等育児支援

事業名	実施回数(回)	利用者(人)
親の会定例会 (いるかの会)	12	82
希望園に行ってみよう会	8	16
発達相談 (子育てひろば)	8	61
発達障害児支援 (のびっこクラブ)	10	118
計	38	277

9 子育てボランティア協力・育成事業 ※ () 内は延べ人数

事業名	実施回数(回)	活動者数(人)
人形劇サークル	1	11 (11)
読み聞かせの会	11	6 (37)
こどもまつり	1	19 (19)
合 計	13	36 (67)

10 子ども・子育て会議

・ 委員報酬 2回開催 127,500 円

実績

11 委託料

・ 子ども・子育て支援システム保守業務委託 583,200 円
 ・ 子育て支援ホームページ保守管理業務委託 732,240 円
 ・ 子ども・子育て支援事業計画(第二期)策定等業務委託 2,160,000 円

12 施設型給付費

・ 宮城県仙台市エスパルキッズ保育園 1,620,030 円
 ・ 宮城県大和町たいわっこ保育園 1,357,240 円
 ・ 秋田県羽後町たしろこども園 479,530 円
 ・ 宮崎県岩崎保育園 等 286,150 円

一 般 会 計

3 款	2 項	7 目	児童福祉施設費				
担当部署名		建設課管理班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,881	1,816					1,816
目的	地域児童の遊び場、コミュニティの場として安全かつ健全な公園環境を提供するため、維持管理を行う。						
実績	○ 児童公園（22箇所）の維持管理 1 需用費（修繕料） 382,320 円 ・ 夕陽が丘児童公園修繕（ブランコ） 163,080 円 ・ 華園児童公園修繕（ブランコ） 219,240 円 2 役務費（手数料） 152,496 円 ・ 除草した草・剪定樹木の処理料 131,760 円 ・ し尿汲取料 4,536 円 ・ 華園児童公園排水管高圧洗浄料 16,200 円 3 委託料 740,562 円 ・ 児童公園公衆便所清掃業務委託（11箇所 月1回実施） 287,280 円 ・ 児童公園遊具定期点検業務委託（21箇所 年1回実施） 335,880 円 ・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施） 31,002 円 ・ くぬぎ台児童公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施） 86,400 円						
成果	児童公園2箇所の遊具修繕を実施したことにより、遊具事故を未然に防ぎ児童が安心して遊べる場の提供を行い健全育成に寄与した。また、公園内の草刈りや清掃活動については、地域住民の協力を得ながら公園環境の整備が図られた。						
現況 課題 方向性	児童が安心して利用できるよう遊具点検・修繕を行い適切に維持管理を行っているが、今後、遊具の撤去や新設を含め、中長期的には児童公園の統廃合についても関係各課と連携を図りながら検討していく。						

一 般 会 計

3	款	2	項	8	目	児童館費									
担当部署名				町民福祉課こども支援班										(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳										
					国庫支出金	県支出金		地方債		その他		一般財源			
	25,735		20,802		3,571	3,571				2,157		11,503			
目的	地域の児童健全育成及び子育て支援の拠点となる児童館は、子どもたちに健全な遊びの場を提供し、子どもたちの自主性や創造性などを育みながら、ルールを守ることの大切さや挑戦する意欲を育てることを目的とする。また、留守家庭児童学級は、放課後保護者のいない家庭の児童を対象に、児童の健全な育成の向上を図ることを目的とする。														
	1 児童館														
	・年間利用者数 (単位:人)														
	内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
	小学生	340	213	251	263	300	179	253	215	197	96	184	304	2,795	
	中学生	23	21	14	21	33	6	17	16	8	3	16	7	185	
	高校生	2	1	0	9	4	0	11	0	28	4	0	2	61	
	一般	24	13	21	17	4	27	39	10	31	12	20	12	230	
	相談	6	4	3	6	4	6	6	2	3	2	1	4	47	
	合計	395	252	289	316	345	218	326	243	267	117	221	329	3,318	
	・各種イベント事業														
事業名		回数(回)						参加者(人)							
こいのぼり制作		1						64							
おやつクッキング		1						25							
みんなで書こう		1						12							
スミセイアフタースクール(外科医)		1						35							
お月見お話し会		1						14							
芋煮会		1						75							
フラワーアレンジメント		1						15							
ダンボールで遊ぼう		1						16							
バレンタインクッキング		1						9							
ひなまつり会		1						12							
こどもまつり		1						112							
ハロウィンパーティー		1						67							
クリスマス会		1						57							
計		13						513							
(参加者:小中学生の人数)															
(次頁へ続く)															
成果	児童館が開館して4年目になり、子どもたちの居場所として定着してきた。また、新規利用者が増え、新たな保護者同士の交流が図られた。 各種イベント事業では、工夫を凝らした内容で実施することにより、多くの子どもや保護者の参加があり、更なる相互交流を図ることができた。 留守家庭児童学級は、児童の安全に配慮し大きな事故等がなく過ごすことができた。また、支援員が研修等に参加することにより、資質向上を図ることができた。														
現況課題 方向性	広報紙をはじめ子育て支援ホームページ、フェイスブック等を活用した情報発信により、新たな利用者が増えていることから、今後も最新の情報の更新を図っていく。 児童館においては、年間を通して季節を感じることができるイベントを開催し、多くの子どもたちの参加があり好評を得ている。イベントには多くのボランティアの協力があって成り立っているため、継続して各種団体、中学校、高校との連携を図っていく。 留守家庭児童学級は、安全で安心な学級づくりを継続し、支援員の更なる質の向上を図るため研修会等への参加を促進する。 今後は、指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを生かした児童館及び留守家庭児童学級の運営を行う。														

3	款	2	項	8	目
---	---	---	---	---	---

2 留守家庭児童学級

・ 学級児童数（平成31年3月31日現在）（単位：人）

施設名	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
松島第一小学校（たんぼぼ学級）	27	13	7	5	0	0	52
松島第二小学校（ひまわり学級）	4	11	7	1	4	0	27
松島第五小学校（どんぐり学級）	3	5	3	5	0	1	17
計	34	29	17	11	4	1	96

※実施場所

一小：児童館（土曜・長期休業は合同学級）

二小：学校内

五小：品井沼農村環境改善センター

・ 年間利用児童数及び開設日数

上段：延べ利用児童数（単位：人）

下段：開設日数（単位：日）

施設名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	724	823	833	831	637	746	910	770	678	545	656	709	8,862
（たんぼぼ学級）	23	24	25	25	26	23	25	22	23	23	22	25	286
松島第二小学校	379	398	338	384	349	310	414	369	265	236	432	300	4,174
（ひまわり学級）	14	20	19	14	5	18	21	20	15	17	18	15	196
松島第五小学校	216	251	226	186	119	177	233	227	149	159	190	187	2,320
（どんぐり学級）	20	21	19	21	18	18	22	20	19	17	18	21	234
計（児童数）	1,319	1,472	1,397	1,401	1,105	1,233	1,557	1,366	1,092	940	1,278	1,196	15,356

実績

一 般 会 計

4	款	1	項	1	目	保健衛生総務費										
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳											
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源							
	64,331		63,420			792		411	62,217							
目的																
町民が生涯にわたり、安心して健康的な生活ができるように、保健・医療・福祉の連携を図りながら、各ライフサイクルにあった健康プランの推進に努める。																
実績	1 休日昼夜間診療 (単位:人)															
	市町名		松島町		東松島市		その他		計							
	年度															
	平成30年度		389 (73.7%)		37 (7.0%)		102 (19.3%)		528 (100.0%)							
	平成29年度		479 (75.1%)		53 (8.3%)		106 (16.6%)		638 (100.0%)							
	・負担金 6,750,000 円															
	2 塩釜地区休日急患診療 (単位:人)															
	市町名		松島町		塩竈市		多賀城市		七ヶ浜町		利府町		その他		計	
	年度															
	平成30年度		日曜日・祝日 158 (4.6%)		981 (28.5%)		1,166 (33.9%)		165 (4.8%)		598 (17.4%)		376 (10.9%)		3,444 (100.0%)	
		土曜日 準夜帯 15 (4.4%)		95 (27.9%)		150 (44.0%)		21 (6.2%)		47 (13.8%)		13 (3.8%)		341 (100.0%)		
平成29年度		日曜日・祝日 146 (4.1%)		1,014 (28.5%)		1,199 (33.7%)		213 (6.0%)		615 (17.3%)		372 (10.5%)		3,559 (100.0%)		
		土曜日 準夜帯 31 (6.3%)		134 (27.2%)		175 (35.6%)		35 (7.1%)		75 (15.2%)		42 (8.5%)		492 (100.0%)		
・分担金 1,276,957 円										(次頁へ続く)						
成果																
町民の安心・安全な暮らしを支援し、適時に必要な救急医療が受けられるよう、休日及び夜間の医療提供体制を確保するとともに、救急医療機関の適切な利用について普及啓発した。 塩釜地区歯科口腔保健センター整備事業について事業費の補助を行い、地域の歯科口腔保健の拠点として体制が整えられた。 子どもや働き盛り世代、高齢者といった幅広い世代の町民に対して食生活を通じた健康づくりを推進し、生活習慣病予防のための食事や食育を地域で普及するため、食生活改善推進委員会の地区組織活動を支援した。 町民の健康保持・増進を推進するため、関係機関及び各種団体等と連携を図り、協働して保健事業を実施した。また、国の自殺総合対策大綱をふまえ、県の自死対策計画との整合性を図るとともに、庁舎内ネットワークを構築し自死対策計画を策定した。																
現況 課題 方向性																
1 松島町、東松島市、松島病院との協定により、町民の救急医療を確保するため、休日の昼夜間診療を継続して実施する。 2 塩釜地区休日急患診療センターにおいて、医療が適切に提供される体制を今後も確保して、町民の地域医療に対する安心と信頼に寄与する。 3 塩釜歯科医師会口腔保健センターにおいて地域の歯科保健医療体制が整備されたことにより、町民の歯科保健サービスの充実が図られる。 4 うす味定着化推進のための家庭訪問や生活習慣病予防のための講習会など、地域における食生活改善推進委員会の活動を通して、町全体の食生活改善や食育の普及を推進する。 5 町広報誌への掲載や若年者に対する献血協力確保のための「はたちの献血キャンペーン」など、献血の普及・啓発活動を通して、宮城県赤十字血液センターと連携を行いながら、必要献血者数の確保に努める。 6 庁舎内ネットワーク、関係機関、地域とのネットワークを強化し、心の健康サポーターなど自死対策を支える人材を育成しながら、自死対策を推進する。																

4 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

3 塩釜地区休日救急歯科診療

(単位：人)

市町名 年度	松島町	塩竈市	多賀城市	七ヶ浜町	利府町	その他	計
平成30年度	11 (2.6%)	134 (32.2%)	147 (35.3%)	48 (11.5%)	31 (7.5%)	45 (10.8%)	416 (100.0%)
平成29年度	18 (4.8%)	111 (29.6%)	123 (32.8%)	48 (12.8%)	37 (9.9%)	38 (10.1%)	375 (100.0%)

- ・ 分担金 279,006 円
- ・ (仮称)塩釜地区歯科口腔保健センター整備事業補助金 1,630,000 円

4 食生活改善推進事業補助金

130,000 円

事業名	回数 (回)	参加人数 (人)
食生活改善講習会	2	55
食育推進事業	1	130
おやこの食育教室	1	45
生涯骨太クッキング事業	8	127
うす味定着化事業	各地区	182
肥満予防講習会	8	167
適塩推進スキルアップ事業(家庭訪問)	1	28
集会による伝達活動	175	2,227
対話・訪問による伝達活動	593	3,605
計	—	延べ 6,566

5 献血推進事業補助金

200,000 円

(献血実施状況)

献血種別	採血目標 (人)	献血受付者数 (人)	採血者数 (人)	不採血者数 (人)	構成比 (%)	達成率 (%)
全血献血 (200ml)	3	132	5	9	4.1	166.7
全血献血 (400ml)	213		118		95.9	55.4
計	216	132	123	9	100.0	56.9

※不採血理由：比重不足、服薬中、血管細、欠食、他

6 自殺対策緊急強化事業

自殺対策計画の策定にあたり、庁舎内ネットワークの構築、関係機関及び地域とのネットワークの強化を図った。また、心の健康に関するアンケート調査結果を基に町の目指すべき目標と方向性を明らかにし、計画を策定した。

事業名	実施状況
いのち支える自死対策ネットワーク事業	庁内戦略会議等各種関係機関との協議会の開催(6回)、いのち支える自殺対策ネットワーク事業研修会(1回)、心の健康に関する住民アンケートの実施、関係事業の棚卸し及び相談機関一覧の作成
民間賃貸住宅入居者等健康相談	訪問相談：69件、電話相談：2件、メール相談：2件、(みやぎ心のケアセンターの医師、保健師、精神保健福祉士の支援により実施)
心の健康サポーターフォローアップ研修会	養成講座修了者を対象に地域における支援者となるための研修を実施(2回、56人)
精神保健福祉ネットワーク研修会	関係機関が連携してメンタルヘルス事業に取り組むための研修を実施(1回、43人)
メンタルチェックシステム (こころの体温計)	パソコンやスマートフォン等を活用し、自身や家族のストレスや落ち込み等の精神状態をセルフチェックするシステムを導入 ※アクセス数：6,594件(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

実績

一 般 会 計

4	款	1	項	2	目	予防費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	69,664		68,501		124	1,168		10,386	56,823	
目的		生涯にわたって健やかな生活を送るための健康が確保されるよう、日常生活における個人の視点を重視した保健・栄養指導を実施し、町民の主体的な健康づくりを支援する。								
実績		1 予防接種事業 予防接種法に基づく定期接種を実施するため、生後1か月の乳児に対し予防接種手帳を交付し、新生児訪問指導や各種乳幼児健診、就学時健診等の機会に周知を図った。未接種者に対しては、個別通知や広報等により接種勧奨を行った。								
		○ 定期予防接種事業								
		種 類	対象者(人)	接種者 (人)	終了率 (%)	対象者				
		B型肝炎	77	73	94.8	平成29年4月～平成30年3月生				
		ヒブ(注)	83	83	100.0	3歳児				
		小児肺炎球菌(注)	83	83	100.0	3歳児				
		四種混合(注)	78	74	94.9	4歳児				
		BCG	74	78	105.4	1歳未満の者				
		二種混合	194	143	73.7	11歳～12歳				
		麻しん風しん混合1期	69	67	97.1	生後12月から24月未満				
		麻しん風しん混合2期	77	73	94.8	H30年度就学予定の5歳以上7歳未満				
		水痘	166	141	84.9	生後12月から36月未満				
日本脳炎Ⅰ期	101	73	72.3	90月(7歳5か月)						
高齢者肺炎球菌ワクチン	944	283	30.0	65歳以上で5歳刻みの者。過去に1度も接種していない者						
高齢者インフルエンザ	5,324 ※うち申込者 3,772	3,037	57.0 ※うち申込者 80.5	65歳以上の者及び60歳以上65歳未満の者で心臓、腎臓、呼吸器機能に障害を有する者。町外施設入所者に対し、償還払いによる費用助成11人を含む。						
		(注) 標準接種年齢で表記								
		(次頁へ続く)								
成果		予防接種法や健康増進法に基づく予防接種及び各種健(検)診、一次予防に重点をおいた健康づくり事業を実施し、生活習慣病予防や重症化予防を推進するとともに、町民が主体的に健康づくりに取り組むよう健康に関する情報の提供や健康学習の機会の充実を図った。 松島町健康プランの中間評価を実施し、現状と課題から目標項目及び目標値を見直し、より効果的な取組についての検討を行った。 また、運動習慣の定着化に向け、歩数や消費エネルギーを表示したウォーキングマップ西部編を作成・配布するとともに、だれもが気軽に運動を実践できるよう運動の体験や実技を取り入れた教室を実施した。その結果、腰痛・膝痛の解消や軽減等の効果がみられ、参加者の生活習慣の改善や運動の習慣化につながった。予防接種は、今年度全国的な風しんの流行に伴い、風しんの予防接種費用助成について周知を行った。								
現況 課題 方向性		1 麻しん風しんワクチンの接種について、引き続き乳幼児健診等で接種勧奨するとともに、未接種者には再通知するなど目標達成が継続できるよう取り組む。 2 40～50歳代の働き盛り世代のがん検診受診率向上のため、受診勧奨はがきを送付すると共に、乳がん検診及び子宮がん検診のクーポン券対象者にはがん検診を受けるきっかけづくりとして、啓発用パンフレットを送付する。また、広報やホームページ、ポスター等の周知方法の見直しや休日健診や追加健診の実施により受診率向上を図る。 3 HbA1cが保健指導判定以上の割合や糖尿病受療率が県内でも上位である。健康プラン中間評価の結果から、「栄養・食生活」「歯と口腔の健康」など改善された項目はあったが、運動習慣や飲酒、喫煙等については目標を達成していないため、糖尿病の重症化予防とあわせて重点的に取り組む必要がある。 4 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組を推進し、フレイル予防や転倒・骨折予防を図るため、運動の実技指導や生活改善指導を実施し、健康寿命の延伸を目指す。								

※ 日本脳炎ワクチンは平成17年から平成21年度まで接種を見合わせていたため、その間に接種の機会を逃していた方について、個別通知による接種勧奨を行った。平成30年度の接種者は、1期286人、2期111人であった。

※ 子宮頸がん予防ワクチンについては、平成30年度の接種者は0件であった。（積極的接種勧奨見合わせのため）

○ 任意予防接種事業

- ・ 風しんワクチン接種費用助成事業

19歳から49歳までの男女、妊婦の配偶者を対象に通年で実施し、49人に助成した。
（男20人、女29人）

2 健康診査事業

健康増進法、各種がん対策基本法に基づき各種健（検）診を実施した。広報、ホームページ、フェイスブックによる周知、乳幼児健診、各種保健事業、各種イベント等において健診の案内を行った。また、健診未受診者に対し、追加健診に向けたハガキ等による受診勧奨を行い、受診率向上に努めた。

○ 各種健（検）診受診状況

内訳 検診名	平成30年度			平成29年度		
	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)
結核・肺がん検診	5,787	2,304	39.8	5,951	2,347	39.4
子宮がん検診 (※1)	3,887	1,161	29.9	4,012	1,162	29.0
胃がん検診	5,453	1,236	22.7	5,643	1,280	22.7
乳がん検診 (※2)	1,603	657	41.0	1,678	628	37.4
大腸がん検診	5,527	1,823	33.0	5,332	1,811	34.0
前立腺がん検診	1,814	481	26.5	1,850	478	25.8
青年健康診査	1,422	215	15.1	1,722	246	14.3
お達者健康診査	2,900	567	19.6	2,696	555	20.6
骨粗しょう症健診 (※3)	670	110	16.4	682	97	14.2
肝炎ウイルス検査	160	30	18.8	167	30	18.0
歯周病検診 (※4)	希望者	31	-	希望者	15	-

各種健診の対象者は、健診申込み者と家族申込み表未提出者とした。ただし、お達者健診については、健診実施日において後期高齢者医療制度加入者全員を対象者とした。

※1 子宮がん検診及び乳がん検診の受診者数は「がん検診推進事業」における無料検診（クーポン券使用）の受診者を含む。

（H30：子宮頸がん検診5人、乳がん検診19人）

※2 乳がん検診は、マンモグラフィー検査・視触診併用方式で実施した。対象者は40歳以上の女性で偶数年齢とした。（40歳以上5,261人中、偶数年齢2,677人）

※3 骨粗しょう症健診対象者以外で、40歳以上の希望者（男性含む）については骨量測定として同じ検査を行った。（537人に対して実施）

※4 歯周病検診の対象を40・50・60・70歳とし、一般社団法人塩釜歯科医師会に委託して実施した。また、総合健診会場では歯周病予防・義歯管理など歯科相談を99人に対して実施した。

○ 申し込み状況

（単位：人）

	申込	病院・職場等 町の検診以外 で受ける	入院・入所 中	寝たきりま たは歩行困 難等	その他 (不備を含 む)	不明(未提出)	計
結核・肺がん検診	2,567	2,937	115	58	972	3,220	9,870
子宮がん検診	1,778	1,117	85	39	1,235	2,109	6,363
胃がん検診	1,627	3,502	116	65	2,053	3,826	11,189
乳がん検診	772	484	36	14	540	831	2,677
大腸がん検診	2,296	2,657	113	52	1,521	3,231	9,870
青年健康診査	294	861	0	1	230	1,128	2,514

（次頁へ続く）

4	款	1	項	2	目
---	---	---	---	---	---

3 健康相談・健康教育実施状況

健康相談事業及び健康教育事業の実施を通して、生活習慣病予防のための健康づくり、運動や食育、歯の健康に関する正しい知識と情報を普及啓発した。

○ 健康増進事業（対象：40～64歳まで）

事業名	回数（回）	参加人数（人）	実施内容
総合健康相談	168	294	個別健康相談
重点健康相談	42	478	病態別・歯周病・骨粗しょう症等の健康相談
集団健康教育	122	1,052	生活習慣病予防、がん予防、一般健康教育

○ 健康教育事業（対象：全年齢）

事業名	回数（回）	参加人数（人）	実施内容
健康まつり	1	210	健康・たばこ・アルコール・運動・食育コーナー、パネル展示
まっしらの食育応援隊	5	155	食に関する体験や講話、地場産品を使用した調理実習
食生活改善推進員育成事業	10	245	講話及び実技研修、調理実習（食生活改善推進員数34人）
地区栄養教室	16	294	健康講話、調理実習、健康相談、軽体操（各地区年2回実施）
ノルディックウォーキング教室	5	69	ノルディックウォーキングの実技指導
30分でE-Styleクラブ	47	237	生活習慣病予防のための講話及び運動の実技指導
E-Styleクラブのためのウォーキング教室	1	16	メタボ予防に効果的なウォーキングの実技指導
運動サポーターフォローアップ研修会	6	75	転倒・骨折予防及び健康増進のためのオリジナル体操の作成
ウォーキングマップ作成事業	年間	—	ウォーキングマップ（西部編）作成
出前健康講座	9	159	各種団体の希望するテーマにあわせた健康講座
歯科保健指導	67	479	口腔ケア事業、口腔機能向上トレーニング

実績

4 訪問指導事業

健診の要指導者、医療機関未受診者など健康上保健指導が必要な方（40～64歳）に対し保健師、栄養士、歯科衛生士による訪問指導を行った。

被指導延べ人数 15人（実人数 15人）

5 長寿・健康増進事業

宮城県後期高齢者医療広域連合の受託事業として、被保険者の心身の健康保持・増進を目的に、75歳を対象とする脳検診助成事業、転倒・骨折予防及び筋力向上のための運動教室を実施した。

事業名	内 容	人 数
脳検診費用助成	40・45・50・55・60・65・70・75歳を対象に脳検診費用を助成	受診者 131人（うち75歳 22人）
健康体操教室	ストレッチ・座位立位筋力向上運動・歩行練習・バランストレーニングを実施（年24回）	受講者 49人、延べ 511人
健康水中運動教室	水中でのストレッチ・ウォーキング・バランス及び筋力トレーニングを実施（年24回）	受講者 24人、延べ 253人

一 般 会 計

4	款	1	項	3	目	健康館費				
担当部署名				健康長寿課健康づくり班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,360		6,308					688	5,620	
目的	町民の健康づくりへの意識向上及び生涯にわたる健康保持を支援するとともに、高齢になっても住み慣れた地域で相互に支え合いながら暮らしていける体制の充実を図る。									
実績	1 健康館デイサービスセンター利用状況									
	・ 指定管理期間 平成27年4月1日から平成32年3月31日 (5年間)									
	・ 指定管理者 社会福祉法人 松島町社会福祉協議会									
		平成30年度			平成29年度					
		活動日数 (日)	通所者延べ 人数 (人)	1日平均利用 人数 (人)	活動日数 (日)	通所者延べ 人数 (人)	1日平均利用 人数 (人)			
	計	292	4,774	16.3	295	4,568	15.5			
実績	2 修繕料									
	・ 誘導灯修繕 64,800 円									
	・ 浴槽濾過装置塩素注入口修繕 20,520 円									
	・ その他の施設管理に伴う修繕 37,800 円									
	計 123,120 円									
実績	3 工事請負費									
	・ 松島町健康館屋根漏水改修工事 3,996,000 円									
成果	町民が安全かつ快適に健康館を利用できるよう、施設の営繕管理に努めるとともに、設備等の老朽化に伴う修繕についても適切に対応した。また、研修ホールの西側壁及び屋根の漏水改修工事を実施した。 健康館デイサービスセンターについては、指定管理者である社会福祉協議会において適正な管理運営を行っており、利用者及びその家庭の生活環境に応じた介護サービスを提供している。									
現況 課題 方向性	施設・設備の老朽化が著しいため設備のメンテナンスに係る費用等の経費が年々増大しているが、利用者の安全に配慮した補修を行い、建物の維持管理を行っていく。 健康館デイサービスセンターの指定管理期間を安全に運用するための補修工事を実施し、その後の健康館のあり方を検討していく。									

一 般 会 計

4	款	1	項	4	目	母子衛生費			
担当部署名				健康長寿課健康づくり班				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	11,831		9,666			46		11	9,609
目的	妊娠期及び乳児期において、疾病の予防、早期発見、早期治療を促すとともに、身体発育、精神発達の面から、重要な時期に総合的な健康診査、健康相談を実施し、適正な指導を行うことにより、基本的な生活習慣の獲得と良好な母子関係が築けるよう支援する。								
実績	1 母子保健事業								
	○ 母子手帳交付・育児教室等								
	事業内容					回数(回)	参加延べ人数(人)		
	特定不妊治療助成事業					3	3		
	母子健康手帳交付					24	54		
	妊婦支援プラン作成					54	54		
	妊産婦・新生児訪問指導					57	58		
	赤ちゃんほっとサロン					9	192		
	ハイハイ赤ちゃんセミナー(6～7か月児子育て相談)					6	73		
	親子よちよちセミナー(1歳児子育て教室)					4	70		
	3歳児ダイレクトメール事業					12	81		
	保育所・幼稚園児対象わんぱく教室					30	402		
	小学生のための元気っ子クラブ					2	37		
	小学校・中学校歯科指導					30	851		
	希望園歯科指導					6	72		
栄養だよりの発行					4	4,772			
おやこの食育教室					1	45			
まっしまの食育通信					14	アクセス数 879			
※母子健康手帳の交付は対象者にあわせ、交付日の他に随時発行を行った。									
○ 思春期保健指導									
内 容					対 象	回数(回)	参加人数(人)		
講話「大切な命について」					松島中学校全学年	1	313		
講話「たばこ・アルコール・薬物乱用防止について」					松島第五小学校6学年	1	14		
○ 健康相談・訪問指導									
電話相談(件)					来所相談(件)	訪問指導(人)			
健診	予防接種	発育・発達		乳児		幼児			
62	56	228		119	延べ38	延べ25			
※ 乳児の訪問指導は新生児訪問指導分を除く									
(次頁へ続く)									
成果	平成29年度より母子保健包括支援センターを設置し、妊娠期から子育て期における健康保持及び増進に関する包括的な支援を実施した。母子健康手帳交付時に、個別の妊娠サポートプランを作成し、支援が必要な妊婦等には早期から支援を行うなど、乳幼児健診と併せて継続的な支援を実施した。子育て期における育児支援として、町民福祉課や児童館と連携し、特に支援を必要とする方へは児童相談所等専門機関に繋げるなど、育児不安の軽減に努めた。また、平成30年度より児童館、医療機関と連携し、赤ちゃんほっとサロンを実施し、産後1か月以降の相談体制の強化を図り、母親が自信を持って子育てできるよう支援を行った。								
現況課題 方向性	児童館や関係各課、医療機関と連携を強化し、ホームページや子育て支援サイトなどSNSを活用して役立つ情報をタイムリーに発信する。妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行うとともに、正しい知識を普及啓発する。また、育てにくさを感じる親に対して、総合的な相談・支援体制をととのえ、母子に寄り添った支援を行っていく。								

(次頁へ続く)

2 乳幼児健康診査事業

年度・内訳 健診名	平成30年度			平成29年度		
	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)	対象者 (人)	受診者 (人)	受診率 (%)
3～4か月児健康診査	71	70	98.6	75	74	98.7
1歳6か月児健康診査	66	66	100.0	82	79	96.3
2歳児歯科健康診査	74	63	85.1	83	69	83.1
2歳6か月児歯科健康診査	86	82	95.3	79	76	96.2
3歳6か月児健康診査	90	89	98.9	77	76	98.7
乳幼児精神発達精密健康診査	4	4	-	8	8	-

乳幼児健診未受診者理由

健診名	未受診者数 (人)	未受診理由
3～4か月児健康診査	1	児の体調不良。その後健康相談に来所して対応。
1歳6か月児健康診査	0	—
3歳6か月児健康診査	1	受診勧奨するが未受診。幼稚園と連携して状況確認

- * 乳幼児健診後の経過観察者については、児童相談所の乳幼児精神発達精密健康診査や希望園の紹介、医療機関の紹介、児童館等との連携を図り支援した。
- * 継続的な個別支援を特に必要とする場合は、担当保健師が家庭訪問や保育所・幼稚園訪問等、個別の相談対応を継続的に実施した。
- * 平成28年度より1歳6か月児健診において日本語版M-CHATを導入して、自閉症スペクトラム症の疑いや発達の気になる子どもの早期対応、早期支援の場につなげ、母子への支援を実施した。

3 妊婦・乳児一般健康診査

○乳児一般健康診査

健診名	2か月	8～9か月	合計
受診人数(人)	61	70	131

○妊婦健康診査

妊娠 週数	初回	12～ 15週	16～ 19週	20～ 23週	24～ 25週	26～ 27週	28～ 29週	30～ 31週	32～ 33週	34～ 35週	36週	37週	38週	39週	合計
受診 人数 (人)	53	53	52	57	55	54	54	54	52	50	53	50	43	26	延べ706

※その他、延べ9人は里帰り先で受診 ※多胎用：なし

- * 妊娠中の健康管理と、経済的負担軽減のため、計14回の妊婦健診自己負担分を助成した。里帰りによる県外の指定医療機関以外での受診分は償還払いによる助成を行った。
- * 乳児一般（2か月児・8～9か月児）健康診査、妊婦健康診査は、公益社団法人宮城県医師会に委託し、指定医療機関で実施した。

実績

一 般 会 計

4 款	1 項	5 目	環境衛生費				
担当部署名		総務課環境防災班・水道事業所施設班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	62,726	61,525	1,183		13,000	412	46,930
目的	町民の健全な環境衛生の意識高揚のため、春のゴミゼロ運動や秋の一斉清掃活動を全町で実施し、ゴミの減量化をはじめ環境美化を推進する。 また、公共下水道計画区域以外の区域（一部、区域内を含む）において、合併処理浄化槽設置整備事業を推進し、町民の生活環境の向上と公共用水域の水質保全等を図る。						
実績	【総務課 環境防災班所管】 1 ゴミゼロ運動・秋の一斉清掃 - 全町民参加のもと、ゴミ拾いなど地域の清掃を行い、環境美化意識の高揚を図り、環境保全への積極的な参加の機会を設けることで、町民相互間のコミュニケーションの場やきれいなまちづくりへの推進を図った。 ○ 一斉清掃実施回数 2 回 (5月・9月) (各地区や各種団体において年間を通じて清掃活動を実施している) ○ ゴミ回収量 71 m³ 2 松島町環境美化推進員の設置 ○ 環境美化推進員 24名 (各行政区2名) ○ 不法投棄防止巡回パトロール 延べ 304回 (次頁へ続く)						
成果	【総務課 環境防災班所管】 快適で住みよい生活環境づくりに向け、地域住民や各種団体・小中高校生が一体となって町内の環境美化運動を通し、ゴミ減量化や再利用に関して意識高揚を図った。また、環境美化推進員によるゴミの不法投棄防止や早期発見、回収のための巡回パトロールを実施した。不法投棄が頻繁な箇所については、不法投棄防止看板の設置や巡回強化を行い、不法投棄をさせない環境づくりに努めた。 また、公益社団法人宮城県獣医師会と連携し、狂犬病予防注射集合接種を実施し、狂犬病予防注射の接種率向上に努めた。 【水道事業所 施設班所管】 公共下水道計画区域以外の区域（一部、区域内を含む）における、合併処理浄化槽設置者に対して補助金を交付し、水洗化による生活環境の向上及び公共用水域の水質保全等に努めた。						
現況 課題 方向性	【総務課 環境防災班所管】 不法投棄対策については、環境美化推進員による巡回パトロールを定期的実施しているが、後を絶たない状況である。対策としては不法投棄禁止看板を重要各所に設置している。今後、不法投棄を抑止できるよう更なる対策を講じる必要がある。また、広報紙等の媒体を活用した住民等への啓発活動を行い、不法投棄防止に努める。 狂犬病予防注射に関しては、未登録防止及び予防注射の接種を推進する必要がある。今後は、更なる狂犬病予防注射の接種率向上を図るため、周知徹底を行う。 【水道事業所 施設班所管】 公共下水道計画区域外については交付金事業であるため、事業の計画的な事業実施が求められており、適切なニーズの把握が必要である。本年度からは、公共下水道計画区域内で法律等により下水道整備ができない場所についても補助対象としており、今後も継続してニーズの把握に努めるとともに、広報紙等で情報提供を行い、合併処理浄化槽の普及促進に努める。						

3 犬の登録及び狂犬病予防注射

- ・窓口において、犬の登録並びに狂犬病予防注射済票の交付事務を行った。また、町内11会場において狂犬病予防注射集合接種を実施し、狂犬病予防注射の接種率向上を図った。
 - 犬の新規登録数 33 頭
 - 狂犬病予防注射済票交付数 546 頭（盲導犬 1 頭含む）
 - 狂犬病予防注射集合接種（1次集合） 4/4・4/5・4/6 11 会場
（2次集合） 5/13 1 会場

4 工事請負費

- ・三浦墓地法面補修その 2 工事 17,338,320 円

【水道事業所 施設班所管】

1 合併処理浄化槽設置整備事業

公共下水道計画区域外

合併処理浄化槽入槽区分	補助基数（基）	補助金額（円）
5 人槽	5（ 0 ）	1,660,000
6 ～ 7 人槽	4（ 0 ）	1,656,000
8 ～ 10 人槽	1（ 0 ）	548,000
合 計	10（ 0 ）	3,864,000

※上記表中、補助基数の内（ ）の数字は、優良田園住宅「くぬぎ台」設置分である。

公共下水道計画区域内

合併処理浄化槽入槽区分	補助基数（基）	補助金額（円）
5 人槽	1	332,000
6 ～ 7 人槽	1	414,000
8 ～ 10 人槽	0	0
合 計	2	746,000

実績

2 浄化槽法関連権限移譲事務処理実績

①浄化槽の設置等に関する届出受理件数（建築確認経由分を含む。） ※法第5条第1項、第2項、第4項、法第10条の2に基づく事務	20 件
②浄化槽管理者等への立入検査・報告徴収件数 ※法第12条、第53条に基づく事務	0 件
③浄化槽工事業者への指示件数 ※法第32条第1項に基づく事務	0 件

3 合併処理浄化槽設置等改造資金斡旋状況（単位：件：円）

斡旋申請 件 数	斡旋金額	利子補給金額	
		予算計上額	決 算 額
0	0	116,000	12,326

合併処理浄化槽設置整備事業の整備状況

年 度	設置基数 (基)	使用人口 (実人口:人)	累計人口 (人)	設置基数内訳(基)				総事業費 (千円)	内訳(千円)		備 考
				5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上		国庫補助金	県補助金	
平成 3～15 年度	183	881	881	13	75	87	8	117,816	39,270	39,270	39,276
平成 16 年度	28	120	1,001	7	20	1	0	11,217	3,739	3,739	くぬぎ台=5人槽6基・7人槽9基・10人槽1基=処理人口73人
平成 17 年度	25	101	1,102	6	18	1	0	10,041	3,347	3,347	くぬぎ台=5人槽5基・7人槽7基・10人槽1基=処理人口45人
平成 18 年度	15	46	1,148	6	8	1	0	5,913	3,450	1,463	補助金額改定
平成 19 年度	16	85	1,233	4	11	1	0	6,460	2,760	1,071	補助金額改定
平成 20 年度	12	54	1,287	4	8	0	0	4,640	966	773	
平成 21 年度	9	45	1,332	3	6	0	0	3,480	552	580	
平成 22 年度	5	23	1,355	1	4	0	0	1,988	87	331	
平成 23 年度	16	69	1,424	6	9	1	0	6,266	2,138	1,044	
平成 24 年度	42	206	1,630	13	26	3	0	17,138	5,326	2,787	
平成 25 年度	32	147	1,777	14	18	0	0	12,100	3,895	2,016	
平成 26 年度	9	31	1,808	6	3	0	0	3,234	1,078	0	
平成 27 年度	16	65	1,873	7	9	0	0	6,050	2,017	0	
平成 28 年度	14	53	1,926	3	9	2	0	5,818	2,049	0	
平成 29 年度	13	58	1,984	2	8	3	0	5,620	1,960	0	
平成 30 年度	12	31	2,015	6	5	1	0	4,610	1,183	0	下水道計画区域外 10基 下水道計画区域内 2基
計	447	2,015		101	237	101	8	222,391	73,817	56,421	92,153

※補助金額(平成19年度より改定) (単位:千円)

	5人槽	6～7人槽	8～10人槽	11人槽以上
17年度まで	354	411	519	981
18年度まで	342	414	537	939
現行(19年度から)	332	414	548	939

合併処理浄化槽地域別設置状況

年 度	磯 崎		高 城		桜渡戸		手 樽		根 廻		初 原		幡 谷		竹 谷		北小泉		小 計	
	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数	基数	人数
平成 3～15 年度			15	62	7	25	54	264	14	74	22	107	44	212	18	89	9	48	183	881
平成 16 年度					1	4	3	14			1	6	18	75	3	11	2	10	28	120
平成 17 年度			1	4			3	18	3	13			16	55	1	6	1	5	25	101
平成 18 年度			1	3			1	3					12	37			1	3	15	46
平成 19 年度							1	6	1	5	1	7	9	48	3	16	1	3	16	85
平成 20 年度			1	5			2	5	2	8			7	36					12	54
平成 21 年度							2	11			1	4	3	13	3	17			9	45
平成 22 年度			1	5			2	11					2	7					5	23
平成 23 年度			4	16	2	9	3	12			2	7	5	25					16	69
平成 24 年度							10	55	4	17	1	5	16	76	9	44	2	9	42	206
平成 25 年度					1	4	4	16			1	4	17	82	7	32	2	9	32	147
平成 26 年度							6	21					3	10					9	31
平成 27 年度					3	13	5	17			2	6	3	10	2	12	1	7	16	65
平成 28 年度			1	5			2	7	1	5	1	7	6	19	3	10			14	53
平成 29 年度					3	12	3	9	1	4			3	18	1	6	2	9	13	58
平成 30 年度	3	8	1	3	0	0	3	7	1	3	0	0	3	7	1	3	0	0	12	31
計	3	8	25	103	17	67	104	476	27	129	32	153	167	730	51	246	21	103	447	2,015

し尿処理の状況（人口内訳の推移）

年 度	計画処 理区域 面積 (km ²)	計画処理区 域内世帯数 (世帯)	総人口	計画処理区域内人口													備 考
				非水洗化人口					水洗化人口								
				し尿汲 取り 人口	自家処理人 口	(人)	(人)	公共下水道 人口	コブプラ人 口	浄化槽人口				水洗化率 (%)			
										合併処理浄化槽人口							
										補助 (人)	農業 (人)	その他 (人)	単独処理浄化槽 人口 (人)				
平成 16 年度	54.00	5,517	16,542	16,542	4,618	0	11,924	8,724	0	3,200	1,369	1,001	0	368	1,831	72.0	
平成 17 年度	54.00	5,549	16,420	16,420	4,259	0	12,161	8,872	0	3,289	1,473	1,102	0	371	1,816	74.0	
平成 18 年度	54.00	5,554	16,168	16,168	3,833	0	12,335	8,975	0	3,360	1,544	1,148	0	396	1,816	76.2	
平成 19 年度	54.00	5,477	15,863	15,863	3,314	0	12,549	9,104	0	3,445	1,629	1,233	0	396	1,816	79.1	
平成 20 年度	54.00	5,494	15,694	15,694	2,965	0	12,729	9,222	0	3,507	1,691	1,287	0	404	1,816	81.1	
平成 21 年度	54.00	5,496	15,540	15,540	2,680	0	12,860	9,303	0	3,557	1,741	1,332	0	409	1,816	82.7	
平成 22 年度	54.00	5,487	15,340	15,340	2,356	0	12,973	9,381	0	3,592	1,776	1,355	0	421	1,816	84.5	
平成 23 年度	54.00	5,495	15,255	15,255	2,122	0	13,133	9,465	0	3,668	1,852	1,424	0	428	1,816	86.0	
平成 24 年度	54.00	5,507	15,104	15,104	1,488	0	13,616	9,731	0	3,885	2,087	1,630	0	457	1,798	90.1	
平成 25 年度	54.00	5,576	15,040	15,040	946	0	14,094	10,075	0	4,019	2,239	1,777	0	462	1,780	93.7	
平成 26 年度	53.56	5,647	14,918	14,918	961	0	13,957	9,929	0	4,028	2,280	1,808	0	472	1,748	93.5	
平成 27 年度	53.56	5,683	14,817	14,817	896	0	13,921	9,251	0	4,670	2,929	1,873	0	1,056	1,741	93.9	
平成 28 年度	53.56	5,676	14,632	14,632	626	0	14,006	9,238	0	4,768	3,027	1,926	0	1,101	1,741	95.7	
平成 29 年度	53.56	5,652	14,366	14,366	565	0	13,801	8,950	0	4,851	3,116	1,984	0	1,132	1,735	96.0	
平成 30 年度	53.56	5,630	14,073	14,073	1,752	0	12,321	8,993	0	3,328	3,158	2,015	0	1,143	170	87.5	

○人口は各年度の3月31日現在の人数とする。

○用語の解説

コブプラ・・・コミュニティプラント

補助・・・合併処理浄化槽設置整備事業により整備したもの

○公共下水道、浄化槽等の人口は当該年度内に設置したもの

農業・・・農業集落排水施設

一 般 会 計

4	款	1	項	6	目	公害対策費			
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	576		468						468
目的	生活環境の騒音に関する実態を把握するため、町内5地点において騒音測定を実施する。								
実績	1 自動車騒音測定								
	・ 町内主要幹線道路3地点について測定 (単位: dB)								
	測定地点						調査結果		
							昼 間	夜 間	
	①根廻交差点 (国道45号・三陸自動車道)						66	61	
	②初原町営住宅入口 (県道仙台松島線・三陸自動車道)						63	58	
	③磯崎長田 (奥松島松島公園線)						67	60	
	環境基準値						70	65	
	規制 (要請限度) 基準値						75	70	
	2 環境騒音測定								
・ 町内2地点について測定 (単位: dB)									
測定地点						調査結果			
						昼 間	夜 間		
④華園集会場						49	39		
⑤垣ノ内集会場						52	45		
環境基準値						55	45		
※ 測定日: 平成30年2月8日～9日 (昼間: 6時～22時/夜間: 22時～6時)									
※ 環境基準値 環境基本法に基づき、騒音に係る環境基準について、都市計画法に基づく用途地域の区分毎に設定している。									
①・②: 市街化調整区域で適用外だが、③を準用 昼間: 70db/夜間: 65db									
③: 第2種住居地域で2車線以上の道路に面する地域 昼間: 70db/夜間: 65db									
④・⑤: 第1種低層住居専用地域・第1種住居地域 昼間: 55db/夜間: 45db									
※ 規制 (要請限度) 基準値 騒音規制法により、自動車騒音の限度を設定している。									
①～③: 高速自動車国道、一般国道、都道府県道及び市町村道に近接する区域 昼間: 75db/夜間: 70db									
成果	自動車騒音測定を町内3地点で実施し、昼夜ともに規制基準値及び環境基準値を満足する結果であった。また、環境騒音測定を町内2施設で行い、昼夜ともに環境基準値を満足する結果であった。								
現況課題 方向性	生活環境に関する騒音測定を継続して実施している。騒音が環境基準値を上回るような場合は、関係機関と調整を図りながら、対応・検討を行う。また、苦情並びに相談については、宮城県と連携し対応を行っていく。								

一 般 会 計

4 款	2 項	1 目	塵芥処理費					
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	174, 149	173, 703				24, 636	149, 067	
目的	一般廃棄物の処理に関する計画に基づき、収集運搬を行うと共に廃棄物の減量化を図り、再利用を促進することで、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。							
実績	1 ゴミ処理実績							
	(単位: t)							
	区 分	種別	年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度		
	家庭系ゴミ	可燃ゴミ		2, 790	2, 834	2, 963		
		不燃ゴミ		84	82	82		
		プラスチック製 容器包装		93	108	91		
		粗大ゴミ		107	217	177		
		資源物		660	585	652		
		小計		3, 734	3, 826	3, 965		
	事業系ゴミ	可燃ゴミ		1, 781	1, 731	1, 770		
		不燃ゴミ		9	10	33		
		小計		1, 790	1, 741	1, 803		
	直接搬入ゴミ			660	671	664		
	合計			6, 184	6, 238	6, 432		
	2 松島町一般廃棄物収集運搬業務委託（家庭系ゴミの収集）							
							59, 616, 000 円	
	3 宮城東部衛生処理組合負担金							
	※内訳 ごみ処理負担金						113, 252, 598 円	
	投資的経費負担金						104, 266, 598 円	
	特別負担金（災害復興特別交付税分）						8, 314, 000 円	
							672, 000 円	
成果	家庭から排出されるゴミについては、町内200箇所のゴミ集積所より町委託業者が収集し、事業所等から排出される事業系ゴミは許可業者が収集している。排出されたゴミは宮城東部衛生処理組合の焼却施設やリサイクル選別施設、森郷埋立地に搬入を行い処理を行っている。ゴミ搬入量は、事業系が49t増えたものの家庭系が92t減少となり、全体で前年度より54 t 減少し0.9%の減量化が図られた。 また、公衆衛生組合連合会との連携により、各地区毎に分別収集の必要性を指導することで、3R {発生抑制（リデュース）・再使用（リユース）・再生利用（リサイクル）} の意識高揚を図った。							
現況 課題 方向性	各家庭から排出される一般廃棄物は、分別やリサイクルにより減量化が図られている。廃棄物発生の抑制とリサイクル促進を図るため、3R運動をより一層推進し、更なる減量化が図られるように努める。							

一 般 会 計

4	款	2	項	2	目	し尿処理費				
担当部署名				総務課環境防災班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	55,679		55,679						55,679	
目的	町内のし尿・浄化槽汚泥の処理を促進し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。									
実績	1 し尿・汚泥処理実績									
	年度 種別		平成30年度 (t)		平成29年度 (t)		前年比 (%)			
	し尿		2,802		2,990		93.7			
	汚泥		1,348		1,377		97.9			
	2 塩釜地区環境センター負担金 55,679,000 円									
成果	塩釜地区環境センターにおいて、し尿及び浄化槽汚泥の処理を行い、公衆衛生の保全に努めた。									
現況 課題 方向性	公共下水道並びに浄化槽の普及により、し尿の処理量は年々減少している状況である。今後も塩釜地区環境センターと連携し適切な処理に努め、公衆衛生の向上を図る。									

一 般 会 計

5	款	1	項	1	目	勤労青少年ホーム費						
担当部署名				勤労青少年ホーム							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳							
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	11,317		10,399					567	9,832			
目的	施設の有効活用のために町民への貸出しや自主グループの育成を図る。 また、ITルーム及び図書室については、利用促進に努め、知識や教養を培う場として管理運営を行う。											
実績	1 講座・事業等											
	名 称		内 容				期 日		回 数			
	図書巡回文庫		幼稚園、保育所、児童館、小学校など計9箇所に移動文庫を設置し、子どもが本と触れ合い親しむ機会の提供を行った。				毎月		○幼稚園、小学校 10回 ○保育所、児童館 11回			
	家族ふれあい親子クリスマスパン教室		幼稚園、保育所（年長）、小学生を対象とした、クリスマスツリーパンとピザづくりを行った。				12月		(参加人数) 30人 (大人13人、幼児・児童17人)			
	パソコン講座		初心者を対象に、パソコンを利用する上で役に立つ基礎知識や基本的な操作方法から応用に至るまでの解説・指導を行った。				3月		30回 (7講座)			
	・ 松島町勤労青少年ホーム運営委員会（2回） 第1回 12月4日 第2回 3月26日											
	2 平成30年度施設利用状況											
	・ 集会室、講座室、音楽室、調理室											
	区 分		利用回数			利用人数						
	一 般		763回			4,989人						
(次頁へ続く)												
成果	多種多様な音楽サークルや教室等が自主活動を実施し、身近な施設として活用が定着しており、生涯学習意欲の向上につながっている。 ITルームについては、パソコン講座で基本的な操作方法から応用まで知識と技術の習得を図った。 また、受講後わからないところを個別にサポートする講座も実施した。 図書室については、一般図書や児童図書を中心に購入し、図書の充実と親子で利用できる環境整備を図ることができた。また、春には「子ども読書の日ブックラリー」、夏には「子どもの本移動展示会」、秋には「秋のブックラリー」を開催して、本町の図書室利用及び読書の推進を図った。 家族ふれあい親子クリスマスパン教室は、普段、親子で一緒に料理を作る機会が少ない家庭も良い体験につながった。											
現況 課題 方向性	ITルームについては、インターネットやスマートフォン等多様な情報機器の普及が進む中、トラブルにつながる例も全国的に増えており、パソコンの基本的な使い方と併せて正しい利用の仕方を含めたパソコン講座を広めていきたい。 図書室については、整理された展示により利用者が利用しやすい環境づくりに努め、図書購入による蔵書の充実を図り、イベント等も工夫しながら利用促進を図っていく。 勤労青少年ホームの利用者は、各種団体が利用しているが、全体的に高齢化が進み、減少傾向にある。利用者等の意見を参考にしながら有効利用を考えていく。											

・ ITルーム

区 分	利用人数 (人)
小 ・ 中 学 生	356
高 校 ・ 大 学 生	17
一 般	11
パ ソ コ ン 講 座	207
合 計	591

・ 図書室

利用人数等

	区 分	利用人数及び貸出冊数		1日平均	
		人数 (人)	冊数 (冊)	人数 (人)	冊数 (冊)
松 島 町 内	一 般	5,051	15,560	16.7	51.4
	児 童	1,472	6,301	4.9	20.8
松 島 町 外	一 般	49	105	0.2	0.3
仙 台 都 市 圏	一 般	150	450	0.5	1.5
県 図 書 館	一 般	142	490	0.5	1.6
関 覧 者 全		4,410	—	14.6	—
合 計	—	11,274	22,906	37.2	75.6

※開館日数 303日

※上表に、図書巡回文庫の利用は含まない。

ブックラリー参加者

	実施期間	参加者数(人)	貸出冊数(冊)
子ども読書の日ブックラリー	4月16日から5月22日まで	33	330
秋のブックラリー	10月27日から11月25日まで	35	350

※上表は、「利用人数等」の利用人数、冊数に含む。

子どもの本移動展示会

実施期間 平成30年7月20日から平成30年7月31日まで 11日間(休館日を除く)

展示冊数 400冊 ・ 期間中の閲覧者数 168人

※「子どもの本移動展示会」は県内の希望する市町村図書館・図書室を巡回展示し、児童書にふれる機会や新しい本との出会いの場として、また選書の参考として宮城県図書館が実施する事業である。

※「子どもの本移動展示会」閲覧者数は、「利用人数等」の閲覧者に含まない。

蔵書内訳

区 分	蔵書冊数	蔵書比率
一 般 図 書	31,916	70.68 %
児 童 図 書	12,119	26.84 %
洋 書	95	0.21 %
参 考 書	22	0.05 %
郷 土 資 料	1,005	2.23 %
合 計	45,157	100 %

※平成31年3月末日の蔵書冊数は、45,157冊である。

(平成30年度新刊図書 一般図書：302冊 児童図書：147冊 計：449冊)

実績

一 般 会 計

5 款	1 項	2 目	労働諸費				
担当部署名		産業観光課産業振興班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	38,781	38,781				33,000	5,781
目的	中小企業勤労者の生活向上及び安定の推進のため、融資制度の推進を図る。 また、高齢者や若者に対して就業機会の支援を図る。						
実績	1 勤労者福祉一般預託金 30,000,000 円 - 貸付限度額 個人・団体会員 1億円、貸付期間 最長35年 (住宅35年、教育ローン15年、無担保住宅ローン20年、マイカーローン10年等) - 利用者数 25 件 貸付総額 101,270 千円 2 松島町勤労者生活安定資金融資預託金 3,000,000 円 ※松島町勤労者生活安定資金融資要綱改正 平成30年4月1日施行 - 生活資金 貸付限度額100万円 貸付期間 7年以内 金利3.00% - 教育資金 貸付限度額300万円 貸付期間10年以内 金利1.80% - 福祉資金 貸付限度額100万円 貸付期間 7年以内 金利1.50% - 自動車資金 貸付限度額200万円 貸付期間 7年以内 金利1.80% - 利用者数 4 件 貸付総額 3,870,000 円 3 (公社)松島町シルバー人材センター事業補助金 5,600,000 円 - 平成30年度会員数 123 人 - 受注件数 429 件 - 契約金額 38,888 千円 { 受注件数内訳 公共事業 20 件 民間事業 409 件 }						
成果	勤労者の生活の安定、福祉向上に務めた。 生活安定資金は、融資実績が0件であったが、平成30年4月制度改正を行った結果、4件の融資実行に寄与することができた。 また、シルバー人材センターの会員募集支援として、町広報紙での活動紹介や会員要件等の記事を掲載、また、随時募集チラシ等も折り込み、活動内容周知を図り、元気な高齢者の就業機会の確保の支援に努めた。						
現況 課題 方向性	勤労者の生活向上及び安定のため、勤労者福祉一般預託金を継続し、生活安定資金については、引き続き新制度の周知を図り、勤労者の生活向上に務めていく。 また、高齢者が増加する現在、シルバー人材センターを通して、高齢者の雇用と活躍の場を増やすことが重要である。						

一 般 会 計

6 款	1 項	1 目	農業委員会費				
担当部署名		産業観光課産業振興班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	13, 104	12, 693		2, 408		560	9, 725
目的	・農地等の利用の最適化（担い手への農地の集積・集約化、耕作放棄地の発生防止・解消、新規参入の促進）の推進に取り組む ・農地法に基づく売買・賃借の許可、農地転用案件への意見等						
実績	1 農業委員会活動 ・農地法第3条の規定による所有権の移転、使用貸借権の設定 20 件 60,024.84 m² （前年度 17 件 66,440 m²） ・農地法第4条の規定による農地の転用 1 件 1,362 m² （前年度 0 件 0 m²） ・農地法第5条の規定による農地の転用 11 件 20,521.51 m² （前年度 7 件 11,516 m²） ・農地法第4条第1項第7号による転用届出（市街化区域内） 0 件 0 m² （前年度 0 件 0 m²） ・農地法第5条第1項第6号による転用届出（市街化区域内） 1 件 260 m² （前年度 2 件 4,437 m²） ・非農地証明願 10 件 18,177 m² （前年度 8 件 13,053 m²） ・農地中間管理事業における農用地利用配分（案） 11 件 68,189 m² （前年度 44 件 145,001.93 m²） 2 農業経営基盤強化促進法による農用地利用集積活動 ・所有権の移転 4 件 18,901 m² （前年度 2 件 4,505 m²） ・利用権の設定 44 件 414,651.97 m² （前年度 82 件 622,300.70 m²） 3 農業者年金事業 ・受給者 109 人 （前年度 122 人） (次頁へ続く)						
成果	・農業委員会活動については、耕作放棄地の発生防止・解消を推進するため、農地パトロール等により解消に取り組んだ。地域農業の活性化・農業生産力の発展を図るため、女性農業者に対する研修会や農家相談会、認定農業者等との合同研修会を実施した。 ・地区内での高齢化や担い手不足が進んでおり、受け手農家を個人的に探すには限界があるので農業委員及び農地利用最適化推進員も進んで担い手への農地利用集積に向けたあっせん活動を行った。						
現況 課題 方向性	・高齢化や担い手不足が進んでおり、受け手が見つからないまま耕作放棄地となっている例も多く担い手（法人等）確保、育成が求められている。 ・担い手への農地利用の集積・集約化に向けた具体的な推進方法としては、利用権の設定期間が満了する農地等を把握し、農地中間管理事業等の活用を推進する。 ・遊休農地の発生防止・解消としては、農業委員及び農地利用最適化推進委員の地区割により農地パトロール実施調査により、農地への復元が著しく困難な場合は、「非農地判断」を行い守るべき農地を明確化にする。						

6 款	1 項	1 目
-----	-----	-----

4 担い手への農地集積・集約化

年 度	耕地面積	担い手への集積面積	担い手への集積率
平成29年度	962 ha	456 ha	47.4 %
平成30年度	954 ha	500 ha	52.4 %

(耕地面積は、耕地及び作付面積統計における耕地面積)

5 遊休農地に関する措置等

年 度	農地台帳面積 (A)	遊休農地面積 (B)	割合 (B/A×100)	前年度からの遊休農地解消面積
平成29年度	1,071 ha	42.72 ha	3.99 %	11.69 ha
平成30年度	1,067 ha	41.61 ha	3.90 %	1.11 ha

実績

一 般 会 計

6 款		1 項		3 目		農業振興費																																				
担当部署名				産業観光課産業振興班・建設課管理班				(単位:千円)																																		
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																	
	17,553		17,002			4,604		107	12,291																																	
目的	水田農業については、水田農業構造改革対策に基づき、「松島町地域水田農業ビジョン」を指針として、需要に応じた水稻の生産調整の円滑な実施と認定農業者及び生産組織等の担い手による集団転作・遊休農地の活用等を推進するとともに、農業関係の各種団体の活動への支援と農業制度資金への支援を実施し、農業振興と農業経営の安定に資する。 また、地域住民や公園利用者が安心・安全に利用できる海浜・農村公園の維持管理を行う。																																									
実績	【産業観光課 産業振興班所管】 1 産地づくり対策事業 地域水田農業の確立を目指し、稲作と転作の複合経営に資するため転作集団組織の連携を図るとともに、生産組織等の育成と生産組織への作業委託の推進を図り、集団転作を実施した。																																									
	<table><tr><td>(転作実施面積)</td><td>379.8 ha</td></tr><tr><td>一般作物</td><td>75.0 ha</td></tr><tr><td>大豆</td><td>40.7 ha</td></tr><tr><td>飼料用米</td><td>29.9 ha</td></tr><tr><td>WCS</td><td>1.7 ha</td></tr><tr><td>飼料作物</td><td>2.7 ha</td></tr><tr><td>永年作物(果樹・花木他)</td><td>6.4 ha</td></tr><tr><td>特例作物(野菜)</td><td>24.9 ha</td></tr><tr><td>調整水田</td><td>1.6 ha</td></tr><tr><td>自己保全管理</td><td>102.0 ha</td></tr><tr><td>土地改良通年施行</td><td>164.9 ha</td></tr><tr><td>その他</td><td>5.0 ha</td></tr></table>					(転作実施面積)	379.8 ha	一般作物	75.0 ha	大豆	40.7 ha	飼料用米	29.9 ha	WCS	1.7 ha	飼料作物	2.7 ha	永年作物(果樹・花木他)	6.4 ha	特例作物(野菜)	24.9 ha	調整水田	1.6 ha	自己保全管理	102.0 ha	土地改良通年施行	164.9 ha	その他	5.0 ha	<table><tr><td>対 象 水 田 :</td><td>832.8 ha</td></tr><tr><td>生 産 数 量 目 標 面 積 :</td><td>526.0 ha</td></tr><tr><td>転 作 率 :</td><td>36.8 %</td></tr><tr><td>主 食 用 水 稻 作 付 面 積 :</td><td>452.9 ha</td></tr><tr><td>実 施 農 家 数 :</td><td>498 戸</td></tr></table>				対 象 水 田 :	832.8 ha	生 産 数 量 目 標 面 積 :	526.0 ha	転 作 率 :	36.8 %	主 食 用 水 稻 作 付 面 積 :	452.9 ha	実 施 農 家 数 :
(転作実施面積)	379.8 ha																																									
一般作物	75.0 ha																																									
大豆	40.7 ha																																									
飼料用米	29.9 ha																																									
WCS	1.7 ha																																									
飼料作物	2.7 ha																																									
永年作物(果樹・花木他)	6.4 ha																																									
特例作物(野菜)	24.9 ha																																									
調整水田	1.6 ha																																									
自己保全管理	102.0 ha																																									
土地改良通年施行	164.9 ha																																									
その他	5.0 ha																																									
対 象 水 田 :	832.8 ha																																									
生 産 数 量 目 標 面 積 :	526.0 ha																																									
転 作 率 :	36.8 %																																									
主 食 用 水 稻 作 付 面 積 :	452.9 ha																																									
実 施 農 家 数 :	498 戸																																									
	<table><tr><td colspan="2">左記の内 (集団転作)</td><td>47.3 ha</td></tr><tr><td colspan="2">古浦宮農生産組合(大豆)</td><td>8.0 ha</td></tr><tr><td colspan="2">(有)セントラルライス中通(飼料用米)</td><td>3.3 ha</td></tr><tr><td colspan="2">松島町小ヶ谷生産組合(大豆)</td><td>3.9 ha</td></tr><tr><td colspan="2">松島前の沢生産組合(大豆)</td><td>5.6 ha</td></tr><tr><td colspan="2">グリーンファーム松島(飼料用米・大豆等)</td><td>25.6 ha</td></tr><tr><td colspan="2">根廻転作組合(飼料用米・景観形成作物)</td><td>0.9 ha</td></tr></table> (次頁へ続く)									左記の内 (集団転作)		47.3 ha	古浦宮農生産組合(大豆)		8.0 ha	(有)セントラルライス中通(飼料用米)		3.3 ha	松島町小ヶ谷生産組合(大豆)		3.9 ha	松島前の沢生産組合(大豆)		5.6 ha	グリーンファーム松島(飼料用米・大豆等)		25.6 ha	根廻転作組合(飼料用米・景観形成作物)		0.9 ha												
左記の内 (集団転作)		47.3 ha																																								
古浦宮農生産組合(大豆)		8.0 ha																																								
(有)セントラルライス中通(飼料用米)		3.3 ha																																								
松島町小ヶ谷生産組合(大豆)		3.9 ha																																								
松島前の沢生産組合(大豆)		5.6 ha																																								
グリーンファーム松島(飼料用米・大豆等)		25.6 ha																																								
根廻転作組合(飼料用米・景観形成作物)		0.9 ha																																								
成果	【産業観光課 産業振興班所管】 需要に応じた米生産については、松島町地域農業推進協議会を構成する仙台農業協同組合等の関係機関と連携し、認定農業者及び生産組織等の担い手を主体として、米価の安定のために生産の目安内の水稻作付や大豆等の集団転作を推進し、産地づくり対策事業により円滑に実施された。また、農業制度資金への支援措置により農業経営の安定に資することができた。 品井沼農村環境改善センターの管理運営については、指定管理者による適切な管理運営がなされた。 認定農業者、集落営農組織への農地の利用集積が図られた。 【建設課 管理班所管】 手樽海浜公園他3箇所の維持管理を実施することで、利用環境の整備を図った。また、手樽海浜公園の除草及び清掃業務委託においては、公益社団法人松島町シルバー人材センターと社会福祉法人松の実福祉会との契約により、高齢者等の就労機会確保と社会参加推進にも寄与した。																																									
現況 課題 方向性	【産業観光課 産業振興班所管】 農業振興及び米価の安定のためには、町や県単位だけではなく、農業者個人による需要に応じた米生産が必要である。農業者の収入の確保には、国の需給に対応した米の生産及び水田を活用した高収益作物の作付を行う必要があるため、各農業者が営農を継続できるよう引き続き支援を行っていく。また、担い手の育成や、担い手・集落営農組織へ農地集積を促し、地域農業を継続していくことが重要である。 【建設課 管理班所管】 地域住民や公園利用者が安全に利用できるよう維持管理を行っているが、設備等の老朽化が進んでいる状況となっている。また、中長期的には手樽海浜公園の維持管理手法等も含め、公園のあり方について検討が必要と考える。																																									

2 経営所得安定対策等推進事業

協議会を構成する町、農協等の関係者が連携し、地域の実情に応じて、各種説明会や農協の地区別懇談会等を活用し、本対策の趣旨、内容の周知等の推進活動を行った。

- 事業主体 松島町地域農業推進協議会
- 補助額 1,555,000 円
- 国から農業者への交付実績

水田活用の直接支払交付金	37 件	41,783,220 円
産地交付金	28 件	11,651,600 円
合計	65 件	53,434,820 円

3 農業制度資金融資事業

・ 農業経営基盤強化資金利子助成事業

- 融資対象農家数 2 戸
- 利子助成額 22,364 円

4 品井沼農村環境改善センター指定管理料

4,360,000 円

- 利用件数 691 件
- 利用者数 8,681 人

5 松島町の主食用水稲作付面積

農家数

単位：戸

年度	作物名 主食用水稲 作付面積 ha
平成26年度	548
平成27年度	507
平成28年度	500
平成29年度	500
平成30年度	453

販売農家	293
専門農家	52
第1種兼業	42
第2種兼業	199
自給的農家	115
合 計	408

(2015年農林業センサスより)

※ 経営耕地面積が30a以上の規模の農家が対象

実績

6 J A仙台出荷農産物（J A仙台資料）

分類 単位	環境保全米 t	一般米 t	加工用米・備蓄米 t	飼料用米 t	大豆 t
平成26年度	554	1,137	194	190	51
平成27年度	506	915	201	840	75
平成28年度	505	906	257	310	52
平成29年度	462	821	248	313	46
平成30年度	395	881	0	162	53

7 認定農業者連絡協議会育成支援事業

- ・ 事業主体 松島町認定農業者連絡協議会 （60経営体）
- ・ 補助額 50,000 円
- ・ 事業内容
 - 松島町農業委員との意見交換会及び講演会
 - 農業経営確立セミナー等各種講演会、説明会への参加
 - 農業先進地等への視察研修

(次頁へ続く)

6	款	1	項	3	目									
実績	8 農業経営基盤強化法等に基づく審査													
	・ 農業振興対策委員会開催数				6 回									
	・ 遊休農地等対策委員会開催数				1 回									
	9 農地集積・集約化対策事業補助金													
	<table><tr><td></td><td>地域集積協力金</td><td>経営転換協力金</td></tr><tr><td>補助対象</td><td>-</td><td>2戸</td></tr><tr><td>補助金額</td><td>-</td><td>1,195千円</td></tr></table>						地域集積協力金	経営転換協力金	補助対象	-	2戸	補助金額	-	1,195千円
		地域集積協力金	経営転換協力金											
	補助対象	-	2戸											
	補助金額	-	1,195千円											
	・ 事業内容 農地中間管理機構を活用し、地域の担い手に対して農地の集積に協力した農業者への協力金													
	10 起業家・高齢者活躍の場創生協議会事業補助金													
	・ 事業主体				松島町起業家・高齢者活躍の場創生協議会									
	・ 補助額				2,000,000 円									
	・ 事業内容 荒廃竹林の整備や遊休農地への果樹の植樹が行われ、耕作放棄地の解消並びに新たな特産物作りが図られた。													
	【建設課 管理班所管】													
	○ 手樽海浜公園 農村公園（古浦 上竹谷 下竹谷・北小泉）の維持管理													
	1 役務費（手数料）				926,423 円									
	・ 除草した草の処理料				774,900 円									
	・ し尿汲取料				142,883 円									
	・ 手樽海浜公園公衆便所排水管高圧洗浄料				8,640 円									
	2 委託料				2,211,807 円									
	・ 手樽海浜公園除草業務委託（年2回実施）				1,212,408 円									
	・ 手樽海浜公園清掃業務委託（週1回実施）				615,600 円									
	・ 手樽海浜公園他遊具定期点検業務委託（年1回実施）				49,680 円									
	・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施）				60,847 円									
	・ 手樽海浜公園公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施）				273,272 円									

一 般 会 計

6 款	1 項	4 目	農地費				
担当部署名		産業観光課産業振興班・建設課建設班・建設課管理班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	350, 005	342, 735		16, 070	6, 400	131, 249	189, 016
目的	松島農業振興地域整備計画に位置づけられている農業生産基盤整備事業を、各種農業・農村整備事業により実施し、優良農地の区画整理による効率的利用と、基幹水利施設の整備により、湛水・冠水被害の防止を図り、農作物の安定生産と農業経営の効率化に資する。 また、農業生産基盤整備と土地改良施設の整備改修等により、農地の保全と農業用排水等の円滑化を図り、農作物の安定生産と農作業の効率化に努める。 さらに、農業従事者が安全に農業を営めるよう土地改良施設の維持管理をする。						
実績	【産業観光課 産業振興班所管】 1 県営農山漁村地域復興基盤総合整備事業（負担割合 8%） 復興基盤総合整備事業（手樽地区） ・ 負担金 72, 328, 000 円 （事業費 904, 100千円） ・ 事業内容 区画整理工事 A=171ha （次頁へ続く）						
成果	【産業観光課 産業振興班所管】 復興基盤総合整備事業（手樽地区）については、区画整理工事及び付帯工事が実施された。 多面的機能支払交付金事業については、各地域の9協議会によって道刈り・泥上げ等が実施され、地域環境等の保全管理が図られた。 また、中山間地域等農村活性化事業については、歴史旧跡等の地域資源の保全並びに活性化が図られた。 【建設課 建設班所管】 県営かんがい排水事業については、用水路工事を実施し、農業用排水機能の充実が図られた。 また、不来内排水機場の設備更新を実施し機能保全が図られた。 土地改良維持管理経費については、ため池にネットフェンスを設置し、転落事故防止に対する安全対策が図られた。 県営農村地域復興再生基盤総合整備事業（手樽地区）については、銭神第1排水機場の建屋工事に着手し、老朽化した排水機場に代わる施設新設に向け事業進捗が図られた。 農道路面補修事業については、復旧・復興事業に伴う大型車両の通行により路面損傷の著しい農道の舗装補修を実施し、通行車両の安全確保が図られた。 【建設課 管理班所管】 農業を営むにあたり、支障をきたさないように土地改良施設の補修、農道への碎石補充を行い維持管理を行った。						
現況 課題 方向性	【産業観光課 産業振興班所管】 復興基盤総合整備事業（手樽地区）については、農地の大区画化や用排水路の整備を実施し農地の汎用化を図ることで、農地の面的な集約、経営の大規模化・高付加価値化を進め収益性の高い農業経営の実現を目指す。 【建設課 建設班所管】 銭神かんがい排水事業については、令和3年度の事業完了を目指す。不来内排水機場については令和4年度の設備更新の完了を目指し、銭神第1排水機場については令和元年度の改修工事完成を目指す。 土地改良維持管理経費については、ため池にネットフェンスを設置し、転落事故防止に対する安全対策を行っていく。 復旧・復興事業の大型工事車両の通行により損傷の著しい農道の舗装補修については、東日本大震災復興交付金での舗装補修の採択を目指す。 【建設課 管理班所管】 土地改良施設の維持管理を行っているが、今後についても継続して適切な維持管理を行っていく。						

6	款	1	項	4	目	
実績		2	多面的機能支払交付金に係る事業補助金			
			・ 協議会数	9	協議会	
			・ 補助金	18,826,990	円	
		3	中山間地域等農村活性化事業補助金			
			・ 事業主体	根廻ふるさと保全隊		
			・ 補助額	200,000	円	
		【建設課 建設班所管】				
		◇	水利施設整備事業負担金			
		1	県営水利施設整備事業負担金		4,023,646 円	
			・ 県営かんがい排水事業負担金（銭神地区） （負担割合 1.77%）	3,269,000 円		
			事業費	188,000,000 円		
			事業内容	用水路工 L=719.6m		
			・ 県営基幹水利施設ストックマネジメント事業負担金（不来内地区） （負担割合 0.34%）	748,000 円		
			事業費	220,000,000 円		
			事業内容	不来内排水機場機械設備更新（ポンプ設備、電気設備、除塵設備）		
			・ 県営土地改良事業等調査及び計画の委託に係る負担金（志田谷地地区） （負担割合 0.04%）	6,646 円		
			事業費	15,718,000 円		
			事業内容	志田谷地排水機場機械設備更新の調査及び計画策定		
		◇	農村地域復興再生基盤総合整備事業（手樽地区）			
		1	県営農村地域復興再生基盤総合整備事業負担金（負担割合 21%）		70,140,000 円	
			事業費	334,000,000 円		
			事業内容	銭神第1排水機場改修工事（ポンプ製作、機場下部工事、建屋工事）		
		◇	土地改良施設維持管理経費 土地改良施設の維持補修工事及びため池転落事故防止の立入防止柵設置工事を実施した。			
		1	工事請負費		5,206,680 円	
			・ 赤芝ため池ネットフェンス設置工事	1,193,400 円		
			工事内容	ネットフェンス設置工 L=63m		
			・ 農道弁天一号線道路補修工事	4,013,280 円		
			工事内容	道路補修工 L=35m		
(次頁へ続く)						

（次頁へ続く）

6	款	1	項	4	目
実績	◇ 農道路面補修事業（東日本大震災復興交付金） 復旧・復興事業の大型車両の通行により損傷の著しい農道の舗装補修工事を実施した。				
	1 工事請負費				164,063,880 円
	・ 農道北小泉幡谷線舗装補修その1工事				55,490,400 円
	工事内容 舗装補修工 L=1,577m				
	・ 農道北小泉幡谷線舗装補修その2工事				61,560,000 円
	工事内容 舗装補修工 L=1,542m				
	・ 農道北小泉幡谷線舗装補修附帯工事				5,346,000 円
	工事内容 すべり止め舗装工 L=163m				
	・ 農道上下堤竹谷線舗装補修工事				41,667,480 円
	工事内容 舗装補修工 L=1,060m				
【建設課 管理班所管】					
◇ 土地改良施設の維持管理					
1 委託料					
・ 土地改良施設維持管理業務委託（土水路掘削、水路清掃等）				1,728,000 円	
2 原材料費					
・ 維持管理用原材料（碎石）				99,792 円	

一般會計

6	款	1	項	5	目	園芸振興費			(単位:千円)
担当部署名				産業観光課産業振興班					
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	5,696		5,530			300		3,626	1,604
目的	「まつの市」「産業まつり」等への支援を行い、地産地消の推進を図る。また、セッコク培養施設の移設を行い、町花セッコクの安定生産を図る。								
実績	1 地産地消の推進 松島町、仙台農業協同組合松島支店、宮城県漁業協同組合松島支所、利府松島商工会、(一社)松島観光協会、宮城中央森林組合の関係機関団体の支援を受け、松島町内の農林水産関係各種団体で設立された「松島町地産地消実行委員会」により、安心・安全な地場産の農林水産物の提供と生産者と消費者が交流を楽しめる「まつの市」と「産業まつり」等が実施され、地産地消の推進が図られた。 ○「松島のマルシェまつの市」 開催時期:5月・6月・7月・8月 4回開催 会 場:石田沢防災センター(※7月のみ文化観光交流館) 参加団体:平均 12団体 延来場者:1,950人 総販売額:1,169,000円 ○「まつしま産業まつり」 開催日時:10月21日 会 場:石田沢防災センター 参加団体:32団体 延来場者:5,500人 販 売 額:2,015,969円 ○埼玉県滑川町開催「滑川まつり」 開催日時:11月3日 会 場:滑川町総合運動公園 出店団体:5団体(松島町) 販売品目:焼がき、焼ホタテ、かきごはん、生わかめ、仙大豆 等 販 売 額:827,950円 2 地域資源活用事業 農業関係機関と一体となった連携組織により、味噌・漬け物等の地場産品の商品化研究と販売促進を図った。 ・事業主体 松島・夢・農業農村活性化推進協議会 ・補助額 500,000 円 3 セッコク培養施設改修等工事 3,578,040 円 ・事業内容 A=416㎡								
成果	地産地消支援事業としては、まつの市が4回、10月には産業まつりが実施され、地場産の新鮮な農林水産物を販売する場を設けたことで、生産者と消費者の交流が図られた。 セッコク培養施設改修等工事については、移設及び改修を行い、安定して繁殖できる体制を整えた。								
現況 課題 方向性	地産地消の推進においては、地元生産者と消費者の交流が不可欠であり、町ぐるみでの交流の場を設けることによって新たな販路の開拓にもつながることから、今後も継続が必要である。 セッコク再生事業については、仙台農業協同組合と協力しながら、町花セッコクを維持していくことが必要である。								

一 般 会 計

6	款	1	項	6	目	畜産振興費																										
担当部署名				産業観光課産業振興班					(単位:千円)																							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																											
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																							
	105		105			7			98																							
目的	稲作と畜産の複合経営の推進と優良子牛の生産のため、畜産団体への支援を図る。																															
実績	1 和牛生産団体育成支援事業																															
	・事業主体 松島町和牛改良組合 (14戸) ・補助額 50,000 円 ・事業内容 繁殖牛の資質向上による優良仔牛の生産並びに母牛の生産率向上 町内産優良仔牛の保留																															
実績	2 平成30年出荷実績																															
	・仔牛出荷頭数 76 頭 ・仔牛出荷額 59,620,480 円 ・高額販売額 去勢牛 1,300,320 円 雌牛 922,320 円 ※松島町和牛改良組合員個人が販売した牛1頭価格の最高額。																															
実績	3 松島町の飼養頭羽数																															
	<table><tr><td>畜種別 年度</td><td>繁殖牛 頭</td><td>乳用牛 頭</td><td>採卵鶏 千羽</td></tr><tr><td>平成26年度</td><td>125</td><td>26</td><td>151</td></tr><tr><td>平成27年度</td><td>121</td><td>24</td><td>193</td></tr><tr><td>平成28年度</td><td>120</td><td>32</td><td>194</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>123</td><td>28</td><td>193</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>119</td><td>24</td><td>143</td></tr></table>									畜種別 年度	繁殖牛 頭	乳用牛 頭	採卵鶏 千羽	平成26年度	125	26	151	平成27年度	121	24	193	平成28年度	120	32	194	平成29年度	123	28	193	平成30年度	119	24
畜種別 年度	繁殖牛 頭	乳用牛 頭	採卵鶏 千羽																													
平成26年度	125	26	151																													
平成27年度	121	24	193																													
平成28年度	120	32	194																													
平成29年度	123	28	193																													
平成30年度	119	24	143																													
成果	本町の畜産農家は稲作との複合経営が主で、これら複合経営の推進のため支援を実施した。 なお、専業は企業採卵鶏事業が1件、酪農業者が1件となっている。																															
現況 課題 方向性	畜産団体組合員1名が高齢化を理由に廃業し1件減となっており、担い手の確保が課題であるため継続して畜産団体と情報を共有し、新規就農関連情報の提供を行っていく。 また、子牛の販売価格は引き続き高値で推移しており、優良子牛の生産に向けて継続支援を行っていく。																															

一 般 会 計

6 款	2 項	2 目	林業振興費				
担当部署名		産業観光課産業振興班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	41, 532	41, 062		18, 893		12	22, 157
目的	町内の森林を適正に保護するとともに、自然環境の保全を推進する。 特別名勝「松島」地域内の松林の景観保持・保全のため、松くい虫被害の拡大防止を図る。 林業関係各種団体の事業を支援し、林業振興と緑化推進を図る。						
実績	1 松くい虫防除事業						
	・ 特別防除事業（空中散布）						
	区 分	実施面積 (ha)	事 業 費 (円)		主な実施箇所		
	宮城県分	53. 89	3, 307, 079		雁金森・湯ノ原		
	松島町分	43. 68	2, 680, 521		白坂山・三十刈		
	全 体	97. 57	5, 987, 600				
	事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注						
	・ 地上散布事業						
	区 分	実施面積 (ha)	事 業 費 (円)		主な実施箇所		
	宮城県分	22. 62	1, 868, 746		大沢平・雁金森		
松島町分	29. 17	2, 422, 850		東浜・名籠・銭神			
全 体	51. 79	4, 291, 596		西ノ浜・長松園			
事務委託契約締結により、県下全体を宮城県が一括発注							
・ 樹幹注入事業							
実施本数 (本)		事 業 費 (円)		主な実施箇所			
38		540, 000		磯崎避難所			
97		1, 652, 400		白浜島・月島			
・ 伐倒駆除事業（上段：H29実績・下段：H30実績）							
区 分	被害本数 (本)	材積 (m ³)		事業費 (円)			
補助対象	975	942. 171		25, 110, 523			
	1, 222	844. 659		21, 321, 437			
対 象 外	75	64. 321		2, 283, 011			
	96	97. 063		2, 718, 552			
計	1, 050	1, 006. 492		27, 393, 534			
	1, 318	941. 722		24, 039, 989			
(次頁へ続く)							
成果	特別名勝「松島」地域内の松林を保全するため、松くい虫防除対策として、薬剤散布事業を実施するとともに、被害拡大防止のため、伐倒駆除事業を実施した。 長松園森林公園、治祐ヶ森に道刈りを行い、町有林の管理を継続的に実施し、公園環境の向上が図られた。 町緑化推進委員会及び森林組合等の林業関係団体の活動を積極的な支援により、各団体を通じて町内の森林環境の整備が図られた。						
現況課題 方向性	松くい虫被害は年々拡大している。松島町の風光明媚な景観には松が不可欠であるため、引き続き松林保全のための事業を実施していく。 また、松の本数を減らさないために、抵抗性松等の植樹事業も継続して行っていく必要がある。 さらに、町内の緑化活動や木育を推進するための検討が必要である。						

6	款	2	項	2	目
---	---	---	---	---	---

- ・ 松くい虫被害木調査業務委託 864,000 円
- ・ 抵抗性松植樹業務委託 286,200 円
松島字犬田周辺に抵抗性松の植樹を行った。 植樹本数 100 本
- ・ 抵抗性松植樹箇所下刈業務委託 453,600 円
抵抗性松を植栽した4箇所において、下草の刈払い集積を行った。
 - 大沢平 刈払面積 1,200 m²
 - 雁金森 刈払面積 1,750 m²
 - 西ノ浜（2箇所） 刈払面積 2,100 m²

・ ナラ枯れ被害駆除事業

実施本数（本）	材積（m ³ ）	事業費（円）	主な実施箇所
36	21.44	918,000	富山観音参道

2 林業振興事業

- ・ 長松園等生活環境保全林施設管理及び道刈業務委託 5,400,000 円
○ 刈払面積 : 153,800 m²
- ・ 森林情報管理システム導入業務委託 1,188,000 円

3 林業団体活動育成事業補助

No.	団 体 名 等	補助額
1	広域森林組合運営推進事業補助	200,000 円
2	松島町緑化推進委員会緑化推進事業補助	100,000 円

実績

主な事業内容

- 1 林業振興・林業諸施策等の情報提供及び林業後継者の育成・組織強化への支援
- 2 町内の緑化活動、みどりの少年団育成への支援

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(被害発生状況)

1, 年度別松くい虫被害発生状況

平成30年3月末現在 (単位:m³)

年度		平成											
市町	昭和	56	57	58	59	60	61	62	63	元	2	3	4
塩竈市	52	37	16	18	11	30	41	41	65	249	923	281	456
多賀城市	-	3	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	16
松島町	11	20	9	6	21	25	57	45	45	61	277	415	249
七ヶ浜町	13	9	2	7	10	11	4	19	9	63	188	158	207
利府町	10	1	1	6	11	3	18	13	24	7	22	23	35
東松島市(旧鳴瀬町)	68	30	109	107	277	846	765	1,058	1,560	1,315	1,699	1,952	2,203
特別名勝計(A)	154	100	137	144	330	915	885	1,180	1,703	1,695	3,109	2,830	3,166
県全体(B)	2,521	3,661	5,181	5,826	7,797	12,841	14,060	14,324	13,952	13,756	18,552	18,255	18,402
(A)／(B) (%)	6.1	2.7	2.6	2.5	4.2	7.1	6.3	8.2	12.2	12.3	16.8	15.5	17.2

年度		平成												
市町	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
塩竈市	561	313	1,719	2,644	1,473	1,235	900	688	316	1,298	574	364	293	
多賀城市	27	15	50	13	10	-	34	-	-	-	-	15	9	
松島町	923	602	1,189	1,198	1,178	628	622	637	827	887	737	734	959	
七ヶ浜町	306	469	362	760	1,863	1,060	1,351	389	1,048	907	1,276	654	429	
利府町	19	169	370	524	1,414	896	871	651	459	734	1,037	1,198	773	
東松島市(旧鳴瀬町)	1,865	2,502	3,115	3,108	3,819	4,173	5,300	2,595	1,884	1,682	1,982	1,607	2,250	
特別名勝計(A)	3,701	4,070	6,805	8,247	9,757	7,992	9,078	4,960	4,534	5,508	5,606	4,572	4,713	
県全体(B)	17,651	21,185	27,731	28,986	28,353	26,195	26,287	20,465	21,562	23,447	23,455	23,132	19,253	
(A)／(B) (%)	21.0	19.2	24.5	28.5	34.4	30.5	34.5	24.2	21.0	23.5	23.9	19.8	24.5	

年度		平成												
市町		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
塩竈市		325	364	198	120	206	261	617	708	223	518	629	442	393
多賀城市		3	-	-	-	-	-	-	1	-	-	2	-	4
松島町		643	779	577	457	506	312	655	933	1,658	3,192	2,416	2,271	1,632
七ヶ浜町		630	256	161	125	134	157	349	2167	987	1,249	105	821	594
利府町		1111	672	597	260	308	40	649	731	1069	1,513	1,204	907	1,141
東松島市		1,715	1,705	1,681	1,751	2,041	1,014	3,357	3,665	3,503	2,884	1,786	3,109	2,386
特別名勝計(A)		4,427	3,776	3,214	2,713	3,195	1,784	5,627	8,205	7,440	9,356	6,142	7,550	6,150
県全体(B)		18,428	17,445	14,213	13,742	13,742	11,160	15,401	17,335	15,208	16,523	13,700	14,935	13,215
(A)／(B) (%)		24.0	21.6	22.6	19.7	23.2	16.0	36.5	47.3	48.9	56.6	44.8	50.6	46.5

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況：空中散布)

2-1, 年度別松くい虫防除事業実施状況(空中散布)

(単位:ha)

年度	昭和	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元			4
市町	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	町	110	113	113	113	150	150	150	160	160	160	160	160	100
七ヶ浜町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	町	78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東松島市(旧鳴瀬町)	市	30	32	33	33	33	33	156	156	188	189	189	182	96
特別名勝計(D)	(D)	218	145	146	146	183	183	306	316	348	349	349	342	196
県全体	(E)	539	467	327	327	391	424	577	622	636	654	647	625	402
(D)/(E) (%)	(%)	40.4	31.0	44.6	44.6	46.8	43.2	53.0	50.8	54.7	53.4	53.9	54.7	48.8

年度	平成	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
市町	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	町	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	90	98	98
七ヶ浜町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東松島市(旧鳴瀬町)	市	75	75	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73	73
特別名勝計(D)	(D)	165	165	163	163	163	163	163	163	163	163	163	171	171
県全体	(E)	312	312	310	344	459	388	386	418	417	415	415	434	392
(D)/(E) (%)	(%)	52.9	52.9	52.6	47.4	35.5	42.0	42.2	39.0	39.1	39.3	39.3	39.4	43.6

年度	平成	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
市町	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
松島町	町	98	98	98	98	98	-	-	98	98	98	98	98	98
七ヶ浜町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
利府町	町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
東松島市	市	73	67	67	67	67	-	-	67	61	58	58	57	57
特別名勝計(D)	(D)	171	165	165	165	165	-	-	165	159	156	156	155	155
県全体	(E)	392	386	386	386	386	-	-	386	379	377	377	376	376
(D)/(E) (%)	(%)	43.6	42.7	42.7	42.7	42.7	-	-	42.74611	42.0	41.4	41.4	41.2	41.2

※H23,24は東日本大震災の影響ため実施せず

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況：地上散布)

2-2, 年度別松くい虫防除事業実施状況(地上散布)

(単位:ha)

年度	昭和	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成	元	2	3	4
市町	市	9	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	6	6
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	80	80	80	80	90	90	90	75	73	73	73	73	73	74
松島町	町	4	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
七ヶ浜町	町	22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上利町	町	12	15	-	-	-	-	-	-	10	15	15	15	17	17
東松島市(旧鳴瀬町)	市	127	108	80	80	90	90	90	75	83	88	94	94	96	97
特別名勝計(D)		150	133	88	93	103	115	120	138	192	196	203	203	207	240
県全体(E)		84.7	81.2	90.9	86.0	87.4	78.3	75.0	54.3	43.2	44.9	46.3	46.4	46.4	40.4
(D)/(E) (%)															

年度	平成	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
市町	市	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	74	74	74	74	74	74	91	90	94	62	62	62	62
松島町	町	-	-	-	-	-	-	40	50	45	45	50	50	50
七ヶ浜町	町	-	-	-	-	-	-	11	15	13	8	8	8	8
上利町	町	17	17	17	17	17	17	37	37	37	37	37	26	37
東松島市(旧鳴瀬町)	市	97	97	97	97	181	184	226	214	211	174	179	168	179
特別名勝計(D)		243	279	323	412	477	452	540	478	487	487	490	524	430
県全体(E)		39.9	34.8	30.0	35.9	37.9	40.7	41.9	44.8	43.3	35.7	36.5	32.1	41.6
(D)/(E) (%)														

年度	平成	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
市町	市	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22	22
塩竈市	市	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
多賀城市	市	62	61	66	65	65	43	65	65	64	64	61	61	52
松島町	町	51	50	50	50	50	0	28	36	36	35	33	25	25
七ヶ浜町	町	9	8	8	8	8	0	6	8	8	8	8	8	8
上利町	町	67	68	67	67	67	0	8	-	-	-	-	-	-
東松島市	市	211	209	213	212	212	62	126	128	127	126	121	113	104
特別名勝計(D)		593	547	580	577	586	106	200	227	223	221	211	183	178
県全体(E)		35.6	38.2	36.7	36.7	36.2	58.5	63.0	56.4	57.0	57.0	57.3	61.7	58.4
(D)/(E) (%)														

特別名勝「松島」における松くい虫被害対策(防除事業実施状況：樹幹注入)

2-3、年度別松くい虫防除事業実施状況(樹幹注入)

(単位:本)

市町		年度		昭和	55	56	57	58	59	60	61	62	63	平成 元	2	3	4
樹幹注入	塩竈市			-	-	-	-	-	-	-	-	-	25	20	90	66	139
	多賀城市			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	松島町			-	-	-	-	-	746	1,367	1,198	738	585	738	708	738	725
	七ヶ浜町			-	-	-	-	-	-	21	-	21	21	20	22	23	21
	利府町			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	東松島市(旧鳴瀬町)			-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	53	47
	特別名勝計(D)			0	0	0	0	0	746	1,388	1,198	759	631	778	820	880	932
	県全体(E)			0	0	0	0	0	746	1,794	1,649	1,266	1,178	1,412	1,611	1,702	1,951
	(D)／(E) (%)			0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	77.4	72.7	60.0	53.6	55.1	50.9	51.7	47.8

市町	年度	平成	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
樹幹注入	塩竈市	-	69	90	69	154	776	848	1,097	832	841	900	799	845	-
	多賀城市	-	-	-	-	-	-	-	60	34	76	28	41	25	34
	松島町	833	793	838	838	793	838	887	819	419	588	661	430	-	691
	七ヶ浜町	22	25	25	25	68	105	114	243	466	81	269	442	-	68
	利府町	-	-	21	21	58	60	101	115	177	140	111	140	-	120
	東松島市(旧鳴瀬町)	112	422	440	440	780	702	613	366	-	596	394	453	-	325
	特別名勝計(D)	1,036	1,330	1,393	1,393	1,853	2,481	2,563	2,700	1,928	2,322	2,363	2,305	870	1,238
	県全体(E)	3,213	3,463	3,629	3,629	4,130	4,845	4,787	4,480	3,392	4,318	4,337	4,456	3,333	3,293
	(D)/(E) (%)	32.2	38.4	38.4	38.4	44.9	51.2	53.5	60.3	56.8	53.8	54.5	51.7	26.1	37.6

市町	年度	平成	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
樹幹注入	塩竈市	809	797	797	466	258	845	248	170	177	-	-	1945	52	846
	多賀城市	44	-	66	66	69	-	73	43	70	44	68	29	51	80
	松島町	722	363	253	253	696	558	105	31	-	-	551	1258	1,793	705
	七ヶ浜町	256	306	96	96	68	203	0	292	-	-	-	891	195	114
	利府町	111	117	0	0	133	93	93	115	-	-	134	432	-	-
	東松島市	587	364	94	94	673	455	566	108	65	-	-	183	477	152
	特別名勝計(D)	2,529	1,947	975	975	1,897	2,154	1,085	759	312	44	753	4,738	2,568	1,897
	県全体(E)	5,020	2,818	2,914	2,914	3,773	4,067	2,274	1,846	2,495	1,856	2,070	6,269	4,976	4,519
	(D)/(E) (%)	50.4	69.1	33.5	33.5	50.3	53.0	47.7	41.1	12.5	2.4	36.4	75.6	51.6	42.0

一 般 会 計

6 款	3 項	2 目	水産業振興費					
担当部署名		産業観光課産業振興班						(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,670	3,658					3,658	
目的	カキ・アサリ等の浅海養殖漁業の振興を図る。							
実績	1 水産業振興事業補助金							
	内 容		事 業 費		補助金額			
	アサリ稚貝撒布事業		2,250 千円		3,000 千円			
	サキグロタマツメタ駆除事業		1,706 千円					
	カキ衛生対策事業		8,071 千円					
	合 計		12,027 千円		3,000 千円			
	・ アサリ稚貝・母貝育成事業及びサキグロタマツメタ駆除事業 アサリの採取を行っている漁場において成貝採取時に混獲される稚貝を買取り散布を行い、天敵であるサキグロタマツメタが異常繁殖している事を踏まえ、駆除も実施し生産増加に努めた。							
	撒布漁場名		アサリ撒布量	アサリ採種量	サキグロタマツメタ			
					成貝駆除量	卵塊駆除量		
	松 島 地 区		310 kg	2,240 kg	15.0 kg	6.3 kg		
磯 崎 地 区		40 kg	687 kg	2.0 kg	3.5 kg			
高 城 地 区		0 kg	0 kg	0.0 kg	0.0 kg			
元 手 樽 地 区		0 kg	0 kg	0.0 kg	0.0 kg			
名 込 地 区		75 kg	1,111 kg	8.5 kg	6.8 kg			
古 浦 地 区		40 kg	979 kg	4.2 kg	2.0 kg			
早 川 地 区		0 kg	0 kg	0.0 kg	0.0 kg			
計		465.0 kg	5,017 kg	29.7 kg	18.6 kg			
・ カキ衛生対策事業 町内各カキ処理場において、松島町産「生カキ」の生産のため殺菌海水使用人工浄化施設を活用し衛生対策の徹底を図り、消費者へ安全・安心な食品の提供に努めた。								
○ 松島地区カキ処理場 8 経営体 ○ 磯崎地区カキ処理場 33 経営体 ○ 名込地区カキ処理場 3 経営体 ○ 古浦地区カキ処理場 8 経営体								
(次頁へ続く)								
成果	アサリについては、漁協で取り組んでいる稚貝・母貝育成事業への支援を実施した。また、天敵のサキグロタマツメタが発生していることに鑑み、地種稚貝購入により地種を主体とした適切な管理を図り、生産増加に努めた また、鮮カキ生産者は安全安心な食品を消費者へ提供するため殺菌海水の導入により、人工浄化を実施することにより万全を期することができた。							
現況 課題 方向性	松島湾内において、ノロウイルスが発生したが、町内施設において今回発生はしなかった。発生した際の対応など、消費者への安全・安心な食品の提供に一層努める必要がある。							

6 款	3 項	2 目
実績	2	漁業後継者育成支援事業補助金
	かき養殖において生産コストの削減や施設損壊リスクの低下を図る事を目的とした新たな養殖技法の取組みや、かき養殖以外での養殖事業も計画しており、当町水産業の発展並びに漁業生産者の経営安定化に繋がるよう努めた。 ○ 事業主体 宮城県漁業協同組合松島支所青年研究会 ○ 補助額 50,000円	
	3	農林水産業振興対策事業補助金
	まつしま産業まつりで焼がき無料提供や松島大漁かきまつりin磯崎で焼がき及びかき汁の無料提供を実施し松島産かきの魅力を広く周知することができた。事業効果として消費拡大や生産経営の安定化に繋がるよう努めた。 ○ 事業主体 宮城県漁業協同組合松島支所 ○ 補助額 300,000円	

平成30年度 かき水揚げ高調べ

(資料：宮城県漁業協同組合松島支所)

平成30年9月～平成31年3月

(単位 : kg ・ 円)

地 区	松 島		磯 崎		名 込		古 浦		合 計		備 考
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	
9月	214.7	641,503	1,376.1	5,233,842	80.0	319,636	230	841,092	1,900.8	7,036,073	
10月	984.1	1,163,917	10,186.2	15,236,777	730.0	1,119,905	1,580.0	2,344,010	13,480.3	19,864,609	
11月	1,073.9	1,389,226	9,618.8	15,168,788	980.0	1,552,089	1,030.0	1,586,403	12,702.7	19,696,506	
12月	1,622.7	1,860,705	4,920.6	6,724,312	880.0	1,207,374	120.0	149,720	7,543.3	9,942,111	
1月	636.0	690,160	5,067.1	6,421,002	720.0	919,998	1,120.0	1,403,052	7,543.1	9,434,212	
2月	504.3	667,901	4,033.2	6,995,157	110.0	184,539	550.0	983,509	5,197.5	8,831,106	
3月	0.0	0	1,392.3	2,124,978	0.0	0	0.0	0	1,392.3	2,124,978	
計	5,035.7	6,413,412	36,594.3	57,904,856	3,500.0	5,303,541	4,630.0	7,307,786	49,760.0	76,929,595	
kg当たり単価		1,273.6		1,582.3		1,515.3		1,578.4		1,546.0	

一 般 会 計

6 款	3 項	4 目	漁港建設費				
担当部署名		建設課建設班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	409, 906	196, 319	92, 581			7, 289	96, 449
目的	古浦漁港及び銭神漁港について、新たな防潮堤整備を行い高潮や津波から背後施設の保全を図る。また、東日本大震災により被害を受けた磯崎漁港の漁具倉庫建設を行う。古浦、名籠、銭神漁港の沈下した漁港施設用地の嵩上げ及び舗装の整備を行い漁港施設の機能強化を図る。						
実績	◇ 磯崎漁港共同利用施設復興整備事業(東日本大震災復興交付金) 磯崎漁港で漁具倉庫の用地測量を行った。 1 委託料 1,319,760 円 ・ 磯崎漁港共同利用施設用地測量業務委託 1,319,760 円 ◇ 漁港施設機能強化事業(東日本大震災復興交付金) 銭神・名籠漁港の用地嵩上げ工事を実施した。 1 工事請負費 8,400,000 円 ・ 銭神漁港外漁港用地嵩上げ工事 8,400,000 円 (前払金) ◇ 漁港海岸・海岸保全施設築造事業(農山漁村地域整備交付金) 古浦漁港及び銭神漁港の防潮堤に係る用地測量を実施した。 また、古浦漁港防潮堤及び銭神漁港防潮堤の工事を実施した。 (繰越明許費) 1 委託料 965,520 円 ・ 古浦漁港防潮堤外用地測量調査業務委託 965,520 円 2 工事請負費 104,900,000 円 ・ 古浦漁港防潮堤整備工事 104,900,000 円 (前払金)						
成果	磯崎漁港共同利用施設復興整備事業については、磯崎漁港漁具倉庫の用地測量を行い、土地境界を確定し事業が完了した。 漁港施設機能強化事業については、銭神漁港、名籠漁港の用地嵩上げ工事を実施し、復興事業の推進が図られた。 漁港海岸保全施設築造業務については、銭神漁港及び古浦漁港について、新たな防潮堤整備を行い、高潮や津波から背後施設の保全を図る防潮堤の整備工事を実施し、事業推進が図られた。						
現況 課題 方向性	磯崎漁港共同利用施設整備事業については、磯崎漁港漁具倉庫の整備が完了した。 漁港施設機能強化事業については、銭神漁港及び名籠漁港の用地嵩上げ工事は、令和元年度の完成予定である。また、古浦漁港の用地嵩上げ工事は、令和2年度の完成を目指す。 漁港海岸・海岸保全施設築造事業については、古浦漁港及び銭神漁港の防潮堤について、工事に着手しており、令和元年度の完成予定である。						

6	款	3	項	4	目
実績	(事故繰越)				
	3	工事請負費			80,260,880 円
		・ 銭神漁港防潮堤整備その2工事 防潮堤整備工 L=95m H=3.5m			23,020,880 円
		・ 銭神漁港防潮堤整備その3工事 防潮堤整備工 L=65m H=3.5m			39,960,000 円
		・ 銭神漁港防潮堤第1陸閘整備工事 陸閘工 (W=5.00m、H=1.22m) N=1基			17,280,000 円

一 般 会 計

7	款	1	項	2	目	商工業振興費			
担当部署名				産業観光課産業振興班				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	62,285		62,089			664		48,000	13,425
目的	商工業の振興とともに、商工業者の経営安定等を図るため、商工団体と連携を深め、適正な育成・指導を行う。 また、消費者の保護とトラブル防止を図るために、消費生活相談員による相談等に努める。								
実績	1 消費生活相談員設置事業（週2回） ・相談処理件数 61件 ○内訳 特殊詐欺 2 件 住宅修繕 2 件 架空請求 35 件 訪問販売 5 件 多重債務 2 件 その他 15 件 2 市町村消費者行政活性化事業 ・消費生活講習会開催 4 回 参加人数 58名 ・消費生活啓発品購入他 ・まつの市でのパンフレット配布、消費生活相談会の開催 3 利府松島商工会地域総合振興事業補助金 6,000,000 円 ・会員数 334 人 (次頁へ続く)								
成果	本町商工業の情勢は大きな変動もなく僅かながらではあるが上向いているといえるが、依然中小企業や小規模事業者への融資資金斡旋や保証料補給事業を継続支援し、経営の安定に寄与している。 また、新たに創業を目指す者に対し、商工会や地元金融機関等と連携し、総合的に相談等を行える創業支援等事業計画を策定。平成30年8月に国の認定を受け、相談件数目標10件に対し5件の相談に留まったが、その内3件が新規創業に至った。 消費者行政においては、架空の管理センターを語り財産を差し押さえる等、消費者の不安を煽るハガキが多発したが相談員と協力し広報活動等実施。本町における被害は未然に防止できた。								
現況 課題 方向性	商工会との連携強化は継続し、東京2020オリンピック・パラリンピックへ向け訪日外国人への対応策の一つとしてキャッシュレス決済等の新たなシステムの導入支援や雇用対策なども検討する。また、町内外のイベント等への積極的参加と新たな出店事業者の育成にも取り組み、更なる商工振興に務める。 消費生活相談員設置事業は、町内高齢者に対する特殊詐欺のハガキを送りつける等の事案が発生していることを踏まえ、被害の未然防止のため出前講座や広報紙面や町内イベントでの啓発活動を継続する。								

7 款	1 項	2 目
実績	4	「松島ブランド推進事業」補助金 500,000 円
	・ 特産品部門	4 認定
	・ 観光部門	3 認定
	5	出合いサポート支援事業補助金 400,000 円
	・ 事業名	ワクワクカップリングパーティー
	・ 事業主体	利府松島商工会青年部
	・ 開催日	平成30年10月14日
	・ 開催場所	明月庵、観光船、洗心庵
	・ 参加人数	40名（男性：20名、女性：20名） 6 組のカップル成立
	6	松島町中小企業振興資金融資等保証料補給事業 2,847,877 円
実績	・ 中小企業振興資金申請者	19 人 保証料補給金額 2,847,877 円
	・ 小企業小口資金申請者	0 人 保証料補給金額 0 円
	7	中小企業融資資金預託事業
	・ 預託金	
	○ 振興資金	42,000,000 円
	貸付限度額	1,000 万円 貸付期間 7 年以内（運転資金）
		10 年以内（設備資金）
	利 率	2.2 % 融資件数 17 件（ 7,822 万円）
	○ 小口資金	6,000,000 円
	貸付限度額	300 万円 貸付期間 5 年以内
実績	利 率	2.2 % 融資件数 0 件（ 0 万円）
	8	創業者支援事業補助金 3 件 3,000,000 円
	9	宮城黒川地域地場産業振興協議会負担金 65,880 円

一 般 会 計

7 款	1 項	3 目	観光費				
担当部署名		産業観光課観光班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	67,335	65,323				3,988	61,335
目的	松島観光の復興とともに、観光客の来訪を促進するため、積極的な情報提供や宣伝活動を行う。 また、観光客の利便と安全を確保するため、観光施設等の整備・管理を図る。						
実績	1 観光客等年別入込数 - 観光客等年別入込数 (平成30年1月～12月) 3,054,759 人 (前年 2,746,785 人) - 観光客等年別宿泊数 (平成30年1月～12月) 600,052 人 (前年 609,156 人) - 主要観光イベント入込数 別頁(P111)のとおり - 松島海岸駅前案内所外国人利用者実績 42,012 人 (前年 41,855 人) 2 観光行政費 13,403,483 円 - 松島町観光審議会の開催 ○第1回 日程 平成30年12月12日 内容 松島町観光振興計画について ○第2回 日程 平成31年3月22日 内容 平成31年度主要事業について						
成果	平成20年より実施していた国宝瑞巖寺「平成の大修理」が終了したことに伴い、「国宝瑞巖寺落慶 慶祝前夜祭」等の記念事業が執り行われた。国道45号等の整備が概ね完了したことも影響し、観光客 の入込数は東日本大震災後初めて年間300万人を超えた。 観光客誘致事業では、国宝瑞巖寺を主軸として展開し、各種PRや観光客受入体制整備等を進めた。 また、関西圏からの誘客を図るため、発地型観光パンフレットの作成や、仙台国際空港からの二次交 通バス「仙台空港・松島・平泉・花巻線」を活用したプロモーション事業を実施した。さらに、開湯 して10周年を迎えた「太古天泉 松島温泉」をPRし、宿泊客の誘客に努めた。 交流事業では、松島観光協会や宮城県、日本三景観光連絡協議会をはじめとした県内外の関係市町 と連携を図り、観光キャンペーンやイベントでの出展を行った。また、平成30年7月に発生した西日本 豪雨災害で被災した岡山県倉敷市の観光復興を支援するため、まつしま産業まつりにおいて倉敷市の ブース出展を行い、特産品などを販売した。 世界で最も美しい湾クラブ事業では、フランス及び台湾で開催された世界会議に出席し、松島湾の 取り組みを世界各国の参加者に向けて発信した。また、松島湾の環境保全に関しては、観光客などを 対象としたアマモ再生活動や清掃ツアーを実施した。 国際交流事業では、国際交流員(CIR)を任用し、海外メディア対応やフェイスブックでの情報発 信、多言語パンフレットの作成の他、松島旅館組合を対象とした英会話教室等を開催し、町全体での 外国人観光客受入体制整備を進めた。 また、町内の生産者と仕入れ業者を結び付けることを目的とした「松島町商談会」を開催し、地域 産業の総合的な活性化を図った。						
現況 課題 方向性	東日本大震災後に減少していた観光客入込数は回復傾向にあるが、宿泊者数に関しては減少傾向に ある。仙台国際空港からの二次交通バス「仙台空港・松島・平泉・花巻線」や「太古天泉 松島温 泉」等を活用しながら、県内外の関係市町と連携を図り、広域での宿泊客の誘致を目指す。						

7 款	1 項	3 目
実績		・負担金補助及び交付金 5,734,620 円 ○（公社）宮城県観光連盟 1,185,000 円 ○仙台・宮城観光キャンペーン推進協議会 1,000,000 円 ○せんだい・宮城フィルムコミッション 900,000 円 ○日本三景観光連絡協議会 600,000 円 ○伊達な広域観光推進協議会 350,000 円 ○石巻港大型客船誘致協議会 120,000 円 ○その他 1,579,620 円 ・ディスカバー松島プロジェクト推進事業「松島町商談会」 ○日程 平成30年12月4日、5日 ○場所 松島町文化観光交流館 大ホール ○参加数 仕入れ業者 22事業者 生産者 19事業者 ・NHK「俳句王国がゆく」公開収録 ○収録日 平成30年8月25日 ○場所 松島町文化観光交流館 大ホール ○放送日 平成30年10月14日 ・松島町観光親善大使任命式（俳優・千葉雄大氏） ○日程 平成31年3月20日 ○場所 東京都内 ・JR東日本連携企画「駅長オスズの小さな旅」 ○「桜香る季節にめぐる風光明媚な松島」（平成30年4月18日） ○「霊場松島～松島のルーツを辿る～」（平成30年11月9日） ・二次交通プロモーション（松島町民号）業務委託 155,810 円 ○内容 「平泉観光」松島町民号バスツアーの実施 ○日程 平成31年2月2日 ○場所 岩手県平泉町 ○参加数 19人 ・松島町発地型観光パンフレット作成業務委託 1,458,000 円 ○部数 15,000部 ○配布先 関西圏、首都圏、仙台市営地下鉄駅構内 等 ・観光施設Wi-Fi環境保守運用業務委託 673,920 円 ○場所 町内観光施設5か所（松島町文化観光交流館、松島海岸駅前、カフェベイランド、松島パノラマハウス、観瀾亭松島博物館） 3 松島観光協会（松島町観光振興対策事業補助金交付） 13,750,000 円 4 松島温泉組合（松島町観光振興対策事業補助金交付） 3,000,000 円 5 松島湾プロモーション事業 1,657,820 円 ・松島ファンクラブ事業 会員数 853人 ・松島こども英語ガイド事業 ○松島こども英語ガイド夏編 - 期間 平成30年7月14日～8月17日（オリエンテーション1回、英語サロン9回、実践2回） - 場所 瑞巖寺、比翼塚、水主町民家、明月庵 - 参加者 町内の小学5年生～中学3年生 23人 ○松島こども英語ガイド秋編 - 期間 平成30年11月12日～11月17日（英語サロン5回、実践1回） - 場所 円通院 - 参加者 町内の小学5年生～中学1年生 11人
		(次頁へ続く)

7	款	1	項	3	目
実績					・ 松島平泉周遊関西圏プロモーション業務委託 ○ 日程 平成30年11月21日～11月22日 ○ 場所 松島町、岩手県平泉町 ○ 招請者 (公社)倉敷観光コンベンションビューロー、(株)近畿日本ツーリスト中国四国 366,500 円
					・ 松島湾アマモ再生事業「松島湾 うみっこ たづっこ プロジェクト」 ○ 藻場造成活動 (アマモ) 日程 平成30年8月4日 場所 福浦橋 参加者 一般参加者 792人 ○ 藻場造成活動 (アカモク) 日程 平成30年11月3日 場所 福浦橋 参加者 一般参加者 993人 ○ アマモの種子散布 日程 平成30年11月5日 場所 福浦橋
	6		国際交流関係経費		8,211,301 円
					・ 国際交流員の任用 1人
					・ 海外からの要人等来客の対応 ○ 中国 吉林省長春市公式訪問団 ○ イギリス 平成30年度海外自治体幹部交流協力セミナー ○ ベラルーシ 駐日ベラルーシ共和国大使館訪問団 等
					・ 国際交流員活用による事業 ○ 「松島町からの英語によるコンサルティング」事業 松島旅館組合英会話教室 (全12回) 観光事業者等の英訳サポート 等 ○ 「Visit Matsushima」フェイスブックページの運営 ○ 海外要人等来客の対応 ○ 地域活動の参加等 松島「五郎八姫物語」 松島流灯会 海の盆での留学生等の浴衣体験ボランティア 等
					・ 世界で最も美しい湾クラブ事業 ○ 第13回世界で最も美しい湾クラブ世界会議に出席 日程 平成30年4月17日～21日 場所 フランス (ヴァンヌ市、ラ・ボール市) ○ 第14回世界で最も美しい湾クラブ世界会議に出席 日程 平成30年9月27日～29日 場所 台湾 (澎湖県) ○ 世界で最も美しい湾クラブ国内加盟湾連携シンポジウムに出席 日程 平成30年8月18日 場所 富山県高岡市
					・ 松島町多言語パンフレット印刷 ○ 新規作成 中国語 (簡体字) 10,000部、タイ語5,000部、韓国語5,000部 ○ 増刷 中国語 (繁体字) 10,000部 976,320 円
					・ 負担金補助及び交付金 ○ 宮城県国際観光テーマ地区推進協議会 ○ その他 1,184,149 円 155,000 円 1,029,149 円

(次頁へ続く)

(次頁へ続く)

7 款	1 項	3 目	
実績			7 Visit Matsushimaキャンペーン推進事業 1,406,712 円 - 世界で最も美しい松島湾清掃ツアー ○ 日程 平成30年12月2日 ○ 場所 福浦島、瑞巖寺 等 ○ 参加者 一般参加者 37人 - JR東日本「TRAIN SUITE 四季島」おもてなし ○ 日程 平成30年12月8日～平成31年3月26日（全22回） ○ 場所 JR松島駅構内 8 瑞巖寺落慶記念事業 1,542,834 円 - おもてなし機運醸成事業 ○ 提灯装飾によるおもてなし - 内容 観光事業者等に「松島流灯会 海の盆」デザインの提灯を配布し、装飾を行う。 - 参加者 町内55事業者 ○ JR東日本車両中吊り広告掲出 - 期間 平成30年6月1日～6月30日 - 場所 JR仙石線車両内 9 管理業務 - 松島公園他施設清掃業務委託 ○ 内容 観光施設公衆便所清掃他 3,326,400 円 ○ 場所 瑞巖寺総門前公衆便所、西行戻しの松公園公衆便所、富山観音公衆便所 西行戻しの松公園防災器具庫脇公衆便所、三十刈駐車場公衆便所、双観山公衆便所 松島パノラマハウス - 松島公園他施設日常清掃業務委託 ○ 内容 松島公園清掃他 2,145,960 円 ○ 場所 国際交流村、双観山、新富山、雁金森、白衣観音堂内及び周辺、三十刈駐車場 西行戻しの松公園 - 観光施設樹木剪定業務委託 ○ 内容 樹木剪定工・枯枝撤去工他 2,689,200 円 ○ 場所 国際交流村、双観山、新富山、白衣観音周辺、はす池広場 - 松島公園町管理環境整備業務委託 ○ 内容 除草・集草・側溝清掃他 3,633,120 円 ○ 場所 国際交流村、双観山、新富山、西行戻しの松公園

観光客年別月別入込数

年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計	年	
11年	151,000	158,000	187,000	281,000	446,000	312,000	353,000	628,000	300,000	398,000	323,000	128,000	3,665,000	11年	12月山形新幹線新庄延伸
12年	165,000	165,000	188,000	286,000	416,000	307,000	360,000	639,000	309,000	380,000	320,000	126,000	3,661,000	12年	
13年	145,000	172,000	193,000	302,000	415,000	305,000	372,000	633,000	323,000	374,000	339,000	130,000	3,703,000	13年	宮城国体開催
14年	149,000	176,000	194,000	292,000	408,000	298,000	370,000	652,000	335,000	376,000	345,000	142,000	3,737,000	14年	ワールドカップサッカー競技開催・東北新幹線八戸開業
15年	163,000	179,000	207,000	286,000	393,000	303,000	371,000	626,000	318,000	373,000	343,000	136,000	3,698,000	15年	7月宮城県北部連続地震
16年	161,000	174,000	193,000	273,000	406,000	294,000	374,000	641,000	316,000	360,000	331,000	137,000	3,660,000	16年	新潟中越地震
17年	124,000	259,000	175,000	223,000	374,000	304,000	258,000	600,000	308,000	366,000	278,000	150,000	3,419,000	17年	東北楽天イーグルス誕生、名古屋万博「愛地球博」
18年	120,000	240,000	173,000	211,000	395,000	303,000	279,000	816,000	313,000	366,000	342,000	153,000	3,711,000	18年	8月五大堂御開帳祭典
19年	132,000	267,000	168,000	222,000	364,000	321,000	273,000	681,000	349,000	384,000	356,000	168,000	3,685,000	19年	3月18日仙台空港アクセス鉄道運行開始
20年	133,000	247,000	205,000	210,000	331,000	289,000	235,000	610,000	282,000	348,000	391,000	192,000	3,473,000	20年	8月松島温泉開湯、10月～12月宮城デスティネーションキャンペーン
21年	138,000	246,000	203,000	216,000	379,000	295,000	280,000	719,000	380,000	343,000	381,000	155,000	3,735,000	21年	3月ETC1,000円割引スタート、9月シルバーク、9月瑞巖寺大改修開始
22年	137,986	216,572	183,737	192,126	337,265	287,199	281,213	714,110	302,772	341,763	385,404	188,474	3,568,621	22年	1～3月天候不順、2月28日大津波警報、7～8月夏猛暑
23年	150,024	245,152	45,739	93,634	186,917	152,531	195,141	319,965	194,921	227,657	280,565	145,552	2,237,798	23年	3月11日：東日本大震災 4月7日：余震 9月：台風15号
24年	114,862	173,494	151,754	149,475	240,288	228,818	222,488	430,654	257,229	270,335	287,176	124,211	2,650,784	24年	8/19,8/20宮城国際ヒーローサミット
25年	120,852	189,307	173,579	187,347	290,227	258,377	235,265	446,261	259,475	272,864	360,992	186,647	2,981,193	25年	4月～6月仙台・宮城デスティネーションキャンペーン 9/28～10/13ルンゼンブエスティバルアークナヴァ松島2013
26年	140,419	170,119	179,370	181,883	284,594	253,048	218,269	434,181	273,807	280,683	365,518	149,358	2,931,249	26年	4/1消費税増税(8%) 9/20GLAY EXPO 2014 TOHOKU
27年	137,404	197,490	204,441	226,092	327,278	199,567	201,279	345,945	246,345	260,335	320,530	143,047	2,809,753	27年	3月1日 常磐自動車道全線開通 5月10日マリンピア松島水族館営業終了 5月30日JR仙石線全線運転再開・JR仙石東北ライン開業
28年	124,268	162,947	168,439	187,834	269,559	218,218	228,138	367,364	242,795	305,635	343,858	149,785	2,768,840	28年	3月26日北海道新幹線開業 4月5日瑞巖寺本堂再拝観開始 9月2日ザ・ミュージアム松島開館 仙台空港・松島・平泉線開通
29年	135,376	162,751	173,411	177,345	257,875	210,339	214,368	356,531	250,260	284,240	378,292	145,997	2,746,785	29年	7月22日～9月10日Reborn-Art Festival開催 9月2日松島ファンタスティック音楽祭×Reborn-Art Festival開催
30年	129,264	173,653	181,893	193,763	272,621	300,750	233,850	387,109	282,472	328,299	400,468	170,617	3,054,759	30年	6月22日国宝瑞巖寺落慶祝前夜祭開催、6月24日国宝瑞巖寺落慶法要

(過去20年分を記載)

観光客年別月別宿泊数

(単位:人)

年／月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
11年	67,000	61,000	70,000	63,000	65,000	67,000	78,000	99,000	71,000	96,000	86,000	82,000	905,000
12年	68,000	63,000	71,000	69,500	76,000	79,000	82,000	99,000	73,000	90,400	85,000	75,000	930,900
13年	62,600	56,400	67,000	65,500	76,200	79,200	64,500	91,600	75,800	94,600	77,500	75,200	886,100
14年	55,000	54,700	62,600	62,000	69,700	70,700	62,000	93,700	66,600	78,900	75,400	74,400	825,700
15年	53,500	48,500	60,900	50,700	69,300	70,600	61,900	85,600	65,500	73,200	75,700	76,200	791,600
16年	54,300	52,100	61,400	53,800	67,000	66,300	63,700	91,200	71,200	71,300	69,500	63,800	785,600
17年	43,900	44,000	50,700	49,300	56,500	59,100	53,400	77,800	54,000	67,900	58,600	62,300	677,500
18年	47,200	43,000	48,300	45,500	56,300	58,500	56,200	80,400	56,000	66,200	60,900	57,000	675,500
19年	41,200	42,800	48,000	43,600	59,100	62,400	54,900	81,900	56,300	66,700	60,500	56,600	674,000
20年	41,100	40,700	49,700	42,600	53,900	55,500	46,700	70,500	50,000	60,100	65,600	59,500	635,900
21年	43,900	44,200	53,400	48,500	55,500	57,800	55,200	77,800	56,000	64,700	65,100	53,800	675,900
22年	46,024	46,298	51,355	48,866	50,291	55,790	55,814	78,530	58,583	65,692	67,783	64,314	689,340
23年	52,920	45,625	20,160	76,163	112,004	95,693	96,112	90,645	69,615	71,293	79,045	74,298	883,573
24年	54,141	47,519	53,988	38,062	45,862	49,791	48,300	67,930	56,037	59,760	60,032	52,867	634,289
25年	45,365	46,384	55,053	45,577	49,530	52,843	50,484	69,728	54,325	57,997	62,038	55,036	644,360
26年	47,470	42,827	53,948	42,223	48,086	50,962	48,792	63,377	49,044	57,751	58,453	55,356	618,289
27年	46,546	41,827	51,065	44,506	48,781	48,279	52,348	73,764	54,644	62,202	61,563	56,752	642,277
28年	50,178	45,779	55,307	48,836	48,407	51,041	51,221	64,660	52,888	62,426	57,760	54,828	643,331
29年	45,810	39,996	50,164	49,948	43,635	46,174	50,259	67,636	51,340	56,585	57,330	50,279	609,156
30年	43,769	42,257	51,278	43,053	47,504	51,915	43,149	62,364	51,495	56,507	55,090	51,671	600,052

(過去20年分を記載)

松島町主要観光イベント入込数

(単位:人)

年度	瑞巖寺灯灯道	灯籠流し花火大会	松島流灯会 海の盆	園遊茶会	紅葉ライトアップ	芭蕉祭並びに全国俳句大会	松島かき祭り	冬のとおき松島
11	第 3 回 45,000	220,000		第11回 5,000		第45回 250人 1,964句	第22回 150,000	10,341
12	第 4 回 46,000	270,000		第12回 3,000		第46回 300人 1,837句	第23回 180,000	10,735
13	第 5 回 36,000	280,000		第13回 3,000		第47回 250人 1,866句	第24回 100,000	10,003
14	第 6 回 55,000	220,000		第14回 3,100		第48回 287人 2,072句	第25回 105,000	9,297
15	第 7 回 52,000	150,000		第15回 3,000		第49回 260人 2,087句	第26回 155,000	9,518
16	第 8 回 78,500	180,000		第16回 2,500		第50回 300人 2,536句	第27回 125,000	10,043
17	第 9 回 63,000	110,000		第17回 3,000		第51回 275人 2,019句	第28回 115,000	7,912
18	第10回 61,000	160,000		第18回 3,500	第 1 回 15,000	第52回 250人 2,145句	第29回 120,000	10,711
19	第11回 50,000	120,000		第19回 3,000	第 2 回 22,000	第53回 250人 2,098句	第30回 100,000	11,295
20	第12回 56,500	140,000		第20回 3,500	第 3 回 32,000	第54回 250人 1,839句	第31回 100,000	10,882
21	第13回 64,000	143,000		第21回 3,500	第 4 回 39,000	第55回 250人 1,722句	第32回 73,000	14,851
22	第14回 69,100	154,000		第22回 3,000	第 5 回 52,000	第56回 300人 2,054句	第33回 95,000	8,733
23	第15回 24,800	—	第1回 58,000	—	第 6 回 33,600	第57回 280人 2,108句	第34回 67,000	3,141
24	第16回 25,900	—	第2回 42,000	—	第 7 回 43,384	第58回 250人 1,710句	第35回 52,000	—
25	第17回 16,500	—	第3回 42,500	—	第 8 回 47,926	第59回 160人 1,852句	第36回 52,500	5,046
26	第18回 10,000	—	第4回 47,000	—	第 9 回 54,065	第60回 200人 1,893句	第37回 51,500	5047
27	—	—	第5回 28,000	—	第10回 55,005	第61回 200人 1,758句	第38回 30,000	6,196
28	—	—	第6回 42,000	—	第11回 69,546	第62回 150人 1,790句	第39回 35,000	—
29	—	—	第7回 20,000	—	第12回 76,487	第63回 160人 1,710句	第40回 36,000	—
30	—	—	第8回 33,000	—	第13回 82,696	第64回 190人 1,731句	第41回 38,000	—

(過去20年分を記載)

年度別松島海岸駅前観光案内所外国人利用者実績

(単位:人)

国 名	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
アメリカ	962	806	1,022	803	1,078	848	1,098	879	838	875	276	524	643	609	712	770	1,713	2,333
台湾	449	629	324	617	976	1,149	1,270	1,201	1,081	1,525	248	876	1,139	1,695	2,491	4,074	33,815	32,304
フランス	143	266	194	200	354	373	493	671	557	627	65	152	204	232	293	317	223	425
シンガポール	54	109	65	130	127	184	264	301	406	613	52	101	93	116	143	149	225	137
ドイツ	122	235	201	231	243	326	311	397	395	442	61	105	202	216	268	306	274	331
韓国	471	729	517	682	665	598	752	581	597	750	80	260	223	166	219	288	328	617
イギリス	158	306	201	202	266	245	324	337	227	239	78	112	167	255	186	291	201	244
香港	1,341	1,995	899	1,326	966	1,135	2,497	1,674	1,505	1,936	87	260	242	485	389	478	418	571
中国	263	480	383	263	457	271	463	499	402	646	260	605	688	908	1,886	2,206	1,042	983
オーストラリア	159	168	204	240	240	289	373	514	378	478	39	188	158	308	291	397	399	688
カナダ	112	162	178	163	195	144	177	211	185	217	41	78	103	98	124	136	135	138
スイス	25	62	48	57	82	51	88	125	148	154	7	51	78	64	87	105	62	71
スペイン	19	45	69	77	94	288	171	272	308	320	29	67	80	109	131	143	118	133
ブラジル	28	31	51	33	34	23	28	44	17	42	13	33	16	71	27	32	62	21
アフリカ諸国	7	7	6	9	20	6	20	19	0	0	0	0	1	21	26	41	27	50
イスラエル	6	22	16	19	30	75	55	55	53	83	16	4	44	45	46	82	146	118
タイ	60	116	74	76	107	207	472	637	779	899	94	406	936	780	603	780	1,602	1,413
ロシア	33	33	43	32	52	58	53	30	61	57	18	51	40	47	39	52	80	56
ポーランド	12	8	8	14	14	39	45	48	42	119	14	21	64	28	60	49	26	34
フィリピン	14	25	12	23	47	19	23	31	25	20	3	20	29	57	44	61	39	63
スウェーデン	10	70	12	10	34	36	49	41	50	24	12	38	22	26	20	38	14	25
インド	109	65	60	135	80	86	125	133	72	73	33	61	57	93	88	125	106	84
マレーシア	17	18	30	38	38	35	32	85	49	125	35	52	71	99	88	99	114	79
イタリア	20	51	57	39	34	86	95	98	167	161	7	23	29	55	84	125	56	53
その他	2,051	3,389	2,366	2,713	2,515	3,708	630	528	646	709	185	458	564	592	537	614	630	1,041
人 数	6,645	9,827	7,040	8,132	8,748	10,279	9,908	9,411	8,988	11,134	1,753	4,546	5,893	7,175	8,882	11,758	41,855	42,012
国 数	54	73	57	66	71	76	79	79	84	87	66	74	78	90	69	79	76	92

※平成31年3月末現在の数値

一 般 会 計

7	款	1	項	4	目	文化観光交流館費											
担当部署名			中央公民館				(単位:千円)										
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳												
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源								
	27,856		27,070						27,070								
目的	町の文化創造の拠点として、質の高い舞台芸術や音楽文化鑑賞などの学習機会を提供し、生涯学習の推進と芸術文化の裾野拡大を図る。																
実績	1 町主催事業																
	<table><tr><th>名 称</th><th>内 容</th><th>実施日</th><th>来館者数</th></tr><tr><td>松島マジックフェスティバル</td><td>文化芸術による復興推進に係る協定により日本芸能実演家団体協議会の協力のもと、家族で楽しめる芸能、文化に親しむ機会としてマジックショーを実施した。</td><td>9月9日</td><td>458人</td></tr></table>				名 称	内 容	実施日	来館者数	松島マジックフェスティバル	文化芸術による復興推進に係る協定により日本芸能実演家団体協議会の協力のもと、家族で楽しめる芸能、文化に親しむ機会としてマジックショーを実施した。	9月9日	458人					
	名 称	内 容	実施日	来館者数													
	松島マジックフェスティバル	文化芸術による復興推進に係る協定により日本芸能実演家団体協議会の協力のもと、家族で楽しめる芸能、文化に親しむ機会としてマジックショーを実施した。	9月9日	458人													
2 指定管理者委託事業																	
・ 指定管理料 20,576,000円（平成30年4月から平成31年3月まで） ・ 指定管理期間 平成27年10月から令和2年9月まで（5年間） ・ 指定管理者 株式会社BBI																	
	3 指定管理者主催事業																
	<table><tr><th>名 称</th><th>内 容</th><th>実施日</th><th>来館者数</th></tr><tr><td>第3回アトレ・るまつり</td><td>第3回目となるアトレ・るまつりは、ミニSLや模擬店、各種体験コーナーなどがあり、多くの親子連れで賑わった。また、まつりの市、フリーマーケット、松島発トーマス・エジソンまつりなど幅広い年齢層の来場者があり、大いに盛り上がった。</td><td>7月28日</td><td>600人</td></tr></table>				名 称	内 容	実施日	来館者数	第3回アトレ・るまつり	第3回目となるアトレ・るまつりは、ミニSLや模擬店、各種体験コーナーなどがあり、多くの親子連れで賑わった。また、まつりの市、フリーマーケット、松島発トーマス・エジソンまつりなど幅広い年齢層の来場者があり、大いに盛り上がった。	7月28日	600人					
名 称	内 容	実施日	来館者数														
第3回アトレ・るまつり	第3回目となるアトレ・るまつりは、ミニSLや模擬店、各種体験コーナーなどがあり、多くの親子連れで賑わった。また、まつりの市、フリーマーケット、松島発トーマス・エジソンまつりなど幅広い年齢層の来場者があり、大いに盛り上がった。	7月28日	600人														
(次頁へ続く)																	
成果	日本芸術実演家団体協議会との文化芸術による復興推進に係る協定により実現した松島マジックフェスティバルは、マジックというこれまで町民が触れる機会の少なかった芸能を提供し、観覧者の満足度も高かった。 また、指定管理者による文化観光交流館の自主イベント事業では、第3回目を迎えたアトレ・るまつりで、まつりの市、松島発トーマス・エジソンまつりとの同時開催だったこともあり、幅広い年齢層の来場者を迎え、多くの方にお楽しみいただけるイベントとなった。																
現況 課題 方向性	指定管理者による放送機材等の運用により、職員では対応できなかった専門的な知識と技術による施設の管理・運営が可能となり、利用者の利便性が向上している。 イベント事業については、今まで以上に質の高い文化・芸術事業に触れる機会が求められているが、財源の確保やイベントの企画運営など様々な課題があるので、指定管理者と連携して事業を実施していく。																

7 款	1 項	4 目
-----	-----	-----

名 称	内 容	実施日	来館者数
アトレ・るカラオケ大会	若い方からご高齢の方まで幅広い年齢層の方に参加していただいた文化観光交流館で開催した初めてのカラオケ大会。30組の方々が熱唱し、大盛況のイベントになった。	12月8日	135人
新春二人会VOL. 4	「笑いが一番」のサブタイトルにふさわしい出演者による民謡・歌謡、津軽三味線、六花亭遊花さんによる東北弁落語を披露し、来場者は質の高い伝統芸能に触れることができた。	1月27日	265人

4 利用状況

単位：人 () 内は申請件数

	一般	町外	社教	役場	教室	計
4月	342 (11)	269 (10)	299 (26)	200 (13)	685 (59)	1,795 (119)
5月	100 (9)	485 (14)	192 (12)	484 (20)	515 (48)	1,776 (103)
6月	40 (5)	290 (18)	595 (24)	307 (38)	602 (54)	1,834 (139)
7月	862 (28)	374 (18)	566 (23)	166 (8)	549 (56)	2,517 (133)
8月	77 (9)	329 (3)	98 (10)	1,153 (50)	526 (49)	2,183 (121)
9月	269 (22)	615 (26)	204 (20)	1,517 (93)	456 (44)	3,061 (205)
10月	36 (4)	8,265 (39)	449 (23)	3,043 (85)	478 (45)	12,271 (196)
11月	121 (11)	697 (29)	522 (47)	751 (32)	564 (49)	2,655 (168)
12月	286 (20)	1,697 (87)	60 (9)	600 (34)	414 (36)	3,057 (186)
1月	368 (33)	307 (15)	99 (9)	411 (53)	623 (45)	1,808 (155)
2月	136 (6)	1,658 (31)	1,010 (31)	278 (53)	518 (45)	3,600 (166)
3月	73 (6)	736 (26)	168 (14)	1,924 (50)	605 (53)	3,506 (149)
合計	2,710 (164)	15,722 (316)	4,262 (248)	10,834 (529)	6,535 (583)	40,063 (1,840)

※ 施設別利用状況

単位：人

大ホール	会議室	調理室	リハーサル室	研修室	和室	講座室	その他
26,116	3,464	435	1,596	2,857	1,856	2,735	1,004

実績

一 般 会 計

8 款	2 項	2 目	道路維持費				
担当部署名		建設課建設班・管理班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	116,586	100,449	26,697		20,600		53,152
目的	町道等の補修や草刈、除雪・融雪などを実施し、地域住民が利用しやすい道路環境を保全する。						
実績	【建設課 建設班所管】 ◇ 道路維持工事経費 町道の舗装維持工事及び国道45号歩道整備に係る照明灯移設工事を実施した。 1 工事請負費 ・ 町道東浜2号線外舗装補修工事 2,403,000 円 工事内容 町東・迎山線 L=57m、明神・新橋線 L=13m (繰越明許費) 2 工事請負費 ・ 国道45号歩道照明灯移設工事 8,100,000 円 工事内容 フットライト設置 N=31基 照明灯撤去 N=11基 (次頁へ続く)						
成果	【建設課 建設班所管】 道路維持工事経費については、町道の舗装維持工事及び国道45号歩道整備に係る照明灯移設工事を実施し、道路利用者が快適で利用しやすい道路環境の保全が図られた。 舗装補修事業については、町道の舗装補修を行い、住民が快適で利用しやすい道路環境の保全が図られた。 橋梁長寿命化対策事業については、橋梁補修工事を実施し、施設保全が図られた。 道路附属物点検事業については、町道橋の点検を実施し、施設の健全性の把握に努めた。 【建設課 管理班所管】 町道及び生活道等の維持管理を実施したことにより、道路環境の保全が図れた。また、地域住民と協同で草刈及び除雪を実施し交通の安全等を図ることができた。 大和松島線公衆便所・駐車場について清掃を実施することにより、利用環境の整備を図った。						
現況 課題 方向性	【建設課 建設班所管】 道路維持工事経費については、道路環境の保全のため、側溝改良や舗装補修等を行うもので、町全体のなかで優先順位を付けて行っており、今後も継続して進めて行く。 橋梁長寿命化対策事業については、町道橋についてランニングコストの削減を図りつつ、適切な維持管理を継続的に行うため、橋梁長寿命化計画を策定し計画的に補修工事を行っている。橋梁点検の結果を踏まえ計画的に事業を進めて行く。 舗装補修事業については、平成25年度より傷んだ町道を計画的に舗装補修を社会資本整備総合交付金での国庫補助を受けて進めてきた。しかし、平成30年1月に採択要件の見直しがあり、1層舗装の打ち換え補修については、公共施設等適正管理推進事業債となっている。町全体のなかで優先順位を付け、傷みの著しい箇所については計画的に事業を進める。 道路附属物点検事業については、道路法に基づき橋梁、トンネル等の重要施設について5年毎に1度の定期点検が義務付けられており、平成26年度より実施し、平成30年度で1巡目が完了している。今後も施設の健全性の把握に努めるため、定期点検を継続していく。 【建設課 管理班所管】 復旧・復興事業により新設町道や避難道路の整備が進み利便性が上る一方、道路維持管理費用の増加が見込まれる。今後、より効率的な道路維持管理を行う必要がある。また、草刈、除雪・融雪についても地域要望が増えているため、業務委託・直営・地域と調整を図りながら実施していく必要がある。						

8	款	2	項	2	目
実績	◇ 舗装補修事業 町道の舗装補修工事を実施した。				
	1 工事請負費				
	・ 町道東浜2号線外舗装補修工事 3,969,000 円				
	工事内容 東浜2号線 L=98m				
	◇ 橋梁長寿命化対策事業（社会資本整備総合交付金） 老朽化した町道橋の補修工事を実施した。				
	（繰越明許費）				
	1 工事請負費 43,481,360 円				
	・ 明神橋橋梁補修工事 27,477,920 円				
	工事内容 主桁塗装塗替、床版部ひび割れ補修、支承防錆、地覆補修、排水管取替				
	・ 明神橋橋梁補修その2工事 16,003,440 円				
	工事内容 伸縮装置取替				
	◇ 道路附属物点検事業（社会資本整備総合交付金） 道路法に基づき町道橋の定期点検を実施した。				
	（繰越明許費）				
	1 委託料				
	・ 松島町橋梁定期点検業務委託 4,114,800 円				
	委託内容 町道橋点検 N=11橋				
	【建設課 管理班所管】				
	◇ 町道等と県道大和松島線公衆便所の維持管理				
	1 需用費（消耗品費） 1,615,102 円				
	・ 融雪剤購入費 400袋（10,000k g） 416,880 円				
	融雪箱 83箇所（補充回数26回）				
	・ 草刈機刈刃（チップソー）購入費 300枚 479,520 円				
	松島地区・高城地区・手樽地区・北小泉地区・上竹谷地区				
	幡谷地区・根廻地区・初原地区・桜渡戸地区				
	2 委託料 28,290,072 円				
	・ 道路維持管理業務委託（その1～その3） 14,624,280 円				
	（道路補修・側溝補修・道路碎石敷・側溝清掃・道路支障木伐採等）				
	・ 道路除草業務委託 2,592,000 円				
	（8路線 年2回実施）				
	・ 道路除雪業務委託（北部・南部・西部） 7,189,560 円				
	（幹線道路等 12月1回実施）				
	（小型除雪機6台を配置し、地域住民と協同の除雪を実施）				
	・ 道路融雪剤散布業務委託 2,908,440 円				
	（6路線 12月5回・1月6回・2月1回実施）				
	・ 大和松島線公衆便所清掃業務委託（週6回実施） 689,256 円				
	・ 大和松島線公衆便所浄化槽保守点検業務委託（月1回実施） 51,528 円				
	・ 大和松島線公衆便所浄化槽清掃業務委託（年1回実施） 235,008 円				
	3 原材料費				
	・ 維持管理用原材料（常温合材・セメント・碎石・側溝蓋等） 2,962,350 円				

一 般 会 計

8 款	2 項	3 目	道路新設改良費					(単位:千円)
担当部署名		建設課建設班						
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	1, 178, 643	434, 391			3, 100	320, 028	111, 263	
目的	震災復興計画の具体化に向け、東日本大震災復興交付金事業として避難道路を整備し、沿岸部住民の迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。 また、砂利道について舗装を行い、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備を図る。							
実績	◇ 避難道路整備事業（東日本大震災復興交付金） 測量設計、土地購入及び物件等移転補償を行った。又、避難道路整備工事を実施した。 1 委託料 23, 954, 587 円 ・ 仙石線高城町・手樽間第2磯崎踏切拡幅に伴う水路改修工事委託に関する協定（2箇年債務 平成30年度分） 7, 542, 907 円 ・ 町道磯崎・高城町駅線外避難道路測量・設計業務委託（前払金・部分払） 16, 147, 080 円 ・ 町道垣ノ内幹線外2路線標準地鑑定評価書作成業務委託 264, 600 円 2 工事請負費 166, 854, 000 円 ・ 町道松島海岸・湯ノ原線避難道路整備その1工事（前払金） 17, 200, 000 円 ・ 町道高城・松島線避難道路整備その4工事（前払金） 17, 600, 000 円 ・ 町道磯崎・高城線外避難道路整備工事 擁壁工 L=23m 1, 156, 680 円 ・ 町道磯崎・高城線外避難道路整備その2工事 道路改良工 L=150m 12, 729, 960 円 (次頁へ続く)							
成果	東日本大震災復興交付金として採択を受けた避難道路整備事業については、測量設計、土地購入及び物件等移転補償を行い、避難道路整備工事を実施し、事業の推進が図られた。 道路舗装事業については、町道の砂利道について舗装工事を実施し、住民が快適で利用しやすい道路環境の整備が図られた。							
現況 課題 方向性	避難道路整備事業については、松島、高城・磯崎、手樽地区で35路線、約18.1k mを計画しており、平成30年度末までに27路線で約11.7k mが完成している。今後も用地買収等を進め、令和2年度末での工事完成を目指す。 道路舗装事業については、砂利道舗装について町全体のなかで優先順位を付けて行っており、今後も継続して進めて行く。							

8 款	2 項	3 目	
実績		・ 町道長田 1 号線外避難道路整備その2工事 道路改良工 L=147m	1,467,360 円
		・ 富山避難路整備工事 (前払金)	51,300,000 円
		・ 町道手樽・富山駅線避難道路整備工事 (前払金)	46,200,000 円
		・ 町道手樽・富山駅線外避難道路整備その2工事 (前払金)	19,200,000 円
	3	土地購入費	12,563,644 円
		・ 町道垣ノ内幹線道路整備事業土地購入	10,656,537 円
		・ 町道磯崎・高城町駅線道路整備事業土地購入	167,200 円
		・ 町道手樽・富山駅線道路整備事業土地購入	1,739,907 円
	4	補償金	96,132 円
		・ 町道手樽・富山駅線道路整備事業物件等移転補償金	96,132 円
		(繰越明許費)	
	5	工事請負費	204,922,800 円
		・ 町道霞ヶ浦枝線避難道路整備工事 道路改良工 L=65m	7,600 円
		・ 町道瑞巖寺線避難道路整備工事 道路改良工 L=98m	23,425,200 円
		・ 町道高城・松島線避難道路整備その2工事 道路改良工 L=244m	27,764,000 円
		・ 町道高城・松島線避難道路整備その3工事 道路改良舗装工 L=331m	31,374,400 円
		・ 町道高城枝1号線避難道路整備工事 道路改良工 L=87m	15,074,400 円
		・ 町道長田1号線外避難道路整備工事 擁壁工 L=11m	1,564,920 円
		・ 町道長田1号線外避難道路整備その2工事 道路改良工 L=147m	24,447,080 円
		・ 町道磯崎・高城線外避難道路整備工事 擁壁工 L=23m	3,300,000 円
		・ 町道手樽・富山駅線避難道路附帯工事 付帯工 N=2箇所	1,666,440 円
	(次頁へ続く)		

8 款	2 項	3 目
-----	-----	-----

・ 町道名籠線外避難道路整備附帯その2工事
道路改良工 L=23m 3,398,760 円

・ 町道三浦線避難道路整備工事
道路改良工 L=426m 72,900,000 円

6 補償金 2,007,999 円

・ 町道手樽・富山駅線道路整備事業物件等移転補償金 2,007,999 円

(事故繰越)

7 工事請負費 13,300,280 円

・ 町道名籠線避難道路整備附帯工事
道路付属施設工 1式 13,300,280 円

避難道路整備工事進捗状況 (平成30年度末現在)

事業名	全体計画		H29年度迄整備済		H30年度整備済		整備済累計		進捗率
	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	計画路線 (路線数)	延長 (m)	
町道高城・松島線外3路線 道路整備事業	6	3,250	2	908	1	647	3	1,555	47.8%
松島地区避難路整備事業	4	935	2	695	1	80	3	775	82.9%
普賢堂外避難路整備事業	2	610	0	0	0	0	0	0	0.0%
町道上竹谷・高城線外11 路線道路整備事業	13	6,100	10	3,117	2	1,136	12	4,253	69.7%
高城・磯崎地区避難路整 備事業	5	1,265	3	352	1	83	4	435	34.4%
町道手樽富山駅線避難道 路整備事業	4	5,595	3	3,940	1	381	4	4,321	77.2%
手樽柿ノ浦地区避難路整 備事業	1	360	1	360	0	0	1	360	100.0%
合計	35	18,115	21	9,372	6	2,327	27	11,699	64.6%

◇ 道路舗装事業
町道の砂利道について舗装工事を実施した。

1 工事請負費 1,744,200 円

・ 町道藤ノ巻・大日向線道路舗装工事
道路舗装工 L=111m 1,744,200 円

町道整備等の状況

(平成30年度末現在)

区分	延長 (m)	改良済延長 (m)	改良率 (%)	舗装済延長 (m)	舗装率 (%)
町道全体	163,373	114,833	70.29	130,737	80.02
うち幹線町道	31,573	22,404	70.96	25,847	81.86

一 般 会 計

8 款	3 項	1 目	河川総務費				
担当部署名		建設課管理班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2,919	2,453					2,453
目的	河川公園施設を維持管理し、住民や見学者等が利用しやすい環境を整備する。また、明治潜穴の歴史構造物について見学しやすい施設管理に努める。						
実績	◇ 明治潜穴公園 ふれあいの広場 やすらぎの水辺 かたらいの水辺の維持管理 1 役務費（手数料） 270,000 円 ・ 除草した草の処理料 270,000 円 2 委託料 1,633,454 円 ・ 明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託 779,004 円 （明治潜穴公園 週6回実施、その他の河川公園 月2回実施） ・ 河川公園遊具定期点検業務委託(年1回実施) 17,280 円 ・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽保守点検業務委託(月1回実施) 66,450 円 ・ 明治潜穴公園公衆便所浄化槽清掃業務委託(年1回実施) 290,120 円 ・ 高城川桜並木樹木剪定業務委託（年1回実施） 480,600 円						
成果	河川公園の清掃・除草及び高城川桜並木の剪定を実施することで、住民や見学者等が立ち寄りやすい環境整備を図った。また、明治潜穴公園公衆便所他清掃業務委託においては、公益社団法人松島町シルバー人材センターと社会福祉法人松の実福祉会との契約により、高齢者等の就労機会確保と社会参加推進にも寄与した。						
現況 課題 方向性	宮城県が事業主となり、平成30年2月に明治潜穴公園リノベーション事業着手式が開催され、令和元年5月から明治潜穴公園公衆便所改修工事が始まり、継続して環境整備事業が進められる予定になっている。この事業を通じて、住民や見学者等にとって利便性の高い施設となるよう宮城県と調整を図っていく。						

一 般 会 計

8 款	5 項	1 目	都市計画総務費					
担当部署名		企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	10, 477	10, 213				43	10, 170	
目的	本町の将来像を踏まえ、バランスのとれた計画的な土地利用を図り、緑豊かな潤いのある都市を創出する。							
実績	1 松島町都市計画マスタープラン策定業務委託 3, 524, 000 円 (繰越明許費)							
	○ まちづくり検討委員会の開催							
	開催日	内 容					場 所	
	平成30年 8月27日	都市計画マスタープラン計画案について (出席委員10人、欠席委員2人)					役場3階 大会議室	
	2 都市計画審議会の開催							
	開催日	諮問・報告内容		答申内容		場 所		
	平成30年 8月29日	(諮問事項) 松島町都市計画マスタープランについて		平成28年度から策定作業を実施してきた都市計画マスタープランについて、宮城県で平成30年5月に都市計画決定した『仙塩広域都市計画区域の整備、開発及び保全の方針』を踏まえた最終案について原案どおり承認された。 (出席委員7人、欠席委員3人)		役場3階 大会議室		
平成31年 2月25日	(報告事項) ・品井沼地区地区計画の都市計画変更決定に向けた取り組み状況 ・都市計画道路根廻磯崎線及び松島運動公園の変更決定に向けた取り組み状況		変更決定に向け宮城県との調整を行っている2案件について、諮問するに先立ち、進捗状況について報告した。 (出席委員10人、欠席委員0人)		役場3階 大会議室			
(次頁へ続く)								
成果	都市計画マスタープランについて、まちづくり検討委員会での承認及び都市計画審議会での答申の上、平成30年9月議会での議決を受け策定することができた。 また、本町の将来像を踏まえた建築物の建築に係る相談、指導を行うとともに、各種行為に対する審査事務等を迅速に行うことで、計画的な土地利用に寄与した。							
現況 課題 方向性	市街化区域編入予定地区として位置付けされている明神地区について、市街化区域編入に係る申請手続を実施したことから、今後円滑に都市計画決定がなされるよう、引き続き決定権者である宮城県との協議調整を行う。 また、「品井沼地区」における地区整備計画の策定について、引き続き同意権者である宮城県との協議調整を進めるとともに、他地区における計画策定の可能性について検討を進める。							

8 款	5 項	1 目
-----	-----	-----

3 地区計画内における行為の届出に関する業務（くぬぎ台）

- ・品井沼地区地区整備計画に基づき、地区計画内における行為の届出に関する受付及び審査事務を実施するもの。
- 届出件数：0件

4 建築の許可に関する業務（都市計画法第53条第1項）

- ・都市計画施設の区域内における建築物の建築に関する申請書類の審査及び許可証の発行を実施するもの。
- 申請件数：1件（松島：1件）

5 土地利用に関する取り組み状況

開催日	内 容	場 所
平成30年 12月11日	品井沼駅前周辺地区 新たな土地利用計画に関する説明会 ～新しい地区整備計画の位置付けについて～ (対象者108人、出席者54人)	品井沼農村環境 改善センター

実績

一 般 会 計

8 款	5 項	3 目	公園管理費				
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	60,553	60,508				3	60,505
目的	スポーツを通じた町民の健康増進及びスポーツ競技力向上のため、子どもから高齢者まで幅広い年齢層の利用者が、安全にそして快適にスポーツを楽しめるよう施設の充実を図る。						
実績	1 運動公園業務委託 ・ 松島運動公園指定管理料 15,644,000 円						
	2 温水プール業務委託 ・ 松島運動公園(温水プール)指定管理料 37,300,000 円						
	3 運動公園月別利用状況 (単位:人)						
	月	野球場	テニスコート	多目的運動広場	会議室	グラウンドゴルフ	合 計
	4	0	820	2,330	59	103	3,312
	5	0	1,036	2,090	43	44	3,213
	6	836	661	2,245	102	118	3,962
	7	323	535	2,488	135	178	3,659
	8	902	433	2,425	233	83	4,076
	9	622	639	2,040	100	278	3,679
	10	679	715	2,189	80	297	3,960
	11	306	560	1,918	19	81	2,884
	12	0	469	1,543	59	104	2,175
	1	0	360	860	23	51	1,294
	2	23	418	882	35	107	1,465
	3	8	736	2,189	53	122	3,108
	計	3,699	7,382	23,199	941	1,566	36,787
(次頁へ続く)							
成果	利用者のニーズに即した教室や講座を提供したり、温水プールではスタンプカードの導入により利用者がまた利用したくなるサービスを提供したりするなど、指定管理者のノウハウを活用することで利用促進が図られた。また、多くの施設利用者に対し運動やスポーツに親しむ機会を日常的に提供したことで、利用者の健康保持と体力向上へとつながった。						
現況課題 方向性	施設の機能を維持するために修繕の必要な箇所が多く見られるようになってきている。利用者の不利益とならないよう指定管理者と情報共有を密に行い、緊急性の高いものは迅速に対応するとともに、施設の全体的な長期計画を策定し、修繕に取り組んでいく。						

4 温水プール施設別利用状況

(プール)

(単位:人)

月	町内(個人)			町外(個人)			計			コース貸切		無料	幼児	教室		合計
	学生	一般	計	学生	一般	計	学生	一般	計	利用者数	団体数			参加者数	件数	
4	171	262	433	22	134	156	193	396	589	320	15	14	10	0	0	933
5	202	284	486	22	152	174	224	436	660	374	17	17	10	0	0	1,061
6	215	374	589	40	158	198	255	532	787	491	22	21	24	23	2	1,346
7	662	616	1,278	117	225	342	779	841	1,620	673	32	29	60	49	4	2,431
8	654	683	1,337	161	254	415	815	937	1,752	426	25	20	94	45	4	2,337
9	258	438	696	18	127	145	276	565	841	484	23	14	25	24	2	1,388
10	154	258	412	3	79	82	157	337	494	209	13	11	7	0	0	721
11	201	235	436	4	111	115	205	346	551	304	21	17	2	38	4	912
12	181	253	434	25	127	152	206	380	586	262	16	19	8	27	3	902
1	188	210	398	19	214	233	207	424	631	263	24	14	5	29	3	942
2	200	244	444	27	254	281	227	498	725	263	18	7	23	20	2	1,038
3	240	302	542	11	152	163	251	454	705	224	15	13	16	0	0	958
計	3,326	4,159	7,485	469	1,987	2,456	3,795	6,146	9,941	4,293	241	196	284	255	24	14,969

(トレーニングジム)

(単位:人)

月	町内計	町外計	講習会		無料	合計
			参加者数	件数		
4	423	153	19	5	5	600
5	455	154	18	5	4	631
6	411	175	25	7	2	613
7	410	164	8	4	2	584
8	433	174	20	6	4	631
9	427	157	27	8	3	614
10	320	135	21	6	0	476
11	378	126	10	5	1	515
12	370	146	17	8	2	535
1	478	185	13	6	66	742
2	484	188	15	6	103	790
3	492	182	11	7	115	800
計	5,081	1,939	204	73	307	7,531

(シルバートレーニングルーム)

(単位:人)

月	町内計	町外計	教室		無料	合計
			参加者数	件数		
4	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0
6	2	0	23	3	0	25
7	4	0	26	3	0	30
8	8	0	29	4	0	37
9	10	0	0	0	0	10
10	4	0	20	2	0	24
11	6	0	50	5	0	56
12	0	1	34	4	0	35
1	0	0	12	2	0	12
2	0	2	19	4	0	21
3	0	0	22	5	0	22
計	34	3	235	32	0	272

(スタジオ)

(単位:人)

月	一 般		教 室		合 計	
	利用者数	件数	参加者数	件数	人数計	件数計
4	46	6	0	0	46	6
5	71	10	0	0	71	10
6	97	11	0	0	97	11
7	124	13	62	12	186	25
8	55	8	60	9	115	17
9	56	9	73	12	129	21
10	78	7	62	9	140	16
11	52	7	104	12	156	19
12	40	6	92	12	132	18
1	27	4	69	9	96	13
2	36	5	103	12	139	17
3	53	8	106	12	159	20
計	735	94	731	99	1,466	193

(会員)

(単位:人)

月	スクール	フルタイム	ナイト	合計
4	577	778	44	1,399
5	595	821	49	1,465
6	634	867	51	1,552
7	807	1,000	59	1,866
8	563	917	48	1,528
9	722	827	35	1,584
10	574	671	30	1,275
11	803	953	23	1,779
12	733	743	7	1,483
1	502	820	9	1,331
2	787	822	9	1,618
3	775	920	10	1,705
計	8,072	10,139	374	18,585

(次頁へ続く)

(温水プール全施設月別集計人数)

(単位:人)

月	プール	トレーニング ジム	シルバートレーニ ングルーム	スタジオ	会員	合計
4	933	600	0	46	1,399	2,978
5	1,061	631	0	71	1,465	3,228
6	1,346	613	25	97	1,552	3,633
7	2,431	584	30	186	1,866	5,097
8	2,337	631	37	115	1,528	4,648
9	1,388	614	10	129	1,584	3,725
10	721	476	24	140	1,275	2,636
11	912	515	56	156	1,779	3,418
12	902	535	35	132	1,483	3,087
1	942	742	12	96	1,331	3,123
2	1,038	790	21	139	1,618	3,606
3	958	800	22	159	1,705	3,644
計	14,969	7,531	272	1,466	18,585	42,823

(温水プール施設における教室)

教室名	対象	実施回数(回)	延べ参加者数(人)
水中ウォーキング教室	会員	43	907
アクアエクササイズ・ウォーク教室	会員	147	1,390
アクアビクス教室	会員	49	372
初級水泳教室	会員	381	2,345
中級水泳教室	会員	99	490
楽しくエアロビクス教室	会員	50	567
エアロビクス教室	会員	99	1,096
ヨガ教室	会員	92	1,160
筋力・シェイプアップ教室	会員	258	1,538
ピラティス・ストレッチ教室	会員	107	1192
健康体操・バランスボール教室	会員	49	458
ZUNBA教室	会員	96	448
GW短期水泳教室	幼児・小学生	1	13
夏休み短期水泳教室	幼児・小学生	1	29
秋の短期水泳・体育教室	幼児・小学生	1	9
冬休み短期水泳・体育教室	幼児・小学生	1	12
春休み短期水泳教室	幼児・小学生	1	13

実績

5 温水プールリース料(平成30年度分)

- ・ トレーニングマシンリース料
- ・ 複合機リース料

4,199,040 円
168,480 円

一 般 会 計

8	款	5	項	4	目	自転車等駐車場管理費				(単位:千円)																																													
担当部署名				建設課管理班																																																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																																		
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																														
	6,139		5,879						5,879																																														
目的	松島駅前駐輪場利用者の減少が続いているため、1階駐輪場部分を自動車駐車場としても使用出来るよう改修を行い、施設の有効活用及び駅利用者の利便性向上を図る。																																																						
実績	1 役務費（手数料）																																																						
	・ 建築確認（用途変更）申請手数料 30,000 円																																																						
	2 委託料																																																						
	・ 松島駅前駐輪場改修設計業務委託 1,404,000 円																																																						
	3 工事請負費																																																						
	・ 松島駅前駐輪場改修工事 4,428,000 円																																																						
	1階駐輪場に自動車を駐車できるように改修																																																						
	<table><tr><td>区分</td><td>車両区分</td><td>当 初</td><td>改修後</td><td>備 考</td></tr><tr><td rowspan="3">1階</td><td>自転車</td><td>195 台</td><td>10 台</td><td>改修後は高齢者等優先駐輪場</td></tr><tr><td>バイク</td><td>44 台</td><td>6 台</td><td></td></tr><tr><td>自動車</td><td>0 台</td><td>10 台</td><td></td></tr><tr><td>2階</td><td>自転車</td><td>259 台</td><td>259 台</td><td></td></tr></table>										区分	車両区分	当 初	改修後	備 考	1階	自転車	195 台	10 台	改修後は高齢者等優先駐輪場	バイク	44 台	6 台		自動車	0 台	10 台		2階	自転車	259 台	259 台																							
	区分	車両区分	当 初	改修後	備 考																																																		
	1階	自転車	195 台	10 台	改修後は高齢者等優先駐輪場																																																		
バイク		44 台	6 台																																																				
自動車		0 台	10 台																																																				
2階	自転車	259 台	259 台																																																				
4 使用料																																																							
<table><tr><td>車両区分</td><td>単位</td><td>1日</td><td>1月</td><td>3月</td><td>6月</td><td>12月</td></tr><tr><td rowspan="2">自転車</td><td>旧</td><td>50 円</td><td>600 円</td><td>1,500 円</td><td>2,800 円</td><td>5,000 円</td></tr><tr><td>新</td><td colspan="5">無 料</td></tr><tr><td rowspan="2">バイク</td><td>旧</td><td>100 円</td><td>1,000 円</td><td>2,200 円</td><td>4,100 円</td><td>7,500 円</td></tr><tr><td>新</td><td>100 円</td><td>600 円</td><td>- 円</td><td>- 円</td><td>- 円</td></tr><tr><td rowspan="2">自動車</td><td>旧</td><td>- 円</td><td>- 円</td><td>- 円</td><td>- 円</td><td>- 円</td></tr><tr><td>新</td><td>300 円</td><td>5,500 円</td><td>- 円</td><td>- 円</td><td>- 円</td></tr></table>										車両区分	単位	1日	1月	3月	6月	12月	自転車	旧	50 円	600 円	1,500 円	2,800 円	5,000 円	新	無 料					バイク	旧	100 円	1,000 円	2,200 円	4,100 円	7,500 円	新	100 円	600 円	- 円	- 円	- 円	自動車	旧	- 円	- 円	- 円	- 円	- 円	新	300 円	5,500 円	- 円	- 円	- 円
車両区分	単位	1日	1月	3月	6月	12月																																																	
自転車	旧	50 円	600 円	1,500 円	2,800 円	5,000 円																																																	
	新	無 料																																																					
バイク	旧	100 円	1,000 円	2,200 円	4,100 円	7,500 円																																																	
	新	100 円	600 円	- 円	- 円	- 円																																																	
自動車	旧	- 円	- 円	- 円	- 円	- 円																																																	
	新	300 円	5,500 円	- 円	- 円	- 円																																																	
成果	改修後の自動車駐車契約台数は、10台全て契約済の状況となっており、施設の有効活用が図られた。また、自転車についても松島駅前の美観等を損なうことなく駐輪場の利用が図られている。																																																						
現況 課題 方向性	現在は指定管理者委託により駐車場管理を行っている。今後についても安定した管理体制の継続を図りながら、利便性のある施設として維持管理を行っていく。																																																						

一 般 会 計

8 款	5 項	5 目	街路事業費				
担当部署名		建設課建設班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	1,241,429	657,371	256,512		8,400	177,844	214,615
目的	震災復興計画の具現化に向けて東日本大震災復興交付金事業として避難道路を築造し沿岸部の集落から迅速かつ安全な避難経路の確保を図る。また、被災地と防災拠点及び緊急輸送路線等を結ぶ道路築造を行い防災道路ネットワークの構築を図る。						
実績	◇ 町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側）（東日本大震災復興交付金） JR仙石線こ線橋工事をJRへ委託し実施すると共に建物等事前調査を行った。また、避難道路整備工事に伴う県道交差点改良工事及び付帯工事を実施した。 1 委託料 165,117,640 円 ・ 仙石線高城町・手樽間高城こ線橋新設工事委託に関する協定 （3箇年債務 平成30年度分） 165,117,640 円 2 工事請負費 51,840,000 円 ・ 町道根廻・磯崎線高城こ線橋桁製作工事 51,840,000 円 桁製作工 桁長L=23.7m N=23本 3 補償金 605,500 円 ・ 町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側） 物件等移転補償金 605,500 円 （繰越明許費） 4 委託料 1,736,640 円 ・ 町道根廻・磯崎線県道交差点排水構造物詳細設計業務委託 560,520 円 ・ 町道根廻・磯崎線避難道路高城こ線橋新設工事建物等事前調査 その2業務委託 1,176,120 円						
成果	東日本大震災復興交付金として採択を受けた根廻・磯崎線（磯崎側）については、工事委託や調査業務を行った。又、県道交差点改良工事及び付帯工事を実施し事業の推進が図られた。 社会資本総合交付金（復興枠）として採択を受けた根廻・磯崎線（根廻側）については、道路整備工事を実施し事業の推進が図られた。						
現況 課題 方向性	町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側）については、全体計画延長500mのうち320mが完成している。平成29年度からJR仙石線のこ線橋工事をJR東日本へ委託し工事着手しており、前後の避難道路整備工事とともに令和元年度末での完成を目指す。 町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）については、平成29年度で本線部の事業用地の買収を終えている。道路整備工事は平成28年度より着手しており、全体計画延長1,550mのうち576mが完成している。今後、全線での道路整備工事や国道45号交差点改良工事を含め令和2年度末での完成を目指す。						

8	款	5	項	5	目		
実績	5	工事請負費			10,179,000 円		
	・ 町道根廻・磯崎線県道交差点排水構造物改良工事 排水構造物設置工 L=9.8m				5,603,040 円		
	・ 町道根廻・磯崎線避難道路附帯工事 防護柵設置工 L=38m				4,575,960 円		
	◇ 町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）（社会資本整備総合交付金） 道路整備工事を発注し、道路整備工事を実施した。 又、物件等移転補償を行った。						
	1	工事請負費			32,413,000 円		
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備工事（3箇年債務30年度分） （前払金）				32,413,000 円		
	2	補償金			1,618,413 円		
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）物件等移転補償金				1,618,413 円		
	（繰越明許費）						
	3	工事請負費			208,795,120 円		
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備工事 道路整備工 L=576m				165,609,120 円		
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備工事（3箇年債務30年度分） （前払金）				43,186,000 円		
	4	補償金			10,374,840 円		
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）物件等移転補償金				10,374,840 円		
	（事故繰越費）						
	5	工事請負費			174,320,000 円		
	・ 町道根廻・磯崎線道路整備工事 道路土工 L=402.5m				174,320,000 円		
	道路整備工事進捗状況						
	(平成30年度末現在)						
	事業名		全体計画	H29年度迄整備済	H30年度整備済	整備済累計	進捗率
			延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	延長 (m)	
	町道根廻・磯崎線道路整備事業（磯崎側）		550	320	0	320	58.2%
	町道根廻・磯崎線道路整備事業（根廻側）		1,550	0	576	576	37.2%

一 般 会 計

8 款	6 項	1 目	住宅管理費					
担当部署名		建設課管理班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	6,114	5,766				5,766		
目的	住宅に困窮する低所得者に低廉な家賃で住宅を賃貸し、町民生活の安定と福祉増進に寄与することを目的とする。							
実績	◇ 町営住宅（160戸81棟） 災害公営住宅（52戸30棟）の維持管理							
	1 需用費（修繕料）							
	・住宅別修繕内訳							
	住宅名	設置年数	修 繕 内 訳				金 額	
	愛 宕	S39～43	排水管、換気扇、瓦屋根				111,304 円	
	上初原	S42～45	床、天井、換気扇、外壁				149,040 円	
	幡 谷	S42					0 円	
	小石浜	S45					0 円	
	高 城	S56～57 H7	浴室、水栓、便器、排水管、クロス張り替え、 床、塗装、電気設備、街路灯、換気扇				2,720,485 円	
	災害公営住宅 華園・美映の丘	H27	給湯器、電気設備				17,636 円	
合 計						2,998,465 円		
2 役務費（火災保険料）								
・町営住宅火災共済（212戸）						390,853 円		
3 委託料								
・町営住宅遊具定期点検業務委託（年1回実施）						33,480 円		
・町営住宅除草業務委託（年2回実施）						496,152 円		
・町営住宅高城団地定期調査業務委託						486,000 円		
(次頁へ続く)								
成果	町営住宅の入居者より要望のあった箇所の修繕を実施し、入居者が快適に生活できる環境づくりに努めた。町営住宅使用料徴収については、訪問・夜間徴収を実施し、現年度の徴収率向上に成果を得た。駐車場使用料については、現年度及び滞納繰越分の徴収率は100%となった。							
現況 課題 方向性	簡易修繕は直営で行い、コストの低減が図られている。入居者の生活に支障をきたさないよう修繕を行っているが、建築年数の経過に伴い修繕箇所も増えている。今後についても入居者の生活環境が保たれるよう維持管理を適切に行っていく。また、町営住宅使用料収入についても滞納額の縮減を目指していく。							

8 款	6 項	1 目
-----	-----	-----

4 町営住宅管理戸数及び住宅使用料徴収状況

住宅名	管理戸数	住宅使用料徴収状況				備考
		調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)	
愛 宕	15	684,000	684,000	0	100.0%	
上初原	50	2,030,600	2,030,600	0	100.0%	
幡 谷	10	316,500	302,200	14,300	95.5%	
小石浜	7	286,800	286,800	0	100.0%	
高 城	78	19,274,700	19,081,810	192,890	99.0%	
災害公営住宅 華園・美映の丘	52	10,975,700	10,893,500	82,200	99.3%	
現年度分	212	33,568,300	33,278,910	289,390	99.1%	
滞納繰越分		3,621,900	422,853	3,199,047	11.7%	
合 計		37,190,200	33,701,763	3,488,437	90.6%	

5 町営住宅駐車場利用数及び駐車場使用料徴収状況

住宅名	利用数	駐車場使用料徴収状況				備考
		調定額 (円)	収入済額 (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)	
高城現年度分	37	860,000	860,000	0	100.0%	
高城滞納繰越分		8,000	8,000	0	100.0%	
合 計		868,000	868,000	0	100.0%	

6 町営住宅敷金会計別状況

	戸 数 (戸)	金 額 (円)	備 考
一般会計分	81	2,203,200	3世帯退居 ▲146,400 円
歳計外現金分	53	2,116,110	7世帯退居 ▲353,100 円
合 計	134	4,319,310	

実績

一 般 会 計

8 款	6 項	2 目	木造住宅等震災対策事業費				
担当部署名		建設課管理班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	3,097	1,973	894	390			689
目的	昭和56年5月以前に建築された木造住宅に対し耐震化の促進を図り、今後発生する恐れのある大規模地震での住宅倒壊を最小限に抑えるための助成を行う。 また、通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止するため、ブロック塀等の除却・設置に対し助成を行う。						
実績	1 木造住宅耐震診断助成事業業務委託 - 事業概要 町が耐震診断士を派遣して耐震一般診断及び耐震改修計画の作成をすることにより、住宅の地震に対する安全性の確保・向上を図り、震災に強いまちづくりを推進する。 - 実 績 4件（耐震性あり 0件・耐震性なし 4件） 560,000 円 【国1/2・県1/4の補助あり】 2 木造住宅耐震改修工事助成事業補助金 - 事業概要 大規模地震による住宅被害を減ずるために、町内にある木造住宅の所有者が住宅の耐震改修工事、又は町内で建替え工事を実施する場合に補助金を交付するもの。 - 助成実績 1件（耐震改修工事 1件） 1,100,000 円 【国2/5・県1/5の補助あり】 3 危険ブロック塀等除却事業補助金 - 事業概要 通学路等に面した危険ブロック塀等の倒壊による事故を未然に防止し、通行人の安全を確保するため、ブロック塀の除却及び除却箇所に生垣・フェンス等を設置する場合に補助金を交付するもの。 - 助成実績 2件（除却事業 2件・設置事業 1件） 228,000 円 【国1/2の補助あり】						
成果	木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業、並びに危険ブロック塀等除却助成事業について事業の推進に努めた。						
現況 課題 方向性	木造住宅の耐震診断助成事業及び耐震改修工事助成事業、並びに危険ブロック塀等除却助成事業の実績は微増となっているが、伸び悩みを見せている。 理由としては、経済的負担や高齢化等が挙げられるが、これまでの地震によるダメージの蓄積や経年劣化、被害の代償なども説明しながら、今後も継続して耐震助成の活用を促す。						

一般會計

8	款	6	項	3	目	住宅環境整備費				
担当部署名				企画調整課					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	3,048		1,042					1,000	42	
目的	東日本大震災により地盤沈下の影響を強く受けている沿岸部で浸水の恐れがある地域の浸水被害対策の促進と、被災した宅地等所有者の生活再建の負担軽減を図る。									
実績	松島町津波被災住宅再建支援事業補助金（宅地かさ上げ分）									
	（繰越明許費）									
	交付世帯数		町内 1世帯 2人		町外 0世帯 0人		1,000,000 円			
	交付状況									
	地 区		交付件数		うち盛土		うち基礎かさ上げ			
	松島		1件		1件		0件			
成果	東日本大震災により地盤沈下の影響を受けている沿岸部における浸水被害対策の促進と、被災者の生活再建の負担軽減を図ることができた。									
現況 課題 方向性	本事業の財源となっている東日本大震災復興基金交付金（津波被災住宅再建支援分）制度の対象となる事業内容の拡大について、引き続き宮城県に対する働きかけを実施するとともに、広報紙及びホームページを活用し、広く周知を図る。									

一 般 会 計

8	款	6	項	4	目	耐震対策緊急促進費																					
担当部署名				建設課管理班				(単位:千円)																			
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																						
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																		
	104, 120		104, 120		52, 060	15, 403			36, 657																		
目的	平成25年度の耐震改修促進法改正により耐震診断が義務化された、昭和56年度以前に建築された不特定多数の者が利用する大規模建築物について、耐震化への助成を行い、今後発生する恐れのある地震での倒壊等を最小限に抑えるための助成を行う。																										
実績	(繰越明許費)																										
	1 要緊急安全確認大規模建築物耐震改修工事助成事業補助金																										
	・ 事業概要		要緊急安全確認大規模建築物に該当する施設を所有する民間事業者等が耐震改修工事を行う場合に、民間事業者等に対して、予算の範囲内において補助金を交付する。																								
	・ 助成実績		耐震補強工事 1件				104, 120, 000 円																				
	・ 助成内訳																										
	補助金額実績 104, 120																										
	<table><tr><td>国</td><td>県</td><td>町</td><td>国直接補助</td><td>事業者</td><td>事業者 限度額超</td></tr><tr><td>11. 50%</td><td>3. 40%</td><td>8. 10%</td><td>21. 83%</td><td>55. 17%</td><td></td></tr><tr><td>52, 060</td><td>15, 403</td><td>36, 657</td><td>98, 839</td><td>249, 744</td><td>86, 297</td></tr></table>									国	県	町	国直接補助	事業者	事業者 限度額超	11. 50%	3. 40%	8. 10%	21. 83%	55. 17%		52, 060	15, 403	36, 657	98, 839	249, 744	86, 297
国	県	町	国直接補助	事業者	事業者 限度額超																						
11. 50%	3. 40%	8. 10%	21. 83%	55. 17%																							
52, 060	15, 403	36, 657	98, 839	249, 744	86, 297																						
	<table><tr><td colspan="6">補助対象経費 452, 703</td></tr><tr><td colspan="6">事業費 539, 000</td></tr></table>									補助対象経費 452, 703						事業費 539, 000											
補助対象経費 452, 703																											
事業費 539, 000																											
成果	補助金の助成により、事業者は耐震診断義務化対象建築物の耐震補強工事を実施した。																										
現況 課題 方向性	町内の要緊急安全確認大規模建築物の平成30年度末の耐震化率は100%となっている。																										

一 般 会 計

9 款	1 項	1 目	非常備消防費				
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	56,242	51,094		9,882	10,700	1,323	29,189
目的	住民の生命、財産を火災や自然災害から守るため、防災関係機関等との連携強化、情報共有、資機材等の充実を図り、相互協力の下、消防防災活動に努める。						
実績	1 火災発生状況 ・建物火災 3 件 (松島区1件・高城区1件・磯崎区1件) 2 消防団員出場状況 ○火災出場 65 人 ○警戒出場 ・災害警戒 (台風21号) 53 人 ・火気警戒 (行事等) 107 人 ○訓練 ・松島町総合防災訓練 66 人 ・秋季規律訓練及び水防工法訓練 36 人 ・文化財防火デー警防演習 18 人 ・防災訓練等 (各地区及び自主防災組織等) 8 人 ○研修 ・警防研修会 (消防団危険予知トレーニング研修) 11 人 ・松島町消防団幹部研修 17 人 ・防災講演会 (七ヶ浜町) 5 人 ○火災予防啓発 ・春・秋の火災予防運動一斉広報・防火査察及び消防水利点検等 208 人 ○出初式 127 人 (次頁へ続く)						
成果	火災や自然災害等から住民の生命と財産を守るとともに、防火意識高揚を図るための啓蒙活動、災害時に対応できるよう各種訓練、消防資機材、消防水利の点検を通して常備消防との連携を深め、体制の強化充実を図った。また、平成30年7月豪雨災害を受け、大雨等で河川から洪水が発生した場合を想定した水防工法訓練や、倒壊家屋からの救出・救助活動訓練を実施し、消防団員の対応力向上に努めた。 消防施設については、老朽化していた第5分団車庫 (上竹谷) を建設し消防施設の充実を図った。 自主防災組織育成事業については、各自主防災組織訓練の助言や活動支援を行い地域の防災力向上に努めた。						
現況 課題 方向性	近年は多くの消防団員が入れ替わっていることから消防ポンプ並びに資機材の取扱い方法の確認と基礎的内容を含めた各種訓練を実施するなど、迅速な消火や災害活動ができるよう対応力の向上に努める必要がある。また、消防車両更新の他にも、老朽化した消火栓 (水利) など各種施設の更新検討を行う必要がある。 自主防災組織については、各自主防災組織の活動 (訓練) が活発化するよう支援を行い、更には結成率向上にも努める必要がある。						

9	款	1	項	1	目
---	---	---	---	---	---

3 防火思想啓発事業

- ・ 火災予防運動【秋：平成30年11月9日～11月15日 春：平成31年3月1日～3月7日】
活動内容（消防団一斉広報、防火指導、消防水利点検、広報活動【防災行政無線他】）
- ・ 文化財防火デー警防演習（平成31年1月23日）

4 災害時の消防団活動状況

- ・ 9月4日 台風21号に係る警戒活動等 延べ23名
活動内容（警戒巡回、防潮堤閉鎖、広報活動）
- ・ 10月1日 台風24号に係る警戒活動等 延べ30名
活動内容（警戒巡回、防潮堤閉鎖、広報活動）

5 車両及び安全装備品等購入

- ・ 消防小型動力ポンプ付積載車 普通車4WD（第5分団配備） 8,748,000 円
- ・ 消防用ホース 60本 1,775,520 円
- ・ 消防団員安全靴 220足 1,283,040 円

6 消防施設整備

- ・ 第5分団消防車庫建設工事（上竹谷） 14,310,000 円
- ・ 第5分団消防会館解体工事（上竹谷） 3,896,640 円

7 自主防災組織育成事業

- ・ 自主防災組織訓練運営補助金 302,500 円（実施団体数 8団体）

訓練実施地区	実施日	訓練実施地区	実施日
1 幡谷区品井沼第一地区	5 月 19 日	5 根廻区	10 月 14 日
2 手樽区古浦地区	9 月 9 日	6 手樽区早川地区	11 月 17 日
3 初原区	9 月 16 日	7 幡谷区新田地区	11 月 18 日
4 松島区松島第1地区	10 月 14 日	8 本郷区三居山一地区	12 月 9 日

※ 自主防災組織以外の独自訓練として高城区が10/14に防災訓練を実施

実績

一 般 会 計

9 款	1 項	2 目	水防費				
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	666	662		73			589
目的	大雨による河川氾濫等の洪水や津波被害による水災害を警戒・防御し、被害を軽減するため、日頃から水防重点箇所等の確認や陸閘などの水防施設の点検を行う。						
実績	1 漁港・海岸・河川の陸閘点検【毎月1回】 延べ172人 対象箇所： ○ 松島区【20箇所】（第1分団） ○ 高城区【1箇所】（第2分団）（河川） ○ 磯崎区【7箇所】（第3分団） ○ 手樽区【19箇所】（第3分団） ※復興事業による工事箇所は現状把握を兼ねた確認作業を実施 2 河川（吉田川等）の重要水防箇所合同巡視 目 的： 台風等に伴う本格的な大雨時期を前に、洪水時に危険になる重要水防箇所や要注意区間を関係機関が合同で巡視を行い、迅速な水防活動に必要な情報共有を図る。 実 施 日： 平成30年6月20日（水） 巡視箇所： 吉田川右岸 10.4km～10.8km 重要水防箇所 吉田川右岸 12.4km～12.9km 重要水防箇所、重点監視区間 参 加 者： 25名 北上川下流河川事務所【河川管理者】 7名 各行政区代表（北小泉区長、下竹谷区長、上竹谷区長、幡谷区長） 4名 水防団【消防団】（副団長、第5分団長、第6分団長） 3名 松島消防署（署長、副署長） 2名 宮城県（仙台土木事務所） 2名 町（町長、総務課、産業観光課、建設課） 7名						
成果	毎月の陸閘の点検により、水防施設の設置箇所及び操作方法を熟知していることから災害等の緊急時の閉鎖作業を迅速に行うことが可能となっている。 また、河川の重要水防合同巡視を関係機関合同で行うことにより水防活動に必要な情報共有を図ることができた。						
現況 課題 方向性	近年は、集中豪雨の発生頻度並びに降雨量が増加傾向にあることから、洪水に対する水防対策が重要であり、災害時に備えた情報伝達方法の確認や水防訓練、土嚢や杭など洪水時に使用する水防資材の充実が必要となっている						

一 般 会 計

9 款	1 項	3 目	災害対策費				
担当部署名		総務課環境防災班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	40,453	35,792			1,700	18,865	15,227
目的	地震や津波災害をはじめ、台風、高潮等の風水害から住民の生命保護と財産被害を最小化するため、防災体制の構築と地域防災力強化、更には啓蒙活動や訓練をととして防災意識の高揚を図る。						
実績	1 松島町防災訓練の実施 実 施 日： 平成30年11月4日(日) 想 定： 大雨に伴う吉田川の増水及び土砂災害 訓練内容： 職員参集訓練、災害対策本部設置・運営訓練、避難所開設、情報伝達、広報訓練、水防訓練、倒壊家屋等救出訓練、排水訓練、浸水被害救助者救出訓練、炊き出し訓練 実施場所： 松島町野外活動センター円形広場・各地区避難施設及び集会施設(12箇所) 松島町役場 参加人数： 810名(各防災関係機関、行政区、自主防災組織、消防団、婦人防火クラブ、町職員) そ の 他： 171災害伝言ダイヤル体験コーナー、防災用品等展示 自衛隊装備品・パネル展示、消防装備品展示 2 防災指導員の養成 概 要： 地域の防災リーダーを育成するため、宮城県防災指導員フォローアップ講習を活用 実 施 日： 平成30年10月14日(日) 会 場： 石田沢防災センター 参 加 者： 各行政区役員、自主防災組織役員 29名 3 防災行政無線並びに全国瞬時警報システム(J-ALERT) 概 要： 親局1局(松島町役場)、遠隔操作卓(松島消防署・石田沢防災センター) 屋外拡声子局 町内36局設置 全国瞬時警報システム(J-ALERT)は防災行政無線に連動 内 容： 防災行政無線等施設保守点検業務委託 4,428,000 円 全国瞬時警報システム受信機更新修繕 2,376,000 円 防災行政無線屋外拡声子局バッテリー交換修繕(25箇所) 1,375,488 円 防災行政無線戸別受信機等備品購入(179台) 8,551,440 円 4 その他 地域防災計画見直し業務委託 4,050,000 円 気象防災支援情報提供業務委託 2,069,712 円 防災マップ作成業務委託(繰越明許費) 6,264,000 円						
成果	豪雨災害に係る総合防災訓練を実施したことにより、住民並びに関係団体等が災害時のすべきことを再認識でき、防災に対する意識と対応力の向上が図られた。 また、災害時の危険箇所や避難所、各種防災情報を周知するため防災マップ(8,000部)を作成し町内の全世帯並びに各事業所等へ配布を行った。更には、災害時の対応や防災対策全般を定める地域防災計画を現状に合わせた内容に見直すため、令和元年度までの2カ年事業で着手した。						
現況 課題 方向性	近年の災害は多様化、大規模化する傾向にあることから、継続して住民参加型の総合防災訓練を実施し、防災意識の向上に努め、防災関係機関との相互連携の強化を図る必要がある。 また、防災訓練の他にも身の安全を守る方法や災害リスクを考える機会をつくるため積極的な広報活動を行う必要がある。 防災行政無線は、難聴地域が多数あるため、戸別受信機や屋外拡声子局増設など災害情報の伝達体制の充実が必要となっている。						

一 般 会 計

9 款	1 項	4 目	避難施設管理費					
担当部署名		総務課環境防災班						(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	22,062	19,803				2,838	16,965	
目的	避難施設や避難場所等の適正な管理を行い有事における防災機能の確保に努めるとともに、平常時の有効活用により、地域の防災拠点としての機能強化を図る。 また、災害時における食料や資機材等に不足が生じないように備蓄倉庫へ災害用備蓄品を充足させるとともに、自家発電設備などの防災関連施設の維持管理に努める。							
実績	1 災害時用備蓄品購入事業							
	○ 消耗品類							
	・ 災害時用備蓄食料品購入事業						758,376 円	
	アルファ米						1,500 食	
	ビスケット						3,000 食	
	飲料水 (500ml)						2,400 本	
	・ 災害時用資機材						700,380 円	
	食器セット、給水袋、簡易トイレセット、感染症対策セット等							
	○ 備品購入費						464,400 円	
	対流形ストーブ、避難所用マット							
実績	2 委託料							
	・ 避難施設指定管理業務委託 (10施設)						2,794,751 円	
	・ 高城避難所機械警備業務委託						609,120 円	
	・ 石田沢防災センター浄化槽清掃業務委託						702,000 円	
	・ 石田沢防災センター浄化槽保守点検業務委託						368,416 円	
	・ 石田沢防災センター機械警備業務委託						285,120 円	
	・ 石田沢防災センター清掃業務委託						669,600 円	
	・ 石田沢防災センター交通整理業務委託						254,016 円	
	・ 石田沢防災センター草刈業務委託 (年3回)						589,680 円	
	・ 石田沢防災センター自家用電気工作物保安管理業務委託						200,880 円	
実績	・ 石田沢防災センター他消防設備保守点検業務委託						64,800 円	
	・ 磯崎避難所危険樹木伐採業務委託						410,400 円	
	・ 東浜避難場所草刈業務委託 (年3回)						232,200 円	
	・ 自家発電設備保守点検業務委託他						743,385 円	
	3 負担金補助及び交付金							
	・ 高城避難所管理費負担金						1,080,864 円	
	(清掃業務、空調設備保守点検、エレベーター保守点検)							
	4 石田沢防災センター利用者数							
	・ 駐車場利用者数						13,522 台	
	・ 防災まちづくりセンター棟利用者数						6,763 人	
・ 会議室棟利用者数						2,119 人		
実績	5 高城避難所利用者数							
	・ 多目的室利用者数						738 人	
成果	避難施設の適正な維持管理に努め、災害時における防災機能の強化が図られた。 また、平常時に地域住民の活動拠点として有効活用することで、自助・共助の防災力が向上した。 さらに、備蓄倉庫等への備蓄品及び資機材などの充足を行い防災機能の向上を図ることができた。							
現況 課題 方向性	施設の維持管理費が財政的な負担となっている。 高城避難所及び石田沢防災センターについては、指定管理制度の導入を含めた検討が必要である。							

一 般 会 計

10 款	1 項	2 目	事務局費												
担当部署名		教育課学校教育班											(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳												
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源								
	108,577	104,306		8,392			95,914								
目的	児童・生徒における家庭学習の習慣形成、基礎基本を着実に定着させ、「わかる喜び」、「学ぶ楽しさ」を体感させ、学習に対する自信を持たせることを目標とする。														
実績	1 学び支援事業 (県補助事業 学び支援コーディネーター等配置事業) ○年間利用児童・生徒数及び解説日数 上段：延べ利用児童・生徒数(単位：人) 下段：開設日数(単位：日)														
	学校名	年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
	松島第一小学校	30	0	44	136	97	155	143	173	163	89	93	125	72	1,290
			0	2	7	5	4	8	9	9	6	7	8	4	69
		29	0	0	159	67	327	101	137	137	78	66	102	58	1,232
			0	0	9	5	5	8	9	8	5	6	7	4	66
	松島第二小学校	30	0	0	271	181	81	203	205	264	118	186	239	85	1,833
			0	0	7	7	4	7	6	8	7	6	7	3	62
		29	0	0	275	111	7	255	228	142	112	92	130	26	1,378
			0	0	6	5	2	6	5	4	3	4	4	1	40
	松島第五小学校	30	0	29	281	250	85	224	269	222	98	135	157	139	1,889
			0	2	9	8	6	7	8	7	4	5	6	6	68
		29	0	46	228	217	48	238	189	182	146	153	178	101	1,726
			0	2	9	9	5	9	8	7	6	7	8	4	74
	松島中学校	30	0	1	12	205	0	8	21	19	27	26	7	5	331
0			9	9	12	3	7	11	11	8	8	5	4	87	
29		0	17	29	250	8	19	26	55	47	52	86	33	622	
		0	16	18	14	4	17	15	16	14	17	18	9	158	
計	30	0	74	700	733	321	578	668	668	332	440	528	301	5,343	
		0	13	32	32	17	29	34	35	25	26	26	17	286	
	29	0	63	691	645	390	613	580	516	383	363	496	218	4,958	
		0	18	42	33	16	40	37	35	28	34	37	18	338	
(次頁へ続く)															
成果	学び支援事業については、児童・生徒における家庭学習の習慣化につなげるため、各小・中学校の放課後、長期休業等を利用した学び支援事業を継続実施した。学校と指導の方向性を常に共有しながら、学び支援コーディネーター(指導主事経験者)・学び支援相談員(教員経験者)・学び支援員(補助者)が子供たちの学習サポートにあたったことで、積極的に自主学習に取り組む子供たちの姿が一段と見受けられるようになった。今年度は夏のサマースクールに続き、新たにウィンタースクールを実施し、参加している延べ人数は平成29年度よりも増加した。 心のケア・不登校対策については、児童生徒の心のケアをする専門家であるスクールソーシャルワーカーを活用し、学校と家庭、関係機関との連携を図り、学校生活復帰につながるよう努めた。併せて、みやぎ子どもの心のケアハウス「もみの木教室」を運営し、心のケアスーパーバイザー等による、教育相談及び学習支援を行った。														
現況 課題 方向性	学び支援事業は、学校の特別教室などを利用して事業を実施しているが、参加者が多く勉強スペースに不足が生じることもあるため、個々が集中して勉強に取り組める環境作りを学校と連携しつつ検討していく必要がある。事業の財源となっている県補助金が令和2年度を区切りに見直されることとなっていることから、事業のあり方や類似事業との統廃合も含めた事業の継続について早急に検討していく。 学習指導要領改訂の移行期間である令和元年度までに、外国語指導助手と担当教諭の共同による効果的な指導案の立案が必要となる。また、新学習指導要領では、新たな外国語教育として、小・中・高等学校を通じた5領域(『聞くこと』『読むこと』『話すこと(やり取り・発表)』『書くこと』)別の目標を設定しているため、小学校と中学校の連携が必須となる。幼児教育から中学生まで全学年において、生きた英語を学ぶ機会をさらに増やしていく。														

10 款	1 項	2 目
------	-----	-----

2 外国語指導助手（ALT）事業

○ 年間指導実績（延べ日数）

（単位：日）

学校名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
松島第一小学校	5	10	8	6	2	7	9	9	6	8	8	5	83
松島第二小学校	4	7	6	4	1	4	8	7	4	5	6	3	59
松島第五小学校	4	3	6	4	3	5	5	5	5	4	4	5	53
小学校 計	13	20	20	14	6	16	22	21	15	17	18	13	195
松島中学校	15	17	21	13	5	19	20	21	15	17	19	15	197

※ 上記の学校教育活動の他、児童館に計1回、幼稚園に計187回、保育所に計34回訪問し、未就学児への英語に親しむ機会を設けた。

3 研修会等

事業名	内容	月日	参加者数
教職員等対象研修会	教育講演会 講師：帝京大学大学院教職研究科教授 赤堀 博行 氏 演題：「道徳科の特質を生かした授業改善と評価」	8月21日	84人
	道徳が教科となった背景、指導観を明確にした授業構成がイメージできた。指導者の立場として子どもたちの学習状況の評価が重要であると学ぶことができた。		
	公開授業研究会視察（場所：秋田県にかほ市立金浦中学校）	11月6日	4人
	公開授業研究会視察（場所：秋田県にかほ市立平沢小学校）	11月16日	7人
	学力向上に大きな成果を上げている秋田県の指導の実態を学ぶ機会となった。研究協議会では板書の仕方や授業のポイントのまとめ方など活発な議論が行われ、多くのことを学ぶことができた。		
児童・保護者・教職員対象講演会	学び支援研修会 講師：ジャーナリスト 石川 結貴 氏 「スマホ世代の子どもとどう向き合うか ～家庭、学校、地域で支える子どもたちの育ち～」	2月23日	22人
	保護者や教職員などに、スマホやネットが子どもたちに与える影響の説明があった。大人は子どもと有益な利用法をともに考え、子どもの力を引き出す役割を担うことを学ぶことができた。		
計			117人

4 心のケアハウス事業

（県補助事業 みやぎ子どもの心のケアハウス運営支援事業）

○ 年間活動状況（延べ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
児童生徒支援人数	1	2	2	1	0	0	0	2	1	1	1	2	13
保護者支援人数	1	2	2	2	1	1	1	3	1	1	2	3	20
開所日数	15	21	21	15	5	18	22	21	15	17	19	15	204

5 子供安全対策事業（スクールガードリーダーの配置）

児童・生徒の安心安全対策として登下校時に週2回の見守り活動の実施

1名（活動回数 81回にかかる報償）

475,000 円

（次頁へ続く）

10 款	1 項	2 目																				
実績	6	スクールソーシャルワーカー（SSW）活用事業 （県補助事業 スクールソーシャルワーカー活用事業） 不登校児童生徒の心のケア相談支援体制を充実し、学校と家庭、各機関との円滑な連携を図ることで、学校生活復帰につながるよう努めた。 ・ SSW活動にかかる報償 （45回）690,000 円 ・ SSWとして雇用した実人数 2人 ・ 年間勤務時間数及び年間勤務日数<table><tr><td>年間勤務時間数</td><td>154 時間</td></tr><tr><td>年間勤務日数</td><td>45 日</td></tr><tr><td>平均勤務時間数</td><td>3.4 時間／日</td></tr></table> ・ 訪問活動の回数<table><tr><td>学校</td><td>37 回</td></tr><tr><td>家庭</td><td>0 回</td></tr><tr><td>教育委員会</td><td>37 回</td></tr><tr><td>その他関係機関</td><td>6 回</td></tr></table> ・ ケース会議の開催状況<table><tr><td>開催回数</td><td>45 回</td></tr><tr><td>ケース件数</td><td>10 件</td></tr><tr><td>参加教職員数</td><td>15 人</td></tr></table>	年間勤務時間数	154 時間	年間勤務日数	45 日	平均勤務時間数	3.4 時間／日	学校	37 回	家庭	0 回	教育委員会	37 回	その他関係機関	6 回	開催回数	45 回	ケース件数	10 件	参加教職員数	15 人
	年間勤務時間数	154 時間																				
	年間勤務日数	45 日																				
	平均勤務時間数	3.4 時間／日																				
	学校	37 回																				
	家庭	0 回																				
	教育委員会	37 回																				
	その他関係機関	6 回																				
	開催回数	45 回																				
	ケース件数	10 件																				
参加教職員数	15 人																					

一 般 会 計

10 款	2 3 項	1 目	小学校管理費 中学校管理費						
担当部署名		教育課学校教育班					(単位:千円)		
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源		
	58,012 25,834	54,772 23,249					54,772 23,249		
目的	町の教育基本方針である「かしこく、やさしく、たくましい児童・生徒の育成」と「特色ある学校づくりの推進」のため、児童・生徒の安心・安全な学習環境の充実と学校施設整備の向上を図る。								
実績	1 児童・生徒数及び学校職員数 (平成30年5月1日現在) (単位:人)								
	学 校 名	児童・ 生徒数	教職員数						
			学校教員	事務職員	養護教員	栄養職員	教育補助員	業務員	総 計
	松島第一小学校	310	22	1	1	0	3	1	28
	松島第二小学校	169	13	1	1	0	2	1	18
	松島第五小学校	81	10	1	1	0	2	1	15
	小計	560	45	3	3	0	7	3	61
	松島中学校	313	24	1	1	1	3	1	31
	総計	873	69	4	4	1	10	4	92
	2 需用費(修繕料)								
	・松島第一小学校	屋外放送設備修繕他	(15 件)	965,487 円					
	・松島第二小学校	プールろ過装置修繕他	(14 件)	807,570 円					
	・松島第五小学校	プールろ過装置修繕他	(6 件)	594,680 円					
	・松島中学校	防火シャッター修繕他	(12 件)	997,006 円					
	3 校務用コンピュータ(校務支援システム)整備状況 (単位:台)								
	項目/学校名	松一小	松二小	松五小	松中	計			
	整備年度	H29	H25	H27	H27	—			
	整備台数	27	17	16	34	94			
(次頁へ続く)									
成果	特別な支援を要する児童・生徒へのきめ細やかな支援や基本となる学力の定着を図るため、教育補助員等を配置し、教育活動の向上を図った。 また、児童・生徒が安心、安全に学校生活が送れるよう学校施設内各箇所の工事、修繕や教育用備品の購入に関して、各校毎に迅速な対応を心がけ、必要な施設整備を図った。								
現況 課題 方向性	各施設の状況に合わせて、必要な維持修繕等を実施しているが、各学校とも建設後の年数が経過しているため、施設の修繕や備品の更新などが必要な学校が多い状況となっている。 維持管理経費の平準化や計画的な維持管理、子ども達の安全確保のために文部科学省より長寿命化計画の策定を求められているところである。町内の教育施設の長寿命化計画を策定し、計画的な維持管理を図っていく。								

10 款	2 3 項	1 目
実績	4	工事請負費
	・ 松島第一小学校	
	高圧受電設備更新工事	694,440 円
	柱上高圧気中開閉器更新×1台 他	
	・ 松島第二小学校	
	高圧受電設備更新工事	1,389,960 円
	高圧ケーブル更新 L=75.0m 他	
	フェンス設置工事	965,520 円
	フェンス設置 L=13.5m 他	
	・ 松島第五小学校	
	高圧受電設備更新工事	640,440 円
	柱上高圧気中開閉器更新×1台	
	浄化槽漏水修繕工事	1,512,000 円
	接触ばっ気槽内既存部材引き上げ復旧・仕切板補修作業 一式	
	空調設備設置工事	930,960 円
	エアコン設置×1台 (音楽室)	
	5	備品購入費
	(庁用備品)	
	・ 松島第一小学校	生徒用椅子、生徒用机、丸スツール
		(3 品目、 69 個) 314,690 円
	・ 松島第二小学校	生徒用椅子、生徒用机、FF式石油暖房機
		(3 品目、 24 個) 548,791 円
	・ 松島第五小学校	ワイヤレスマイク、ストップウォッチ、ストップウォッチ用システムフリンター他
		(7 品目、 11 個) 152,556 円
	・ 松島中学校	生徒用椅子、丸スツール、湿温度計、ブックトラック
		(4 品目、 96 個) 454,596 円

一 般 会 計

10 款	2 項 3	2 目	教育振興費（小学校） 教育振興費（中学校）					
担当部署名		教育課学校教育班						(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	22,380 16,228	21,204 15,419	182 417	604 459		2,420	20,418 12,123	
目的	児童・生徒の学習に必要な教材・教具の整備充実により教育環境保全向上に努めると共に、経済的理由により就学困難な世帯並びに特別支援学級入級世帯の児童・生徒の保護者に対し、必要な援助を行う。							
実績	1 教育用コンピュータ整備状況 (単位:台)							
	項目/学校名	松一小	松二小	松五小	松中	計		
	整備年度	H27	H25	H26	H26	—		
	整備台数	60	34	25	61	180		
	うちタブレットPC	18	7	3	19	47		
	2 工事請負費							
	・ 小学校	松島町立小学校同軸線モデム設置工事 高速同軸線モデム20台、Wi-Fi基地局3台他					1,101,600 円	
	・ 中学校	松島中学校管理教室棟学習室及び第一理科室LAN敷設工事 LANケーブル、PoEスイッチ1台、情報用コンセント4個他					486,000 円	
	3 備品購入費							
	(教材備品 (H29繰越明許費))							
・ 松島中学校	バリトンサクソフォン、ホルン、トロンボーン、クラリネット、フルート、ピッコロ、トランペット他 (11 品目、 11 個)					2,381,400 円		
(教材備品)								
・ 松島第一小学校	黒球式熱中症指数計、アルファベット学習カードセット、CDラジオ他 (12 品目、 32 個)					295,834 円		
・ 松島第二小学校	黒球式熱中症指数計、アルファベット学習カードセット、CDラジオ他 (6 品目、 11 個)					99,393 円		
・ 松島第五小学校	黒球式熱中症指数計、アルファベット学習カードセット、図書システム他 (16 品目、 18 個)					342,999 円		
・ 松島中学校	黒球式熱中症指数計、絵画作品乾燥棚、力学台車用滑走台他 (15 品目、 42 個)					732,456 円 (次頁へ続く)		
成果	学校教材備品、図書備品など児童・生徒に必要な学習環境を整えた。また、同軸線モデム又はLANケーブルにより校内ネットワークを構築し、小学校においては普通教室で、中学校においては学習室及び第一理科室でインターネットを使える環境を整えた。 町内の小学校・中学校・高校において、志教育やまつしま防災学出前授業等による地域や防災、観光などをテーマに発表・交流する事業を実施。「ふるさと松島」の現状やこれからの将来についてみんなで考え、意見を出し、まとめ上げたことで松島を深く学ぶとても良い機会となった。 また、秋田県にかほ市との教育交流では、小・中学校公開授業研究会を町教育委員会委員及び町内の教職員が視察するとともに、積極的な意見交換も行うなど、今後の授業の在り方を深く考える機会となった。 経済的理由により就学困難となっている児童生徒の保護者に対する就学援助費については、援助を必要としている時期に速やかな支給が行えるよう、小・中学校に入学予定の子どもの保護者に対し、入学準備金（新入学用品費）を入学前に支給した。							
現況 課題 方向性	授業内容の充実のため、必要な教材や備品等を必要に応じて整備している。新学習指導要領において、情報活用能力が「学習の基盤となる資質・能力」と位置づけられ、情報通信技術（ICT）の環境整備活用が求められていることから、各学校における環境整備の充実が必要となっている。今後のプログラミング教育の必須化に向けてICT環境の整備を計画的に実施していく。							

(図書備品)

・ 松島第一小学校	課題図書・一般図書	(29 冊)	46,440 円
・ 松島第二小学校	課題図書・一般図書	(62 冊)	90,396 円
・ 松島第五小学校	課題図書・一般図書	(51 冊)	89,748 円
・ 松島中学校	課題図書・一般図書	(176 冊)	267,300 円

4 要保護・準要保護家庭及び特別支援学級児童に対する教育扶助費

・ 小学校

(単位：円)

学校名 該当人員	松一小	松二小	松五小	小計	特別支援	合計	
内容(一人当たり限度額)	58 人	16 人	11 人	85 人	10 人	95 人	
学用品費	11,420	456,804	182,720	79,940	719,464	51,390	770,854
通学用品費	2,230	76,008	31,220	13,380	120,608	8,920	129,528
校外活動費(泊有)	3,620	23,120	21,720	0	44,840	10,210	55,050
校外活動費(泊無)	1,570	29,892	6,880	1,170	37,942	6,075	44,017
新入学用品費	40,600	243,600	81,200	40,600	365,400	20,300	385,700
通学交通費	9,720	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	21,490	235,344	0	42,980	278,324	30,629	308,953
医療費(実費)	0	0	0	0	0	0	0
給食費	46,375	1,849,965	738,820	448,910	3,037,695	204,844	3,242,539
入学準備金(新1年生)	40,600	324,800	0	40,600	365,400	0	365,400
支給総額	3,239,533	1,062,560	667,580	4,969,673	332,368	5,302,041	

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 小学校全体：就学援助費85人【要保護8人・準要保護(従来要件)60人・準要保護(被災要件)8人・就学予定者9人】
特別支援教育就学奨励費10人

・ 中学校

(単位：円)

学校名 該当人員		松中	特別支援	合計
内容(一人当たり限度額)		52 人	9 人	61 人
学用品費	22,320	784,920	100,440	885,360
通学用品費	2,230	49,247	8,920	58,167
校外活動費(泊有)	6,100	0	0	0
校外活動費(泊無)	2,270	0	10,215	10,215
新入学用品費	47,400	616,200	23,700	639,900
通学交通費	20,000	83,040	20,000	103,040
修学旅行費	57,590	539,550	122,625	662,175
体育実技用具費(柔道着)	7,510	0	0	0
医療費(実費)		0	0	0
給食費(下記)		1,885,730	228,625	2,114,355
入学準備金(新1年生)	47,400	568,800	0	568,800
支給総額		4,527,487	514,525	5,042,012

※ 給食費：1・2年生 53,010円、3年生 50,530円

※ 要保護家庭は修学旅行費のみ支給

※ 中学校全体：就学援助費52人【要保護2人・準要保護(従来要件)35人・準要保護(被災要件)3人・就学予定者12人】
特別支援教育就学奨励費9人

(次頁へ続く)

10	款	2 3	項	2	目
----	---	--------	---	---	---

5 小中合同交流事業・にかほ市との教育交流・志教育支援事業

事業名	内容
にかほ市公開授業研究会視察 (11月6日, 16日)	にかほ市立平沢小学校及び金浦中学校の公開授業研究会に町内の教職員が参加し、平沢小学校では2年生の算数、4年生の道徳、6年生の外国語の授業を、金浦中学校では1年生の数学、理科、2年生の社会、3年生の道徳の授業を視察した。授業後には教科別研究協議会にも参加し、授業の進め方についての良かった点や課題点を挙げながら、学力向上に繋がる授業の意見交換を行った。
町内小学6年生交流事業 (※1: 9月26日)	町内の小学6年生合同による交流会を実施し、93名が参加した。交流会では他校の児童同士で行うゲームや児童全員での人文字を通しての他校との交流や、松島中学校の校長からの励ましの言葉等により、中学校生活のイメージを抱くことができた。
志教育支援事業 (※1は関連事業)	○小・中交流事業：まつしま防災学出前授業（6月27日） 小学3、4年生と中学1年生による防災に関する交流（中学生が防災について学んだことを出身校で小学生に教示） ○小・高交流事業：松島の観光学習発表授業（11月16日） 小学5年生と松島高校1年生による交流（松島の観光について高校生が小学生に教示） ○中・高交流事業：職場体験発表授業（12月14日） 中学2年生と松島高校1、2年生による交流（職場体験で得たことを互いに発表）

実績

一般会計

10 款	2 3 項	3 目	学校保健衛生費（小学校） 学校保健衛生費（中学校）													
担当部署名		教育課学校教育班										(単位:千円)				
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳											
					国庫支出金	県支出金		地方債		その他		一般財源				
	8,142 3,860		7,210 3,375							224 126		6,986 3,249				
目的	学校保健安全法に定められた各種健診を実施し、児童・生徒並びに教職員の健康保持増進に努める。															
実績	1 児童・生徒検診 ※内科・心電図・結核・眼科・耳鼻科については要精検・要受診となった人数を掲載 (単位:人)															
	学年		小学校						中学校				備考			
	項目		1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	1年	2年	3年		計		
	在籍者数		87	93	92	104	91	93	560	93	103	117	313			
	内科	肥満傾向	6	14	8	14	12	14	68	12	9	15	36	※肥満傾向=軽度肥満以上		
		脊柱・胸郭	0	0	0	0	2	1	3	0	1	0	1			
		心雑音	0	4	3	1	0	1	9	1	0	1	2			
		皮膚	アトピー	3	2	5	3	2	3	18	2	3	4	9		
			その他	2	0	0	2	3	3	10	0	0	0	0		
		尿	1次所見有り	1	1	0	2	3	6	13	0	3	2	5		
			2次所見有り	蛋白	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
				糖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
				潜血	0	0	0	2	0	0	2	0	2	2	4	
		四肢	事前問診所見有り	1	2	1	3	1	5	13	2	2	3	7		
		精密検査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
		血液(貧血検査)		-	-	-	-	-	1	1	-	0	-	0	※ 要再検 (130mg/dl以上)	
	心電図二次検査		-	-	-	3	-	-	3	1	-	-	1			
	結核	問診 要検討者	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		結核対策委員会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
	眼科	視力矯正0.7未満	0	0	0	4	6	10	20	6	12	15	33	※裸眼視力1.0未満の児童・生徒の割合		
		アレルギー結膜炎	3	2	3	0	3	3	14	1	1	3	5	小学校 28.6%(県34.2%、国34.1%)		
		その他(斜視他)	4	3	2	3	8	3	23	1	0	1	2	中学校 39.8%(県58.5%、国56.0%)		
	耳鼻科	聴力所見有り	1	3	1	-	2	-	7	0	-	1	1			
		耳疾患(中耳炎等)	-	8	4	-	4	-	16	0	-	0	0			
		鼻・副鼻腔疾患等	-	4	7	-	1	-	12	4	-	6	10			
	歯科	健全歯者	41	26	31	23	45	36	202	44	26	24	94	※12歳永久歯平均う歯本数		
		CO所有者	6	26	15	42	14	39	142	11	12	13	36	松島町1.00本		
		処置完了者	18	34	40	34	33	36	195	29	55	64	148	(県1.10本、国0.74本)		
	※血液(LDLコレステロール) 要再検査: 小学6年7人・中学2年4人															
(次頁へ続く)																
成果	学校保健委員会及び学校保健連絡協議会を開催し、情報交換や研究協議を行った。学校保健委員会では、学校医の指導、助言を受けながら各種健康診断・健康教育を実施し、児童・生徒及び教職員の健康保持増進が図られた。また、学校ごとに保健教育として『メディアコントロール』について講演を実施し、児童・生徒及び保護者に対して啓発することができた。															
現況課題 方向性	児童生徒及び教職員の健康保持増進のため、必要な健康診断や健康教育を実施した。 歯の健康を保つ取組として実施しているフッ化物洗口(うがい)については、中学1年生までを対象として実施した。12歳の永久歯平均う歯の本数は1.00本となり県平均を下回ったが、全国平均よりやや高い状態にある。取組開始から10年となる令和3年度までに、平均う歯を0.61本以下とすることを目標に今後も継続してむし歯予防の生活習慣指導を行う。 スマホ・ケータイ安全教室、携帯依存・被害防止等テーマに各学校の児童生徒や保護者対象に実施し、学校・地域・家庭による連携した安全対策の一助となったため、今後も継続していく。															

2 平成30年度教職員検診

(単位：人)

項 目	受診者	結果	備考
結核検診 (全教職員対象)	87	要精検9人	
胃がん検診 30歳以上希望者	29	要精検3人	※公立学校共済組合の人間ドック受診者を除く。
一般健診 希望者	61	要精検14人	

3 備品購入費

(保健衛生備品)

・ 松島第一小学校	除湿機	(1 品目 、 1 個)	36,072 円
・ 松島第二小学校	紫外線消毒器	(1 品目 、 1 個)	10,476 円
・ 松島第五小学校	ブロー付きハンディクリーナー、室内物干し	(2 品目 、 2 個)	10,476 円
・ 松島中学校	鼻鏡	(1 品目 、 45 個)	62,000 円

4 保健教育

実績

	内 容	対 象	日 程
町内小学校	メディアコントロールチャレンジ(1週間)	全児童	6月
松島第一小学校	「スマホ・ケータイ安全教室」 講師:KDDI	6年生	12月12日
	「薬物乱用防止教室」 講師:町薬剤師 新原勝久		1月25日
松島第二小学校	ノーゲーム&減テレビデー(週1回)	全児童	年間
	「スマホ・ケータイ安全教室」 講師:KDDI	5、6年生	7月13日
	保健指導「ゲーム依存の実態」 講師:石巻専修大特任教授 横江信一氏	5、6年生	11月22日
松島第五小学校	家庭学習強調週間	全児童	6月・11月・2月
	「喫煙・飲酒・薬物乱用防止教室」 講師:町保健師	6年生	1月29日
	「スマホ・ケータイ安全教室」 講師:NTTドコモ・宮城県警察	保護者	11月28日
松島中学校	保健講話「大切な命」、 生徒指導「携帯依存、被害防止等について」	全生徒	随時、夏季休業前
青少年健全育成 松島町民会議	講演会「親や先生が知らない！ネットやSNSの落とし 穴から子供たちを守る答えが見つかります」 講師:宮城県環境生活部	保護者・町民	11月15日
松島町教育委員会	学び支援研修会「スマホ世代の子どもとどう向き合うか ～家庭、学校、地域で支える子どもたちの育ち～」 講師:ジャーナリスト 石川 結貴 氏	児童・保護者・教職員	2月23日

一 般 会 計

10	款	2 3	項	4	目	学校建設費（小学校） 学校建設費（中学校）				
担当部署名				教育課学校教育班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	143,970 55,668		6,510 2,347				6,400 2,300		110 47	
目的	近年の猛暑など厳しい気象条件に対応するために国が新たに創設したブロック塀・空調設備対応臨時特例交付金の対象事業として、町内の小中学校への空調設備の整備を実施することで学習環境の充実を図る。									
実績	1 委託料 小学校 ・町立学校空調設備整備実施設計その1業務委託（第一小学校・第五小学校分）4,320,000 円 ・町立学校空調設備整備実施設計その2業務委託（第二小学校分）2,189,074 円 中学校 ・町立学校空調設備整備実施設計その2業務委託2,346,926 円									
成果	町立学校空調設備整備事業として、小学校3校及び中学校1校の空調設備実施設計業務を実施した。									
現況 課題 方向性	(空調設備整備事業) 令和元年10月の完了を見込んで普通教室のエアコン整備を進めている。 (施設維持管理) 各学校の現状に応じ、必要な工事を実施して環境整備に努めているが、維持管理の施設整備と同様に、施設の老朽化のために大規模な工事が必要な箇所が増えてきている。維持管理経費の平準化や計画的な維持管理、子ども達の安全確保のために文部科学省より長寿命化計画の策定を求められているところである。町内の教育施設の長寿命化計画を作成し、計画的な維持管理を図っていく。									

一 般 会 計

10 款	4 項	1 目	社会教育総務費				
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	22,737	21,998		1,386			20,612
目的	松島の「自然と歴史」を通じた生涯学習を家庭・地域・学校との協働により展開し、子どもから高齢者まで自発的に学習・交流する機会を提供することで、地域への郷土愛を醸成し、生活の豊かさを育み広げていく。						
実績	1 社会教育委員の会議の開催						252,228 円
	実施日		主な協議事項		出席委員数	場 所	
	平成30年5月7日		社会教育団体への補助金の交付について		11 人	松島町役場	
	平成30年9月3日		地域学校協働活動推進事業の評価・検証事業視察『放課後子ども教室』		7 人	松島町役場	
	平成30年10月22日		地域学校協働活動推進事業の評価・検証事業視察『座禅体験』		8 人	松島町役場	
	平成31年2月27日		地域学校協働活動推進事業の評価・検証		10 人	松島町役場	
	(次頁へ続く)						
成果	「ジュニア・リーダー養成・育成」事業では、毎年参加している地域行事のほか、児童館行事への派遣が増え、より多くの子どもたちとふれあう機会を得ることで技術の向上が見られている。また、町内外での技術研修会に積極的に参加し研鑽を積む姿が見られるようになってきた。 「こころ・はぐくみ隊」では創作活動を通して児童の芸術に関する関心・意欲が向上し、家庭学習にもつなげることができた。また高学年の児童が低学年の児童を積極的に手伝う姿勢や、協力して作品を仕上げる様子が見られ、社会性や思いやり、我慢強さ、責任感などを育む場となっている。 地域の歴史・文化を学ぶ「松島まるごと学」は各学校の状況や児童の実態に合わせた実施を試み、児童が自分が住む地域の歴史を知り、郷土への愛着を抱くためのきっかけとすることができた。教職員からの評価も高く、事業の長期的な継続が望まれている。 地域との協働で企画・運営をしている「松島防災キャンプ」では、松島町内で発生しうる災害として水害をテーマに据え、見学や体験活動を行った。参加した児童生徒にとっても身近なテーマだったため、非常に真剣に活動に取り組み、有事の際に備えたいとの声が多く聞かれた。 新規事業である「放課後子ども教室」では、参加した児童が楽しみながら友人や地域ボランティアと遊ぶことができる場を提供することができた。保護者からも、安心して預けられる場として好意的な評価を得ている。また、参画している地域ボランティアからは子どもたちから元気をもらい、やりがいを感じているという声が聞かれ、地域を挙げた子育ての機会の一つになっている。						
現況 課題 方向性	ジュニア・リーダーの中には運営・技術面で中心的な役割を果たす会員も増加しつつあるが、登録人数に対する実働可能人員は依然多くはない。引き続き高校生を中心とした技術の継承を行い、サークル全体のレベルの底上げを図っていきたい。 「こころ・はぐくみ隊」では参加者保護者に向けたアンケートを実施した結果、内容が分からないため初めて参加するにあたってハードルがあったとの声があった。募集チラシだけでなく事前の広報も検討し、広く周知を図っていきたい。 「松島まるごと学」では、学習内容が非常に詳細で専門的な箇所もあることから、講師は児童の実態に合わせてより分かりやすい提示の仕方を研究する必要がある。 「松島防災キャンプ」は例年夏期休業中の開催であるため、熱中症対策等も講じながら安全なプログラム運営を図っていく必要がある。また、児童生徒がより参加しやすい日程の検討も行っていく。 「放課後子ども教室」では、引き続き子どもが安心・安全に遊ぶことができるよう、見守りを行う地域ボランティアの確保を図りながら運営していく必要がある。						

2 民間指導者の養成及び発掘

・ジュニア・リーダー養成・育成事業 ※登録者数 56人 (3月末時点) 89,688 円

実施日	内 容	参加人数	場 所
平成30年5月6日	天麟院五郎八姫物語ボランティア活動	3 人	天麟院
平成30年5月20日	二市三町合同研修会	6 人	ふれあいエスブ塩竈
平成30年7月26日・27日	仙台管内ジュニア・リーダー中級研修会	5 人	多賀城市文化センター
平成30年7月28日	初原お泊まり会ボランティア活動	10 人	初原コミュニティセンター
平成30年8月8日・9日	二市三町合同キャンプ	6 人	多賀城市山王地区公民館
平成30年8月5日	児童館行事 (こどもまつり)	5 人	児童館
平成30年8月15日	海の盆ボランティア活動	13 人	松島海岸
平成30年8月20日	高城地区子ども会夏祭り	7 人	高城中央広場
平成30年9月9日	おはなしころころ 翻訳ボランティア	3 人	勤労青少年ホーム
平成30年10月6日	ジュニア・リーダー中学生技術研修会	2 人	宮城県青年会館
平成30年10月14日	二市三町合同スポーツ大会	6 人	松島町B&G海洋センター
平成30年10月20日	児童館行事 (ハロウィンパーティー)	5 人	児童館、松島海岸
平成30年11月10日	児童館行事 (芋煮会&ゲーム大会)	3 人	児童館、B&G海洋センター
平成30年11月25日	幡谷品井沼ミニ文化祭ボランティア活動	8 人	品井沼農村環境改善センター
平成31年2月23日・24日	松っ子まつり (前日準備・ストローごま)	延べ 14 人	文化観光交流館
平成31年3月23日・24日	ジュニア・リーダー初級研修会	延べ 16 人	文化観光交流館

3 地域活動の充実 (後援事業)

- ・松っ子まつり (平成31年2月24日) 保護者・幼児・児童・生徒合わせて 700人以上が来場
- ・青少年健全育成活動支援
平成30年7月4日 講演会「子ども110番の家について」「架空請求詐欺について」開催 (文化観光交流館) 参加者82人
平成30年11月15日 講演会「インターネット安全講話」開催 (文化観光交流館) 参加者 28人
- ・女性団体連絡協議会活動支援

4 青少年活動事業

- ・こころ・はぐくみ隊パート17の実施
(小学校低学年(1~3年生)を対象とした創作活動ワークショップ)

270,000 円

実施日	テーマ(内容)	参加人数	場 所
平成 30 年 10 月 14 日	『びーだまころころ』	30 人	手樽地域交流センター
平成 30 年 11 月 11 日	『のりもの?いえ?をつくる』	29 人	手樽地域交流センター
平成 30 年 12 月 2 日	『まつしまをかこう』	26 人	手樽地域交流センター
平成 30 年 12 月 16 日	『おさんぽ人形』	27 人	手樽地域交流センター

5 芸術文化事業

- ・宮城県巡回小劇場 (演劇公演) の実施
平成30年9月11日 演目:「イソップランドの動物たち」
町内小学4・5年生 194人鑑賞

216,600 円

(次頁へ続く)

10	款	4	項	1	目
実績	6 協働教育の推進				1,394,435 円
	・「松島まるごと学」(歴史文化教育カリキュラムの推進・推進委員会の開催 168,000 円 歴史文化教育カリキュラムをもとに、町内各小学校で統一的な体験の実施				
	小学4年生：品井沼干拓学習(2学期) 計 111人参加 品井沼干拓に関する史跡・施設 計14箇所を見学				
	小学5年生：森林学習(1～3学期) 延べ232人参加 壇山での見学・チェーンソー体験、松食い虫に関する講話、木工体験 等				
	小学6年生：歴史出前授業 延べ409人参加 出前授業「縄文時代の松島」(4月) 出前授業「瑞巖寺の歴史」(6～7月) 瑞巖寺の見学(6～7月) 座禅体験(1・2学期) 松島海岸付近の史跡見学(松二小、松五小)				
	・登下校時の見守り安全ボランティアの推進 12,300 円 各小学校より41人のボランティア登録				
	・「松島防災キャンプ」事業 35,465 円 平成30年8月2日～3日(1泊2日) 品井沼農村環境改善センター 町内小中学生25人参加 講話・見学：「松島町の洪水災害・吉田川の見学」(協力：郷土史家) 水防訓練「土のうづくり・土のう積み体験」(協力：松島消防署、松島町消防団) 救急救命訓練(協力：松島消防署) 炊き出し体験(協力：松島町婦人防火クラブ連合会) 災害伝言ダイヤル体験(協力：日本公衆電話会)				
					1,178,670 円
	・「松島放課後子ども教室」事業 児童の安全・安心な放課後の活動拠点を確保し、地域ボランティアによる見守りを実施				
	・日常活動 :平成30年5月～平成31年3月(各小学校月に1回 合計27回) 各小学校体育館・校庭・特別教室 参加者数 松一小 延べ191人、松二小 延べ176人、松五小 延べ227人				
・合同イベント：平成30年10月8日芋掘り&ドッジボール大会 35人参加 平成30年11月10日芋煮会&ジュニア・リーダーと遊ぼう 31人参加					
7 社会教育団体、社会教育活動の育成と補助					
・青少年健全育成松島町民会議 200,000 円					
・松島町芸術文化協会 80,000 円					
・松島町子ども会育成連合会 130,000 円					
・松島町PTA連合会 110,000 円					
・松島町女性団体連絡協議会 40,000 円					
・松島町婦人会 160,000 円					
・松島町小・中・高生徒指導連絡協議会 40,000 円					
・ジョイントコンサート事業補助金 60,000 円					

一 般 会 計

10 款	4 項	2 目	公民館費							
担当部署名		中央公民館							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	24,560	23,824					23,824			
目的	町民のニーズに合わせた生涯学習の環境をつくるとともに、その事業の推進に努める。また、分館活動を通じて、町民の健康の増進・生活文化の振興に努める。									
実績	1 中央公民館教室・講座									
	名 称	内 容				開催期間	受講者 (延べ 人数)	回数 (回)		
	松島の歴史を学ぼう	【初級編】 町内の名所をめぐり、松島の豊かな歴史や文化、景観について学習した。 ①品井沼干拓の歴史 ②日本遺産をめぐる 「瑞巖寺」 「富山」 ③まつしまウォーキングマップ ～北部編～ ④「四大観」「扇谷」「多聞山」「大木囲貝塚」				4月～11月	13 (42)	4		
		【中級編】 近隣の市町の史跡・施設をめぐり、松島の歴史との関わりについて学習した。 ①岩切城を歩く ②縄文時代の松島湾 ③戊辰戦争150年 仙台藩における戊辰戦争を考える				4月～10月	18 (44)	3		
		【上級編】 縄文土器づくり、出土遺物整理、古文書整理等の体験を通して松島の歴史を調べる方法を学習した。 ①縄文土器を作ろう ②古文書整理を体験しよう ③出土遺物整理を体験しよう ④展示解説文を作ろう				5月～11月	10 (29)	4		
(次頁へ続く)										
成果	各種教室・講座を開催し、町民の学習意欲の向上に寄与した。特に「松島の歴史を学ぼう」の講座は、松島の文化・歴史の再発見として人気の講座となり、昨年度に引き続き初級・中級・上級と細分化することにより、町民のニーズに合わせた学習環境づくりをすることができた。 町民ふれあいスポーツ大会を開催し、町民の健康増進や体力向上を促進した。競技の運営方法を工夫したことにより地域や世代間の交流促進をさらに高めることができた。また、文化観光交流祭を開催し、本町の芸術文化の振興に寄与した。 分館活動を通じて、教養の向上や健康増進、地域間の交流促進に寄与した。分館長移動研修では、東日本大震災で甚大な被害を受けた大槌町を視察することで、住民同士の共助について深く学ぶことができた。									
現況課題 方向性	町の歴史文化を体験・学習する講座を開設することで新規受講者の獲得ができた。 町民ふれあいスポーツ大会は、町内全分館が一体となれる大会であり分館長会議で協議した内容で実施されたが、参加者等の声を反映し、次年度に向けて更に改善した内容にしていく。文化観光交流まつりは、産業まつりと同時開催ではなくなり入場者数の減少が懸念されていたが、参加団体がPRカードを配ったり、当日のプログラム入りのチラシを配布したりすることで、来場者数の増加が見られた。さらに賑わいが必要であると思われるので、今後も検討していく。 各分館は地域事情に沿った事業を実施し、地域における社会教育活動を推進している。今後もふれあいスポーツ大会などの町全体の行事を通じて、分館相互の交流を図っていく。									

名 称	内 容	開催期間	受講者 (延べ 人数)	回数 (回)
和綴じ本をつくらう	日本の伝統的な製本法を学び、五つ目綴じのノートを作成した。	12月12日	11	1
紙粘土細工講座 かわいいお地蔵さんづくり	紙粘土を使い、かわいいお地蔵さんづくりを体験する。	3月5日	19	1

2 大会行事等

名 称	内 容	開催日	参加人数
第58回町民ふれあいスポーツ大会	運動を通じて参加者の健康増進と体力向上、さらに地域や世代間の交流促進を図る目的で、各分館対抗で運動会形式のスポーツ大会を開催した。	6月3日	671人
2018松島町文化観光交流まつり	町の芸術文化の振興と発展を図るため文化観光交流祭を開催し、人・産業・文化などの様々な交流と連携を図り、町内の個人・団体が日頃活動した成果を発表した。また、今回も「まつしま子どもアート広場」として子ども達の作品を展示、松島高等学校の生徒による舞台及び展示参加をした。	10月27日 10月28日	参加者数 延べ500人 来場者数 延べ2,200人
第70回成人式	新成人を祝い、励ますと共に社会人としての自覚を高めることを目的に成人式を開催した。 また、式典では新成人者に対し、六華亭遊花特任館長から東北弁落語のお祝いや、新成人者の実行委員会によるアトラクションでは恩師の先生全員からのお祝いの言葉をいただき、中学校の校歌を合唱するなど会場を盛り上げた。	平成31年 1月13日	新成人出席者 95人

実績

3 分館活動

各分館において、グラウンドゴルフ大会等のスポーツイベントや盆踊り大会などの地域イベントを開催した。また、分館活動推進を図るため、分館代表者による移動研修会を実施した。

・ 分館数	12 分館
・ 松島町公民館分館事業補助金	1,481 千円
	均等割総額 1,200 千円 人口割総額 281 千円

○ 主な分館活動

グラウンドゴルフ大会、盆踊り大会、敬老会、お花見会、新成人お祝い会 等

・ 分館長会議開催回数 6 回

・ 分館長移動研修

○ 研修先 東日本大震災で甚大な被害を受けた沿岸地域の復興状況の視察と町役場が被災し行政機能が停止した中、住民同士の共助の様子や後世に伝えていくための伝承活動にどう取り組んでいるのかを視察した。
岩手県大槌町 遠野市

・ 分館長・主事・会計移動研修会

○ 研修先 日本遺産に認定された「政宗が育んだ”伊達な”文化」について歴史的魅力の理解と今後の各分館の視察研修の参考となるよう現地を巡った。また、平成の大改修を終えた国宝瑞巖寺の本堂等を訪れ、松島の魅力を再発見した。
多賀城市 塩竈市 利府町 松島町

一 般 会 計

10 款	4 項	3 目	文化財保護費				
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	23,067	22,511		303		755	21,453
目的	文化財の保全・活用を通じて、町の歴史文化に対する町民の理解を深め、ふるさとを誇りに思う人材を育み、松島の魅力を広く発信する。						
実績	1 文化財保護委員会の開催 3 回 事業計画、実施報告 現地視察（手樽・東部地域交流センター、観瀾亭松島博物館） 2 国指定史跡西の浜貝塚公園管理（公園管理・樹木剪定業務委託料、光熱水費） 2,404,133 円 3 品井沼干拓遺構・資料館維持管理（穴頭・ずり穴・穴尻草刈業務委託、浄化槽保守点検・清掃、消防施設保守点検、火災保険料、光熱水費含む） 1,051,485 円 4 指定文化財の保存修理等事業補助 ・瑞巖寺・圓通院・陽徳院維持管理事業補助（自動火災報知設備維持等） 112,000 円 5 埋蔵文化財包蔵地の現況調査（文化財保護地区指導員と共同調査） 5 箇所 6 特別名勝松島の現状変更の指導及び許可申請受付・進達 177 件 7 埋蔵文化財の管理及び諸開発事業の事前協議書申請受付・進達 13 件 8 文化財の公開 ① 町民スペース 6 月（戊辰150年記念／婚礼道具・墨竹画）、11 月（瑞巖寺木札・戊辰戦争関連パネル）、 3 月（伊達政宗書状） ② 春日PA文化財展示室独立ケースにおける特別展示 7 月28 日（書見台） ③ 松島湾三町文化財展（利府町、七ヶ浜町と共同） 西の浜貝塚出土品（土器・石器・骨角器）、名込遺跡出土資料 ④ 文化観光交流館 観光インフォメーションルーム 手樽地区ほ場整備事業に伴う発掘調査出土資料 (次頁へ続く)						
成果	「松島れきし再発見講座」については2年目となり、文化遺産マップを活用した町歩きや第一線で活躍する研究者による講演会を通じて、地域の歴史を自ら学ぶという機運が醸成されつつある。観瀾亭松島博物館所蔵の資料（雛駕籠や金石小白浜など）の外部貸出や三町巡回展等を通じて町の文化財を広く公開する機会を得た。日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の活用事業は3年目となり、ガイドのスキルアップや連携が強化されるとともに、子ども向けのワークシートなどが充実した。町内の埋蔵文化財については、29年度に実施した確認調査の結果を報告書にまとめ刊行することで関係機関や一般に周知することができた。						
現況 課題 方向性	保存については、特別名勝松島の現状変更について手続き上のトラブルが少なくなく、より明快な周知を徹底していくとともに、保存管理計画の改定に向けて町としての意見を取りまとめられるよう議論を進めていく必要がある。活用については、日本遺産の補助金が終了したため、町が取組としてガイド養成やPR活動などをどう展開していくか検討していく。また「れきし再発見講座」等を通じて町民主導で歴史文化に関する学習活動などが行えるような仕組みづくりに向けて取り組んでいく。						

実績

④ 資料貸し出し実績

・ 西の浜貝塚出土 縄文土器

(七ヶ浜町歴史資料館 展示期間：平成30年10月6日～12月2日)

・ 金石小白浜 (岩手県釜石市唐丹公民館 展示期間：平成30年9月22日～10月9日)

・ 雛駕籠 (富谷市民俗ギャラリー 展示期間：平成30年10月10日～11月25日)

9 手樽地区ほ場整備に伴う確認調査 報告書作成

300冊

341,280 円

10 松島れきし再発見講座 Lesson2 (平成30年10月21日)

参加者

45 人

・ 歴史講演会 「松島町歴史文化基本構想とは」

「松島湾の貝塚と縄文時代」

・ 町歩き 磯崎地区の史跡

・ ワークショップ 磯崎地区の文化財の活用方法を考えよう

松島れきし再発見講座 Lesson3 (平成31年2月16日)

参加者

65 人

・ 歴史講演会 「瑞巖寺・雄島の石造文化財について」

「被災資料への宮城資料ネットの取り組み

～美術資料を含めた活動について～」

・ 展示ブース (歴史文化基本構想策定・日本遺産・文化財マップ等の文化財事業の紹介)

11 指定文化財管理

・ 指定文化財の現況 (H31.3.31現在) (単位：件)

種別	国	県	町	計
有形文化財				
建造物	7	3	11	21
絵画	2	6	24	32
彫刻	1	1	20	22
工芸品	1	3	15	19
書跡、典籍、古文書	1	—	12	13
記念物				
史跡	1	—	7	8
名勝	1	—	—	1
天然記念物	—	1	11	12
合計	14	14	100	128

14 品井沼干拓資料館の利用 (町内小学校も含む)

32 件

507 人

15 体験活動の実施

・ 春日PA文化財展示室の活用(歴史体験まつりの実施)

・ 二市三町共同事業「縄文土器づくり教室」

受付者数 177人

参加者数 38人 (うち町内10人)

16 出前講座の実施

・ 学校向け (松島まるごと学)

瑞巖寺・西の浜貝塚出土品を用いた出前授業など

・ 一般向け (松島ダテナビを使用したガイド、公民館講座等)

15 件 延べ359 人

33 件 909 人

17 日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の活用

・ 一般向け講座・展示

・ ストーリーガイドステップアップ研修講座

15 件 452 人

15 団体 46 人

(うち町内参加者は3団体20名)

(全6回：9月6日、10月26日、11月16日、12月13日、1月29日、2月5日)

・ 次世代育成事業 (子ども向けツアー) (1月19日、2月2日)

親子 8組 21 人

一 般 会 計

10 款	4 項	4 目	町民の森費							
担当部署名		中央公民館							(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳							
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源			
	16, 943	15, 647						15, 647		
目的	民間の活力を活かして、町民の森施設の施設管理及び生涯学習の場として有効利用促進に努める。									
実績	1 指定管理業務委託事業									
	・ 指定管理料 12, 180, 000円 (平成30年4月から平成31年3月まで)									
	・ 指定管理期間 平成27年4月から令和2年3月まで (5年間)									
	・ 指定管理者 特定非営利活動法人 ウィザス									
	2 利用状況									
	(単位:人)									
		利用者数	内 訳							
			センター ロッジ	テント	多目的 ホール	研修室	円形広場	炊事棟		
	4月	1, 169	0	127	30	0	995	17		
	5月	1, 557	44	161	152	152	850	198		
	6月	1, 015	28	83	0	28	796	80		
	7月	1, 644	152	62	266	161	796	207		
	8月	1, 222	12	240	12	12	868	78		
	9月	1, 500	53	153	60	30	1, 143	61		
	10月	2, 075	35	193	165	60	1, 567	55		
	11月	2, 453	100	60	156	115	1, 902	120		
	12月	351	0	22	42	0	287	0		
	1月	255	0	0	0	0	255	0		
2月	325	0	0	0	0	325	0			
3月	441	0	23	0	0	418	0			
合計	14, 007	424	1, 124	883	558	10, 202	816			
利用者内訳 町内 5, 160 人 町外 8, 847 人										
(次頁へ続く)										
成果	指定管理者の施設管理により、民間のノウハウを活かして適正かつ円滑な管理運営を行うことができた。 施設の利用状況については、指定管理者による管理運営により、年々増加しており、昨年度は天候の影響もあり減少したが、今年度は増加に転じている。 各種団体や地域の協力により、様々な体験型事業を自主的に展開し、自然環境を活かした交流事業を図り、生涯学習の場としての環境づくりに努めた。 また、老朽化により、野外活動センターのセンターロッジの床部分の貼り替えを実施し、安全な環境づくりを実施した。									
現況 課題 方向性	指定管理になり、適切な運営を実施している。熊の出没や台風などの自然災害が無ければ利用者は増加することが見込まれる。それに伴い、関係機関と連携し、熊や蛇など危険生物への対処や自然災害時の安全確保などの施策を講じていく必要がある。 施設が老朽化していることから、今後も計画的な修繕を行い、適切な維持管理を図る。 また、施設の性質から、土日祝日・夏休み等に利用が多いことから、効率的な運用を今後検討していく。									

10 款	4 項	4 目
------	-----	-----

3 指定管理者自主事業

事業名	実施日	参加人数
森の味噌作り教室	10月20日	7人
企画展 NP0ウィザス 写真クラブ	10月21日～11月21日	200人
森のキムチづくり教室	12月 8日	10人
ボランティア感謝祭	12月10日	10人
松島の四季写真コンテスト	4月1日～2月	60人
松島の四季写真コンテスト表彰式	3月24日	30人

※毎月第1土曜日、写真サークル開催

4 工事請負費

松島町野外活動センター床改修工事 2,916,000 円

実績

一 般 会 計

10 款	4 項	5 目	地域交流センター費					
担当部署名		中央公民館					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
	5,484	4,481	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
						50	4,431	
目的	地域活動の拠点施設として、生涯学習の振興と健康の維持増進を図るとともに、町民相互の交流促進に努める。							
実績	1 松島町地域交流センター施設利用一覧表 (単位:人)							
	区分	利用者数	内訳(手樽地域交流センター)		内訳(松島東部地域交流センター)			
			センター施設	グラウンド	センター施設	グラウンド	体育館	
	4月	233	89	9	0	0	135	
	5月	398	349	6	28	0	15	
	6月	342	67	241	16	0	18	
	7月	307	107	164	0	0	36	
	8月	327	81	210	0	0	36	
	9月	383	117	217	0	0	49	
	10月	989	246	441	99	50	153	
	11月	697	247	324	0	0	126	
	12月	216	126	53	19	0	18	
	1月	563	101	270	0	0	192	
	2月	437	117	160	0	0	160	
	3月	443	113	165	0	50	115	
合計	5,335	1,760	2,260	162	100	1,053		
2 主催事業								
・手樽地域交流センター								
名 称	内 容				開催期間	参加者		
親子工作教室	家族で協力し一つの作品を完成させ、ものづくりの楽しさを体験するとともに、家族とふれあいながら楽しく本立てにもなるコーナーラックを作った。				8月25日	4組 10人		
・松島東部地域交流センター								
名 称	内 容				開催期間	受講者		
陶芸体験教室	ろくろを使って、世界に1つだけのマグカップ、お皿等の焼物に挑戦した。				6月9日	16人		
蕎麦づくり教室	講師の指導の下、本格的な蕎麦づくりに挑戦した。				10月20日	19人		
手作り料理教室	家庭で簡単に作れるクリスマス料理6品に挑戦した。				12月9日	17人		
成果	両交流センターは、会議や研修の他、各種スポーツ団体の活動や地域のイベント等で利用され、町民相互の交流促進に寄与した。手樽地域交流センターでは、親子を対象にものづくり体験教室を行い、家族の触れ合いを目的とした事業を実施した。また、松島東部地域交流センターでは、地域で活動している団体との共催事業として様々な教室を開催し、町民及び地域住民の学習活動に寄与した。							
現況課題方向性	手樽地域交流センターについては、学び支援センターや学芸員による資料の整理等が行われており、施設の活用を図っている。 松島東部地域交流センターについては、近隣に集会施設があることや町の中心から遠いことにより利用人数はなかなか伸びない。利用する団体も特定の団体となっている。 施設の有効利用については、利用者や地域の意見を参考に継続して検討していく。							

一 般 会 計

10 款	5 項	1 目	保健体育総務費																																														
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)																																										
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳																																														
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																										
	10, 231	9, 799					9, 799																																										
目的	町民が心身ともに健康で活力に溢れた生活が営めるよう、スポーツ活動へのきっかけを提供する。 また、体育施設を町民の健康と体力づくり、コミュニケーションづくりの場として提供し、地域における生涯スポーツの普及と振興を図る。																																																
実績	1 町民グラウンド業務委託																																																
	・ 町民グラウンド指定管理料						1,133,000 円																																										
	2 町民グラウンド月別利用状況																																																
	<table><tr><td>月</td><td>件数 (件)</td><td>人数 (人)</td></tr><tr><td>4</td><td>37</td><td>1, 180</td></tr><tr><td>5</td><td>42</td><td>1, 453</td></tr><tr><td>6</td><td>31</td><td>1, 832</td></tr><tr><td>7</td><td>35</td><td>1, 802</td></tr><tr><td>8</td><td>19</td><td>1, 054</td></tr><tr><td>9</td><td>23</td><td>807</td></tr><tr><td>10</td><td>30</td><td>7, 366</td></tr><tr><td>11</td><td>28</td><td>1, 021</td></tr><tr><td>12</td><td>6</td><td>350</td></tr><tr><td>1</td><td>4</td><td>280</td></tr><tr><td>2</td><td>15</td><td>730</td></tr><tr><td>3</td><td>31</td><td>966</td></tr><tr><td>計</td><td>301</td><td>18, 841</td></tr></table>							月	件数 (件)	人数 (人)	4	37	1, 180	5	42	1, 453	6	31	1, 832	7	35	1, 802	8	19	1, 054	9	23	807	10	30	7, 366	11	28	1, 021	12	6	350	1	4	280	2	15	730	3	31	966	計	301	18, 841
	月	件数 (件)	人数 (人)																																														
	4	37	1, 180																																														
	5	42	1, 453																																														
	6	31	1, 832																																														
	7	35	1, 802																																														
	8	19	1, 054																																														
	9	23	807																																														
	10	30	7, 366																																														
	11	28	1, 021																																														
	12	6	350																																														
	1	4	280																																														
2	15	730																																															
3	31	966																																															
計	301	18, 841																																															
→ KHBハーフマラソンでの利用含む																																																	

10 款	5 項	1 目
------	-----	-----

3 松島町立学校体育施設利用状況（一般開放分）

学校名		松島第一小学校	松島第二小学校	松島第五小学校	松島中学校	合 計
体 育 館	利用人数（人）	4,841	1,488	1,080	3,212	10,621
	利用件数（件）	158	57	22	195	432
校 庭	利用人数（人）	3,675	210	400	0	4,285
	利用件数（件）	101	30	2	0	133
合 計	利用人数（人）	8,516	1,698	1,480	3,212	14,906
	利用件数（件）	259	87	24	195	565

4 補助金交付団体 松島町体育協会 2,730,000 円

実績

一 般 会 計

10 款	5 項	2 目	海洋センター費																			
担当部署名		教育課生涯学習班					(単位:千円)															
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳																			
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源															
	16, 212	15, 822					15, 822															
目的	海洋性スポーツ事業を通して相互交流を図るとともに、安全に配慮しながら、誰でも安心して利用できる施設運営を目指す。																					
実績	1 海洋センター事業																					
	<table><tr><th>名称</th><th>内容・目的等</th><th>参加人数</th><th>期日</th><th>会場</th></tr><tr><td>2018B&G 宮城 マリンスポーツフェスティバル</td><td>「水」との触れ合いを通じて、青少年の健全育成と生涯スポーツの推進、海洋性スポーツの普及を図る。</td><td>全参加人数 58人 (松島町 11人)</td><td>7月27日</td><td>登米市 長沼ポート場 (登米市迫B&G 海洋センター)</td></tr><tr><td>2018B&G 宮城 ウィンタースポーツフェスティバル</td><td>雪に親しむ機会を提供し、冬の自然の美しさや不思議さを学ばせるとともにウィンタースポーツの普及を図る。</td><td>全参加人数 61人 (松島町 12人)</td><td>2月2日</td><td>蔵王町 えぼしスキー場</td></tr></table>							名称	内容・目的等	参加人数	期日	会場	2018B&G 宮城 マリンスポーツフェスティバル	「水」との触れ合いを通じて、青少年の健全育成と生涯スポーツの推進、海洋性スポーツの普及を図る。	全参加人数 58人 (松島町 11人)	7月27日	登米市 長沼ポート場 (登米市迫B&G 海洋センター)	2018B&G 宮城 ウィンタースポーツフェスティバル	雪に親しむ機会を提供し、冬の自然の美しさや不思議さを学ばせるとともにウィンタースポーツの普及を図る。	全参加人数 61人 (松島町 12人)	2月2日	蔵王町 えぼしスキー場
	名称	内容・目的等	参加人数	期日	会場																	
	2018B&G 宮城 マリンスポーツフェスティバル	「水」との触れ合いを通じて、青少年の健全育成と生涯スポーツの推進、海洋性スポーツの普及を図る。	全参加人数 58人 (松島町 11人)	7月27日	登米市 長沼ポート場 (登米市迫B&G 海洋センター)																	
	2018B&G 宮城 ウィンタースポーツフェスティバル	雪に親しむ機会を提供し、冬の自然の美しさや不思議さを学ばせるとともにウィンタースポーツの普及を図る。	全参加人数 61人 (松島町 12人)	2月2日	蔵王町 えぼしスキー場																	
	2 海洋センター利用人数																					
	(単位:人)																					
	月	体育館	会議室	屋外多目的運動場	計																	
	4	981	207	304	1, 492																	
	5	1, 009	249	321	1, 579																	
6	1, 069	201	351	1, 621																		
7	1, 081	417	379	1, 877																		
8	645	247	239	1, 131																		
9	1, 502	319	308	2, 129																		
10	4, 200	460	4178	8, 838																		
11	1, 205	418	225	1, 848																		
12	744	258	162	1, 164																		
1	818	187	134	1, 139																		
2	1, 005	384	119	1, 508																		
3	1, 077	204	207	1, 488																		
計	15, 336	3, 551	6, 927	25, 814																		
(次頁へ続く)																						
成果	スポーツ施設の運営に関しては、利用者からの要望が多かった体育館照明のLED化更新工事を行ったことで、屋内競技の活動環境が改善され、利用者の健康維持・増進の一助となった。 B&G海洋センターの指定管理者である総合型スポーツクラブが「水辺の安全教室」や「B&Gチャレンジ」などの新規の自主事業を実施したことにより、子供たちの安全に対する意識や記録に挑戦する精神の醸成、また体力向上に繋がった。																					
現況 課題 方向性	住民のニーズに応えられるよう指定管理者と連携しながら、事業の実施や施設の利用促進を図っていく。また、利用者がより良い環境でスポーツ活動を行えるよう、定期的なメンテナンスや計画的な修繕を行い施設の維持管理を継続的にやっていく。																					

10 款	5 項	2 目
実績	3 委託料	
	▪ 海洋センター指定管理料	9,497,000 円
	4 工事請負費	
	▪ 体育館照明LED化更新工事	3,132,000 円
	▪ 高圧受電設備工事	1,587,600 円
	▪ 洋式便器撤去取付工事	1,112,400 円

一 般 会 計

10 款	5 項	3 目	給食施設費																																						
担当部署名		学校給食センター					(単位:千円)																																		
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳																																						
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																		
	120,624	118,326		284		51,429	66,613																																		
目的	栄養バランスの取れた食事の提供と、園児や児童生徒の心身の健全な発達と食生活の改善を図り、成長期にある子どもの健康保持や増進、望ましい食習慣の確立に努める。食事の時間を通して、豊かな人間関係を作り、共同作業を通じて、勤労の大切さや協調、感謝の心を養うことに努める。																																								
実績	1 給食実施状況 (平成30年5月1日現在)																																								
	<table><tr><th>区 分</th><th>給食人員(人)</th><th>年間給食回数(回)</th><th>1食当たり(円)</th><th>月 額(円)</th><th>年 額(円)</th></tr><tr><td rowspan="2">幼稚園</td><td rowspan="2">107</td><td rowspan="2">165</td><td rowspan="2">250</td><td>(4月)</td><td>4,250</td></tr><tr><td>(5～2月)</td><td>3,700</td></tr><tr><td rowspan="2">小学校</td><td rowspan="2">556</td><td rowspan="2">175</td><td rowspan="2">265</td><td>(4月)</td><td>4,375</td></tr><tr><td>(5～2月)</td><td>4,200</td></tr><tr><td rowspan="4">中学校 ※月額欄は、 上段:1・2年生 下段:3年生</td><td rowspan="4">309</td><td rowspan="2">171</td><td rowspan="4">310</td><td>(4月)</td><td>5,010</td></tr><tr><td>(5～2月)</td><td>4,800</td></tr><tr><td rowspan="2">163</td><td>(4月)</td><td>5,530</td></tr><tr><td>(5～2月)</td><td>4,500</td></tr></table> ・給食人員計 972人 ・給食費1食当たりの単価 平成26年4月改定							区 分	給食人員(人)	年間給食回数(回)	1食当たり(円)	月 額(円)	年 額(円)	幼稚園	107	165	250	(4月)	4,250	(5～2月)	3,700	小学校	556	175	265	(4月)	4,375	(5～2月)	4,200	中学校 ※月額欄は、 上段:1・2年生 下段:3年生	309	171	310	(4月)	5,010	(5～2月)	4,800	163	(4月)	5,530	(5～2月)
区 分	給食人員(人)	年間給食回数(回)	1食当たり(円)	月 額(円)	年 額(円)																																				
幼稚園	107	165	250	(4月)	4,250																																				
				(5～2月)	3,700																																				
小学校	556	175	265	(4月)	4,375																																				
				(5～2月)	4,200																																				
中学校 ※月額欄は、 上段:1・2年生 下段:3年生	309	171	310	(4月)	5,010																																				
				(5～2月)	4,800																																				
		163		(4月)	5,530																																				
				(5～2月)	4,500																																				
成果	2 学校給食センター運営審議会 (年1回) 5月24日開催 (運営委員数 10名) 学校給食担当者会議 (年2回)																																								
	3 食育の推進 ・親子での給食試食会 (計5回) ○ 6月14日 第一小学校児童と保護者 ○ 6月18日 第二小学校児童と保護者 ○ 6月22日 第五小学校児童と保護者 ○ 1月18日 第二幼稚園園児と保護者 ○ 2月21日 第五幼稚園園児と保護者 (次頁へ続く)																																								
成果	保護者や学校、学校給食センター運営審議会委員等のご意見を参考に、国の「学校給食摂取基準」を踏まえ、常に献立の研究・調理方法の工夫をしながら学校給食の充実に努めた。 給食時間を利用しての栄養士による食育指導では、一日のエネルギーとなる朝ごはんの大切さや丈夫な体づくりのための重要な栄養素について、また地場産物や地域の食文化などについて、児童生徒が学校給食を通して食のあり方や食をめぐる環境等に関心を持つよう理解促進に努めた。 学校給食衛生管理基準に基づき、感染症予防のための腸内細菌検査やノロウイルス抗原検査を行い、適切な衛生管理に努めた。また調理従事者の調理員の安全確認や機械器具の取扱の指導徹底により重大事故抑止に努めた。 地元の野菜等を取り入れた給食メニューを引き続き提供し、地域の伝統的な食文化の紹介と地場産物の利用促進に努めた。松島町食生活改善推進委員の協力で、地元の食材のメニューの幅が広がり、HPを通じて季節に合わせた献立をご家庭にも紹介することが出来た。																																								
現況 課題 方向性	児童・生徒に対し、給食を通して様々な食材やその栄養を知り、味覚を鍛え、食べる楽しみや食事のマナーの経験を積む大切さを今後も伝えていく。給食の食材や給食に関する情報について、給食日よりやHPなどを通じて積極的に紹介していく。 給食調理施設の安全で衛生的な環境保持に必要な設備更新や整備を適切に行うための予算確保に努める。 学校給食費の未納対策、収納率の向上に努める。																																								

- ・栄養士による食育指導等
 - 町内各幼稚園・小学校・中学校の全クラスで、給食時に食育指導を行った。（年2回）
 - 1回目：5月～7月 「朝食について」
 - 2回目：10月～11月 「地場産物について」
 - 各小学校の3年生を対象に、「食べ物のはたらき・3つの栄養素」をテーマに食育授業を行った。
 - 毎月の予定献立表・給食だよりや教育委員会HPを通じて、児童生徒及び保護者に対して、学校給食の目的や食育に関する情報を発信した。（H29年度から町のホームページへ掲載）

- ・野菜生産者との交流会
 - 第二小学校にて、町内の生産者や食生活改善推進委員と児童の交流会を実施し、併せて当日の給食で町内産野菜等を使用した特別メニューを提供した。（11月20日）

- ・郷土料理給食の実施
 - 全国学校給食週間に合わせ、松島町食生活改善推進委員さん特別メニューや郷土料理メニューなどに、地元の食材を使用した献立を実施した。

1月24日	米粉パン、ハムチーズフライ、わかめのサラダ、かぶとはくさいのスープ
1月25日	松島産ごはん、カレーの立田揚げ、れんこんサラダ、仙台雑煮、だいだいのムース
1月28日	松島産ごはん、さんまのかば焼き、ひじきの煮物、白菜とねぎの和風カレースープ
1月29日	米粉スウィートチーズパン、オムレツ、ブロッコリーサラダ、ミネストローネ
1月30日	わかめごはん（松島産ごはん）、金華銀鮭の塩焼き、すき昆布の煮物、まいたけのすまし汁

- 東北各地の郷土料理を献立に取り入れ提供した。（2月）
 - 北海道（ザンギ、石狩汁）、青森（せんべい汁、バラ焼き）、岩手（じゃじゃめん風うどん）
 - 秋田（だまこもち汁）、山形（山形風芋煮）、福島（こづゆ）、宮城（油麭井）

- ・リクエストメニューの実施
 - 児童生徒を対象に給食で食べたいメニューを募り、給食メニューとして提供した。
 - 小学6年生と中学3年生を対象に主食・主菜・副菜・汁物を組み合わせ、1食分の献立を立ててもらい、その中から3学期に給食メニューとして提供した。

実績

4 地場産品の利用促進

- ・松島産の野菜などの使用

給食メニューとして使用が可能な地元産の食材については、JA仙台（東部営農センター）等関係団体の協力により、積極的に取り入れた。

- ・学校給食用野菜等の使用状況
（野菜・主要品目）

品 目	平成29年度			平成30年度		
	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)	使用数量(kg)	うち町内産(kg)	比率(%)
じゃがいも	2,203	532	24.1	2,688	904	33.6
白菜	1,872	1,178	62.9	1,183	702	59.3
大根	1,773	820	46.2	1,376	510	37.1
人参	2,300	0	0.0	2,087	0	0.0
ねぎ	1,648	1,131	68.6	1,628	1,098	67.4
キャベツ	2,302	196	8.5	1,927	287	14.9
玉ねぎ	4,119	745	18.1	3,317	521	15.7
きゅうり	1,500	0	0.0	1,128	82	7.3
合計	17,717	4,602	26.0	15,334	4,104	26.8

（次頁へ続く）

(米、その他の町内産使用数量・Kg)

品 目	平成29年度	平成30年度
環境保全米	9,380	9,595
玄米(金のいぶき)	0	40
トマト	289	126
赤かぼちゃ	167	134
ブルーベリー	12	20
たけのこ	45	68
なす	27	0
いちご	0	20
小松菜	0	13
さつまいも	0	17

(加工品等使用状況)

焼きハゼ、牡蠣しょうゆ、トマトソース、米粉だんご、松島産ねきギョウザ、松島産かぼちゃコロッケ

実績

5 簡易放射能検査

- ・ 毎日、調理後の食材を簡易放射能測定器で測定する放射能検査を継続して実施した。

6 食物アレルギー対応

- ・ 食物アレルギーの児童生徒への対応として、保護者からの個人調査票の提出により、給食対応（給食の全部停止又は一部停止、詳細献立の提供）を実施した。
全部停止 4人 一部停止(牛乳停止) 19人 一部停止(パン) 1人
詳細献立の提供12人

7 委託料

21,384,000 円

- ・ 学校給食調理等業務委託
調理、食材の検収・保管、盛り付け・配食、食器具等の洗浄・消毒・保管、施設設備の清掃・点検、残滓・厨芥の処理、集配送（車両2台配備）、ボイラー運転及び付帯業務

8 学校給食センター厨房機器等リース料

13,040,352 円

- ・ 浸漬槽付超高压洗浄機、食缶洗浄機、スチームコンベクションオープン連続揚げ機、フードスライサー

9 工事請負費

- ・ 高压受電設備更新工事 1,573,560 円
- ・ 自動ドア更新工事（4箇所） 1,220,400 円

10 備品購入費

494,311 円

- ・ 幼稚園用トレイ、自動手指消毒器、トイレ疑似音器、麵ひしゃく、デジタルはかり、食缶、ヌードル杓子左利き用、エスタートレイ

(次頁へ続く)

11 学校給食費の収入状況

・ 現年度分 単位：円、%

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調 定 額 (A)	53,353,520	52,555,980	51,488,745
収入済額 (B)	52,569,845	50,871,635	50,156,353
不納欠損額 (C)	0	0	0
収入未済額 (A-B-C)	783,675	1,684,345	1,332,392
徴収率 (B/A*100)	98.5	96.7	97.4

・ 滞納繰越分 単位：円、%

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
調 定 額 (A)	11,071,369	9,564,000	9,755,793
収入済額 (B)	1,901,629	1,510,767	1,272,805
不納欠損額 (C)	389,415	0	0
収入未済額 (A-B-C)	8,780,325	8,053,233	8,482,988
徴収率 (B/A*100)	17.2	15.8	13.1

(不納欠損処分の件数) 単位：件

区 分	平成28年度	平成29年度	平成30年度
債権放棄	1	0	0
時効援用	2	0	0
計	3	0	0

実績

一 般 会 計

10 款	6 項	1 目	幼稚園費					
担当部署名		教育課学校教育班						(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	82,050	80,404	199			4,475	75,730	
目的	幼稚園教育方針の趣旨に基づく、「元気でのびのびとし、表現豊かな松島っ子の土台づくり」に向けた教育体制及び施設の充実を図る。							
実績	1 園児数及び教諭数 (平成30年5月1日現在) (単位:人)							
	幼稚園名	定員	園児数	教職員数				
	松島第一幼稚園	70	53	8				
	松島第二幼稚園	40	34	6				
	松島第五幼稚園	40	21	5				
	計	150	108	19				
	※教職員数は、園長（保育所長と兼務）・臨時職員を含む							
	2 一時預かり保育事業 (単位:人)							
	幼稚園名	利用実人数	延べ利用人数	利用事由				
	松島第一幼稚園	28	143	学校行事（授業参観、懇談会、役員会）、健診、通院等				
	松島第二幼稚園	19	86					
	松島第五幼稚園	15	58					
	計	62	287					
	3 幼保小等の交流の取組							
	事業名	内容						
	親と子の合同学習会	町内幼稚園合同保護者と園児参加のコンサートを開催（親子ふれあいコンサート）						
	小学校との交流	小学校見学、小学1年生と相互交流を実施、特別支援教育の相互交流等						
	保育所との交流	日常の保育・行事などにおける園児の交流を第二幼稚園と高城分園とで実施						
	小学校との合同行事	運動会・学習発表会・マラソン大会・あそび祭り・避難訓練等に参加						
	特別支援教育の連携	特別支援連携協議会等において幼・保・小・中・特別支援・保健福祉関係者等の情報交換等の実施						
	(次頁へ続く)							
成果	年齢に応じた教育計画のもとで、集団での遊びや絵本の読み聞かせ、生活習慣・食育・虫歯予防の推進、園外保育や自然体験などの各種行事を継続実施し、心身ともに健康な幼児の育成に寄与した。また、保育所や小学校との連携により、学校探検や授業体験、学校行事への参加によって、小学校就学へ向けた円滑な移行を図ることができた。 教育補助員を配置し、特別な配慮を必要とする幼児の支援体制の整備を図った。他に、保護者の多様なニーズへの対応を目的とした一時預かり保育事業を実施し、子育て負担の軽減を図った。							
現況課題 方向性	施設の老朽化や幼稚園教諭の配置などの諸問題解決に向け、保育所を含めた再編計画を進め、より良い幼稚園の環境整備を図っていく。							

4 幼稚園教育推進の取組み

事業名	内容
体力づくり事業	体づくり運動（スポーツ推進委員）の活用や外遊びの推奨
国際理解教育の推進	A L Tを活用した初歩的な英語コミュニケーションの推進（全187回）
子育て講話	「小学校就学に向けた幼児の子育てについて」（各園長・小学校教諭）
保護者アンケート	子どもの生活状況、幼稚園の行事や保育に関するアンケート調査を通して、保護者のニーズや教育環境についてのニーズを把握するため実施。
幼保合同職員研修	「アプローチ・カリキュラム」の概要や現場での取り組みについてなど、幼稚園職員や保育所職員の情報共有や指導力向上を目的に実施。
巡回支援専門員整備事業(のびっ子クラブ)	発達障害支援を提供できる専門知識とスキルを習得。（全6回）

5 需用費（修繕料）

・松島第一幼稚園	テレビアンテナ修繕他	（ 10 件 ）	190,630 円
・松島第二幼稚園	下水修繕他	（ 5 件 ）	120,177 円
・松島第五幼稚園	浄化槽ブロアー修繕他	（ 5 件 ）	60,642 円

6 工事請負費

・松島第一幼稚園	松島第一幼稚園遊具改修工事 4連ブランコ吊金具・吊席	421,200 円
----------	-------------------------------	-----------

実績

7 備品購入費

・松島第一幼稚園	黒球式熱中症指数計、幼児用椅子、マイクロシュレッダ	（ 3 品目、 3 個 ）	36,612 円
・松島第二幼稚園	黒球式熱中症指数計、ままごとあそびテーブルセット、木製雑誌スタンド他	（ 7 品目、 11 個 ）	272,683 円
・松島第五幼稚園	黒球式熱中症指数計、CDラジカセ、プレイバック物置他	（ 7 品目、 11 個 ）	312,513 円

8 松島町私立幼稚園就園奨励費補助金交付状況

区分	満3歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
第1子	0人 0円	2人 249,400円	0人 0円	0人 0円	2人 249,400円
第2子	0人 0円	0人 0円	1人 185,000円	0人 0円	1人 185,000円
第3子	1人 164,000円	0人 0円	0人 0円	0人 0円	1人 164,000円
計	1人 164,000円	2人 249,400円	1人 185,000円	0人 0円	4人 598,400円

（次頁へ続く）

9 平成30年度幼稚園授業料減免状況

区分			前期 (H30. 4-8)		後期 (H30. 9-H31. 3)		総計	
			人数	金額	人数	金額	人数	金額
1子	ひとり親等	生保	1人	25,000円	1人	25,000円	2人	50,000円
		非課税	1人	25,000円	1人	25,000円	2人	50,000円
		多子	1人	15,000円	1人	15,000円	2人	30,000円
	一般	生保	0人	0円	0人	0円	0人	0円
		非課税	5人	50,000円	3人	30,000円	8人	80,000円
		多子	48人	0円	50人	0円	98人	0円
2子	ひとり親等	生保	1人	25,000円	1人	25,000円	2人	50,000円
		非課税	1人	25,000円	0人	0円	1人	25,000円
		多子	2人	37,500円	2人	37,500円	4人	75,000円
	一般	生保	1人	25,000円	1人	25,000円	2人	50,000円
		非課税	5人	125,000円	5人	125,000円	10人	250,000円
		多子	38人	475,000円	40人	500,000円	78人	975,000円
3子	ひとり親等	生保	0人	0円	0人	0円	0人	0円
		非課税	0人	0円	0人	0円	0人	0円
		多子	0人	0円	0人	0円	0人	0円
	一般	生保	0人	0円	0人	0円	0人	0円
		非課税	0人	0円	0人	0円	0人	0円
		多子	4人	100,000円	4人	100,000円	8人	200,000円
計			108人	927,500円	109人	907,500円	217人	1,835,000円

10 園児検診

(単位：人)

学年 項目		幼稚園			
		年少	年中	年長	計
在籍者数		40	39	31	110
内科	肥満傾向	1	1	2	4
	脊柱・胸郭	0	0	0	0
	心雑音	0	2	0	2
	皮膚	0	0	0	0
	アトピー	0	0	0	0
	その他湿疹	0	0	0	0
	尿	0	0	0	0
	1次所見有り	0	0	0	0
	2次所見有り	0	0	0	0
	蛋白糖潜血	0	0	0	0
眼科	視力矯正0.7未満	—	—	4	4
	アレルギー結膜炎	1	2	0	3
	その他(斜視他)	0	1	2	3
歯科	健全歯者	29	22	17	68
	う歯所有者	9	10	7	26
	処置完了者	1	3	4	8

実績

一 般 会 計

11 款	2 項	1 目	公共土木施設災害復旧費				
担当部署名		建設課建設班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	429, 616	240, 260	182, 060				58, 200
目的	東日本大震災により被害を受けた、公共土木施設（漁港・道路・橋梁）の復旧を行う。						
実績	◇ 公共土木施設災害復旧事業(補助・地震災) 東日本大震災で被災した道路・橋梁の災害復旧工事を行った。 1 委託料 6,627,960 円 ・ 町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事施工監理業務委託 (繰越明許費) 6,627,960 円 2 工事請負費 83,000,000 円 ・ 一級町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事(5箇年債務 平成29年度分) (前払金) 83,000,000 円 (事故繰越費) 3 工事請負費 83,400,000 円 ・ 一級町道松島・磯崎線(松島大橋)橋梁外災害復旧工事(5箇年債務 平成28年度分) 83,400,000 円 ◇ 漁港施設災害復旧事業(補助) 東日本大震災で被災した漁港施設災害復旧工事を実施した。 (事故繰越費) 1 工事請負費 15,660,000 円 ・ 銭神漁港船揚場外災害復旧工事 船揚場N=1箇所 15,660,000 円						
成果	公共土木施設災害復旧事業については、東日本大震災により被災した公共土木施設（道路、橋梁）の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。 漁港施設災害復旧事業については、東日本大震災により被災した漁港施設の災害復旧工事を実施し、施設の復旧が図られた。						
現況 課題 方向性	公共土木施設災害復旧事業については、東日本大震災により被災した公共土木施設（道路、橋梁）の災害復旧事業であり、被災した105箇所の内102箇所が完了し、残るは町道松島・磯崎線2箇所および松島大橋の3箇所である。河川管理者との協議等に時間を要し当初工程より遅れており、令和2年度末の工事完成を目指す。 漁港施設災害復旧事業については、東日本大震災により被災した漁港施設の災害復旧工事であり、被災した3漁港、11箇所の内10箇所が完了し、残るは古浦漁港臨港道路で、令和2年度末の工事完成を目指す。						

国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計

- 款		- 項		- 目		国民健康保険特別会計																																																											
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)																																																								
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																																												
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																																								
	1, 835, 332		1, 689, 689		53	1, 224, 063		230, 420	235, 153																																																								
目的	国民健康保険事業の健全な運営を確保し、社会保障及び福祉の向上に寄与する。 また、国民健康保険被保険者の適切な医療を確保するため各種給付を行う。																																																																
実績	1 適用状況																																																																
	<table><tr><td>年度 区分</td><td>平成30年度</td><td>平成29年度</td><td>比 較</td></tr><tr><td>年間平均世帯数（世帯）</td><td>2, 063</td><td>2, 158</td><td>△ 95</td></tr><tr><td>年間平均被保険者数（人）</td><td>3, 301</td><td>3, 487</td><td>△ 186</td></tr><tr><td>年間平均介護保険第2号被保険者数（人）</td><td>1, 024</td><td>1, 118</td><td>△ 94</td></tr></table>				年度 区分	平成30年度	平成29年度	比 較	年間平均世帯数（世帯）	2, 063	2, 158	△ 95	年間平均被保険者数（人）	3, 301	3, 487	△ 186	年間平均介護保険第2号被保険者数（人）	1, 024	1, 118	△ 94																																													
	年度 区分	平成30年度	平成29年度	比 較																																																													
	年間平均世帯数（世帯）	2, 063	2, 158	△ 95																																																													
	年間平均被保険者数（人）	3, 301	3, 487	△ 186																																																													
	年間平均介護保険第2号被保険者数（人）	1, 024	1, 118	△ 94																																																													
	2 保険給付状況																																																																
	<table><tr><td rowspan="2">年度 区分</td><td colspan="2">平成30年度</td><td colspan="2">平成29年度</td><td colspan="2">比 較</td></tr><tr><td>件数（件）</td><td>支給額（千円）</td><td>件数（件）</td><td>支給額（千円）</td><td>件数（件）</td><td>支給額（千円）</td></tr><tr><td>療 養 給 付 費</td><td>62, 775</td><td>1, 012, 243</td><td>64, 623</td><td>1, 045, 167</td><td>△ 1, 848</td><td>△ 32, 924</td></tr><tr><td>療 養 費</td><td>981</td><td>6, 056</td><td>803</td><td>4, 623</td><td>178</td><td>1, 433</td></tr><tr><td>高 額 療 養 費</td><td>2, 107</td><td>145, 512</td><td>2, 092</td><td>144, 939</td><td>15</td><td>573</td></tr><tr><td>出 産 育 児 一 時 金</td><td>5</td><td>2, 100</td><td>9</td><td>3, 780</td><td>△ 4</td><td>△ 1, 680</td></tr><tr><td>葬 祭 費</td><td>19</td><td>950</td><td>27</td><td>1, 350</td><td>△ 8</td><td>△ 400</td></tr><tr><td>計</td><td>65, 887</td><td>1, 166, 861</td><td>67, 554</td><td>1, 199, 859</td><td>△ 1, 667</td><td>△ 32, 998</td></tr></table>								年度 区分	平成30年度		平成29年度		比 較		件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）	療 養 給 付 費	62, 775	1, 012, 243	64, 623	1, 045, 167	△ 1, 848	△ 32, 924	療 養 費	981	6, 056	803	4, 623	178	1, 433	高 額 療 養 費	2, 107	145, 512	2, 092	144, 939	15	573	出 産 育 児 一 時 金	5	2, 100	9	3, 780	△ 4	△ 1, 680	葬 祭 費	19	950	27	1, 350	△ 8	△ 400	計	65, 887	1, 166, 861	67, 554	1, 199, 859	△ 1, 667	△ 32, 998		
	年度 区分	平成30年度		平成29年度		比 較																																																											
		件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）	件数（件）	支給額（千円）																																																										
療 養 給 付 費	62, 775	1, 012, 243	64, 623	1, 045, 167	△ 1, 848	△ 32, 924																																																											
療 養 費	981	6, 056	803	4, 623	178	1, 433																																																											
高 額 療 養 費	2, 107	145, 512	2, 092	144, 939	15	573																																																											
出 産 育 児 一 時 金	5	2, 100	9	3, 780	△ 4	△ 1, 680																																																											
葬 祭 費	19	950	27	1, 350	△ 8	△ 400																																																											
計	65, 887	1, 166, 861	67, 554	1, 199, 859	△ 1, 667	△ 32, 998																																																											
<table><tr><td rowspan="2">年度 区分</td><td colspan="2">平成30年度</td><td colspan="2">平成29年度</td><td colspan="2">比 較</td></tr><tr><td colspan="2">(円)</td><td colspan="2">(円)</td><td colspan="2">(円)</td></tr><tr><td>療 養 給 付 費</td><td>一般被保険者</td><td>307, 149</td><td>299, 096</td><td>8, 053</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平均1人当たりの額</td><td>退職被保険者等</td><td>157, 489</td><td>387, 875</td><td>△ 230, 386</td><td></td><td></td></tr><tr><td>療 養 費</td><td>一般被保険者</td><td>1, 833</td><td>1, 332</td><td>501</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平均1人当たりの額</td><td>退職被保険者等</td><td>2, 445</td><td>382</td><td>2, 063</td><td></td><td></td></tr><tr><td>高 額 療 養 費</td><td>一般被保険者</td><td>44, 215</td><td>41, 469</td><td>2, 746</td><td></td><td></td></tr><tr><td>平均1人当たりの額</td><td>退職被保険者等</td><td>0</td><td>54, 940</td><td>△ 54, 940</td><td></td><td></td></tr></table>								年度 区分	平成30年度		平成29年度		比 較		(円)		(円)		(円)		療 養 給 付 費	一般被保険者	307, 149	299, 096	8, 053			平均1人当たりの額	退職被保険者等	157, 489	387, 875	△ 230, 386			療 養 費	一般被保険者	1, 833	1, 332	501			平均1人当たりの額	退職被保険者等	2, 445	382	2, 063			高 額 療 養 費	一般被保険者	44, 215	41, 469	2, 746			平均1人当たりの額	退職被保険者等	0	54, 940	△ 54, 940					
年度 区分	平成30年度		平成29年度		比 較																																																												
	(円)		(円)		(円)																																																												
療 養 給 付 費	一般被保険者	307, 149	299, 096	8, 053																																																													
平均1人当たりの額	退職被保険者等	157, 489	387, 875	△ 230, 386																																																													
療 養 費	一般被保険者	1, 833	1, 332	501																																																													
平均1人当たりの額	退職被保険者等	2, 445	382	2, 063																																																													
高 額 療 養 費	一般被保険者	44, 215	41, 469	2, 746																																																													
平均1人当たりの額	退職被保険者等	0	54, 940	△ 54, 940																																																													
(次頁へ続く)																																																																	
成果	被保険者の疾病、負傷、出産及び死亡に関して、保険給付を行った。 第二期データヘルス計画に基づき、被保険者の健康保持増進のための保健事業を実施した。																																																																
現況 課題 方向性	令和元年度は国民健康保険都道府県単位化2年目を迎えることから、宮城県とのより一層の連携を図り、国民健康保険被保険者への適切な医療給付を継続して行っていく。また、糖尿病性腎症重症化予防事業に新しく取り組み、糖尿病患者の人工透析への移行を防ぐべく、主治医と連携した保健指導に努める。																																																																

3 国民健康保険事業費納付金

区分 \ 年度	平成30年度 (千円)
医療給付費分	293,889
後期高齢者支援金等分	90,060
介護納付金分	34,294

4 保健事業

区分 \ 年度	平成30年度			平成29年度		
	対象者	受診者	受診率	対象者	受診者	受診率
特定健康診査	2,713人	1,447人	53.3%	2,852人	1,498人	52.5%

※受診者は、情報提供事業（102人）、データ提供（11人）を含む。

特定保健指導

年度	区分	対象者（人）	参加者（人）	参加率（%）	終了者（人）
		A	B	B / A	
平成30年度	動機付け支援	172	31	18.0	29
	積極的支援	53	11	20.8	10
平成29年度	動機付け支援	164	25	15.2	25
	積極的支援	66	9	13.6	9

5 データヘルス計画に基づく保健事業

実績

事業名	事業内容	評価
特定健診・特定保健指導受診率向上事業	① 未受診者対策	特定健診受診率 53.3%
	② 医療機関からの情報提供事業	情報提供数 102件
	③ 特定健診・特定保健指導に関する啓発	特定保健指導分割実施数 18人
	④ 特定健診早期介入保健指導事業	特定保健指導実施率 18.7%
糖尿病重症化予防事業	① 啓発普及事業 ② 地区組織活動育成・支援事業 ③ 保健指導判定該当者に対する保健指導 ④ 要医療判定で未受診者に対する受診勧奨	特定健診受診者のHbA1cの保健指導判定以上の割合 76.6%
生活習慣病予防事業	① 生活習慣病予防をテーマとした健康教育・健康相談の実施 ② 地域における運動普及の推進 ③ 地区組織やボランティア等の活用による啓発普及 ④ 生活習慣病予防の取組に対するインセンティブの検討	肥満者の割合 30.5% メタボリックシンドローム該当者及び予備群の割合 32.9% 運動習慣のある人の割合 36.8% 生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合 23.6%
健診異常値放置者受診勧奨事業	① 血圧異常値放置者への受診勧奨 ② 健診結果から至急受診連絡者への受診勧奨 ③ e-GFR異常値放置者への受診勧奨 ④ 健診後行動に関する普及啓発	受診行動につながった人の割合 49.6%
医療費適正化指導事業	① 重複・頻回受診者への関する普及啓発 ② ジェネリック医薬品差額通知事業 ③ 医療費通知事業 ④ 普及啓発事業	重複・頻回受診 調査対象者 39人 訪問指導対象者 0人

(次頁へ続く)

6 国民健康保険税課税状況

年度		平成30年度 (円)	平成29年度 (円)	比較 (円)
区分				
現年度課税分 調定済額	医療給付費分	184,052,800	219,977,500	△ 35,924,700
	後期支援金分	66,682,900	74,415,600	△ 7,732,700
	介護納付費分	24,555,400	22,739,000	1,816,400
	計	275,291,100	317,132,100	△ 41,841,000
現年度課税分 収入済額	医療給付費分	178,495,563	212,682,308	△ 34,186,745
	後期支援金分	64,649,709	71,988,683	△ 7,338,974
	介護納付費分	23,541,493	21,820,012	1,721,481
	計	266,686,765	306,491,003	△ 39,804,238

年度		平成30年度 (%)	平成29年度 (%)	比較 (Pt)
区分				
収納率	医療給付費分	96.98	96.68	0.30
	後期支援金分	96.95	96.74	0.21
	介護納付費分	95.87	95.96	△ 0.09
	計	96.87	96.64	0.23

7 国民健康保険税軽減状況

	平成30年度		平成29年度	
	(世帯数)	(被保険者数)	(世帯数)	(被保険者数)
	平等割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)	平等割軽減額 (円)	均等割軽減額 (円)
7割軽減	586	783	638	882
	10,573,469	19,145,793	14,720,631	21,621,272
5割軽減	336	588	319	579
	4,284,742	10,493,280	4,880,036	9,662,249
2割軽減	264	486	265	475
	1,322,226	3,388,516	1,672,289	3,257,498
計	1,186	1,857	1,222	1,936
	16,180,437	33,027,589	21,272,956	34,541,019

8 国民健康保険税減免状況

減免事由	平成30年度		平成29年度	
	世帯数	金額 (円)	世帯数	金額 (円)
旧被扶養者減免 (社会保険加入者が、後期高齢者医療 制度に移行することにより、その被扶 養者であった者が国民健康保険に加入 することによる減免)	14	246,100	9	220,900
原子力災害対策特別措置法による避難世 帯に対する減免	1	30,200	1	41,200
収監減免	0	0	3	65,100
貧困により生活のため公私の扶助を受け る者に対する減免	1	1,600	0	0
計	16	277,900	13	327,200

実績

後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計

- 款		- 項		- 目		後期高齢者医療特別会計				
担当部署名				町民福祉課町民サービス班					(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	197,800		191,803					177,348	14,455	
目的 高齢者の医療の確保に関する法律に基づき、運営主体である宮城県後期高齢者医療広域連合との連携のもと、適正な申請受付事務並びに保険料徴収事務等を遂行する。										
実績 1 被保険者数 2,876人 (平成31年3月末日現在) 2 申請書受付状況 										

介護保険特別会計

介護保険特別会計

- 款			- 項			- 目			介護保険特別会計					
担当部署名			健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)						
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳									
					国庫支出金		県支出金		地方債		その他		一般財源	
	1,764,020		1,729,362		414,871		244,696				789,109		280,686	
目的	介護保険事業の運営を健全、かつ、円滑に行うために、公正な要介護認定、住民の相談体制の充実を図り、適正な介護給付管理及び介護保険料の賦課徴収を実施する。 また、日常生活が自立している高齢者を対象に、生活機能の維持又は向上に向けた取り組みを行い、虚弱な状態にある高齢者については、生活機能低下の早期発見・早期対応を行うことにより、要介護状態若しくは要支援状態となることを予防する。 さらに、要介護状態になっても、住み慣れた地域で自分らしい生活をできる限り継続することができるよう、介護予防や生活支援、サービス提供が一体的に提供される地域包括ケアシステムの取組を強化する。													
実績	1 要介護認定状況													
	(1) 申請者数													
	(単位:人)													
	申請者数		平成30年度						平成29年度					
			830						1,040					
				新規申請	更新申請	区分変更	転入申請	計	新規申請	245				
			男	110	132	61	0	303	更新申請	670				
			女	138	292	94	3	527	区分変更	121				
		計	248	424	155	3	830	その他申請	4					
							計	1,040						
申請取下者数		22						31						
死 亡		10						14						
その他		12						17						
※ 区分変更申請者数には、要支援者の新規申請を含む。														
(次頁へ続く)														
成果	1～8 第7期介護保険事業計画に基づき計画どおり事業を実施した。 介護保険サポートガイドを全世帯、関係機関に配布し、介護保険制度やサービス内容、介護予防・日常生活支援総合事業の周知を行い、関係機関との連携により円滑なサービス利用と適正な介護保険運営が図れた。													
	9 「まつしま元気塾」については、平成29年度から実施場所を増やしており、平成30年度においても継続的に介護予防の取り組みの強化を図った。また生活支援コーディネーターと連携して地域サロンの立ち上げや活動の継続支援を行い、通いの場の充実を図った。													
	10～11 地域包括支援センターを中心に医療・介護・福祉の各関係機関と連携を図りながら個別対応にあたると共に、生活支援体制整備事業及び地域ケア会議の実施等により地域包括ケアの基盤整備を推進した。また、生活支援コーディネーターと協働で研修会や発表会を実施し、住民同士及び関係機関の繋がり強化を図った。													
現況 課題 方向性	高齢化の進展で、要介護高齢者は年々増加しており、介護サービスは高齢者の生活を支える重要な資源となっている。今後も増加する需要に対応するため、相談体制、サービス基盤の整備、制度の周知を推進したい。 一方で高齢者が生きがいを持って元気に暮らせるよう、介護予防の取組や住民主体の通いの場の充実を支援し、健康づくり班と連携して健康寿命の延伸を目指す。													

(2) 要介護等認定者実人数

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	95	110	222	191	137	131	96	982
65歳以上75歳未満	13	14	18	21	12	9	9	96
75歳以上	82	96	204	170	125	122	87	886
第2号被保険者	1	2	4	4	6	0	1	18
総 数	96	112	226	195	143	131	97	1,000

※「表1 (2) ～5」の数値については、介護保険事業状況報告（平成31年3月分）より抜粋。

2 居宅介護（介護予防）サービス受給者数

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
第1号被保険者	24	46	157	135	85	42	23	512
第2号被保険者	1	2	2	3	5	0	0	13
総 数	25	48	159	138	90	42	23	525

3 地域密着型（介護予防）サービス受給者数

(単位：人)

	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
総 数	1	1	44	61	40	12	1	160

※地域密着型サービス受給者数：松島町が指定する認知症対応型通所介護、小規模多機能型居宅介護、認知症対応型共同生活介護、地域密着型通所介護を利用している人数

※1号・2号含む

実績

4 介護予防・日常生活支援総合事業利用状況

	件数（件）	費用総額（円）
訪問型サービス費	325	3,980,524
通所型サービス費	837	16,249,840
介護予防ケアマネジメント	688	3,048,400
審査支払手数料	1,850	116,550
高額介護予防サービス相当事業	1	85
合 計	3,701	23,395,399

※利用者実人数：総合事業事業対象者 8人、要支援認定者 72人（平成31年3月末時点）

5 施設介護サービス受給者数

(単位：人)

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
介護老人福祉施設	1	8	16	28	22	75
第1号被保険者	1	8	16	28	22	75
第2号被保険者	0	0	0	0	0	0
介護老人保健施設	15	23	18	35	27	118
第1号被保険者	15	23	17	35	27	117
第2号被保険者	0	0	1	0	0	1
介護療養型医療施設	0	0	0	9	14	23
第1号被保険者	0	0	0	9	14	23
第2号被保険者	0	0	0	0	1	1
総 数	16	31	34	72	63	216

(次頁へ続く)

6 保険給付状況

区分	年度	平成30年度		平成29年度	
		件数 (件)	給付総額 (円)	件数 (件)	給付総額 (円)
訪問サービス		4,264	127,115,302	4,236	116,161,224
通所サービス		3,134	225,137,205	3,583	242,287,307
短期入所サービス		840	59,317,271	782	60,381,103
福祉用具貸与		3,461	39,977,254	3,236	36,685,705
福祉用具購入		72	1,696,131	78	1,731,600
住宅改修費		51	4,923,591	46	4,460,608
特定施設入居者生活介護		195	28,404,389	149	20,659,514
介護予防支援・居宅介護支援		5,783	69,973,807	5,910	67,447,039
地域密着型サービス		1,949	256,703,167	1,685	223,853,121
介護老人福祉施設		883	202,865,979	821	186,937,463
介護老人保健施設		1,443	382,639,518	1,320	350,896,201
介護療養型医療施設		300	94,681,211	264	89,713,944
特定入所者介護サービス費		2,655	53,003,674	2,418	49,154,750
高額介護サービス等費		2,659	32,199,916	2,330	26,726,976
審査支払手数料		22,213	1,278,880	22,054	1,173,498
合 計		49,902	1,579,917,295	48,912	1,478,270,053

(単位：円)

区分	年度	平成30年度	平成29年度
		町	県
第1号被保険者1人当たりの給付月額	町	25,751	23,903
	県	22,990	22,619
	国	23,733	23,273

※平成30年度は、平成30年3月から平成30年12月サービス利用分までの給付額から算出。

(単位：円)

区分	平成30年度		平成29年度	
	在宅	施設	在宅	施設
1人当たりの給付月額	93,028	281,837	105,096	272,816
月平均給付総額	48,839,451	60,876,749	47,818,697	56,200,030

実績

7 要介護度別支給限度額利用状況 (月平均)

(単位：%)

年度	要介護度別対支給限度額比率							
	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	全体
平成30年度	44.0	19.1	45.3	53.5	52.6	73.3	77.0	52.1
平成29年度	49.6	35.2	41.0	56.0	54.0	68.1	63.8	52.5

8 第1号被保険者保険料収納状況

(1) 収納方法 (人)

区分	人数
特別徴収	4,924
普通徴収	408
計	5,332

(再掲) 普通徴収内訳 (人)

口座振替	58
納税組合	4
納付書	346

(2) 現年度分

徴収方法	調定額 (円)	収入済額※ (円)	収入未済額 (円)	徴収率 (%)	還付未済 (円)
特別徴収	327,375,280	327,381,880	△ 6,600	100	6,600
普通徴収	26,564,534	23,251,720	3,312,814	88	4,960
計	353,939,814	350,633,600	3,306,214	99.1	11,560

※収入済額には過誤納付金還付未済額11,560円を含む。

(3) 滞納繰越分

調定額 (円)	収入済額 (円)	不納欠損額 (円)	未納額 (円)	徴収率 (%)
12,252,502	1,094,536	6,543,292	4,614,674	8.9

(次頁へ続く)

9 一般介護予防事業

① 介護予防普及啓発事業

・ 介護予防教室「まっしま元気塾」

概ね65歳以上の介護認定を受けていない方を対象に町内9か所（12教室）において、高齢者の「閉じこもり防止」「介護予防」の観点から、脳トレ・体操・趣味活動・各種講話等を実施した。

実施状況

場所	開催頻度 (回)	延実施回数 (回)	実人数 (人)	延参加人数 (人)	備考
ふれあいの家 (水・金コース)	週2回	97	12	941	
ふれあいの家 (火・木コース)	週2回	98	10	705	
ほほえみの家 (水・金コース)	週2回	97	8	561	
ほほえみの家 (火・木コース)	週2回	98	6	449	
白萩会館 (月・水コース)	週2回	91	11	734	
品井沼農村環境改善センター (火コース)	週1回	50	10	364	
品井沼農村環境改善センター (金コース)	週1回	47	8	316	火コースとの 重複参加3人
本郷ふれあいセンター (木コース)	週1回	48	11	406	
初原コミュニティセンター (金コース)	週1回	48	13	525	
華園集会所 (水コース)	週1回	50	10	373	
高城避難所 (月コース)	週1回	44	13	440	
保健福祉センター (月コース)	週1回	44	7	230	
計		812	119	6,044	

※H29年度実績 実施回数 781回、参加延べ人数 5,717人

・ 機関紙「スマイル」の発行

発行回数	配布状況	内容
年4回	全戸配布ならびに役場、 保健福祉センターに配置	介護保険、保健福祉に関するお知らせ、事業実施報告、各種行事案内、介護予防や健康増進に関すること、権利擁護に関する啓発、地域サロンの紹介等

② 地域介護予防活動支援事業

・ 地域サロン活動状況

時期	平成30年3月末時点	平成31年3月末時点
活動団体数	28団体	30団体

・ 講師派遣事業利用状況

利用団体数	利用回数	介護予防活動全般(運動器機能低下防止)、グループの自主活動に関する指導員を派遣
8団体	18回	

(次頁へ続く)

- ・高齢者ふれあい地域サロン補助金活用団体
地域支え合い活動の進展、定着を目的に、月2回以上サロン活動を実施する希望団体に対し、運営費補助として補助金を交付した。
申請団体数 9団体 交付団体数 9団体

10 包括的支援事業

① 総合相談支援業務

高齢者の生活全般に係る相談に対応し、不安の軽減や必要な社会資源の活用につながった。
相談実件数 1,087件

相談方法別件数（延）	
来所	326
訪問	353
電話	423
その他	7

連絡機関の再掲（延）	
病院	15
サービス事業者	43
ケアマネジャー	118
行政各係	21
その他	28

相談者内訳別件数（延）	
本人	344
家族・親戚	520
医療機関	79
サービス事業所	117
ケアマネジャー	303
行政各係	16
その他	55

相談内容内訳（延） ※重複有り	
介護相談	93
健康疾病	45
医療・入退院	70
経済困窮	18
介護保険	236
介護保険サービス	122
認知症・精神	143
施設入所	68
プラン指導	6
虐待関係	35
財産管理・成年後見	43
高齢福祉・生活全般	127
その他	119

処理方法（延）	
他機関へ連絡	207

※その他は、介護予防事業、保険外サービス、独居等

② 権利擁護業務

- ・権利擁護・財産管理に関する相談

成年後見制度、財産管理に関する手続き、内容について説明対応した。関係機関と連携し支援を行った。

相談実人数 4件

（内訳）町長申立て被後見人の支援 2件、その他相談 2件

- ・虐待相談

虐待の疑いのあるケースについて、訪問等により状況確認を行い、その後、関係者による地域ケア会議の実施、ケアプランの見直しを行い、重症化を防ぐために迅速に対応した。

また、各種福祉関係の諸制度の説明や紹介、利用手続き等の支援を行った。

相談実人数 11件（うち、高齢者虐待と判断し、対応を実施した件数7件）

③ 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務

- ・地域ケア会議（個別会議）

介護サービス事業者、介護保険施設関係者、県保健福祉事務所、行政各担当、担当ケアマネジャー、地域包括支援センター職員等関係者で協議、検討した。

回数（回）	参加延べ人数（人）	場所	内容
20	120	保健福祉センター 介護サービス事業所等	高齢者虐待の疑いがあるケース、処遇困難ケースに関する支援方法の検討等

（次頁へ続く）

・地域ケア会議（全体会議）

ケアマネジャーや介護事業所職員に対し、研修会や説明会を実施した。

回数（回）	参加延べ人数（人）	場所	内容
4	149	保健福祉センター	・介護保険、地域包括、高齢福祉、避難行動要支援者台帳登録等の説明会、事業所情報交換会 ・研修会「いきいき百歳体操」の実践と講話 ・講話「認知症の方を地域で支える」 ・講話・グループワーク「本人に合わせた住宅改修のポイント」

④ 生活支援体制整備事業

・生活支援・介護サービス基盤整備協議体

生活支援・介護サービス基盤整備事業の一環として、町民、地域活動団体、町内介護保険事業所職員等に対し、町と松島町社会福祉協議会が協働で研修会を実施した。

回数（回）	参加延べ人数（人）	場所	内容
2	176	保健福祉センター	・研修会「地域で水害が発生、災害時の助け合いを考えよう」 ・研修会「私たちの活き生き活動発表会」

・生活支援コーディネーター

生活支援・介護サービス基盤整備協議体の運営、生活支援のボランティア等の養成及び講習会の開催、生活支援サービスに関する普及啓発など生活支援体制整備に関する業務を委託した。

【委託先】 松島町社会福祉協議会

【配置人数】 3人

⑤ 認知症総合支援事業

・認知症への理解を深めるための普及・啓発

認知症の早期発見・早期対応及び認知症の方が、可能な限り住み慣れた地域で安心して暮らせる町を目指し、住民が認知症について正しい知識を持つことを目的とし、認知症サポーター養成講座や出前講座を実施した。

講座名	回数	対象	人数（人）	場所
認知症サポーター養成講座	6	町民、役場職員、歯科医院従業員等	146	文化観光交流館、地区集会所等
出前講座『認知症について学ぼう』	2	松島第一小学校 6年生 (2クラス)	49	松島第一小学校

・認知症カフェの開催と運営補助金交付

認知症の本人や家族が、地域の人や専門職等と情報交換し、認知症の知識を深めたり、本人や介護者の不安や負担の軽減を図ることを目的とし、町内3か所で開催した。

名称	運営団体	実施頻度	内容
SaKuRaカフェ	グループホーム 桜の家	2か月に1回	認知症についての情報交換、勉強会、作業活動、体操など、それぞれのカフェで毎回内容を工夫して開催している。
秋桜カフェ	グループホーム コスモス松島	月1回	
わいわいカフェ「かこまち」	ひまわり会	月2回	

松島町認知症カフェ運営補助金交付団体 1団体

※カフェの開設1回5,000円、月10,000円を上限として交付

実績

(次頁へ続く)

・松島町はいかい高齢者SOSネットワーク事業

登録者	6人（平成31年3月31日時点）
稼働実績	町内0回
協力団体	35団体 近隣自治体、警察署、消防署、地区民生委員・児童委員、タクシー会社、ガソリンスタンド、介護保険事業所、シルバー人材センター等

11 任意事業

家族介護支援事業

実施回数（回）	実人数（人）	延人数（人）	内容
6	10	34	情報交換、介護保険情報の提供、各種制度や相談窓口の紹介、簡単なクッキングレシピの紹介等

実績

介護サービス事業特別会計

1	款	1	項	1	目	介護サービス事業特別会計 居宅介護支援事業費																																										
担当部署名				健康長寿課高齢者支援班					(単位:千円)																																							
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳																																											
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源																																							
	7,049		6,579					6,579																																								
目的	要支援認定者及び総合事業事業対象者に対し、心身の状況等に応じ、適切なサービスが総合的かつ効率的に提供されるよう介護予防サービス計画を作成する。また、可能な限り地域において自立した日常生活を営むことができるよう支援し、要支援状態の軽減、悪化の防止を図る。																																															
実績	【居宅介護支援事業】																																															
	・利用実人数 170人 ・作成人数 延べ 1,493人 ・事業費 6,134,000円																																															
成果	1 要支援認定者及び総合事業事業対象者利用状況 (単位:人)																																															
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">要支援 認定者数</td><td rowspan="2">総合事業 事業対象者</td><td rowspan="2">計</td><td colspan="2">委託管理数</td><td rowspan="2">計</td><td rowspan="2">未利用者数</td></tr><tr><td>支1</td><td>支2</td><td>介護予防 サービス計画</td><td>介護予防 ケアマネジメント</td></tr><tr><td>平成30年度</td><td>96</td><td>112</td><td>13</td><td>221</td><td>68</td><td>50</td><td>118</td><td>103</td></tr><tr><td>平成29年度</td><td>87</td><td>101</td><td>7</td><td>195</td><td>61</td><td>55</td><td>116</td><td>79</td></tr></table> ※人数及び利用状況については3月末時点集計										要支援 認定者数		総合事業 事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数	支1	支2	介護予防 サービス計画	介護予防 ケアマネジメント	平成30年度	96	112	13	221	68	50	118	103	平成29年度	87	101	7	195	61	55	116	79								
	要支援 認定者数		総合事業 事業対象者	計	委託管理数		計	未利用者数																																								
	支1	支2			介護予防 サービス計画	介護予防 ケアマネジメント																																										
平成30年度	96	112	13	221	68	50	118	103																																								
平成29年度	87	101	7	195	61	55	116	79																																								
現況 課題 方向性	2 介護予防サービス計画及び介護予防ケアマネジメント委託状況 (単位:件)																																															
	<table><tr><td>事業所名</td><td>介護予防 サービス計画</td><td>介護予防 ケアマネジメント</td><td>計</td></tr><tr><td>介護相談センター</td><td>229</td><td>215</td><td>444</td></tr><tr><td>松島町社会福祉協議会</td><td>115</td><td>148</td><td>263</td></tr><tr><td>桜の家居宅介護支援事業所</td><td>18</td><td>8</td><td>26</td></tr><tr><td>長松園居宅介護支援事業所</td><td>50</td><td>73</td><td>123</td></tr><tr><td>松島病院訪問看護ステーション</td><td>240</td><td>137</td><td>377</td></tr><tr><td>ケアプランセンタービッグハート</td><td>109</td><td>67</td><td>176</td></tr><tr><td>その他の事業所</td><td>48</td><td>36</td><td>84</td></tr><tr><td>平成30年度合計</td><td>809</td><td>684</td><td>1,493</td></tr><tr><td>平成29年度合計</td><td>1,072</td><td>393</td><td>1,465</td></tr></table> ※介護予防サービス計画 要支援認定者が介護予防給付のみ又は介護予防給付と総合事業のサービスを利用する場合の計画作成 ※介護予防ケアマネジメント 要支援認定者又は総合事業事業対象者が総合事業のサービスを利用する場合の計画作成									事業所名	介護予防 サービス計画	介護予防 ケアマネジメント	計	介護相談センター	229	215	444	松島町社会福祉協議会	115	148	263	桜の家居宅介護支援事業所	18	8	26	長松園居宅介護支援事業所	50	73	123	松島病院訪問看護ステーション	240	137	377	ケアプランセンタービッグハート	109	67	176	その他の事業所	48	36	84	平成30年度合計	809	684	1,493	平成29年度合計	1,072	393
事業所名	介護予防 サービス計画	介護予防 ケアマネジメント	計																																													
介護相談センター	229	215	444																																													
松島町社会福祉協議会	115	148	263																																													
桜の家居宅介護支援事業所	18	8	26																																													
長松園居宅介護支援事業所	50	73	123																																													
松島病院訪問看護ステーション	240	137	377																																													
ケアプランセンタービッグハート	109	67	176																																													
その他の事業所	48	36	84																																													
平成30年度合計	809	684	1,493																																													
平成29年度合計	1,072	393	1,465																																													

觀瀾亭等特別會計

観瀾亭等特別会計

1 款	1 項	1 目	(観瀾亭等特別会計) 観瀾亭費：管理費				
担当部署名		産業観光課観光班					(単位：千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	58,078	44,271				790	43,481
目的	松島の重要な観光財産である観瀾亭の維持管理等を行い、誘客に努める。						
実績	1 観覧者数及び観覧料・売上収入 - 観覧者数 (平成30年4月～平成31年3月) 50,091 人 (前年 43,588 人) - 観覧収入 (平成30年4月～平成31年3月) 7,503,590 円 (前年 6,983,794 円) - 売上収入 (平成30年4月～平成31年3月) 15,885,639 円 (前年 14,436,250 円) 2 イベント開催に係る観覧者数及び観覧料・売上収入 - アコースティックギターライブ ○日程 平成30年5月29日 ○人数 62 人 - 観瀾亭特別夜間営業「夏の満月スペシャル」 ○日程 平成30年7月28日、8月25日 ○入場者数 74 人 - 月の松島in観瀾亭 ○日程 平成30年9月23日、24日 ○観覧者数 419 人 (前年 225 人) ○売上収入 167,500 円 (前年 112,500 円) - 松島紅葉ライトアップ観瀾亭夜間営業 ○日程 平成30年10月27日～11月25日のうち土日等11日間 ○観覧者数 520 人 ○売上収入 260,000 円 (次頁へ続く)						
成果	観瀾亭の運営において、伊達文化を伝える施設として抹茶の提供、伊達家に関連する武具や調度品などを博物館に展示し、観覧収入・売上収入ともに増収となった。 観瀾亭を活用した観光PR事業では、ギターコンサートやお月見会などのイベントを開催したほか、松島紅葉ライトアップの期間に夜間営業を行い、夜の魅力発信に努めた。 管理業務においては、施設維持管理のほか、東日本鉄道文化財団地方文化事業支援の助成金を活用し、松島博物館の収蔵品である伊達政宗直筆一幅など4点の修復作業を行った。 観瀾亭博物館及び事務室改修工事では、下半期より改修工事を開始し、老朽化した箇所を修復するなど環境整備の向上を図った。						
現況 課題 方向性	松島博物館において、修復作業を行った収蔵品4点を含む伊達家ゆかりの文化遺産を展示することで、観光客が伊達文化に触れる機会を増やし、誘客を図る。						

1	款	1	項	1	目
実績		3	委託料		
			観瀾亭松島博物館収蔵品修復事業		
		・	観瀾亭松島博物館収蔵品修復業務委託	1,080,000	円
			観瀾亭松島博物館および明月庵の管理業務		
		・	松島公園他施設清掃業務委託	136,200	円
		○	内容 観光施設床清掃他		
		・	松島公園町管理環境整備業務委託	375,840	円
		○	内容 除草・集草・側溝清掃他		
		・	観瀾亭樹木剪定業務委託	550,800	円
		○	内容 樹木剪定工・枯枝撤去工他		
		・	松島町各施設機械警備業務委託	365,472	円
		・	観瀾亭自動火災報知器保守点検業務委託	399,600	円
		4	工事請負費		
		・	観瀾亭博物館及び事務室改修工事(前払金)	7,300,000	円
実績		5	原材料費		
		・	菓子・抹茶他	6,870,785	円
実績		6	備品購入費		
		・	観瀾亭備品購入	399,600	円
		○	内容 折脚座卓18卓、折脚座椅子5脚		

観覧料
観瀾亭・松島博物館入込及び売上

観覧料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	4,130 人 535,150 円	3,985 人 739,500 円	4,133 人 637,640 円	3,732 人 608,450 円	5,940 人 730,700 円	5,410 人 734,900 円	7,676 人 1,231,800 円	6,629 人 943,200 円	2,423 人 332,000 円	1,823 人 290,800 円	2,136 人 328,100 円	2,074 人 391,350 円	50,091 人 7,503,590 円
平成29年度	3,124 人 534,200 円	4,535 人 741,550 円	3,836 人 580,000 円	3,306 人 550,500 円	4,571 人 776,923 円	4,350 人 701,550 円	5,285 人 868,693 円	6,068 人 927,310 円	2,554 人 440,650 円	1,266 人 199,300 円	1,868 人 304,350 円	2,825 人 358,768 円	43,588 人 6,983,794 円
比較増減	1,006 人 950 円	▲ 550 人 ▲ 2,050 円	297 人 57,640 円	426 人 57,950 円	1,369 人 ▲ 46,223 円	1,060 人 33,350 円	2,391 人 363,107 円	561 人 15,890 円	▲ 131 人 ▲ 108,650 円	557 人 91,500 円	268 人 23,750 円	▲ 751 人 32,582 円	6,503 人 519,796 円

平成30年度

個 人	44,950 人	6,639,490 円
団 体	5,141 人	864,100 円
合 計	50,091 人	7,503,590 円

平成29年度

個 人	40,760 人	6,418,110 円
団 体	2,828 人	565,684 円
合 計	43,588 人	6,983,794 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	1,039,766 円 1,132,380 円	1,458,865 円 1,462,430 円	1,077,970 円 1,147,920 円	1,425,210 円 1,221,400 円	1,701,430 円 1,684,250 円	1,659,820 円 1,455,685 円	2,135,990 円 1,918,295 円	2,155,000 円 1,874,265 円	998,110 円 695,010 円	720,500 円 412,010 円	815,680 円 566,890 円	697,298 円 865,715 円	15,885,639 円 14,436,250 円
平成29年度	▲ 92,614 円	▲ 3,565 円	▲ 69,950 円	203,810 円	17,180 円	204,135 円	217,695 円	280,735 円	303,100 円	308,490 円	248,790 円	▲ 168,417 円	1,449,389 円

観瀾亭等特別会計

2 款	1 項	1 目	(観瀾亭等特別会計) 福浦橋費：管理費				
担当部署名		産業観光課観光班					(単位：千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	52,846	52,009					52,009
目的	松島の重要な観光財産である福浦橋の維持管理等を行い、誘客に努める。 また、カフェベイランドを利用する観光客等へのサービスの向上を図る。						
実績	1 通行者数及び通行料・売上収入 - 通行者数 (平成30年4月～平成31年3月) 273,094 人 (前年 213,352 人) - 通行料収入 (平成30年4月～平成31年3月) 52,811,230 円 (前年 41,188,350 円) - 売上収入 (平成30年4月～平成31年3月) 6,763,361 円 (前年 7,611,110 円) 2 地場産品の提供に係る売上収入 - かき料理売上収入 (平成30年10月～平成31年3月) 451,200 円 3 福浦橋を活用した観光PR - 松島の夜の魅力発信事業 ○内容 福浦橋のライトアップを実施 (満月とその前後を含む3日間を除き夜間点灯※午後10時まで) 「橋の日」記念イベント ○日程 平成30年8月4日 ○内容 松島三橋のPRチラシとノベルティ(先着100人)の配布						
成果	福浦橋の運営においては、前年と比べ約60,000人の通行者数が伸び、全体として大幅な増収となった。 福浦橋を活用した観光PR事業では、「橋の日」記念イベントを松島湾環境保全活動と同時開催し、さらなる誘客を図った。また、松島の夜の魅力発信事業では、福浦橋のライトアップを行ったほか、満月の日は「松島の月」の自然の月明かりを楽しむことができるようにライトを消灯する演出を実施した。 管理業務では、福浦橋橋梁点検業務により、橋の架け替え時期やこれらに要する費用等の調査を実施した。						
現況 課題 方向性	カフェベイランドで取り扱う商品については、利用者のニーズを鑑みながら精査し、観光客にとって有意義な休憩場所として提供ができるよう工夫する。また、夜の演出となるライトアップについては、不点灯箇所が見受けられるため、改善に向けた対応策を検討する。						

2 款	1 項	1 目
実績	4	福浦橋およびカフェベイランド管理業務等
		・ 松島公園他施設清掃業務委託 58,200 円 ○ 床清掃他
		・ 松島町各施設機械警備業務委託 66,096 円
		・ 松島町役場他消防設備保守点検業務委託 11,235 円
		・ 福浦橋通行券券売機保守点検業務委託 349,920 円
		・ カフェベイランド自動扉開閉装置保守点検業務委託 103,680 円
		・ カフェベイランド厨房機器保守点検業務委託 77,760 円
		・ 福浦橋ライトアップ演出変更業務委託 97,200 円
		・ 福浦橋橋梁点検業務委託 2,516,400 円
	5	主な使用料及び賃借料
		・ 福浦橋通行券券売機リース(12ヶ月) 51,840 円
		・ カフェベイランド施設賃貸料(12ヶ月) 686,400 円
	6	販売品等仕入
		・ ソフトクリーム・飲み物等 4,205,360 円

福浦橋カフェ・ベイランド入込及び売上

通行料

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	21,132 人 4,033,440 円	26,919 人 5,195,120 円	17,028 人 3,291,590 円	19,026 人 3,673,200 円	37,717 人 7,141,120 円	30,868 人 6,055,500 円	25,329 人 4,937,970 円	25,444 人 4,976,360 円	15,031 人 2,926,910 円	12,478 人 2,396,970 円	15,651 人 3,058,670 円	26,471 人 5,124,380 円	273,094 人 52,811,230 円
平成29年度	13,729 人 2,603,580 円	25,644 人 4,918,150 円	13,215 人 2,564,500 円	15,396 人 2,962,560 円	32,014 人 6,077,200 円	22,695 人 4,413,690 円	17,065 人 3,336,900 円	19,170 人 3,750,960 円	11,548 人 2,243,300 円	9,571 人 1,851,800 円	11,771 人 2,306,590 円	21,534 人 4,159,120 円	213,352 人 41,188,350 円
比較増減	7,403 人 1,429,860 円	1,275 人 276,970 円	3,813 人 727,090 円	3,630 人 710,640 円	5,703 人 1,063,920 円	8,173 人 1,641,810 円	8,264 人 1,601,070 円	6,274 人 1,225,400 円	3,483 人 683,610 円	2,907 人 545,170 円	3,880 人 752,080 円	4,937 人 965,260 円	59,742 人 11,622,880 円

平成30年度

個 人	271,364 人	52,514,500 円
団 体	1,730 人	296,730 円
合 計	273,094 人	52,811,230 円

平成29年度

個 人	211,441 人	40,871,100 円
団 体	1,911 人	317,250 円
合 計	213,352 人	41,188,350 円

売上収入

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	544,934 円	656,695 円	748,431 円	531,782 円	1,099,458 円	664,731 円	577,286 円	500,432 円	340,702 円	278,990 円	342,046 円	477,874 円	6,763,361 円
平成29年度	521,162 円	943,323 円	579,801 円	769,907 円	1,093,148 円	788,929 円	582,635 円	618,529 円	399,165 円	408,295 円	414,625 円	491,591 円	7,611,110 円
比較増減	23,772 円	▲ 286,628 円	168,630 円	▲ 238,125 円	6,310 円	▲ 124,198 円	▲ 5,349 円	▲ 118,097 円	▲ 58,463 円	▲ 129,305 円	▲ 72,579 円	▲ 13,717 円	▲ 847,749 円

下水道事業特別会計

下水道事業特別会計

1 款	1 項	1 目	下水道事業特別会計 一般管理費				
担当部署名		水道事業所施設班・経営班					(単位:千円)
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳				
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	245, 279	231, 705				177, 689	54, 016
目的	町民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全等を図ることを目的に建設された公共下水道施設の機能を維持保全し、適正な運転管理を行う。						
実績	1 汚水系委託料 (8件) 98, 720, 423 円 ・ 松島浄化センター運転管理業務委託 (松島浄化センターの運転管理) 77, 667, 000 円 ・ 松島浄化センター汚泥脱水ケーキ運搬業務委託 (汚泥脱水ケーキの処理施設への運搬) 7, 320, 240 円 ・ 公共下水道施設(汚水系)電気工作物点検業務委託 (松島浄化センター等の電気事業法に基づく電気工作物の点検) 552, 743 円 ・ 松島浄化センター他消防設備点検業務委託 (松島浄化センター等の消防法に基づく防災設備の点検) 235, 440 円 ・ 松島浄化センター他し渣運搬処分業務委託 (松島浄化センター等より発生するし渣の運搬処分) 734, 400 円 ・ 松島中継ポンプ場運転管理業務委託 (松島中継ポンプ場の運転管理) 10, 590, 600 円 ・ 浪打浜マンホールポンプ場吐出管点検整備業務委託 (浪打浜マンホールポンプ場の吐出管点検整備) 324, 000 円 ・ 公共下水道台帳整備業務委託 (工事で整備した管渠の台帳への加筆) 1, 296, 000 円 (次頁へ続く)						
成果	汚水処理施設である松島浄化センターを始め、関連施設に係る機能の維持保全と適正な運転管理に努めた。 浄化センターの年間流入汚水処理量は1, 558千m³、汚泥処理量は848tであり、維持管理費には185, 311千円を要し、1m³あたりの汚水処理費(資本費を除く)は118円である。 平成30年度末の下水道人口普及率は69. 1%、水洗化戸数は3, 597戸、水洗化人口は8, 993人であり、水洗化率は92. 5%である。 雨水排水施設については、雨水ポンプ場(12箇所)と雨水幹線に係る機能の維持保全を図り、大雨等降雨時における排水運転の管理に努めた。						
現況 課題 方向性	(汚水系) 下水道法に基づく放流水質を堅持するため、今後も汚水処理施設の適切な維持管理を図っていく。 (雨水系) 浸水被害を防止し住民の安全安心を確保するため、今後も雨水処理施設の適切な維持管理を図っていく。						

下水道事業特別会計

2	雨水系委託料 (4件)	30,690,022 円
	・ 新町雨水ポンプ場他運転管理業務委託 (新町他11箇所の雨水ポンプ場の運転管理)	19,569,600 円
	・ 公共下水道施設(雨水系)電気工作物点検業務委託 (雨水ポンプ場の電気事業法に基づく電気工作物の点検)	2,097,022 円
	・ 公共下水道雨水路等清掃業務委託 (幹線雨水路の清掃)	7,086,960 円
	・ 公共下水道雨水路等除草業務委託 (幹線雨水路の除草)	1,936,440 円
3	その他委託料 (3件)	8,489,858 円
	・ 松島浄化センター放流水及び松島湾内水質調査業務委託 (松島浄化センター放流水及び松島湾内の水質調査)	4,212,000 円
	・ 下水道使用料徴収事務委託 (下水道使用料の徴収事務委託)	4,270,298 円
	・ 破傷風予防接種業務委託 (職員の破傷風予防接種)	7,560 円
	委託料 合計 15 件	137,900,303 円

実績

業務概況の推移

項目／年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	備考
下水道普及状況	行政区域内人口 (人)	15,040	14,918	14,817	14,632	14,366	14,073	A
	市街地人口 (人)	7,259	7,259	7,259	7,259	7,259	6,928	
	全体計画人口 (人)	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000	
	処理区域内人口 (人)	10,133	10,060	10,037	9,940	9,811	9,720	B
	処理区域内戸数 (戸)	3,915	3,961	3,985	3,988	3,980	3,974	C
	普及率(人口) (%)	67.4	67.4	67.7	67.9	68.3	69.1	B/A
	水洗化人口 (人)	10,075	9,929	9,251	9,238	8,950	8,993	D
	水洗化戸数 (戸)	3,373	3,484	3,558	3,553	3,580	3,597	E
	水洗化率(人口) (%)	99.4	98.7	92.2	92.9	91.2	92.5	D/B
	水洗化率(戸数) (%)	86.2	88.0	89.3	89.1	89.9	90.5	E/C
汚水処理	日最大処理水量 (m³)	5,714	5,714	4,831	4,817	4,759	4,846	晴天時最大
	日平均処理水量 (m³)	4,531	4,168	4,218	4,257	4,401	4,267	晴天時平均
	年間処理水量 (千m³)	1,654	1,521	1,544	1,554	1,606	1,558	F
	年間有収水量 (千m³)	1,357	1,338	1,326	1,341	1,325	1,289	G
	有収率 (%)	82.0	88.0	85.9	86.3	82.5	82.7	G/F

下水道事業特別会計決算の推移

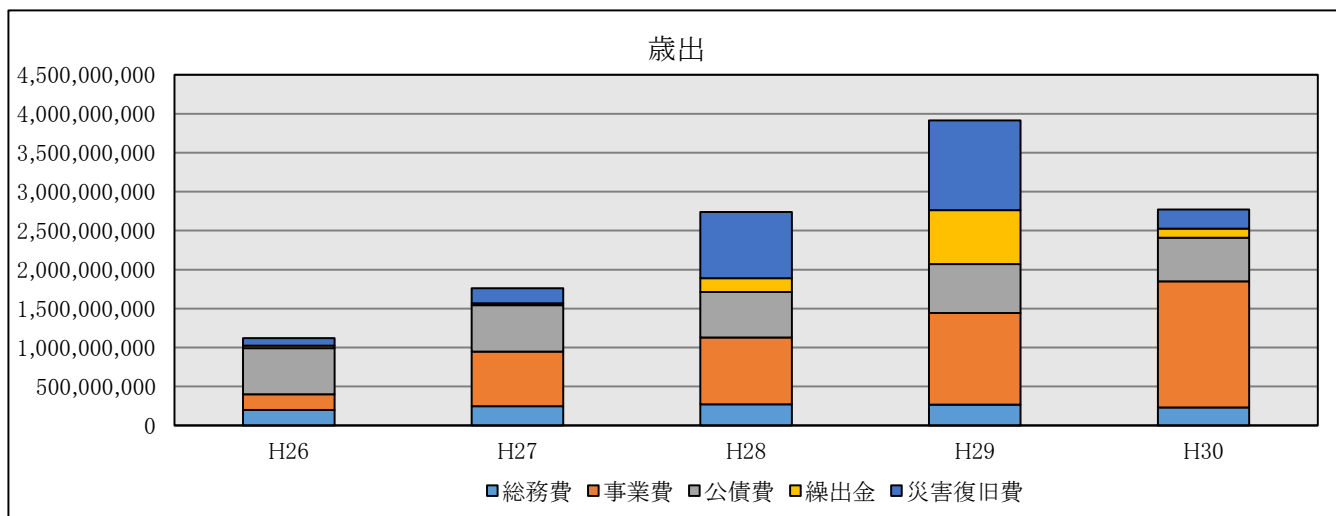
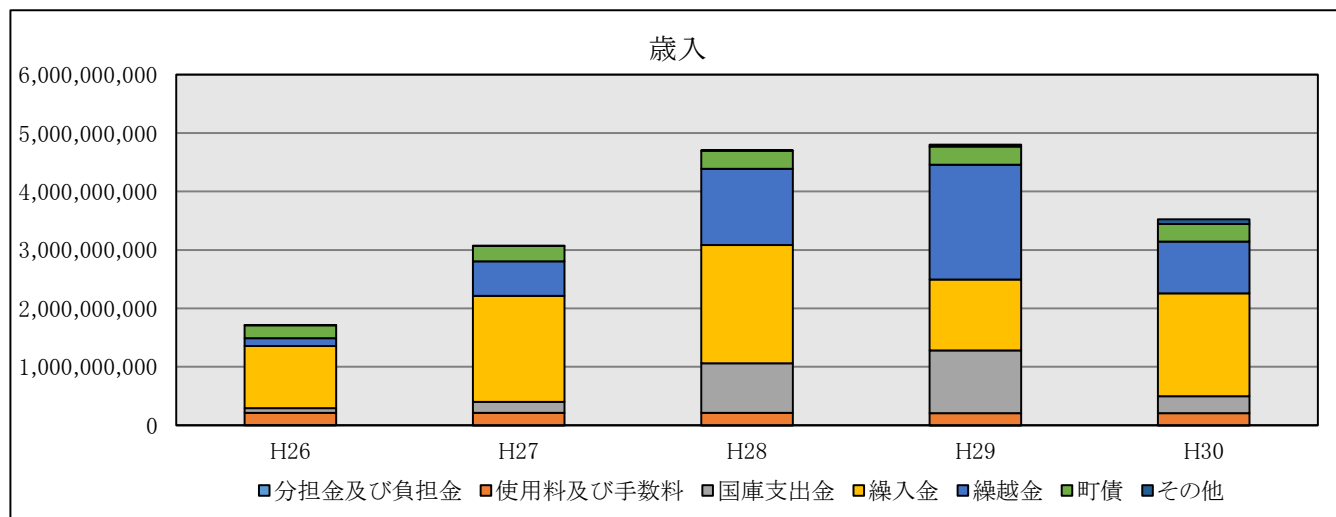
[歳入]

(単位:円)

項目／年度	S60～H25	H26	H27	H28	H29	H30
分担金及び負担金	418,586,818	1,040,600	249,800	249,800	793,530	872,550
使用料及び手数料	3,581,507,633	214,363,080	213,897,810	215,257,830	208,972,290	205,140,410
国庫支出金	7,289,821,365	76,670,000	186,833,960	844,930,000	1,069,471,220	289,644,520
繰入金	10,762,445,000	1,062,648,000	1,811,456,000	2,023,312,000	1,213,751,000	1,759,959,000
繰越金	964,990,807	136,047,975	593,363,727	1,306,740,658	1,963,778,645	887,945,926
町債	13,363,450,000	222,100,000	260,300,000	311,700,000	313,300,000	299,300,000
その他	222,629,529	151,200	129,600	129,600	33,750,343	81,904,289
計	36,603,431,152	1,713,020,855	3,066,230,897	4,702,319,888	4,803,817,028	3,524,766,695

[歳出]

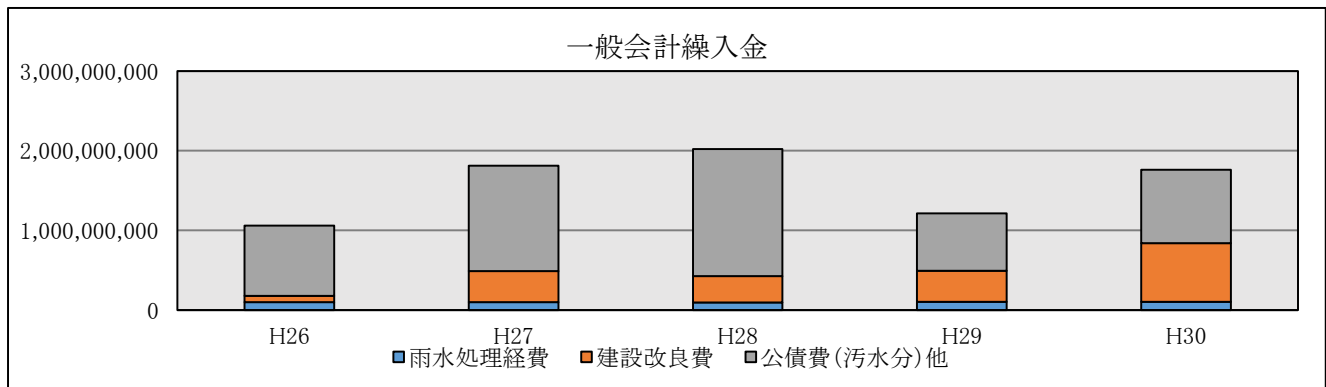
項目／年度	S60～H25	H26	H27	H28	H29	H30
総務費	3,942,389,572	200,376,957	246,422,067	270,383,487	267,029,637	231,704,103
事業費	16,947,303,080	200,322,034	700,590,149	857,573,697	1,175,396,163	1,617,999,924
公債費	14,049,596,533	590,743,684	594,965,724	586,309,730	626,531,315	557,975,049
繰出金	194,278,000	32,249,000	27,313,000	175,000,000	693,823,000	117,546,000
災害復旧費	368,825,185	95,965,453	190,199,299	849,274,329	1,153,090,987	245,500,519
計	35,502,392,370	1,119,657,128	1,759,490,239	2,738,541,243	3,915,871,102	2,770,725,595



一般会計繰入金の推移

(単位:円)

項目／年度	H26	H27	H28	H29	H30
一般会計繰入金	1,062,648,000	1,811,456,000	2,023,312,000	1,213,751,000	1,759,959,000
雨水処理経費	99,443,578	98,253,596	95,333,134	103,229,654	103,571,787
建設改良費	78,395,954	392,180,389	330,986,978	391,079,215	736,588,254
公債費(汚水分)他	884,808,468	1,321,022,015	1,596,991,888	719,442,131	919,798,959

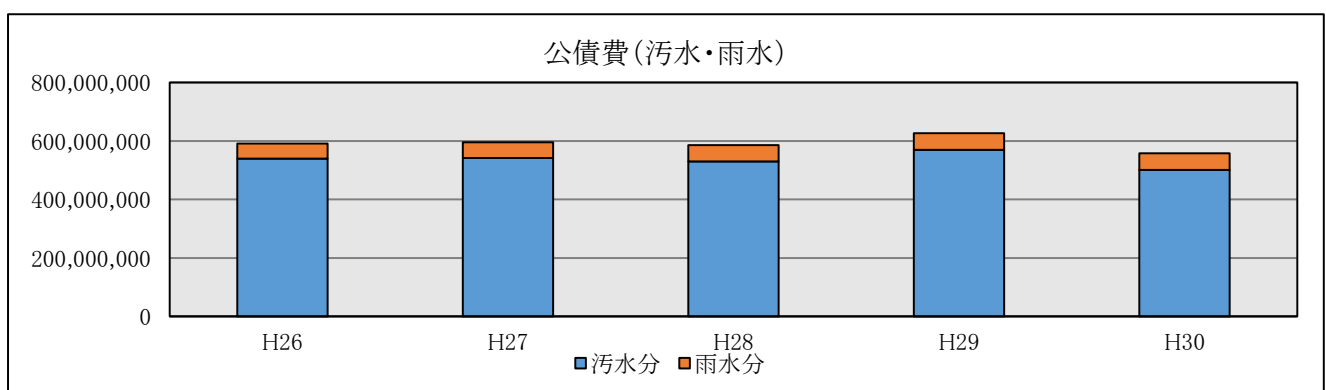
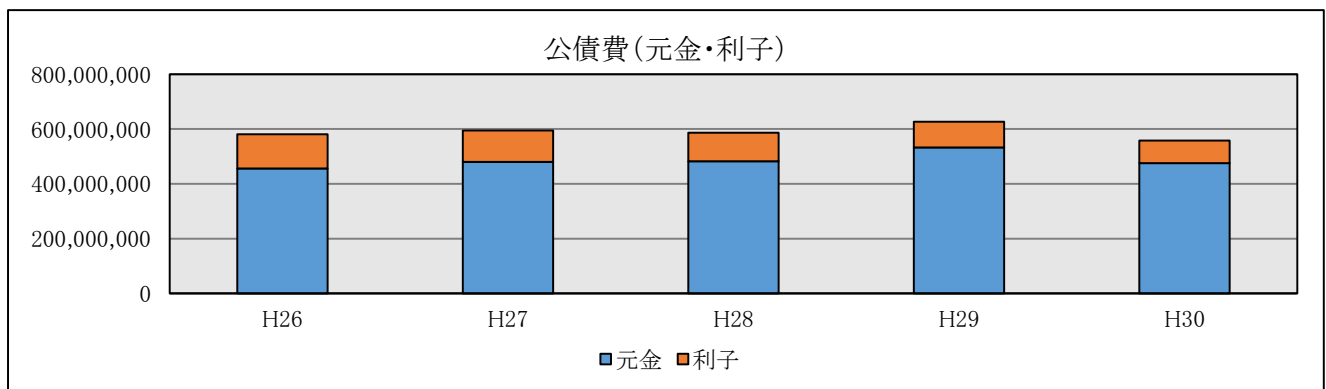


公債費の推移

(単位:円)

項目／年度	H26	H27	H28	H29	H30
公債費	580,743,684	594,965,724	586,309,730	626,531,315	557,975,049
元金	456,518,203	480,474,255	482,677,742	533,239,581	475,795,344
利子	124,225,481	114,491,469	103,631,988	93,291,734	82,179,705

うち	汚水分	539,639,590	542,168,899	530,200,647	569,392,132	500,796,076
	雨水分	51,104,094	52,796,825	56,109,083	57,139,183	57,178,973



下水道等普及状況(平成31年3月31日現在)

[下水道整備状況]

(単位:ha)

行政区域面積	全体計画面積	整備済面積	整備率
A	B	C	C/B
5,356.0	338.0	292.9	86.7%

[污水处理普及状況]

(単位:人)

項目／年度	H26	H27	H28	H29	H30
行政区域内人口	14,918	14,817	14,632	14,366	14,073
下水道処理区域内人口	10,060	10,037	9,940	9,811	9,720
下水道水洗化人口	9,929	9,251	9,238	8,950	8,993
合併処理浄化槽人口	2,280	2,929	3,027	3,116	3,158
污水处理人口	12,209	12,180	12,265	12,066	12,151

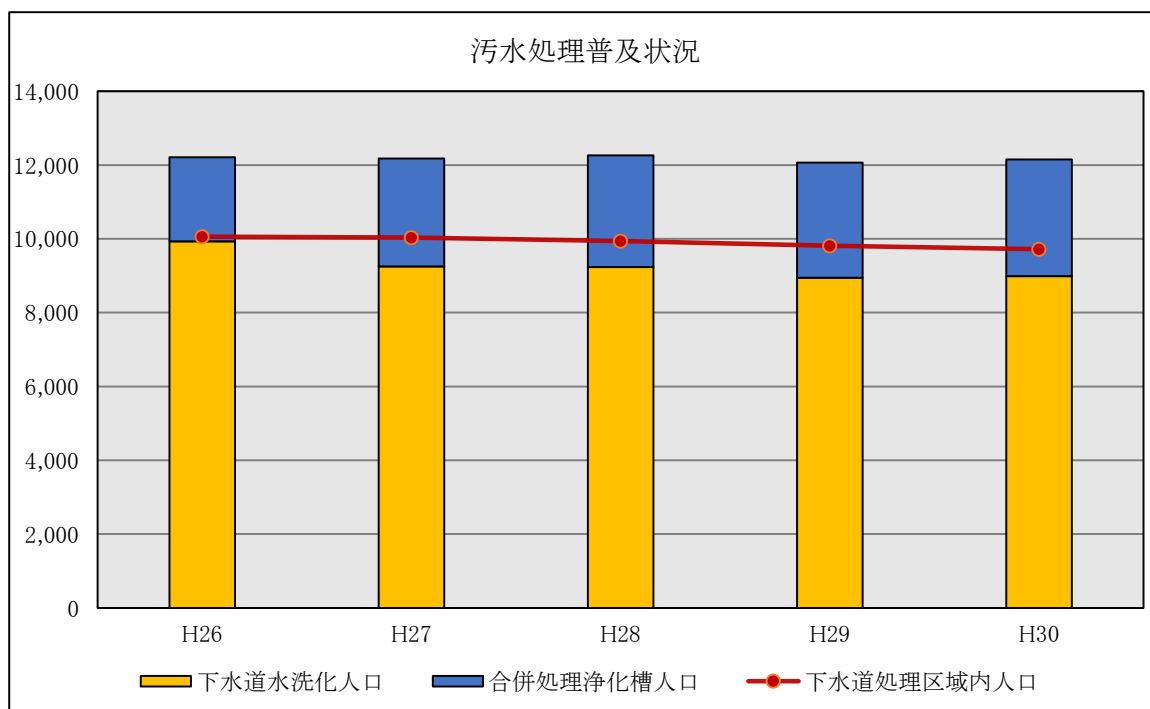
[下水道]

$$\begin{array}{lcl} \text{普及率} & = & \text{処理区域内人口} \div \text{行政区域内人口} \\ 69.1 \% & = & 9,720 \text{ 人} \div 14,073 \text{ 人} \end{array}$$

$$\begin{array}{lcl} \text{水洗化率} & = & \text{水洗化人口} \div \text{処理区域内人口} \\ 92.5 \% & = & 8,993 \text{ 人} \div 9,720 \text{ 人} \end{array}$$

[下水道＋合併処理浄化槽]

$$\begin{array}{lcl} \text{污水处理率} & = & \text{污水处理人口} \div \text{行政区域内人口} \\ 84.6 \% & = & 12,151 \text{ 人} \div 14,366 \text{ 人} \end{array}$$



汚水処理費の内訳

〔①決算状況〕

項目／年度	H26	H27	H28	H29	H30	備考
処理区域内人口 (人)	10,060	10,037	9,940	9,811	9,720	A
水洗化人口 (人)	9,929	9,251	9,238	8,950	8,993	B
年間処理水量 (m ³)	1,521,262	1,543,693	1,553,748	1,606,417	1,557,568	C
年間有収水量 (m ³)	1,337,634	1,326,445	1,341,314	1,325,385	1,288,610	D
使用料収入 (千円)	214,056	213,729	215,141	208,771	204,826	E
汚水処理費 (千円)	281,143	329,786	298,776	315,977	333,101	F
維持管理費 (千円)	148,316	200,317	228,135	220,939	185,311	G
資本費 (千円)	132,827	129,469	70,641	95,038	147,790	H

〔②経営指標〕

項目／年度	H26	H27	H28	H29	H30	備考
(1) 施設の効率性						
①水洗化率 (%)	98.7	92.2	92.9	91.2	92.5	B/A
②有収率 (%)	87.9	85.9	86.3	82.5	82.7	D/C
(2) 経営の有効性						
①使用料単価 (円／m ³)	160.0	161.1	160.4	157.5	159.0	I=E/D
②汚水処理原価 (円／m ³)	210.2	248.6	222.7	238.4	258.5	J=F/D
維持管理費 (円／m ³)	110.9	151.0	170.1	166.7	143.8	K=G/D
資本費 (円／m ³)	99.3	97.6	52.7	71.7	114.7	H/D
③経費回収率 (%)	76.1	64.8	72.0	66.1	61.5	I/J
維持管理費 (%)	144.3	106.7	94.3	94.5	110.5	I/K
資本費算入率 (%)	49.5	10.4	0.0	0.0	13.2	

使用料対象経費は汚水維持管理費と汚水資本費の合計で算定される。

平成30年度決算では、汚水維持管理費185,311千円と汚水資本費147,790千円を合わせた333,101千円が使用料対象経費となる。

汚水処理原価は、平成30年度決算で汚水処理に要した経費333,101千円に対し、有収水量が1,288,610m³であるため、1m³あたり258円となっている。

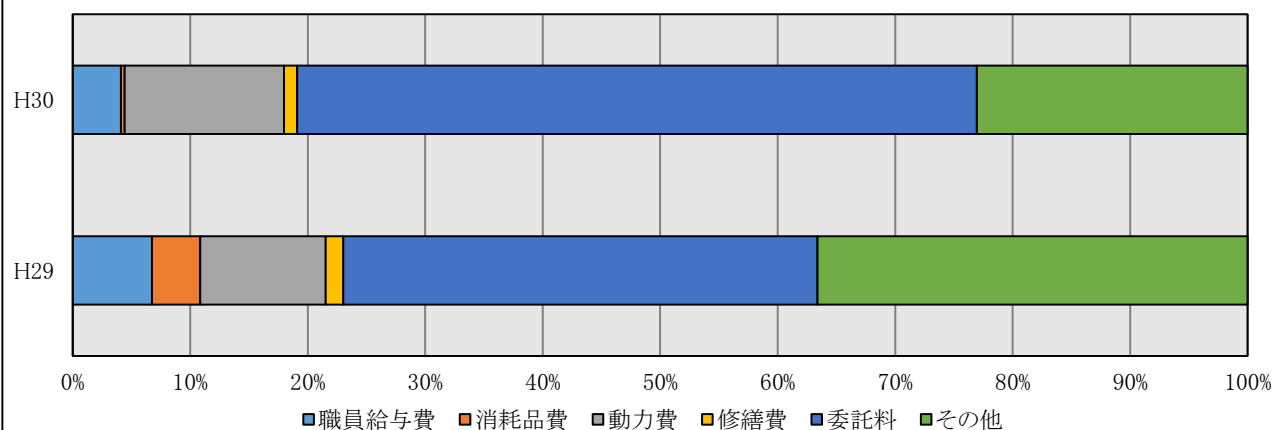
使用料収入の204,826千円を有収水量で割り戻すと、1m³あたり159円の収入となり、その差額分である99円は資本費平準化債と一般会計繰入金で賄われている。

〔③汚水処理費の構成〕

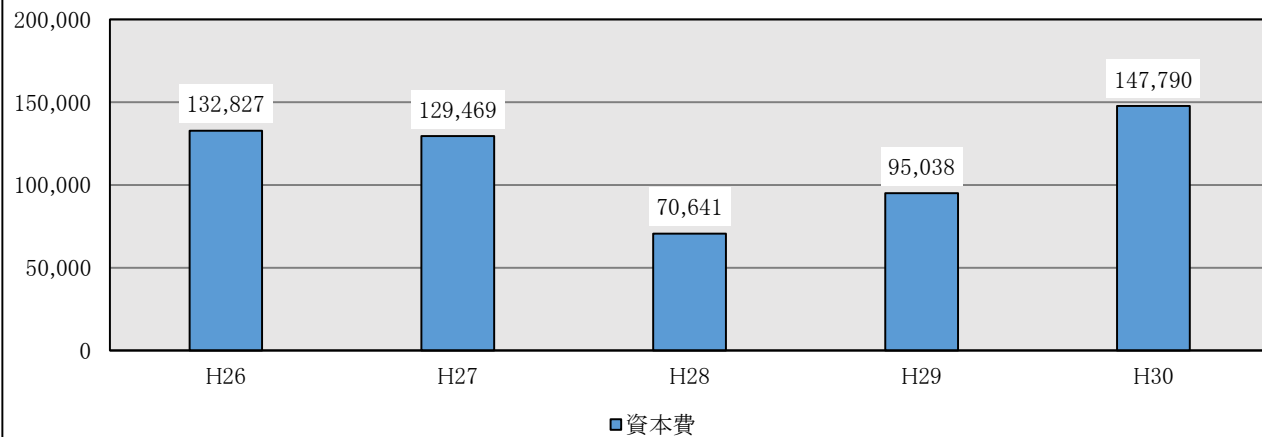
(単位:千円)

構成区分	H29 A	H30 B	増減 B-A	増減率 B/A
職員給与費	14,922	7,584	△ 7,338	50.8%
消耗品費	9,038	591	△ 8,447	6.5%
動力費	23,594	25,173	1,579	106.7%
修繕費	3,338	2,042	△ 1,296	61.2%
委託料	89,172	107,210	18,038	120.2%
その他	80,875	42,711	△ 38,164	52.8%
小計	220,939	185,311	△ 35,628	83.9%
資本費	95,038	147,790	52,752	155.5%
合計	315,977	333,101	17,124	105.4%

汚水処理費(維持管理費)の構成



汚水処理費(資本費)の推移



下水道使用料年度別未収額調書

[平成30年度滞納繰越分 収入状況及び不納欠損調べ]

(単位:件:円)

賦課年度	調定額		収入額		不納欠損額		収入未済額	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
平成22年度	1	71,180	0	0	1	71,180	0	0
平成24年度	8	50,430	1	4,130	7	46,300	0	0
平成25年度	15	682,330	0	108,190	0	0	15	574,140
平成26年度	14	879,330	2	22,340	0	0	12	856,990
平成27年度	25	946,180	9	80,990	0	0	16	865,190
平成28年度	56	1,193,570	25	268,610	0	0	31	924,960
平成29年度	304	3,470,830	273	2,708,530	0	0	31	762,300
計	423	7,293,850	310	3,192,790	8	117,480	105	3,983,580

水洗便所改造資金融資斡旋状況

(単位:件:円)

年度	確認申請 件 数	斡旋申請 件 数	斡旋率	斡旋金額	利子補給金額	
					予算額	決算額
平成2～15年度	2,643	835	31.6%	477,240,000	53,221,000	33,668,824
平成16年度	63	4	6.3%	2,400,000	278,000	148,366
平成17年度	53	1	1.9%	550,000	200,000	41,097
平成18年度	42	1	2.4%	350,000	170,000	43,371
平成19年度	30	2	6.7%	1,180,000	138,000	37,973
平成20年度	43	1	2.3%	360,000	203,000	21,180
平成21年度	39	1	2.6%	360,000	223,000	13,226
平成22年度	40	2	5.0%	1,800,000	210,000	24,861
平成23年度	54	2	3.7%	2,500,000	209,000	46,200
平成24年度	101	0	0.0%	0	234,000	38,483
平成25年度	115	0	0.0%	0	235,000	11,915
平成26年度	135	0	0.0%	0	217,000	5,251
平成27年度	72	0	0.0%	0	196,000	2,414
平成28年度	60	0	0.0%	0	106,000	179
平成29年度	49	2	4.1%	1,497,000	116,000	8,230
平成30年度	54	2	3.7%	1,600,000	126,000	19,215
計	3,593	853	23.7%	489,837,000	56,082,000	34,130,785

下水道事業特別会計

2 款	1 項	1 目	下水道事業特別会計 公共下水道建設費					(単位:千円)
担当部署名		水道事業所施設班						
予算の 執行 状況	予算額	決算額	財源内訳					
			国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	173, 166	171, 134	73, 700		60, 300	872	36, 262	
目的	公共下水道施設の整備を行い、生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を図る。							
実績	1 委託料 (2件) 134, 000, 000 円							
	・ 松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定 100, 000, 000 円							
	(繰越明許費)							
	・ 松島浄化センター長寿命化改築工事委託に関する協定 34, 000, 000 円							
	2 工事請負費 (1件) 270, 000 円							
	・ 三居山二地内取付管布設工事 270, 000 円							
	取付管及び公共柵設置工 N=1箇所							
成果	長寿命化計画に基づき、松島浄化センター汚泥棟関連設備（攪拌機等）の長寿命化改築工事を行った。							
現況 課題 方向性	東日本大震災に伴う、災害復旧及び復興交付金事業を最優先として実施しているため、公共下水道汚水管渠未普及対策事業は完了しておらず、継続していく必要がある。 今後、災害復旧及び復興交付金事業は、令和2年度末までに事業を完了する見込みから、未普及対策事業を再開し、早期に整備完了することを目標に事業を実施する。							

下水道事業特別会計

2	款	1	項	2	目	下水道事業特別会計 復興推進費			
担当部署名				水道事業所施設班				(単位:千円)	
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳				
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
	2, 212, 543		1, 446, 867				13, 000	1, 075, 448	358, 419
目的	震災復興計画に基づき、東日本大震災に伴う地盤沈下による雨水排水機能の低下を解消するため、各雨水ポンプ場及び雨水幹線を整備し、排水能力の強化を図る。								
実績	1 委託料		(7件)		1, 162, 000, 000 円				
	・ 長田雨水ポンプ場他1施設の復興事業に係る建設工事委託に関する協定				230, 000, 000 円				
	・ 磯崎第二雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定				178, 000, 000 円				
	・ 西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定				24, 000, 000 円				
	(繰越明許費)								
	・ 長田雨水ポンプ場他1施設の復興事業に係る建設工事委託に関する協定				161, 000, 000 円				
	・ 磯崎第二雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定				72, 000, 000 円				
	・ 西柳雨水ポンプ場の復興事業に係る建設工事委託に関する協定				29, 000, 000 円				
	(事故繰越)								
	・ 普賢堂雨水ポンプ場他1施設の復興事業に係る建設工事委託に関する協定				468, 000, 000 円				
(次頁へ続く)									
成果	雨水ポンプ場建設工事（長田・小梨屋・普賢堂・蛇ヶ崎・磯崎第二・西柳）及び雨水管渠築造工事（長田・小石浜・普賢堂・小梨屋・町・磯崎）を行い、事業の推進を図った。								
現況課題 方向性	復興交付金事業については、事業期間が令和2年度末までとなっているため、期間内の完了に向けて引き続き事業を実施していく。								

2	工事請負費 (6件)	281,517,520 円
	・ 小石浜排水区雨水管渠築造付帯工事 アスファルト舗装工 A=505m ²	4,838,400 円
	・ 普賢堂排水区雨水管渠築造工事 ボックスカルバート工 L=82m 既設水路更生工 L=95m 既設水路底部調整工 L=104m	127,440,000 円
	・ 小梨屋排水区雨水管渠築造工事 (前払金)	8,900,000 円
	・ 町排水区雨水管渠築造工事 (前払金)	47,000,000 円
	・ 磯崎排水区雨水管渠築造工事 (前払金)	76,800,000 円
	(繰越明許費)	
	・ 長田排水区雨水管渠築造工事 鉄筋コンクリート管工 L=40m ボックスカルバート工 L=11m	16,539,120 円
3	補償金	3,092,756 円
	・ 普賢堂排水区雨水管渠築造工事に伴う電力柱移転補償金 電力柱移設 N=2本	3,092,756 円

実績

下水道事業特別会計

3	款	1	項	1	目	下水道事業特別会計 公共下水道施設災害復旧費				(単位:千円)
担当部署名				水道事業所施設班						
予算の 執行 状況	予算額		決算額		財源内訳					
					国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
	332, 673		245, 501		215, 944				29, 557	
目的	東日本大震災による地盤沈下で自然排水が困難となった地区（浪打浜・高城浜）の公共下水道施設の復旧を行い、雨水排水機能の確保を図る。									
実績	1 委託料 (2件) 170, 000, 000 円									
	・ 高城浜雨水ポンプ場の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定 30, 000, 000 円									
	(事故繰越)									
	・ 高城浜雨水ポンプ場の災害復旧事業に係る建設工事委託に関する協定 140, 000, 000 円									
	2 工事請負費 (2件) 45, 944, 520 円									
	・ 浪打浜排水区雨水管渠築造工事 鉄筋コンクリート管工 L=37m 13, 844, 520 円									
	・ 高城浜排水区雨水管渠築造工事（前払金） 32, 100, 000 円									
成果	浪打浜排水区については、雨水管渠築造工事が完了し、排水機能の確保が図られた。 高城浜排水区については、雨水ポンプ場建設工事及び雨水管渠築造工事を行い、事業の推進が図られた。									
現況 課題 方向性	災害復旧事業については、事業期間が令和2年度末までとなっているため、期間内の完了に向けて引き続き事業を実施していく。									

